

仙台市町内会等実態調査  
資料編

平成27年2月

仙台市



## <目 次>

I. 町内会長向けアンケート（単位町内会長）	1
1. 町内会組織について	1
(1) 町内会が発足した時期	1
(2) 町内会の役員の任期と役員任期の規定	2
(3) 専門部会の有無	3
(4) 町内会の会長・役員の選び方	3
(5) 役員会の開催頻度	4
(6) 町内会組織の組織運営上の課題	4
2. 町内会への加入状況について	5
(1) 町内会の世帯数	5
(2) 最近（直近5年程度）の町内会加入世帯数	5
(3) 町内会エリア内の集合住宅との関係	6
3. 町内会で実施されている活動について	7
(1) 活動の状況	7
(2) 連携している団体	8
(3) 力を入れていきたい活動	14
(4) 連携して行っている代表的な活動	15
4. 東日本大震災の経験を踏まえた町内会の活動について	16
(1) 東日本大震災時の活動状況	16
(2) 震災後の地域住民の意識の変化	16
(3) 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事	17
(4) 今後、地域の防災力を向上させるために、町内会が担う必要があると思う役割	17
5. 町内会活動の担い手について	18
(1) 現在、町内会活動を中心的に担っている人	18
(2) 子育て世代等の若い住民の参加状況	18
(3) 女性の参加状況	19
(4) 集合住宅の住民の参加状況	19
(5) 役員の成り手を確保するための工夫	20
(6) 町内会の行事の参加者を増やすための工夫	20
(7) 町内会加入への取り組み状況	21
(8) 町内会加入に向けた取り組み内容	21
6. 町内会の広報活動について	22
(1) 活動の主な伝達手段・広報手法	22

(2) 町内会で実施している活動の認知度 .....	23
(3) 町内会の伝達手段や広報活動についての課題 .....	23
7. 町内会の活動拠点について .....	24
(1) 集会所・集会室の所有状況と築年数 .....	24
(2) 集会所を所有することの課題 .....	24
(3) 役員会等の町内会の会合の主な場所 .....	25
(4) 集会所を持っていないことによる課題 .....	25
8. 町内会の活動エリアについての印象 .....	26
(1) 地域の概況について .....	26
(2) 地域住民の世帯構成の特徴 .....	28
(3) 地域住民の居住年数の特徴 .....	28
9. 回答者属性 .....	29
(1) 会長自身について .....	29
10. 自由記述 .....	34
II. 町内会長向けアンケート（連合町内会長） .....	37
1. 町内会組織について .....	37
(1) 連合町内会が発足した時期 .....	37
(2) 連合町内会の役員の任期と役員任期の規定 .....	38
(3) 専門部会の有無 .....	39
(4) 連合町内会の会長・役員の選び方 .....	39
(5) 役員会の開催頻度 .....	40
(6) 町内会組織の組織運営上の課題 .....	40
2. 連合町内会で実施されている活動について .....	41
(1) 単位町内会、連合町内会が実施している活動 .....	41
(2) 活動の状況 .....	43
(3) 連携している団体 .....	44
(4) 力を入れていきたい活動 .....	50
(5) 連携して行っている代表的な活動 .....	51
(6) 単位町内会の活動があまり活発でない地域で、連合町内会が対応している例 .....	52
3. 東日本大震災の経験を踏まえた連合町内会の活動について .....	53
(1) 東日本大震災時の活動状況 .....	53
(2) 震災後の地域住民の意識の変化 .....	54
(3) 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事 .....	54
(4) 今後、地域の防災力を向上させるために、町内会が担う必要があると思う役割 ..	55
4. 町内会活動の担い手について .....	56

(1) 現在、町内会活動を中心的に担っている人	56
(2) 子育て世代等の若い住民の参加状況	57
(3) 女性の参加状況	57
(4) 集合住宅の住民の参加状況	58
(5) 役員の成り手を確保するための工夫	59
(6) 町内会の行事の参加者を増やすための工夫	60
5. 連合町内会の広報活動について	61
(1) 活動の主な伝達手段・広報手法	61
(2) 町内会で実施している活動の認知度	62
(3) 町内会の伝達手段や広報活動についての課題	62
6. 連合町内会の活動拠点について	63
(1) 集会所・集会室の所有状況と築年数	63
(2) 集会所を所有することの課題	64
(3) 役員会等の町内会の会合の主な場所	64
(4) 集会所を持っていないことによる課題	65
7. 単位町内会の解散状況について	66
(1) 解散したい旨の相談を受けたことがあるか	66
(2) 解散したい旨の相談があった単位町内会のその後の状況	66
(3) 解散した理由	67
8. 連合町内会の活動エリアについての印象	68
(1) 地域の概況について	68
(2) 地域住民の世帯構成の特徴	70
(3) 地域住民の居住年数の特徴	70
9. 回答者属性	71
(1) 会長自身について	71
10. 自由記述	76
III. 地域別市民意識調査	78
1. お住まいの地域に対する評価について	78
(1) 地域に住むことになったきっかけ	78
(2) 地域に住み続けたいと思うか	79
2. ご近所づきあいについて	81
(1) ご近所づきあいは、どの程度しているか	81
(2) いざというときに近所の人と協力しあえると思うか	82
(3) 最寄りの世帯にどんな方が住んでいるか知っているか	83
(4) 色々な人とおつきあいする機会はあるか	83

(5) 活動への参加状況 .....	84
(6) 分野別の活動への参加状況 .....	85
(7) 参加したことがない理由 .....	86
3. 町内会との関わりについて .....	87
(1) 町内会への加入状況 .....	87
(2) 町内会活動について .....	88
(3) 町内会への加入意向について .....	90
4. 東日本大震災時の地域との関わりについて .....	93
(1) ご近所づきあいに対する考え方の変化 .....	93
5. 回答者属性 .....	96
(1) 回答者自身について .....	96
6. 自由記述 .....	99
IV. 町内会空白地域向け意識調査 .....	101
1. お住まいの地域に対する評価について .....	101
(1) 地域に住むことになったきっかけ .....	101
(2) 地域に住み続けたいと思うか .....	102
2. ご近所づきあいについて .....	104
(1) ご近所づきあいは、どの程度しているか .....	104
(2) いざというときに近所の人と協力しあえると思うか .....	104
(3) 最寄りの世帯にどんな方が住んでいるか知っているか .....	105
(4) 色々な人とおつきあいする機会はあるか .....	105
(5) 活動への参加状況 .....	106
(6) 分野別の活動への参加状況 .....	107
(7) 参加したことがない理由 .....	108
3. お住まいの地域に、町内会が無いことについて .....	109
(1) 町内会が取り組んでいる活動の認知状況 .....	109
(2) 町内会がないことによる不安や不便 .....	110
(3) 今後の町内会等の地域の組織の必要性について .....	111
4. 東日本大震災時の地域との関わりについて .....	113
(1) ご近所づきあいに対する考え方の変化 .....	113
5. 回答者属性 .....	116
(1) 回答者自身について .....	116
6. 自由記述 .....	119
V. 調査票 .....	120







# I. 町内会長向けアンケート(単位町内会長)

## 1. 町内会組織について

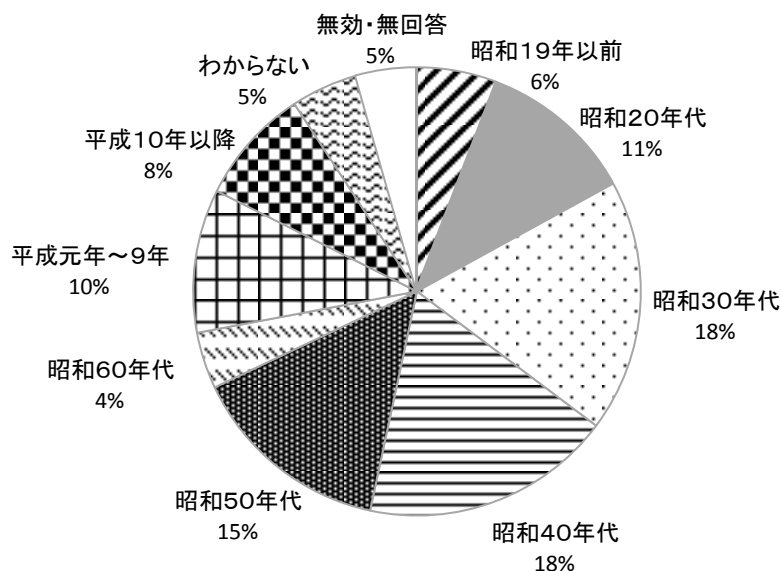
### (1) 町内会が発足した時期

問 2 貴町内会が発足したのはいつごろですか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 町内会が発足した時期をみると、「昭和 30 年代」(18%)、「昭和 40 年代」(18%) が最も多く、続いて「昭和 50 年代」(15%)、「昭和 20 年代」(11%) の順であった。
- ・ 昭和 50 年代までに約 7 割 (68%) が発足している一方、平成に入ってから約 2 割 (18%) が発足している。

図表 1 町内会が発足した時期

(N=1,281)

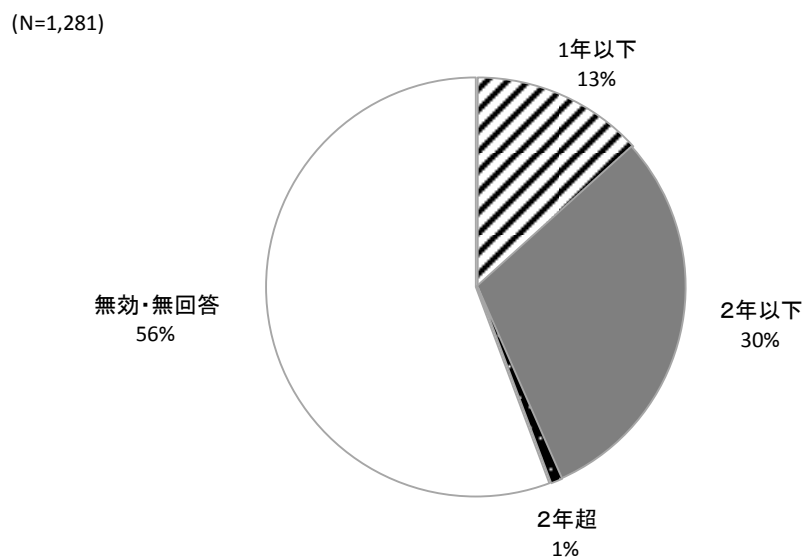


## (2) 町内会の役員の任期と役員任期の規定

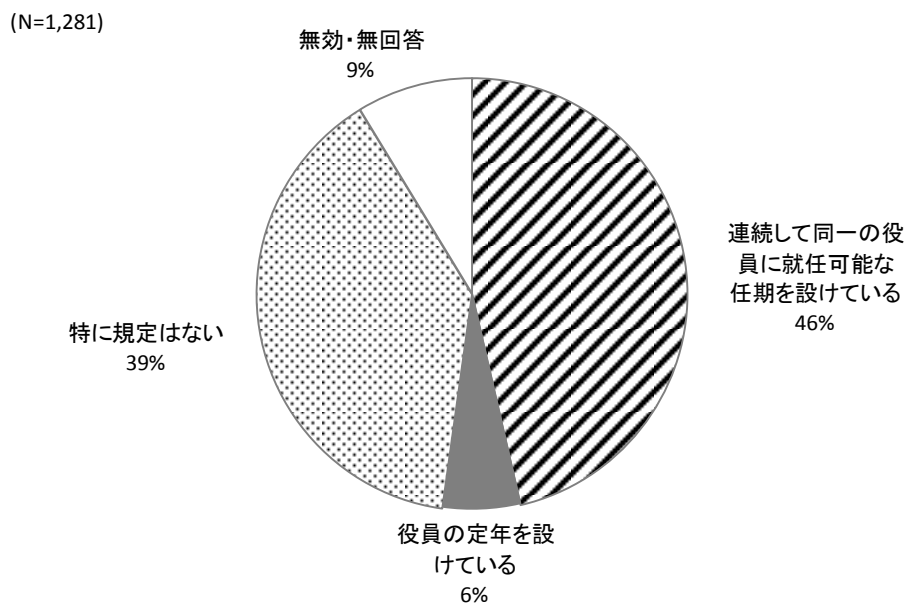
問 4 貴町内会の役員の任期と、役員任期の規定について教えてください。

- ・ 町内会の役員の任期は、無効・無回答を除くと、「2年以下」(30%)が最も多く、続いて「1年以下」(13%)、「2年超」(1%)の順であった。
- ・ 役員任期の規定は、無効・無回答を除くと、「連続して同一の役員に就任可能な任期を設けている」(46%)が最も多く、続いて「特に規定はない」(39%)、「役員の定年を設けている」(6%)の順であった。

図表 2 役員の任期



図表 3 役員任期の規定



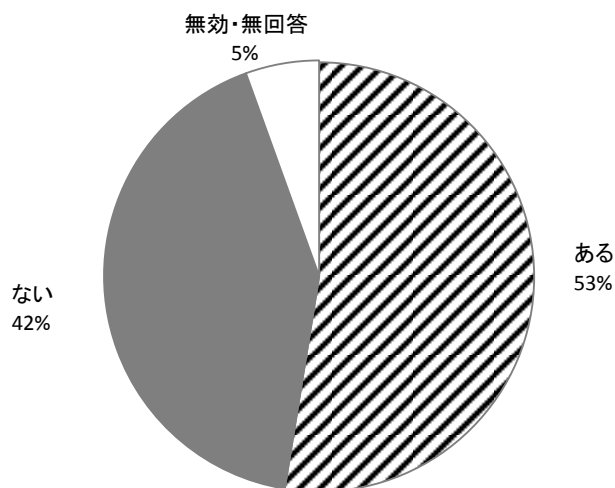
### (3) 専門部会の有無

問 5 貴町内会では専門部会(またはそれに相当する組織)がありますか。

- ・ 町内会での専門部会の有無をみると、「ある」(53%)、「ない」(42%)となっており、「ある」が5割以上となっている。

図表 4 専門部会の有無

(N=1,281)

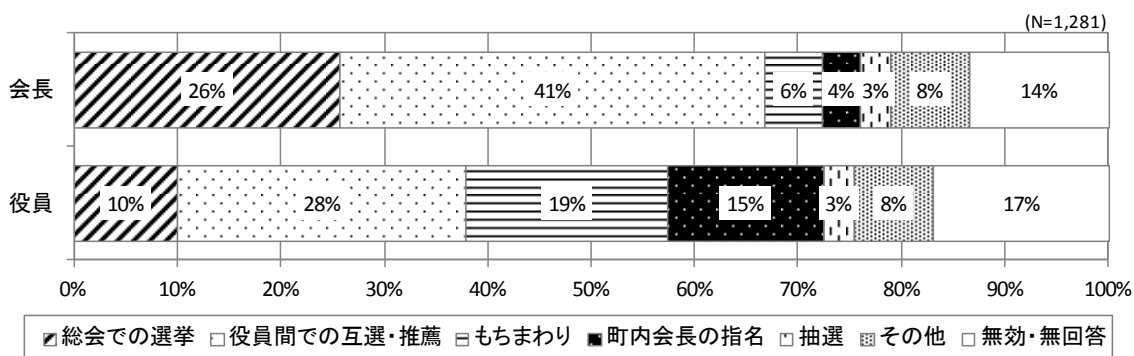


### (4) 町内会の会長・役員の選び方

問 6 貴町内会では、会長、役員はどのようにして選ばれますか。(会長、役員の選び方をそれぞれ1つ選んでご記入ください)

- ・ 町内会の会長の選び方は、無効・無回答を除くと、「役員間での互選・推薦」(41%)が最も多く、続いて「総会での選挙」(26%)、「その他」(8%)、「もちまわり」(6%)の順であった。
- ・ 役員の選び方は、無効・無回答を除くと、「役員間での互選・推薦」(28%)が最も多く、続いて「もちまわり」(19%)、「町内会長の指名」(15%)の順であった。

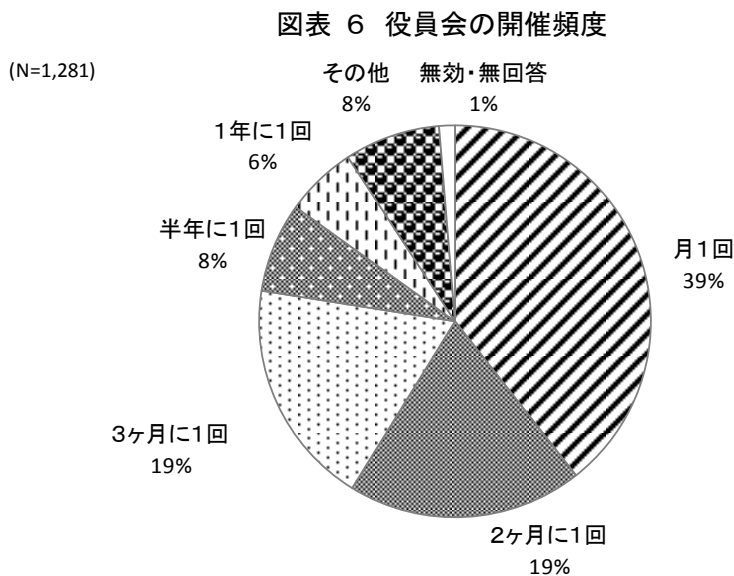
図表 5 会長・役員の選び方



## (5) 役員会の開催頻度

問 7 昨年度どの程度の頻度で役員会を開催しましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 役員会の開催頻度をみると、「月1回」(39%)が最も多く、続いて「2ヶ月に1回」(19%)、「3ヶ月に1回」(19%)であった。

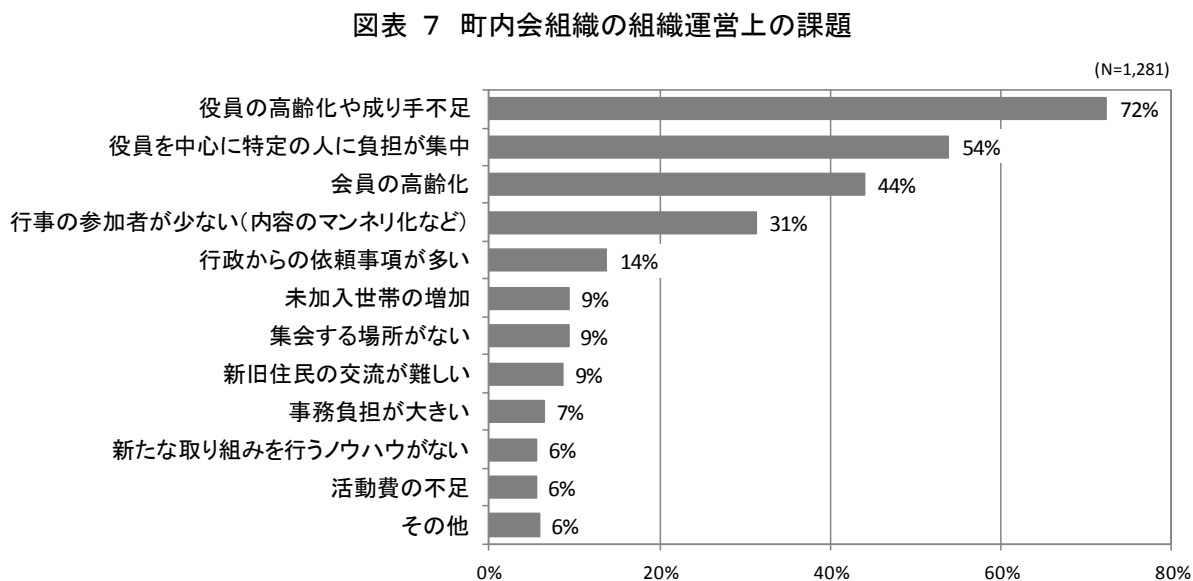


## (6) 町内会組織の組織運営上の課題

問 8 貴町内会組織の運営で課題となっていることをお教えてください。

(下記 1～12 のうち重要と思われる順に3つまで選んで記入ください。)

- 町内会組織の組織運営上の課題をみると、「役員の高齢化や成り手不足」(72%)が最も多く、続いて「役員を中心に特定の人に負担が集中」(54%)、「会員の高齢化」(44%)の順であった。



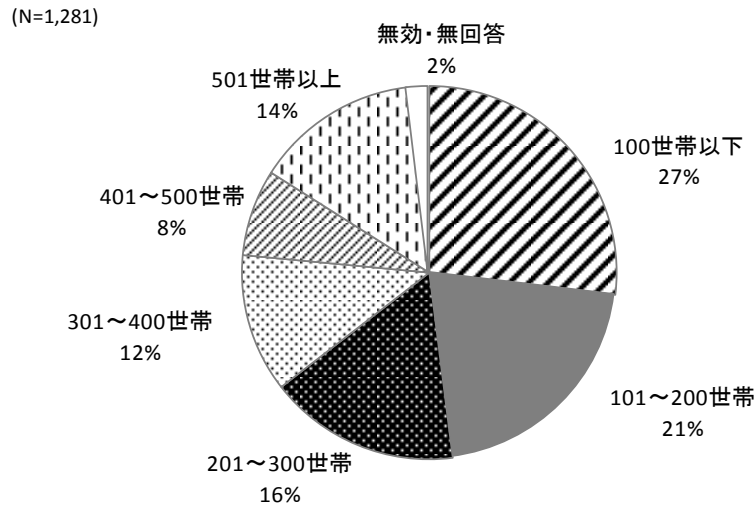
## 2. 町内会への加入状況について

### (1) 町内会の世帯数

問 9 町内会の世帯数をお教えてください。(お分かりの範囲で)

- 町内会の世帯数をみると、小規模（概ね 100 世帯以下）の町内会が（27%）ある一方で、大規模（概ね 400 世帯以上）の町内会も（22%）あった。

図表 8 町内会の世帯数

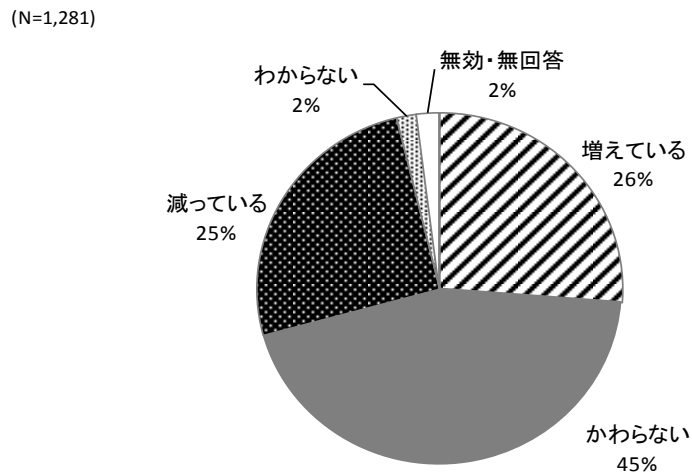


### (2) 最近（直近5年程度）の町内会加入世帯数

問 10 最近(直近5年程度)の町内会加入世帯数について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 最近（直近5年程度）の町内会加入世帯数をみると、「かわらない」（45%）が最も多く、続いて「増えている」（26%）、「減っている」（25%）の順であった。

図表 9 最近(直近5年程度)の町内会加入世帯数



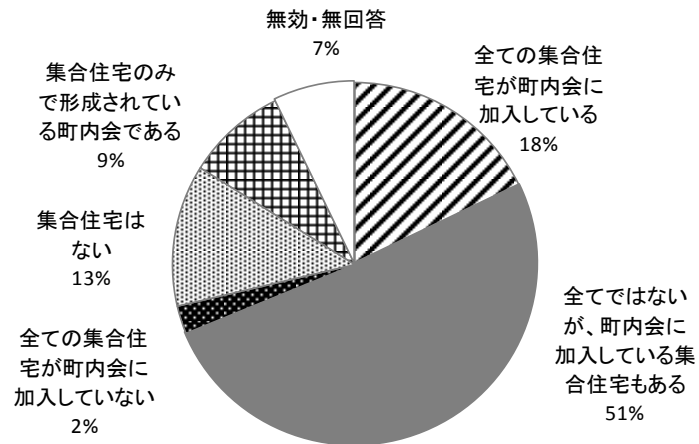
### (3) 町内会エリア内の集合住宅との関係

問 11 貴町内会エリア内の集合住宅との関係について教えてください。

- 町内会エリア内の集合住宅との関係をみると、「全てではないが、町内会に加入している集合住宅もある」(51%)が最も多く、続いて「全ての集合住宅が町内会に加入している」(18%)、「集合住宅はない」(13%)の順であった。

図表 10 町内会エリア内の集合住宅との関係

(N=1,281)



### 3. 町内会で実施されている活動について

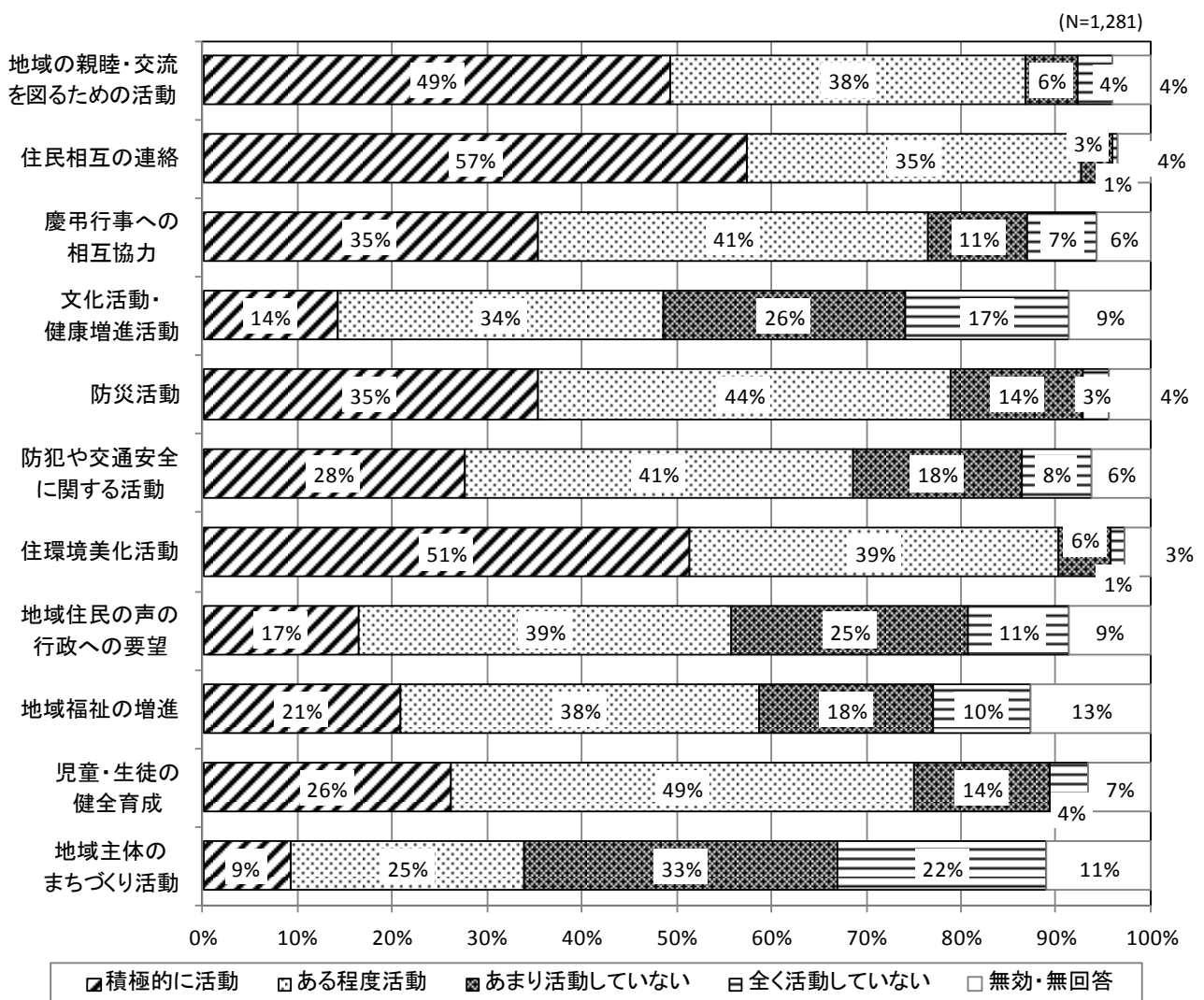
#### (1) 活動の状況

問 12 貴町内会での、以下の表に掲げるA～Kの活動の実施状況についてお聞きます。

A～Kの活動の状況についてあてはまる欄に○をつけてください。

- ・ 活動の状況を「積極的に活動」「ある程度活動」を合計した割合で見ると、「住民相互の連絡」(92%)が最も多く、続いて「住環境美化活動」(90%)、「地域の親睦・交流を図るための活動」(87%)の順であった。
- ・ 「あまり活動していない」「全く活動していない」を合計した割合で見ると、「地域主体のまちづくり活動」(55%)が最も多く、続いて「文化活動・健康増進活動」(43%)、「地域住民の声の行政への要望」(36%)の順であった。

図表 11 活動の状況



## (2) 連携している団体

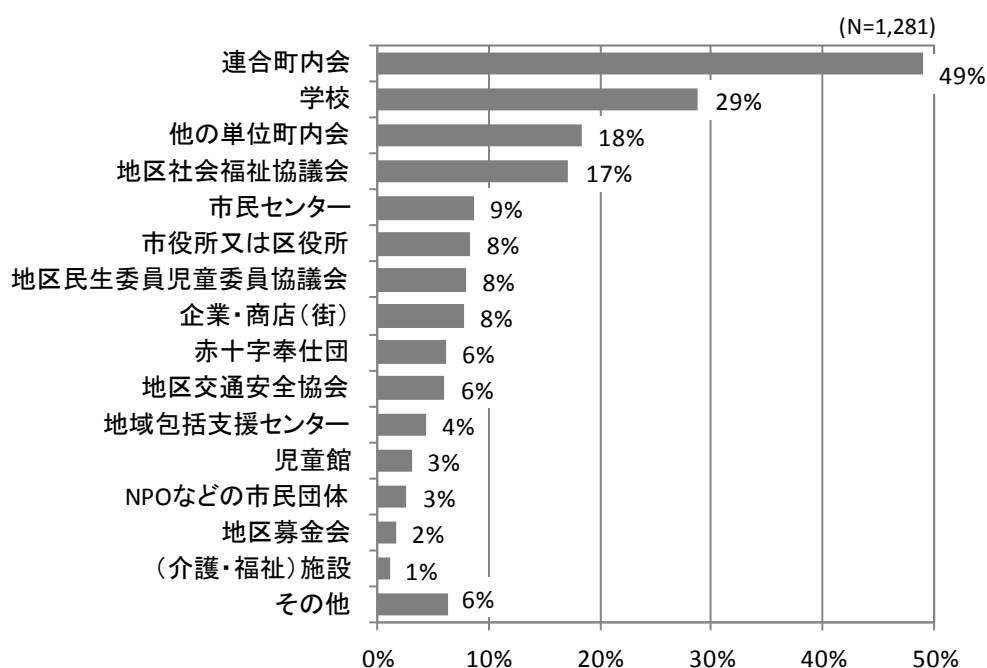
問 12 貴町内会での、以下の表に掲げるA~Kの活動の実施状況についてお聞きます。

A~Kの活動のうち、他の団体と連携して活動を行っている場合は、連携している団体の属性について番号をご記入ください。

### A. 地域の親睦・交流を図るための活動

- 地域の親睦・交流を図るための活動をみると、「**連合町内会**」(49%)が最も多く、続いて「**学校**」(29%)、「**他の単位町内会**」(18%)の順となっている。

図表 12 地域の親睦・交流を図るための活動

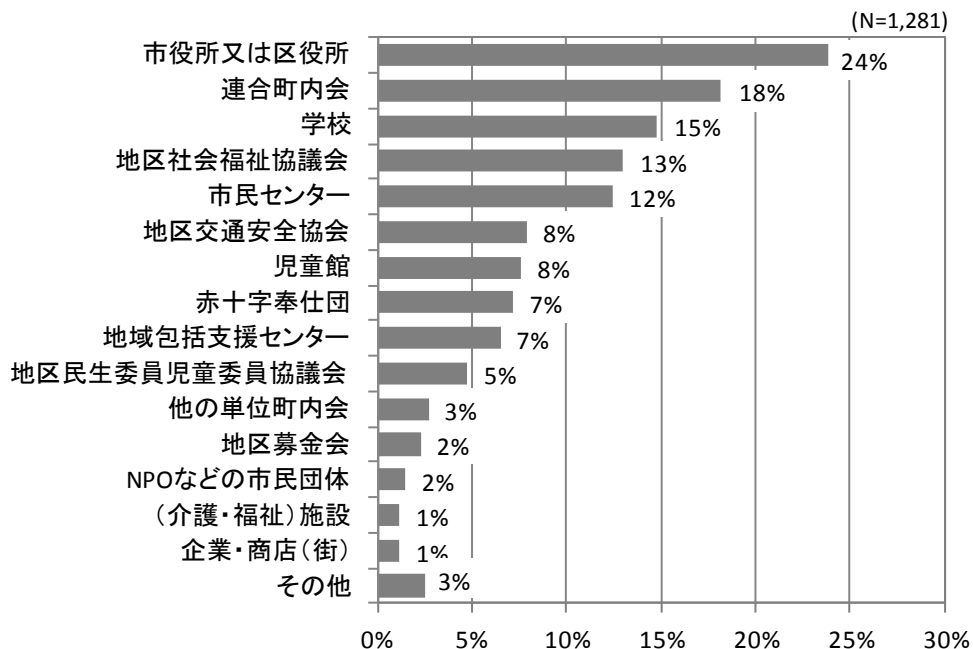




## B. 住民相互の連絡

- 住民相互の連絡をみると、「市役所又は区役所」(24%)が最も多く、続いて「連合町内会」(18%)、「学校」(15%)の順となっている。

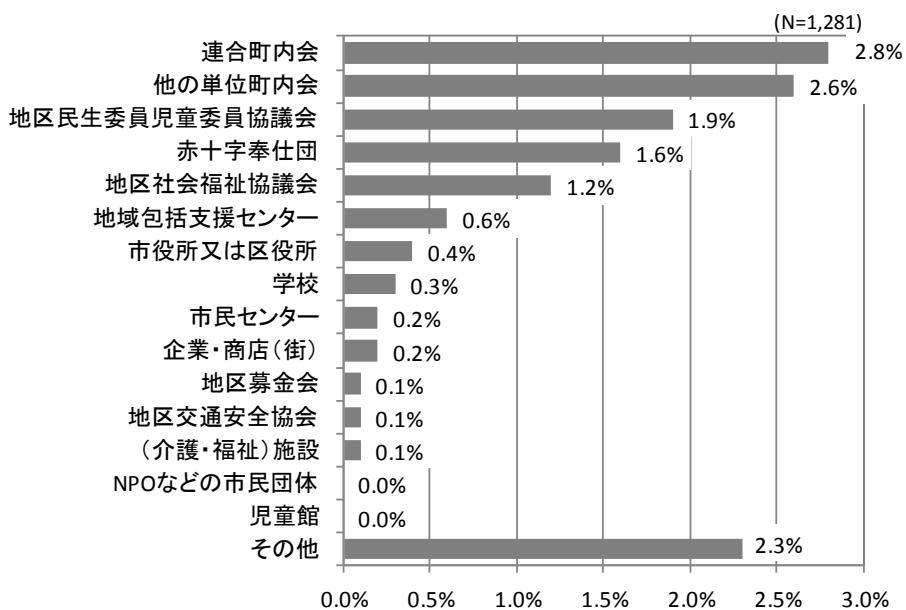
図表 13 住民相互の連絡



## C. 慶弔行事への相互協力

- 慶弔行事への相互協力をみると、「連合町内会」(2.8%)、「他の単位町内会」(2.6%)が最も多く、「地区民生委員児童委員協議会」(1.9%)、「赤十字奉仕団」(1.6%)が続いている。

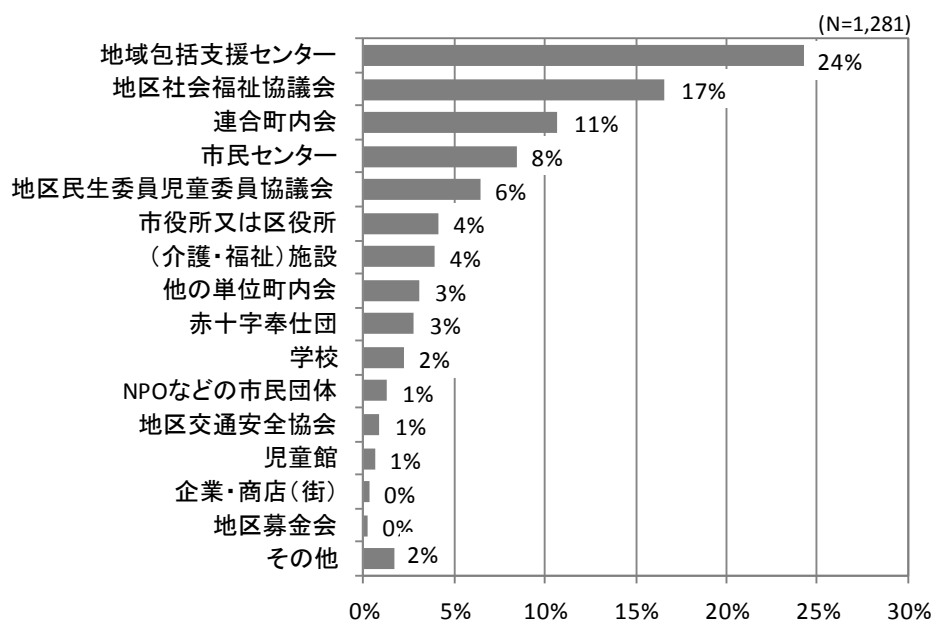
図表 14 慶弔行事への相互協力



#### D. 文化活動・健康増進活動

- 文化活動・健康増進活動をみると、「地域包括支援センター」(24%)が最も多く、続いて「地区社会福祉協議会」(17%)、「連合町内会」(11%)の順となっている。

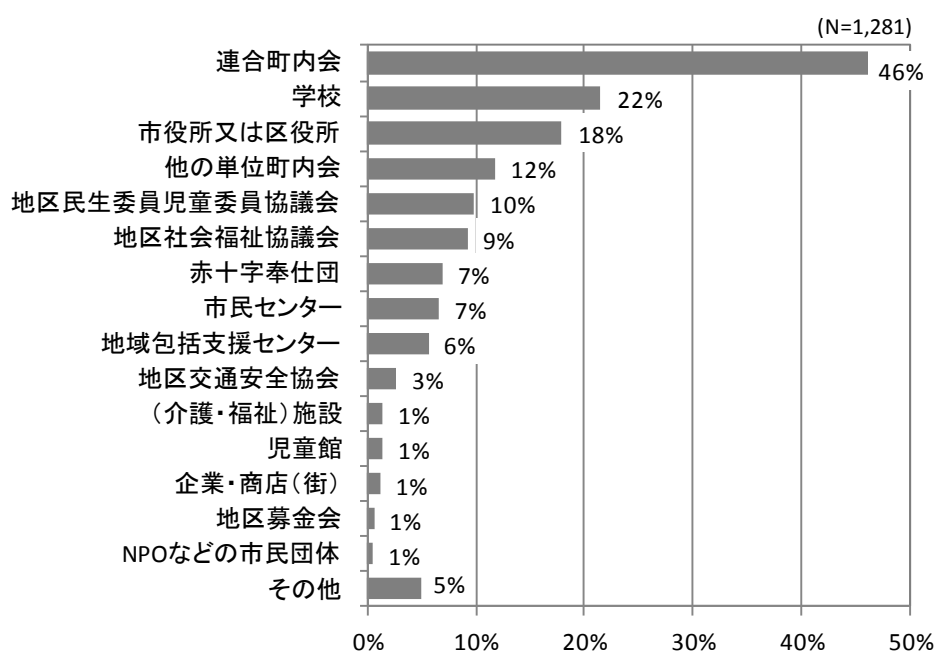
図表 15 文化活動・健康増進活動



#### E. 防災活動

- 防災活動をみると、「連合町内会」(46%)が最も多く、続いて「学校」(22%)、「市役所又は区役所」(18%)の順となっている。

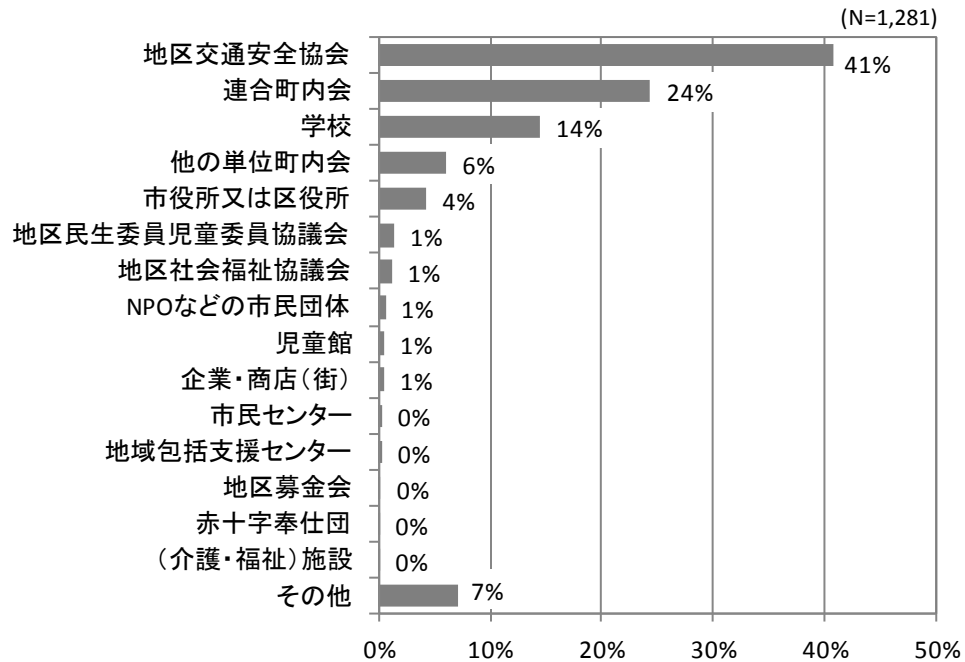
図表 16 防災活動



## F. 防犯や交通安全に関する活動

- 防犯や交通安全に関する活動をみると、「地区交通安全協会」(41%)が最も多く、続いて「連合町内会」(24%)、「学校」(14%)の順となっている。

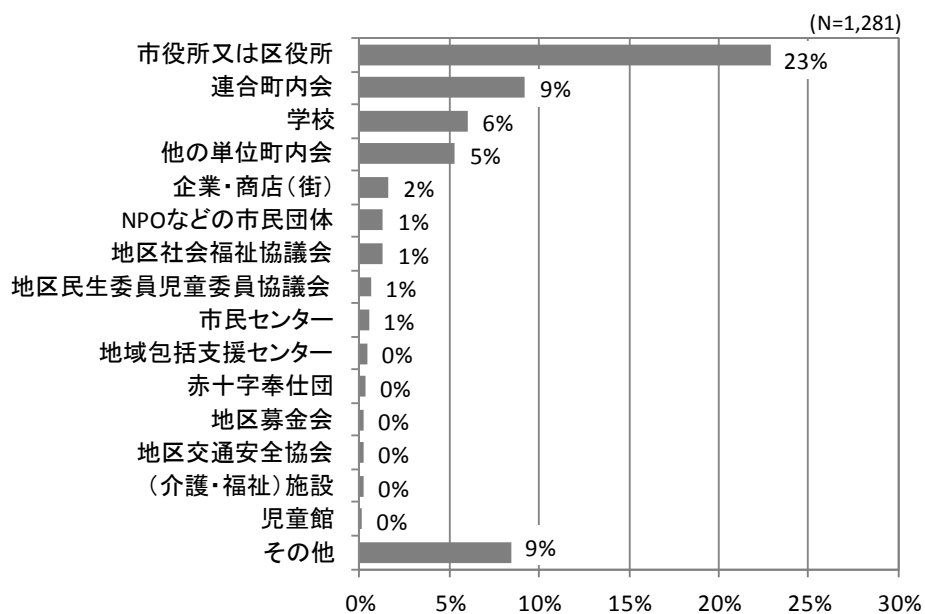
図表 17 防犯や交通安全に関する活動



## G. 住環境美化活動

- 住環境美化活動をみると、「市役所又は区役所」(23%)が最も多く、続いて「連合町内会」(9%)、「学校」(6%)の順となっている。

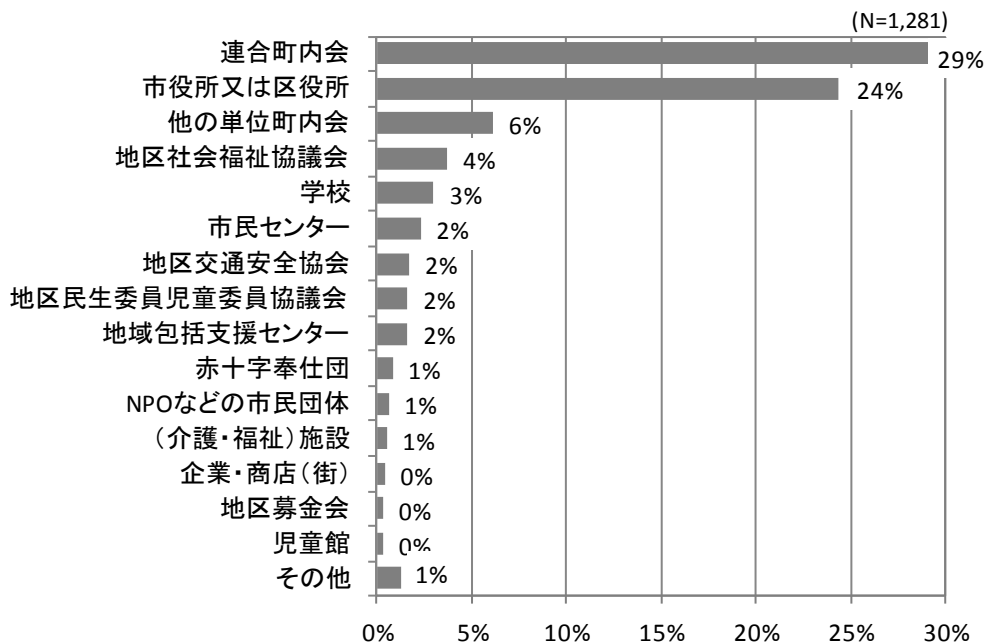
図表 18 住環境美化活動



## H. 地域住民の声の行政への要望

- 地域住民の声の行政への要望をみると、「連合町内会」(29%)が最も多く、続いて「市役所又は区役所」(24%)、「他の単位町内会」(6%)の順となっている。

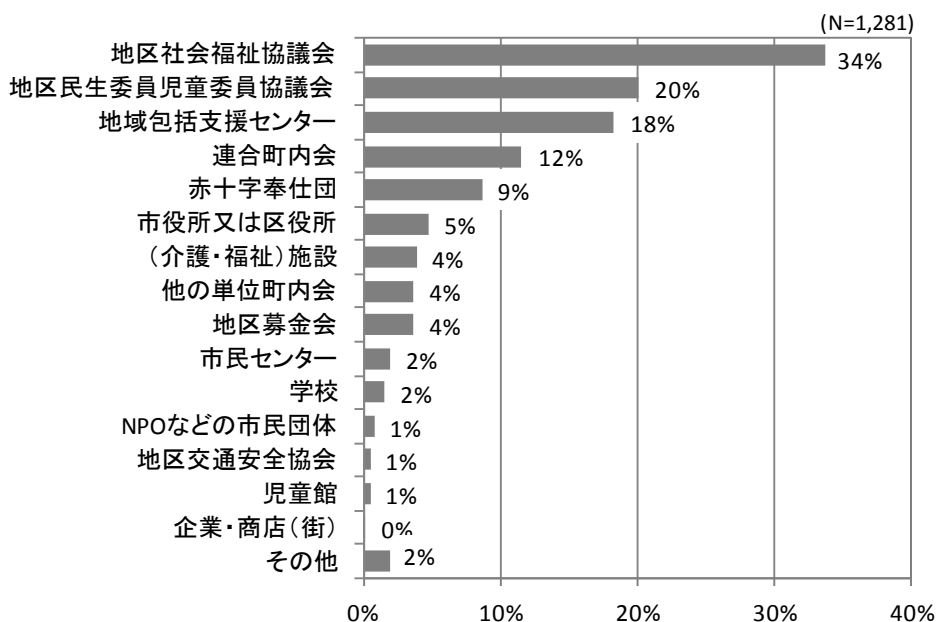
図表 19 地域住民の声の行政への要望



## I. 地域福祉の増進

- 地域福祉の増進をみると、「地区社会福祉協議会」(34%)が最も多く、続いて「地区民生委員児童委員協議会」(20%)、「地域包括支援センター」(18%)の順となっている。

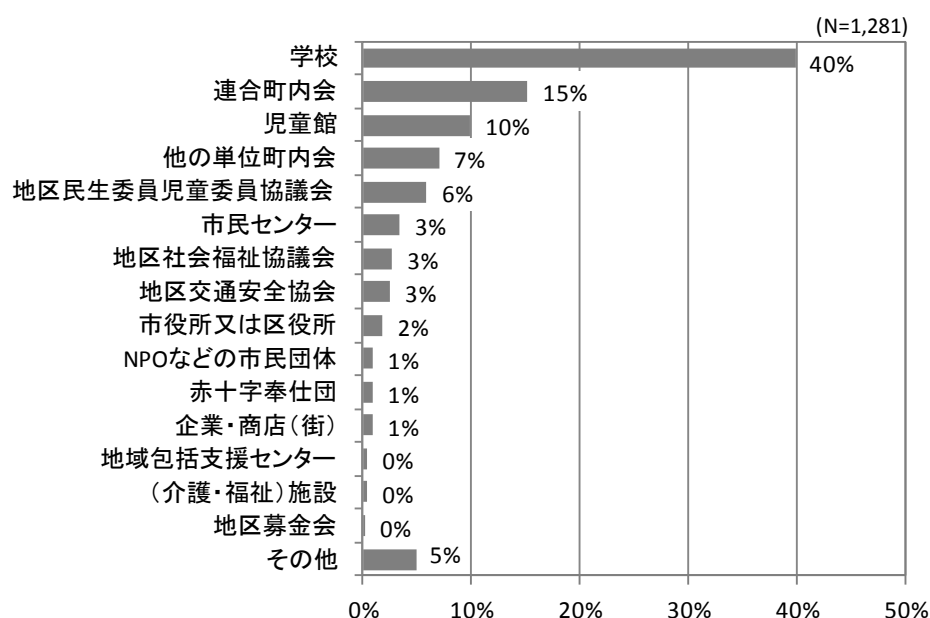
図表 20 地域福祉の増進



## J. 児童・生徒の健全育成

- 児童・生徒の健全育成をみると、「学校」(40%)が最も多く、続いて「連合町内会」(15%)、「児童館」(10%)の順となっている。

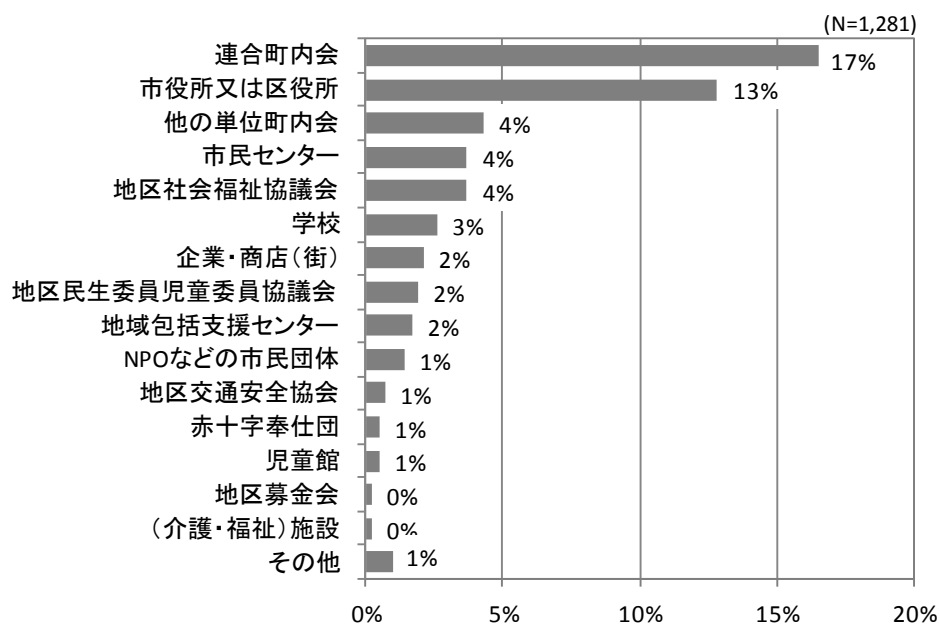
図表 21 児童・生徒の健全育成



## K. 地域主体のまちづくり活動

- 地域主体のまちづくり活動をみると、「連合町内会」(17%)が最も多く、続いて「市役所又は区役所」(13%)、「他の単位町内会」(4%)の順となっている。

図表 22 地域主体のまちづくり活動



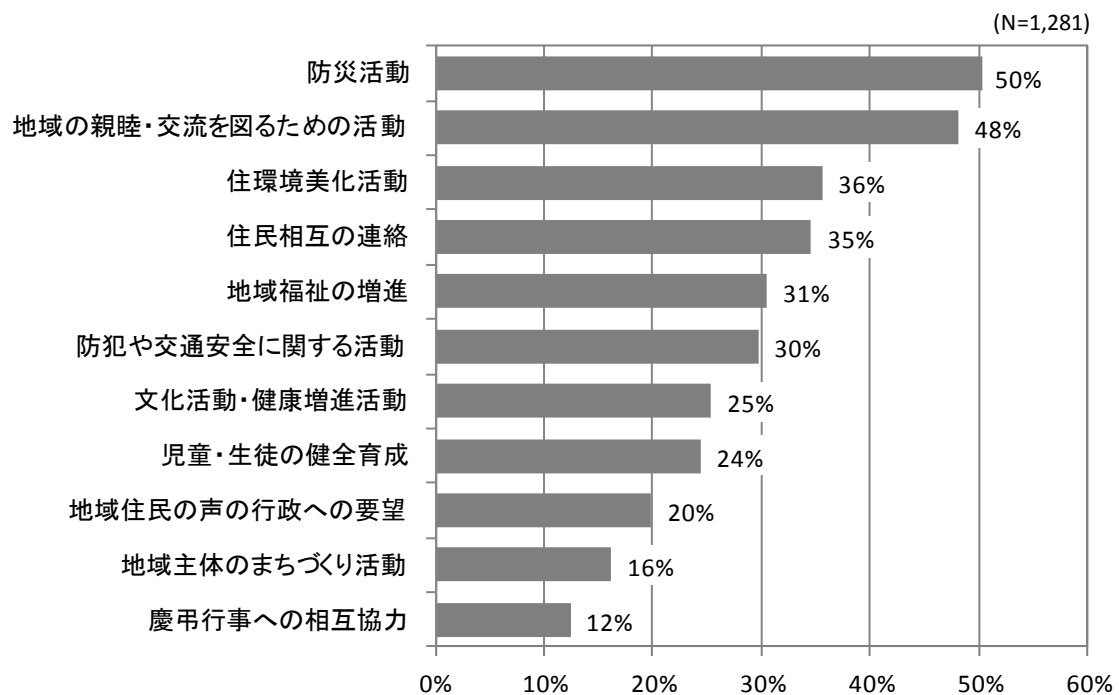
### (3) 力を入れていきたい活動

問 12 貴町内会での、以下の表に掲げるA~Kの活動の実施状況についてお聞きます。

町内会で(引き続き、新たに)力を入れていきたい活動すべてに○をつけてください。

- ・ 力を入れていきたい活動をみると、「防災活動」(50%)が最も多く、続いて「地域の親睦・交流を図るための活動」(48%)、「住環境美化活動」(36%)の順であった。

図表 23 力を入れていきたい活動

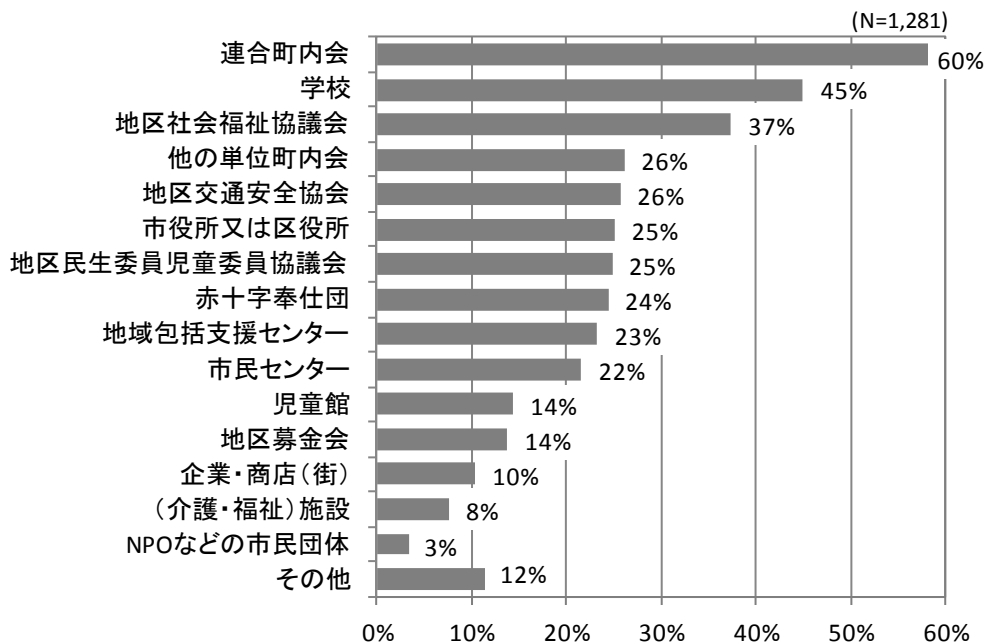


(4) 連携して行っている代表的な活動

問13 問12でお教えいただいた他の団体と連携して行っている活動について、代表的な活動の名称、連携している代表的な団体、連携の経緯・きっかけや活動内容についてお教えてください。(代表的な活動を1つ)

- ・ 連携して行っている代表的な活動の連携している団体をみると、「**連合町内会**」(60%)が最も多く、続いて「**学校**」(45%)、「**地区社会福祉協議会**」(37%)の順であった。

図表 24 代表的な活動の連携している団体



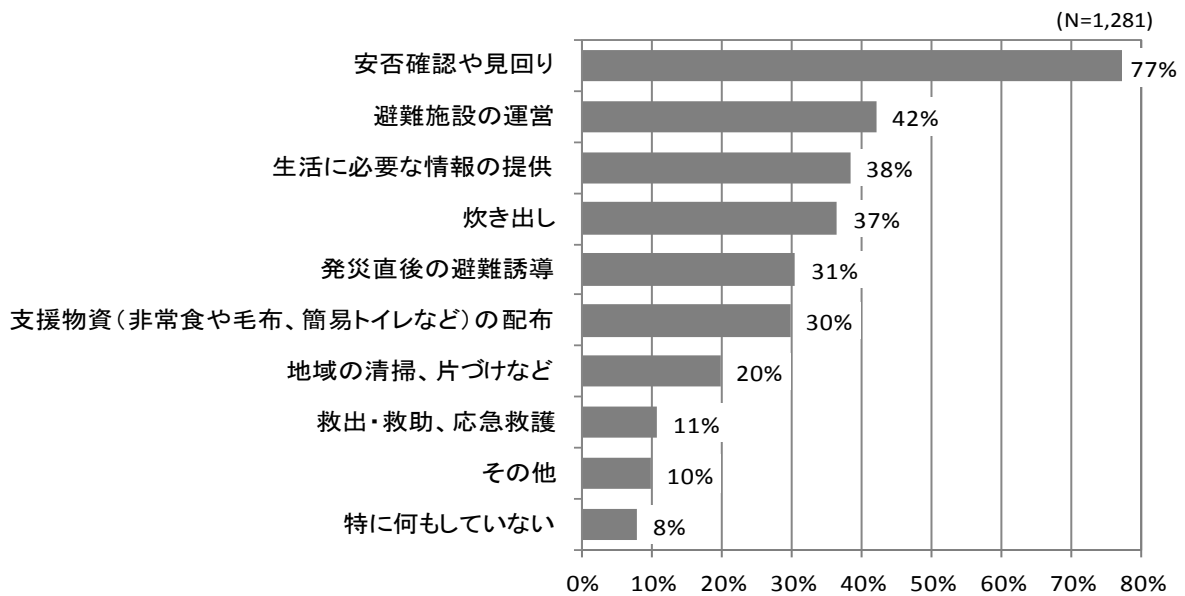
## 4. 東日本大震災の経験を踏まえた町内会の活動について

### (1) 東日本大震災時の活動状況

問 14 東日本大震災時の活動状況について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 東日本大震災時の活動状況をみると、「安否確認や見回り」(77%)が最も多く、続いて「避難施設の運営」(42%)、「生活に必要な情報の提供」(38%)の順であった。

図表 25 東日本大震災時の活動状況

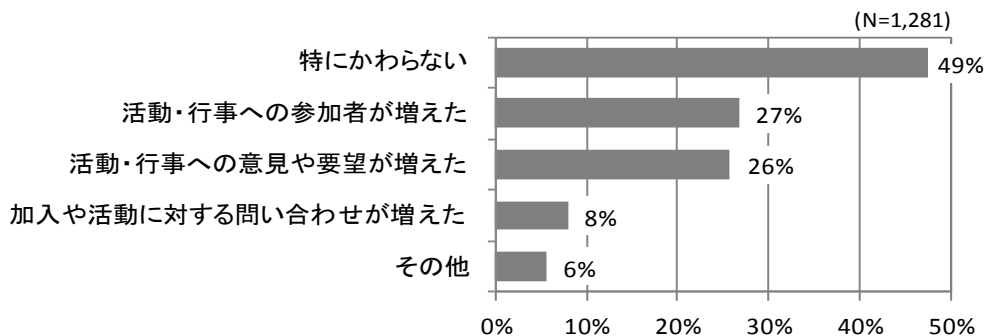


### (2) 震災後の地域住民の意識の変化

問 15 震災後、地域住民の意識に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 震災後の地域住民の意識の変化をみると、「特にかわらない」(49%)が最も多く、続いて「活動・行事への参加者が増えた」(27%)、「活動・行事への意見や要望が増えた」(26%)の順であった。

図表 26 震災後の地域住民の意識の変化



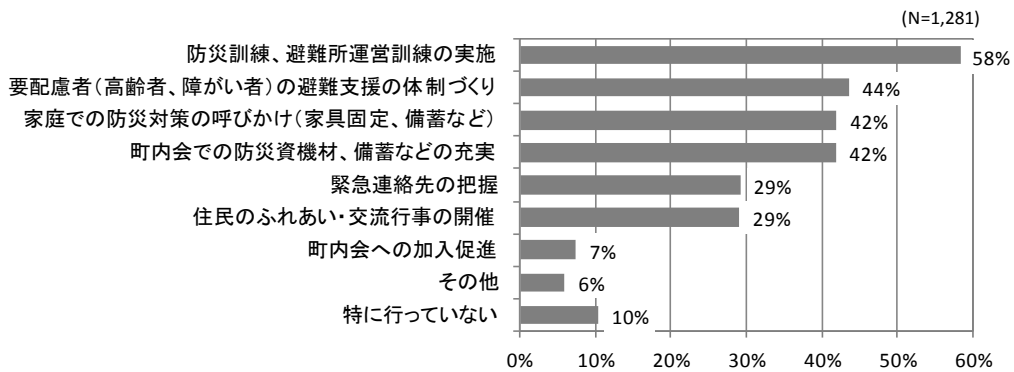


### (3) 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事

問 16 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事をみると、「防災訓練、避難所運営訓練の実施」(58%)が最も多く、続いて「要配慮者(高齢者、障がい者)の避難支援の体制づくり」(44%)、「家庭での防災対策の呼びかけ(家具固定、備蓄など)」(42%)「町内会での防災資機材、備蓄などの充実」(42%)であった。

図表 27 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事

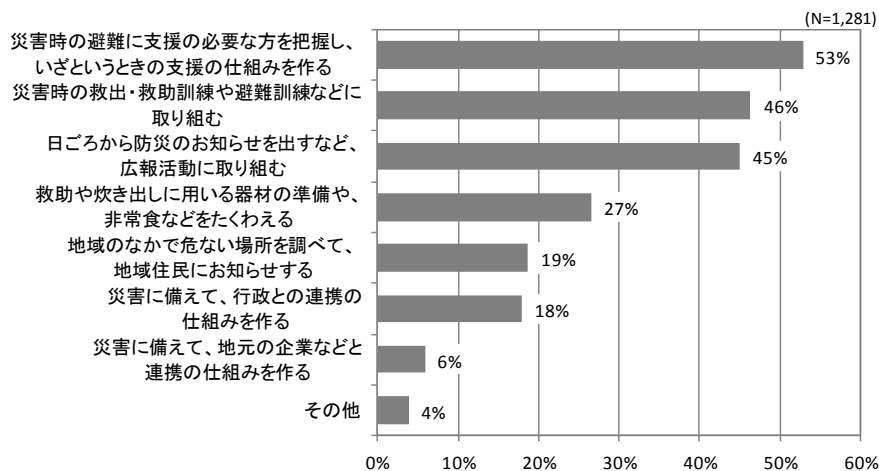


### (4) 今後、地域の防災力を向上させるために、町内会が担う必要があると思う役割

問 17 今後、地域の防災力を向上させるために、町内会が担う必要があると思う役割について教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

- 今後、地域の防災力を向上させるために、町内会が担う必要があると思う役割をみると、「災害時の避難に支援の必要な方を把握し、いざというときの支援の仕組みを作る」(53%)が最も多く、続いて「災害時の救出・救助訓練や避難訓練などに取り組む」(46%)、「日ごろから防災のお知らせを出すなど、広報活動に取り組む」(45%)の順であった。

図表 28 今後、地域の防災力を向上させるために、町内会が担う必要があると思う役割



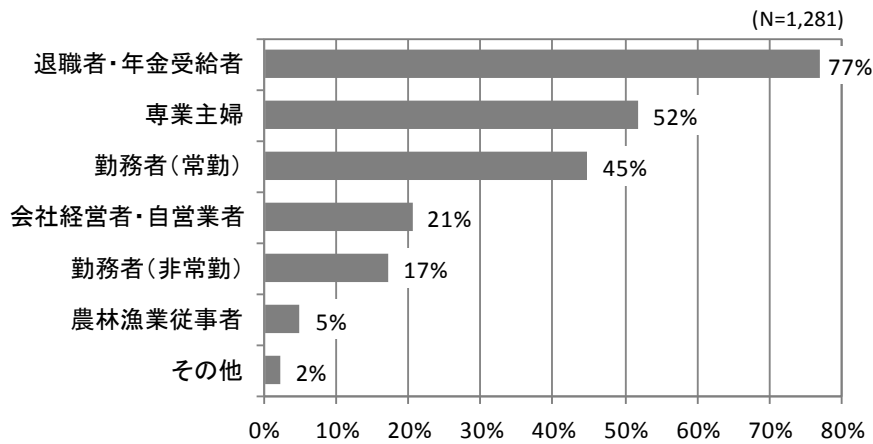
## 5. 町内会活動の担い手について

### (1) 現在、町内会活動を中心的に担っている人

問 18 現在、町内会活動を中心的に担っているのはどのような人ですか。(あてはまるもの3つまで○)

- ・ 現在、町内会活動を中心的に担っている人をみると、「退職者・年金受給者」(77%)が最も多く、続いて「専業主婦」(52%)、「勤務者(常勤)」(45%)の順であった。

図表 29 現在、町内会活動を中心的に担っている人

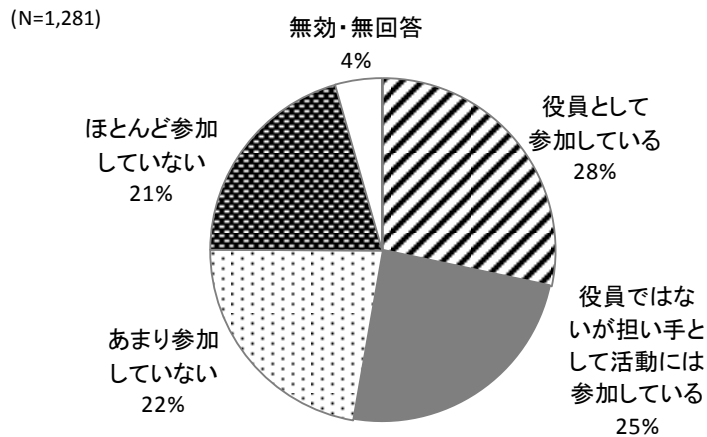


### (2) 子育て世代等の若い住民の参加状況

問 19 貴町内会では、子育て世代等の若い住民が活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 子育て世代等の若い住民の参加状況をみると、「役員として参加している」(28%)が最も多く、続いて「役員ではないが担い手として活動には参加している」(25%)、「あまり参加していない」(22%)の順であった。

図表 30 子育て世代等の若い住民の参加状況

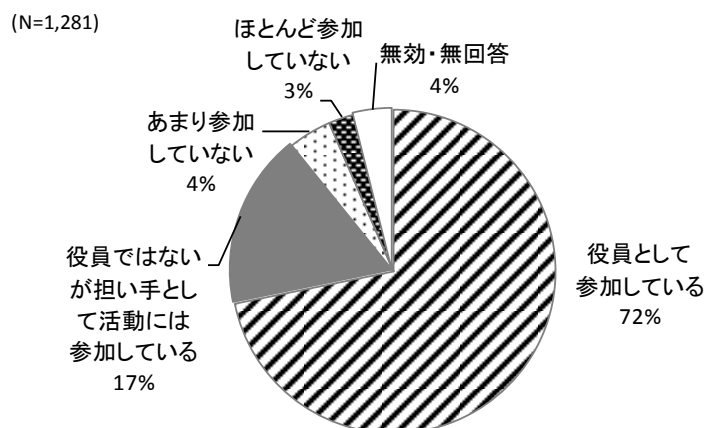


### (3) 女性の参加状況

問 20 貴町内会では、女性が活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 女性の参加状況を見ると、「役員として参加している」(72%)が最も多く、続いて「役員ではないが担い手として活動には参加している」(17%)、「あまり参加していない」(4%)の順であった。

図表 31 女性の参加状況

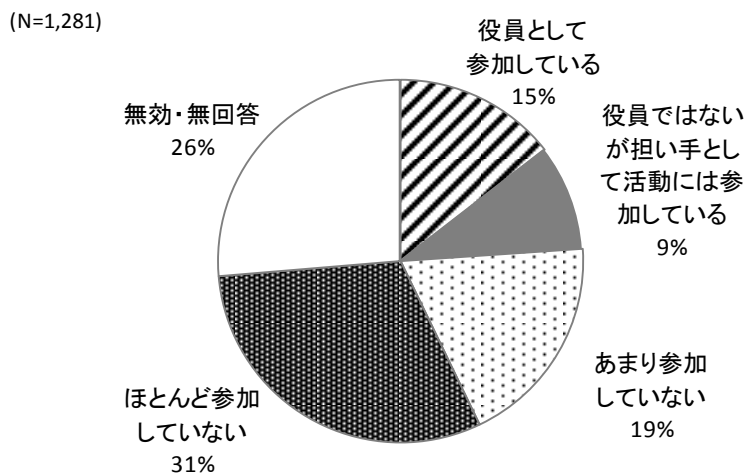


### (4) 集合住宅の住民の参加状況

問 21 集合住宅の住民は、活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 集合住宅の住民の参加状況は、無効・無回答を除くと、「ほとんど参加していない」(31%)が最も多く、続いて「あまり参加していない」(19%)、「役員として参加している」(15%)の順であった。

図表 32 集合住宅の住民の参加状況

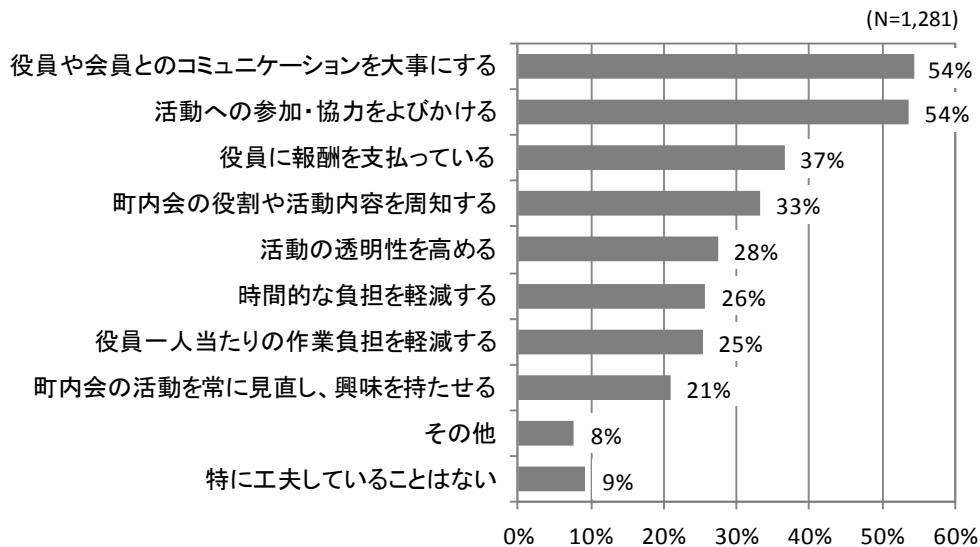


(5) 役員の成り手を確保するための工夫

問 22 役員の成り手を確保するため、どのような工夫をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 役員の成り手を確保するための工夫をみると、「役員や会員とのコミュニケーションを大事にする」(54%)、「活動への参加・協力をよびかける」(54%) が最も多く、続いて「役員に報酬を支払っている」(37%)、「町内会の役割や活動内容を周知する」(33%) の順であった。

図表 33 役員の成り手を確保するための工夫

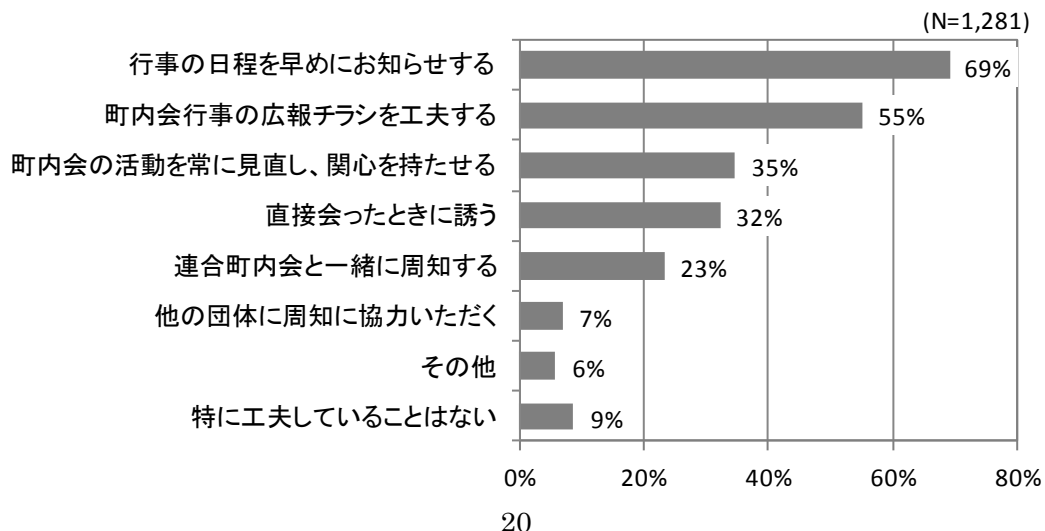


(6) 町内会の行事の参加者を増やすための工夫

問 23 町内会の行事の参加者を増やすため、どのような工夫をしていますか(あてはまるものすべてに○)

- ・ 町内会の行事の参加者を増やすための工夫をみると、「行事の日程を早めにお知らせする」(69%) が最も多く、続いて「町内会行事の広報チラシを工夫する」(55%)、「町内会の活動を常に見直し、関心を持たせる」(35%) の順であった。

図表 34 町内会の行事の参加者を増やすための工夫

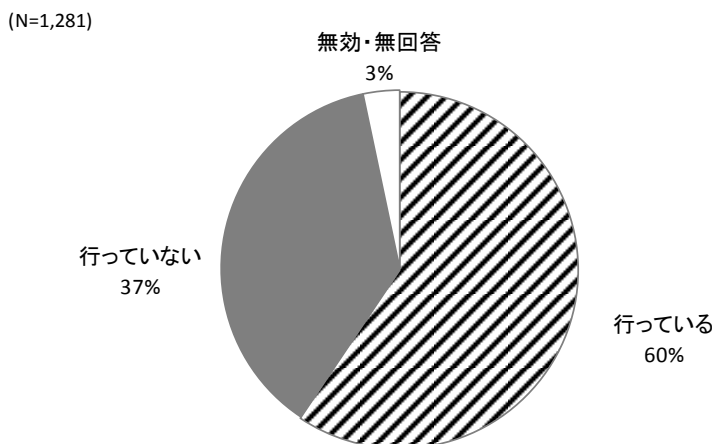


(7) 町内会加入への取り組み状況

問 24 町内会加入への取り組みを行っておりますか(あてはまるもの1つに○)

- 町内会加入への取り組み状況を見ると、「行っている」(60%)、「行っていない」(37%)となっており、「行っている」が6割となっている。

図表 35 町内会加入への取り組み状況



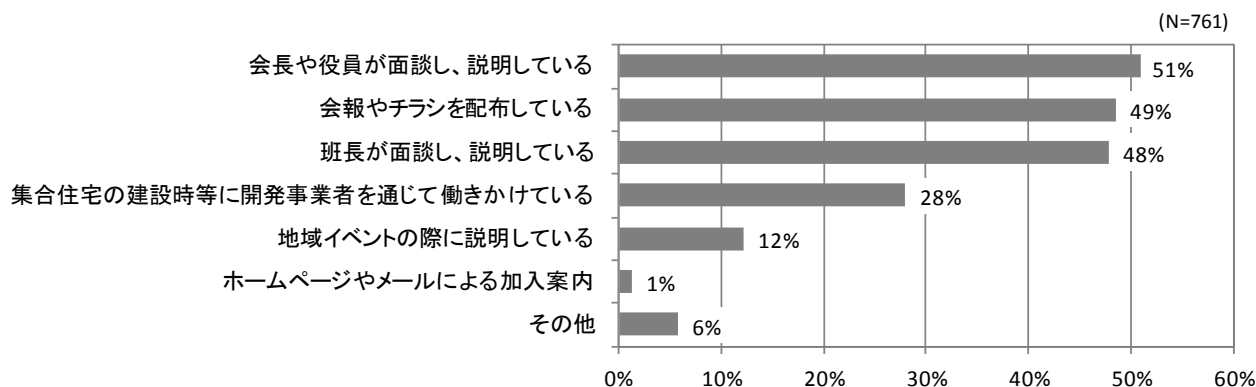
(8) 町内会加入に向けた取り組み内容

問 25 問 24 で「1. 行っている」とした方にお聞きします。

町内会加入に向けた取り組みの内容について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 町内会加入に向けた取り組み内容を見ると、「会長や役員が面談し、説明している」(51%)が最も多く、「会報やチラシを配布している」(49%)、「班長が面談し、説明している」(48%)が続いている。

図表 36 町内会加入に向けた取り組み内容



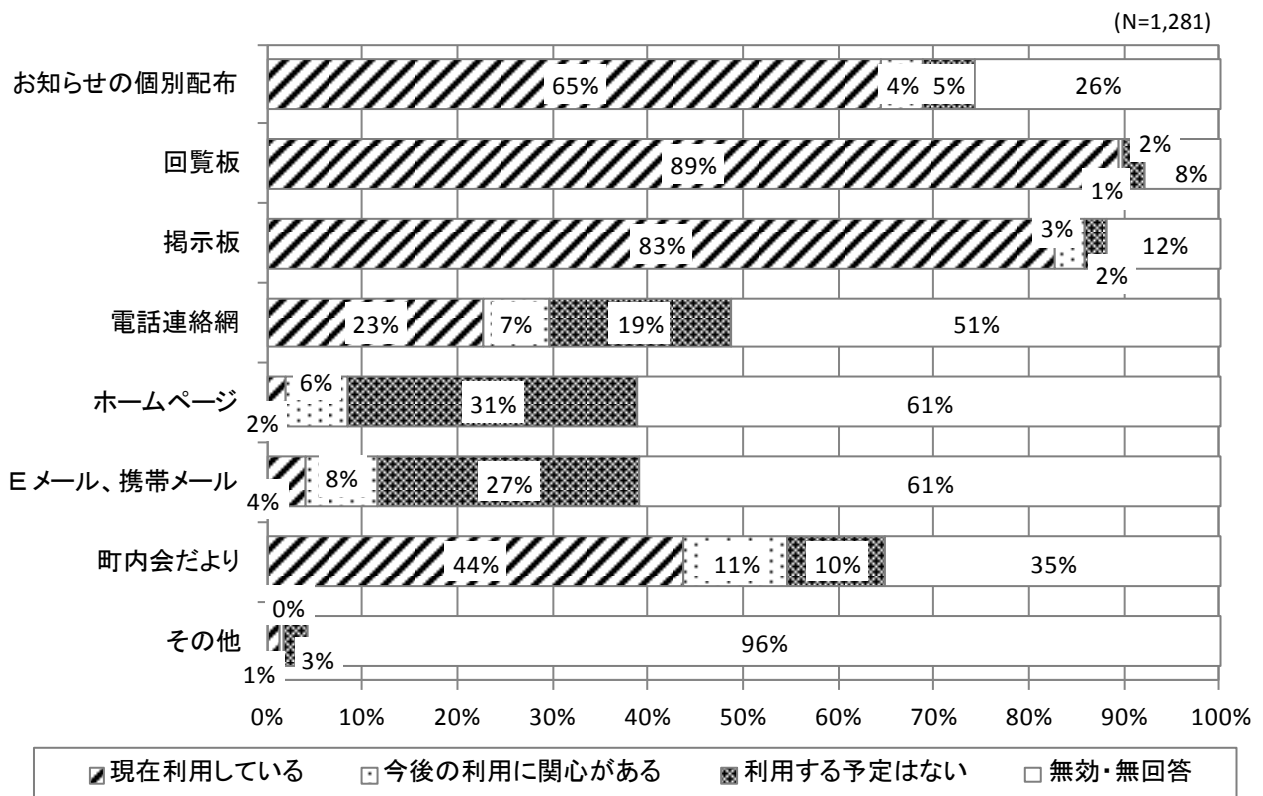
## 6. 町内会の広報活動について

### (1) 活動の主な伝達手段・広報手法

問 26 現在利用されている活動の伝達手段、広報手法は主にどのようなものを使っていますか(それぞれ、あてはまるものに○)

- ・ 現在利用している伝達手段、広報手法をみると、「回覧板」(89%)が最も多く、続いて「掲示板」(83%)、「お知らせの個別配布」(65%)の順であった。
- ・ 今後の利用に関心がある伝達手段、広報手法をみると、「町内会だより」(11%)が最も多く、続いて「Eメール、携帯メール」(8%)、「電話連絡網」(7%)の順であった。
- ・ 利用する予定はない伝達手段、広報手法をみると、「ホームページ」(31%)が最も多く、続いて「Eメール、携帯メール」(27%)、「電話連絡網」(19%)の順であった。

図表 37 活動の主な伝達手段・広報手法



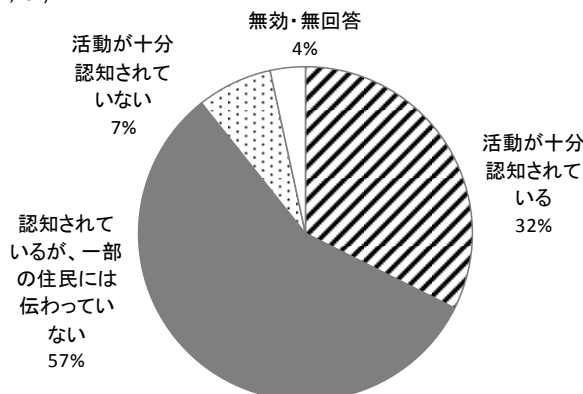
## (2) 町内会で実施している活動の認知度

問 27 貴町内会で実施されている活動は、住民の方に十分認知されていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 町内会で実施している活動の認知度をみると、「認知されているが、一部の住民には伝わっていない」(57%)が最も多く、続いて「活動が十分認知されている」(32%)、「活動が十分認知されていない」(7%)の順であった。

図表 38 町内会で実施されている活動の認知度

(N=1,281)



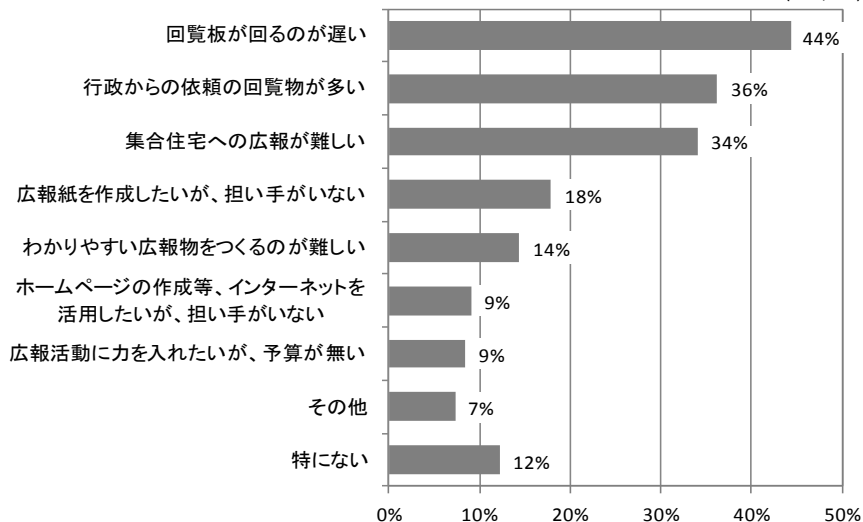
## (3) 町内会の伝達手段や広報活動についての課題

問 28 町内会の伝達手段や広報活動についてどのような課題がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 町内会の伝達手段や広報活動についての課題をみると、「回覧板が回るのが遅い」(44%)が最も多く、続いて「行政からの依頼の回覧物が多い」(36%)、「集合住宅への広報が難しい」(34%)の順であった。

図表 39 町内会の伝達手段や広報活動についての課題

(N=1,281)



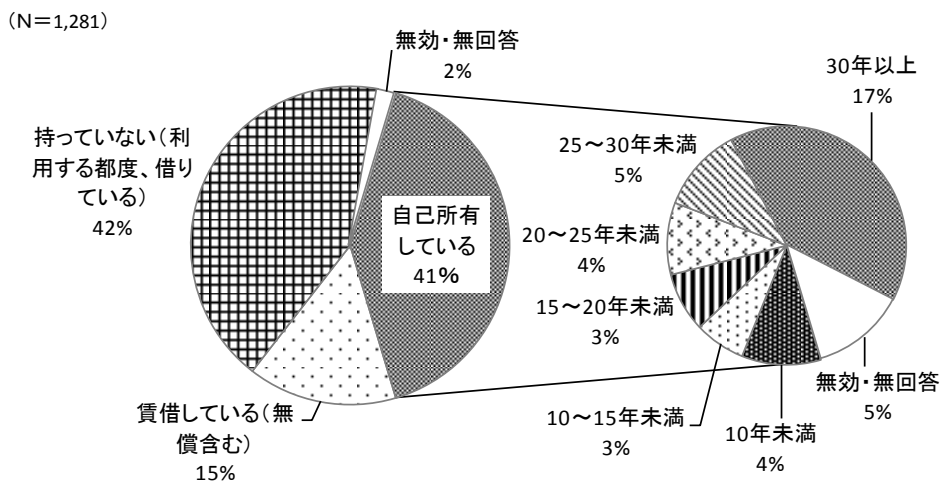
## 7. 町内会の活動拠点について

### (1) 集会所・集会室の所有状況と築年数

問 29 貴町内会では、集会所・集会室をおもちですか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 集会所・集会室の所有状況を見ると、「持っていない(利用する都度、借りている)」(42%)が最も多く、続いて「自己所有している」(41%)、「賃借している(無償含む)」(15%)の順であった。
- ・ 自己所有している集会所・集会室の築年数については、無効・無回答を除くと、「30年以上」(17%)が最も多く、続いて「25年～30年未満」(5%)、「20年～25年未満」(4%)の順であった。

図表 40 集会所・集会室の所有状況と築年数

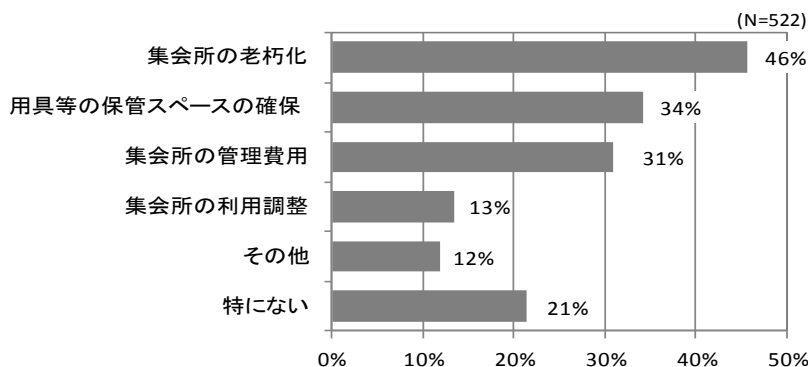


### (2) 集会所を所有することの課題

問 30 問 29 で「1. 自己所有している」とされた方にお聞きます。集会所を所有することの課題について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 集会所を所有することの課題は、特にないを除くと、「集会所の老朽化」(46%)が最も多く、続いて「用具等の保管スペースの確保」(34%)、「集会所の管理費用」(31%)の順であった。

図表 41 集会所を所有することの課題





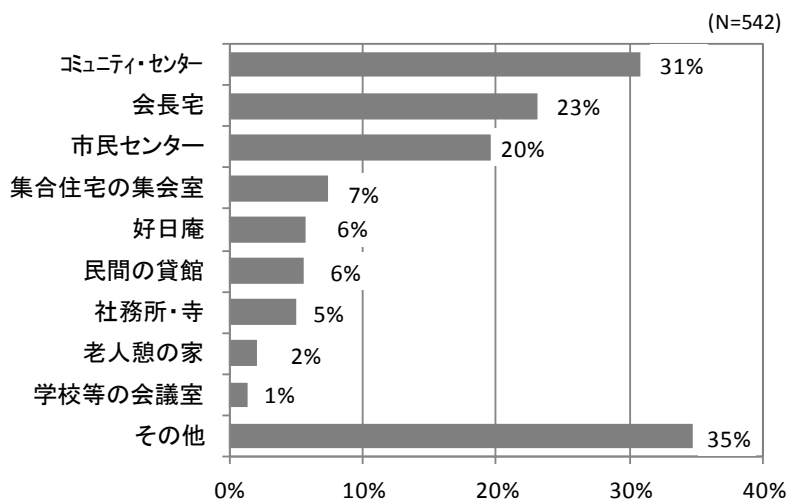
### (3) 役員会等の町内会の会合の主な場所

問 31 問 29 で「3. 持っていない」とされた方にお聞きします。

(1) 役員会等の町内会の会合は、主にどこで行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 役員会等の町内会の会合の主な場所をみると、「コミュニティ・センター」(31%)が最も多く、続いて「会長宅」(23%)、「市民センター」(20%)の順であった。

図表 42 役員会等の町内会の会合の主な場所



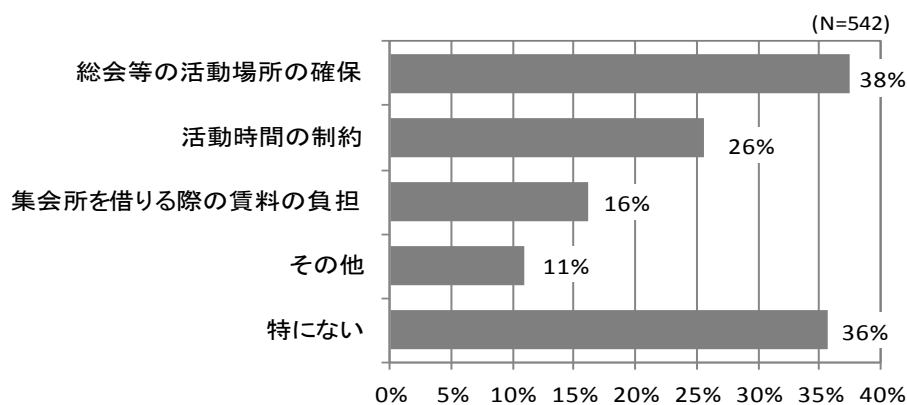
### (4) 集会所を持っていないことによる課題

問 31 問 29 で「3. 持っていない」とされた方にお聞きします。

(2) 集会所を持っていないことでのどのような課題がございますか。(あてはまるものすべてに○)

- 集会所を持っていないことによる課題は、「特にない」を除くと、「総会等の活動場所の確保」(38%)が最も多く、続いて「活動時間の制約」(26%)、「集会所を借りる際の賃料の負担」(16%)の順であった。

図表 43 集会所を持っていないことによる課題



## 8. 町内会の活動エリアについての印象

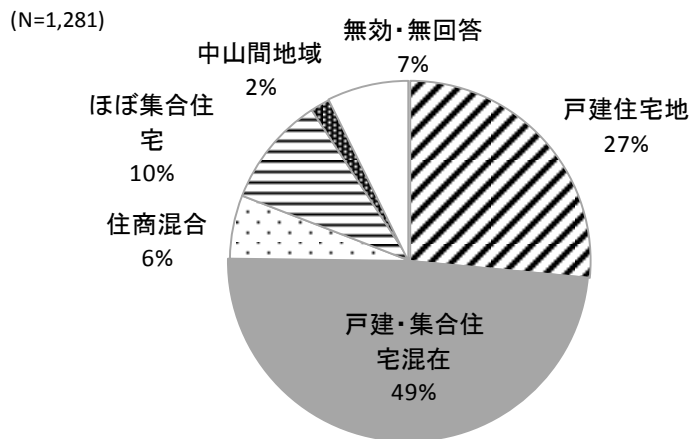
### (1) 地域の概況について

問 32 地域の概況について教えてください※(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

#### A. 土地利用の状況

- 地域の土地利用の状況をみると、「戸建・集合住宅混在」(49%)が最も多く、続いて「戸建住宅地」(27%)、「ほぼ集合住宅」(10%)の順であった。

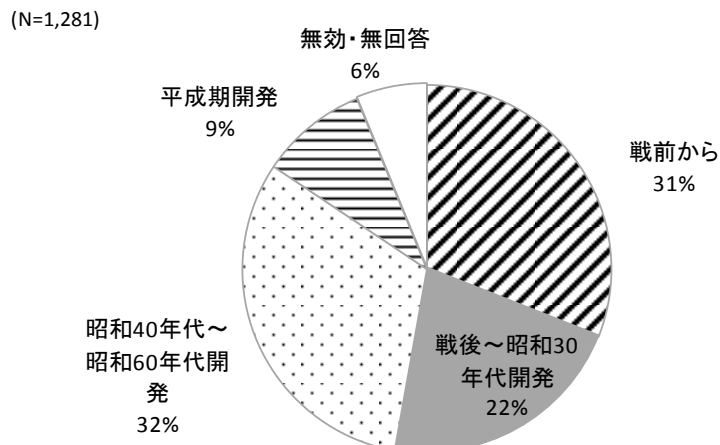
図表 44 土地利用の状況



#### B. 地域の歴史

- 地域の歴史をみると、「昭和40年代～昭和60年代開発」(32%)が最も多く、続いて「戦前から」(31%)、「戦後～昭和30年代開発」(22%)の順であった。

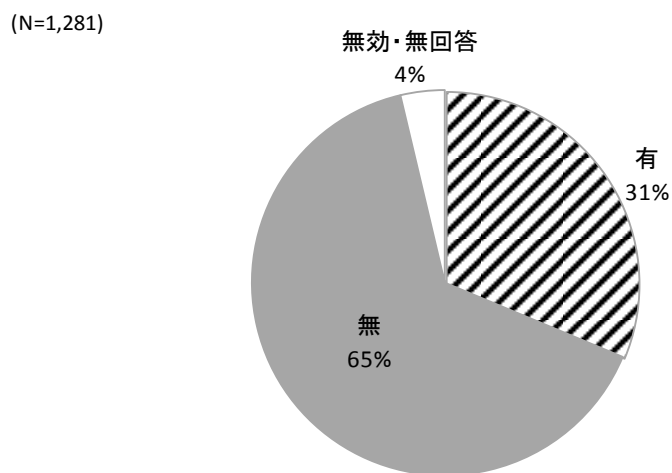
図表 45 地域の歴史



C. 商店街の有無

- ・ 地域の商店街の有無をみると、「有」(31%)、「無」(65%)となっている。

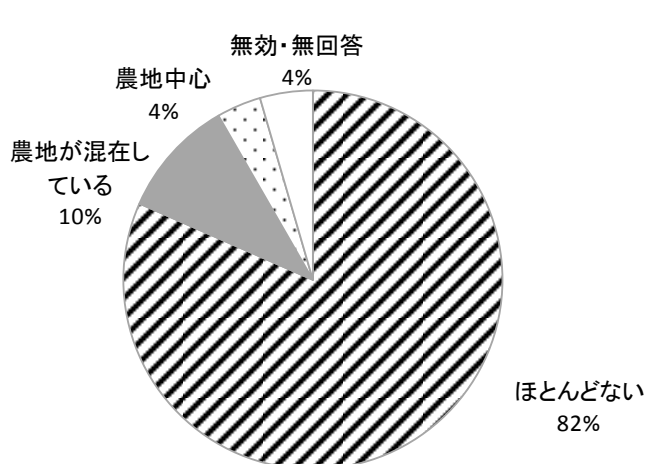
図表 46 商店街の有無



D. 農地の有無

- ・ 地域の農地の有無をみると、「ほとんどない」(82%)が最も多く、続いて「農地が混在している」(10%)、「農地中心」(4%)の順であった。

図表 47 農地の有無



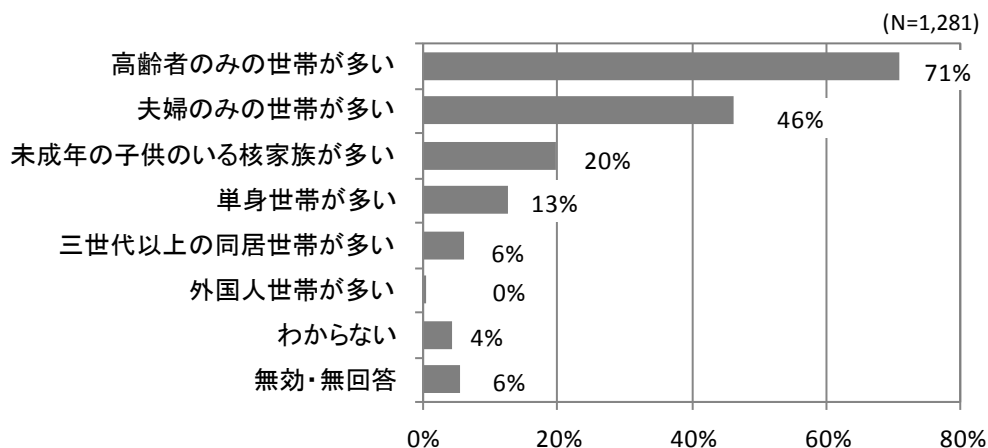
## (2) 地域住民の世帯構成の特徴

問 33 地域住民の特徴についてお教えてください。

世帯構成(主にあてはまるもの2つに○)

- ・ 地域住民の世帯構成の特徴をみると、「高齢者のみの世帯が多い」(71%)が最も多く、続いて「夫婦のみの世帯が多い」(46%)、「未成年の子供のいる核家族が多い」(20%)の順であった。

図表 48 住民の世帯構成の特徴



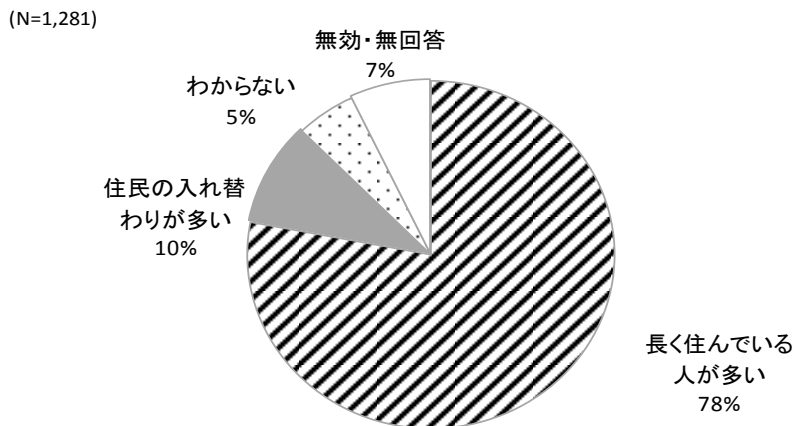
## (3) 地域住民の居住年数の特徴

問 33 地域住民の特徴についてお教えてください。

住民の居住年数の特徴(あてはまるもの1つに○)

- ・ 地域住民の居住年数の特徴をみると、「長く住んでいる人が多い」(78%)が最も多く、約8割を占め、続いて「住民の入れ替わりが多い」(10%)であった。

図表 49 住民の居住年数の特徴



## 9. 回答者属性

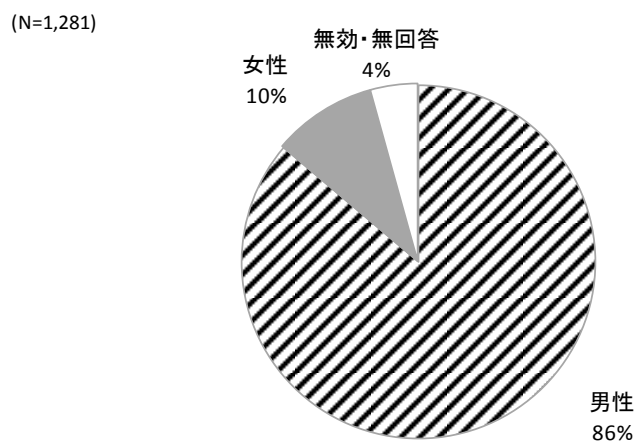
### (1) 会長自身について

問 33 会長様ご自身についておたずねします。(それぞれ、あてはまるものに○)

#### A. 性別

- 性別をみると、「男性」(86%)、「女性」(10%)となっており、「男性」が約9割となっている。

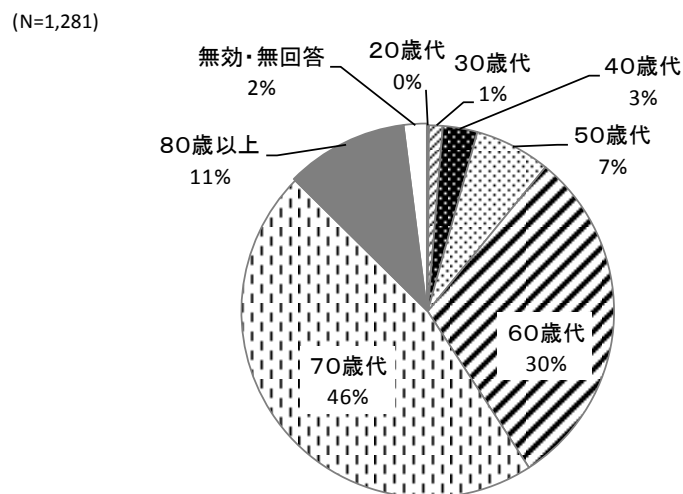
図表 50 性別



#### B. 年齢

- 年齢をみると、「70歳代」(46%)が最も多く、続いて「60歳代」(30%)、「80歳以上」(11%)の順となっており、60歳以上が約9割となっている。

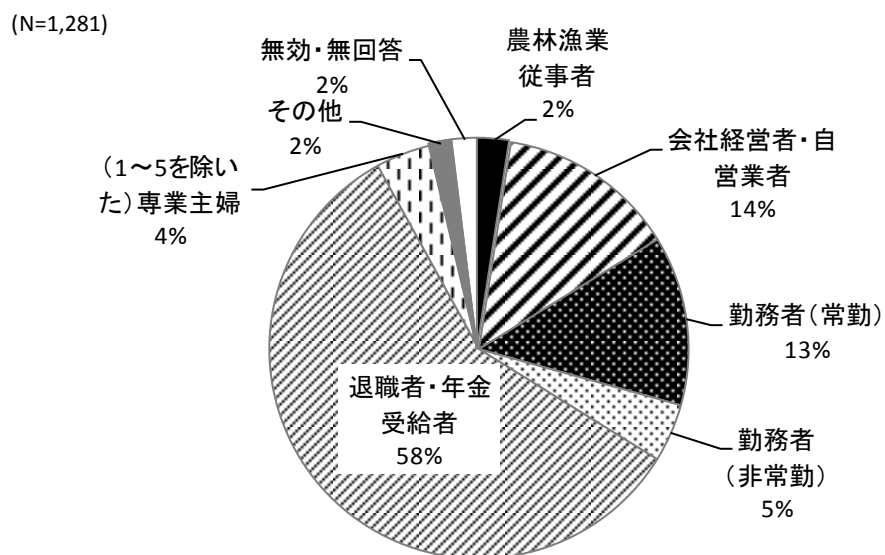
図表 51 年齢



### C. 職業

- ・ 職業をみると、「退職者・年金受給者」(58%)が最も多く、続いて「会社経営者・自営業者」(14%)、「勤務者(常勤)」(13%)の順となっている。

図表 52 職業

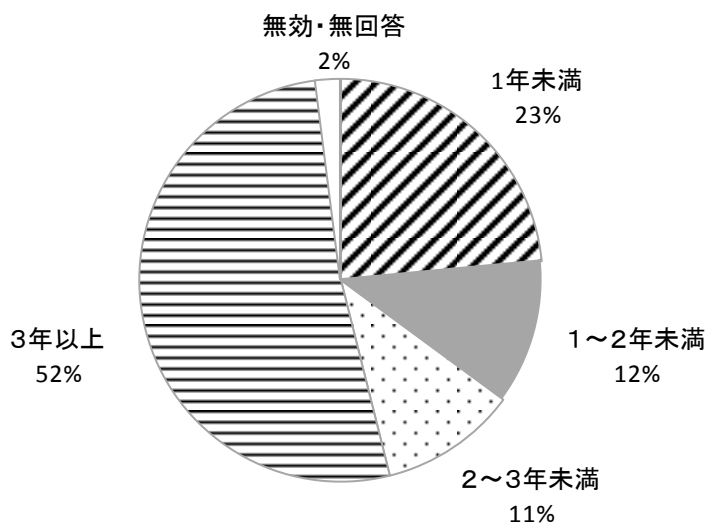


D. 会長に就任してからの年数

- ・ 会長に就任してからの年数を見ると、「3年以上」(52%)が最も多く、続いて「1年未満」(23%)、「1～2年未満」(12%)の順となっている。

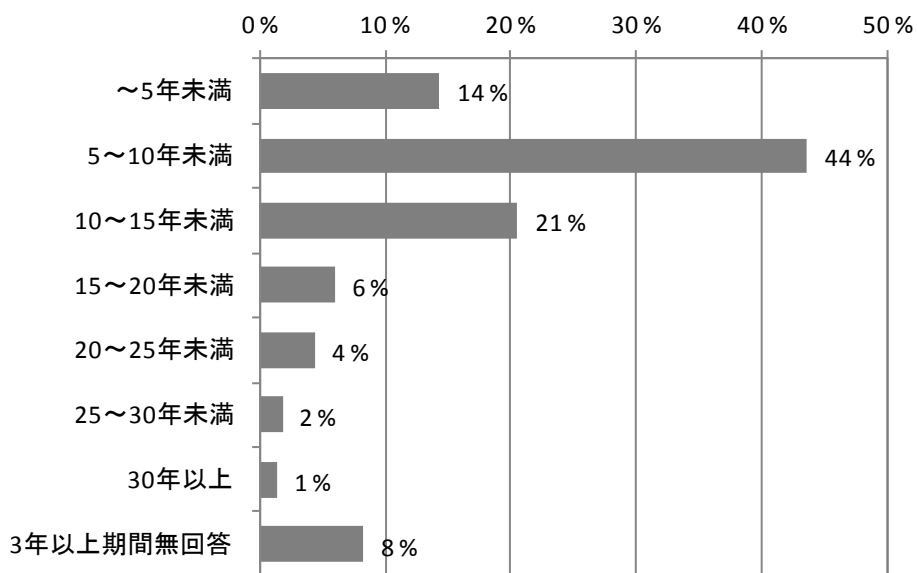
図表 53 会長に就任してからの年数

(N=1,281)



※ 3年以上の内訳

(N=665)

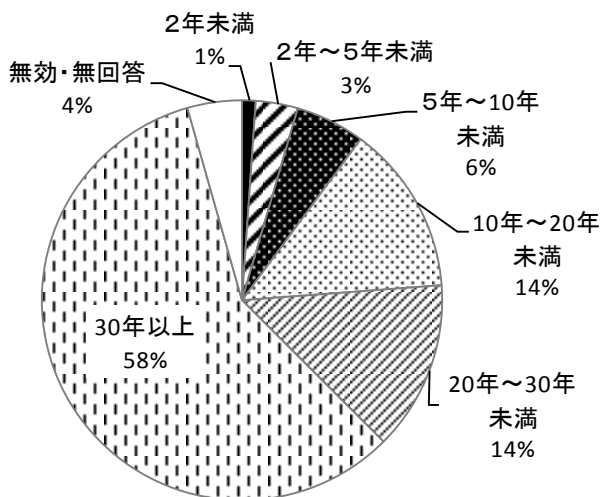


E. 居住年数

- ・ 居住年数をみると、「30年以上」（58%）が最も多く、「10年～20年未満」（14%）、「20年～30年未満」（14%）が続いており、10年以上居住している人が約9割となっている。

図表 54 居住年数

(N=1,281)

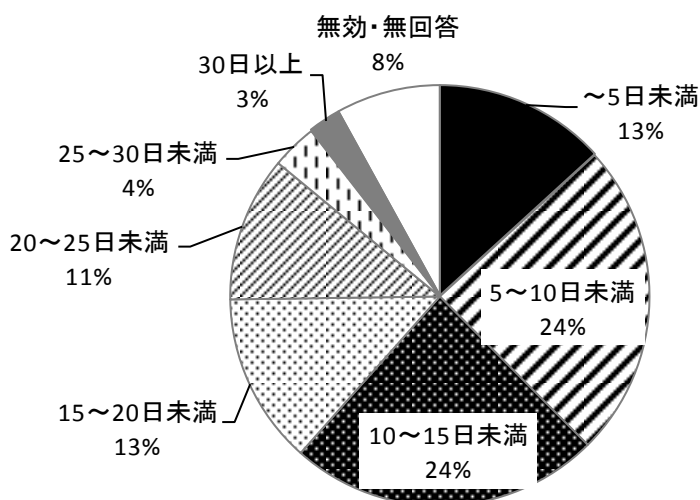


F. 1ヶ月平均の町内会業務従事日数

- ・ 1ヶ月平均の町内会業務従事日数をみると、「10日～15日未満」（24%）、「5日～10日未満」（24%）が最も多く、「5日未満」（13%）、「15日～20日未満」（13%）が続いている。

図表 55 1ヶ月平均の町内会業務従事日数

(N=1,281)



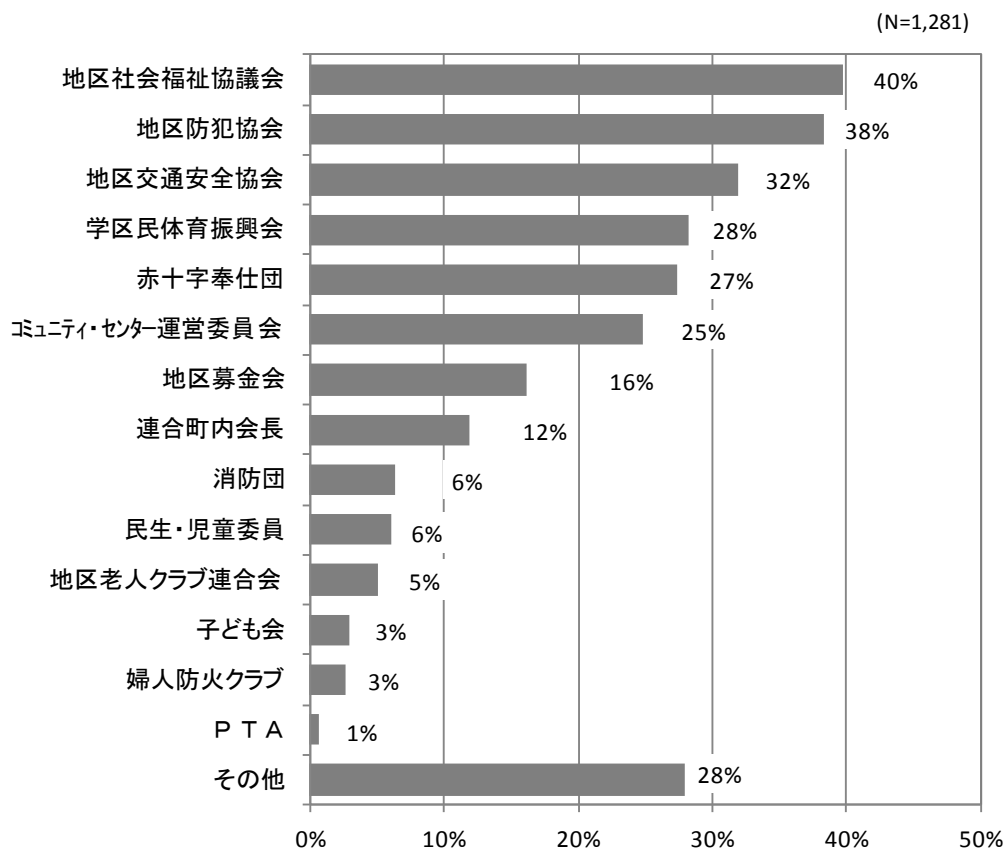
(注釈) 期間にて記入された回答については、中間値に換算して集計した（例えば3～5日と記入されている場合は4日に換算）。



G. 町内会長以外に引き受けている地域団体等の役職・役員

- 町内会長以外に引き受けている地域団体等の役職・役員をみると、「地区社会福祉協議会」(40%)が最も多く、続いて「地区防犯協会」(38%)、「地区交通安全協会」(32%)の順となっている。

図表 56 町内会長以外に引き受けている地域団体等の役職・役員



## 10. 自由記述

### 担い手について

- ・会議や事業は、平日の日中に開催される事が多く、常勤勤務者が出席するには、会社（職場）の協力が不可欠です。町内会長は現役引退された方や自営業者など時間の制約が少ない方でなければ務まらないという現実があることが、会長後継者や役員のなり手不足の一つの要因ではないかと思っています。
- ・担い手確保には、地域の子ども達を育てる事が最も良い方法だと思います。当町内会では少年野球を通じ、親たちが会合や試合でコミュニケーションを図り、その親たちが役員候補に手を上げるようになりました。
- ・かつての「青年団」が果たしていたような役割を担う組織が求められていると思います。被災地ではあられだけボランティアで若者たちがパワーを発揮しているのですから、工夫すれば決して不可能ではないと思います。若い世代が参加すれば、町内会の行事にも活気が出てくるし、また、それは地域の防災力を強めるためにも重要と思います。是非取り組みたいと考えています。

### 町内会の設立について

- ・マンション独自で町内会を立ち上げられないか検討をし、市の担当者とも相談をしながら立ち上げました。行事への参加も強制ではありませんし、興味関心のある方が参加できる機会を与えられるように企画立案しています。これから高齢化が進むことが予想されますが、地区の民生委員さんや社会福祉協議会などと連携を保ちながら運営していきたいと思っています。

### 集会所について

- ・地域の周辺に集会場がなく、非常に困っています。無料で利用できる集会場は、遠距離であることや坂道を登らなければならないなどの理由で利用していません。町内会会員は高齢者が多く、徒歩圏内でないと集まれず、会員相互の意思疎通がとりにくい状況です。役員会や総会を開く場合、自宅で開催しなければならないとの不安があり、そのことも役員の成り手不足の原因になっています。
- ・集会所を建設後、2つの大きな地震を経験し、建替計画を進めてきましたが、資材等の高騰により中断せざるを得なくなりました。補助金の条件の拡大をお願いし、町内会の夢を実現させていただきたいと存じます。

### 広報物について

- ・会長を引き受けてから毎月「町内会だより」（全家庭配布）を作り続けています。町内の様子、役員会（班長会を含む全体会）の様子、環境美化・ごみ集積所の様子、また公園や集会所の清掃日のお知らせ等の内容をお知らせしています。「町内会だより」により、町内会活動の理解・協力が得られていると思っています。

### 防災活動に関して

- ・東日本大震災後、周知を重ね自助・共助の大切さを各人が自覚できるところまでできました。先日の避難訓練では多くの住民が参加してくれ、かなり浸透したかなと考えています。これに要援護者対策がしっかりできる体制を作り上げれば町内会の存在意義を理解して貰えるかなと思います。そのためにも各町内会の連携を深め、防災対策連絡会の活動を充実していく必要があると考えています。
- ・話し合われる主な防災対象は地震・津波に対するものが中心です。近年頻発する豪雨による水害防災対策を考慮することも急務であると考えています。
- ・当町内会には防災無線等の住民一斉に情報を伝達する手段がなく、広報車音声では家の中まではなかなか情報が届かないのが現状です。行政による効果的な対応策を是非お願いしたいと思います。

### 個人情報に関して

- ・敬老会等の名簿を作成し案内状を配布するにしても、一部の方以外住所、電話番号等知る事ができません。民生委員の方との打ち合わせも容易にできず、非常に手間がかかり困っています。
- ・災害に備えて緊急連絡先・介護・要支援者のアンケート調査をしましたが、回答したのは3割ほどで、世帯主の名前だけが返ってくるものがほとんどでした。そこで再度、アンケートの内容は、一切公表せず福祉活動にも利用しない、問題ある時だけ利用するという事で、再度調査したところ、7割の方より回答を得ることができました。

### 集合住宅に関して

- ・新しく出来るマンションも、町内会・自治会を設立してもらい、市政に参加してもらう様に義務付けてはいかがでしょうか。地域のマンション同士の交流が生まれれば、地域活性化にもつながります。
- ・集合住宅の居住者は、プライバシー保護ということでどんな方々なのか知らされず、アパート内でも交流がない状態のようです。どのように対応したらよいのでしょうか
- ・集合住宅内にポスターを掲示するが、管理人から余計な事はするなどの文句があります。また、加入に関しても、町内会に入らなくとも市政だより等の広報誌は入るので、メリットがないといわれます。町内会長にしてみれば大きな問題でもあるし、会費徴収は町内会存続にもかかってきます。何か対策はないのでしょうか。

### 今後の町内会運営について

- ・当町内会の構成人員年齢が高く、今後5年先、10年先を考えると、町内会の運営は困難になってくることが予想されます。将来的には、近隣の町内会との合併をも考えなくてはならないと考えております。
- ・高齢者世帯がますます増えてくる町内ですので、社会福祉協議会や地域包括支援センター等と一緒に地域住民へ広報活動を工夫して、町内の行事に多くの人に参加するように努めて行きたいと思っています。
- ・当町内会は大規模町内会であり、要援護者の把握、災害時の声掛けなどは難しいと思っています。将来的には分離し、把握可能な規模にしないと益々運営が難しくなると思います。

- ・町内会が地域住民の様々な要望をすべて引き受けることは不可能です。厚みのある町内会活動をしようとするなら、町内会とは別に、多様な自主的な組織（ボランティア組織など）との協力・連携が大切になると思います。

#### 行政への要望について

- ・当町内会では任意団体を結成し、町内の環境問題に取り組んでいます。また、連合町内会地域にも任意団体を立ち上げ、地域共通課題や地域の魅力づくりに取り組んでおります。しかし、町内会とは違い行政から支援も薄く、活動費用や場所の確保等にも苦勞しています。このような団体に対しても、連携や運営支援のシステムを構築する必要があると思います。
- ・当町内会を今後も継続発展させていくため、他町内会の実施例などを紹介していただきたい。
- ・行政機関からのお知らせが非常に多いと感じています。役員の中には働いている人もおりますので、本町内会では週1回にまとめて配布しております。配布物は、必要最低限にとどめてほしいと思います。
- ・既に集会所を持っているなど財政に余裕がある町内会と、余裕のない町内会では差が大きく、不満を持っている会員もいます。特に他地区から転入してきた人にこのような考えが多いと思います。地域の特性に応じた対策を希望します。

## II. 町内会長向けアンケート(連合町内会長)

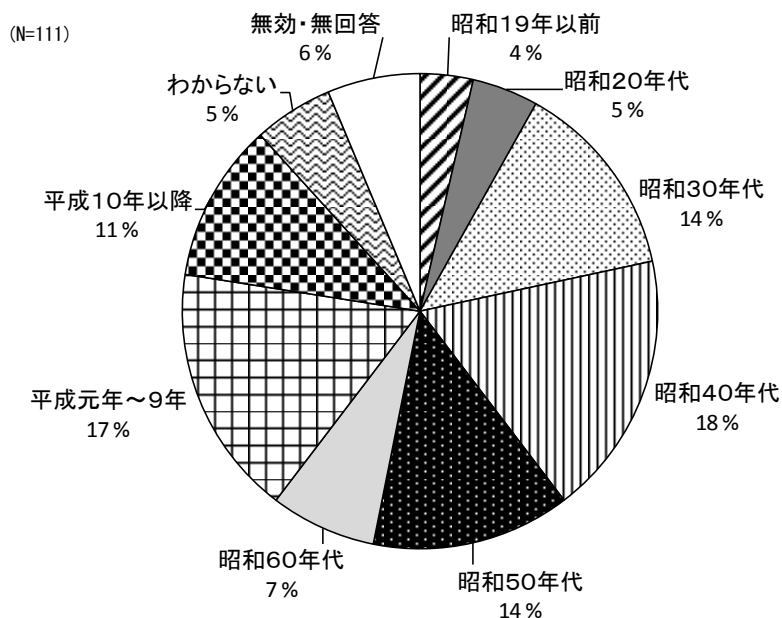
### 1. 町内会組織について

#### (1) 連合町内会が発足した時期

問 2 貴連合町内会が発足したのはいつごろですか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 連合町内会が発足した時期をみると、「昭和 40 年代」(18%) が最も多く、続いて「平成元年～9 年」(17%)、「昭和 30 年代」、「昭和 50 年代」(ともに 14%) の順となっている。
- ・ 昭和 50 年代までに 5 割以上 (55%) が発足している一方、平成に入ってから約 3 割 (28%) が発足している。

図表 57 連合町内会が発足した時期

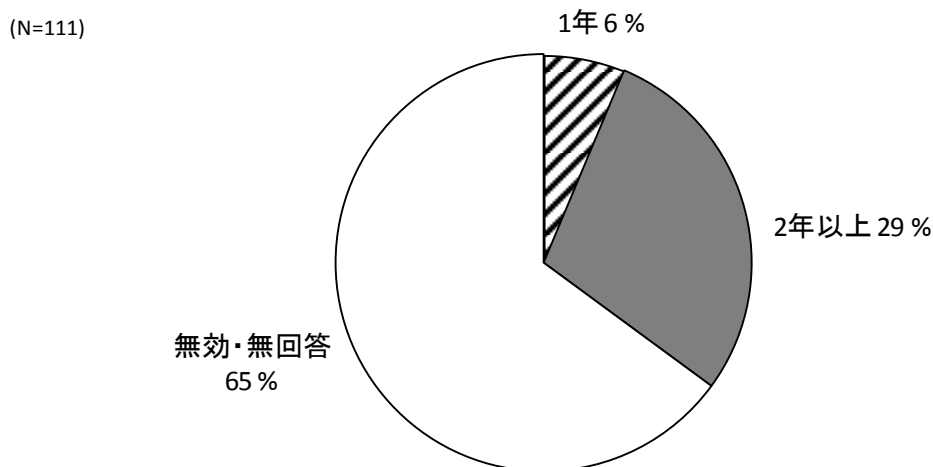


## (2) 連合町内会の役員の任期と役員任期の規定

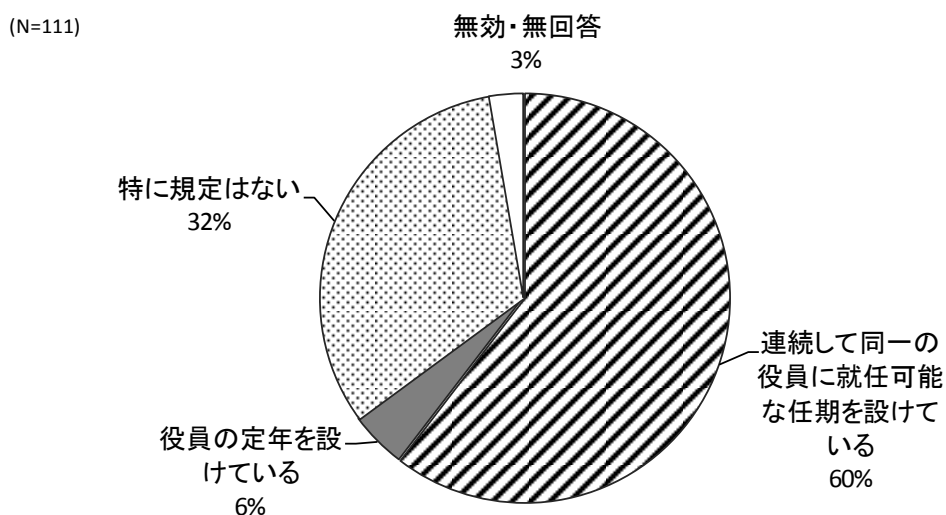
問 4 貴連合町内会の役員の任期と、役員任期の規定について教えてください。

- ・ 役員の任期は、無効・無回答を除くと、「2年以上」(29%)が最も多く、続いて「1年」(6%)となっている。
- ・ 役員任期の規定については、「連続して同一の役員に就任可能な任期を設けている」(60%)が最も多く、続いて「特に規定はない」(32%)、「役員の定年を設けている」(6%)の順となっている。

図表 58 役員の任期



図表 59 役員任期の規定

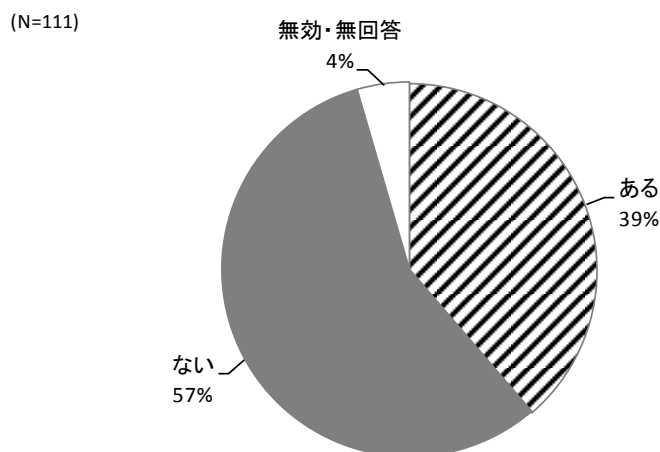


### (3) 専門部会の有無

問 5 貴連合町内会では専門部会(またはそれに相当する組織)がありますか。ある場合、部会(またはそれに相当する組織)名をご記入ください。

- ・ 貴連合会での専門部会の有無をみると、「ない」が半数以上を占めている (57%)。

図表 60 専門部会の有無

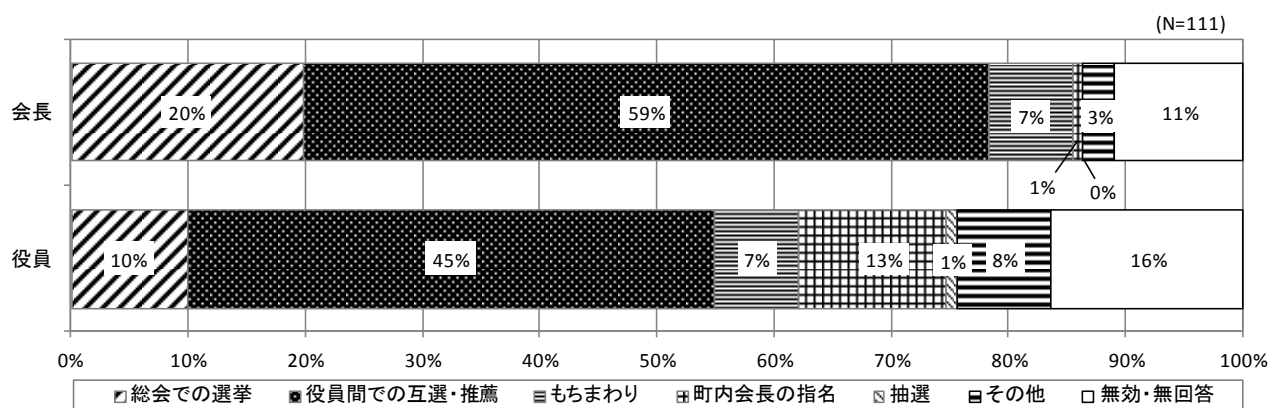


### (4) 連合町内会の会長・役員を選び方

問 6 貴連合町内会では、会長、役員はどのようにして選ばれますか。(会長、役員を選び方をそれぞれ1つ選んでご記入ください)

- ・ 会長の選び方は、無効・無回答を除くと、「役員間での互選・推薦」が最も多く (59%)、続いて「総会での選挙」(20%)、「もちまわり」(7%) であった。
- ・ 役員を選び方は、無効・無回答を除くと、「役員間での互選・推薦」が最も多く (45%)、続いて「連合町内会長の指名」(13%)、「総会での選挙」(10%) であった。

図表 61 会長、役員を選び方

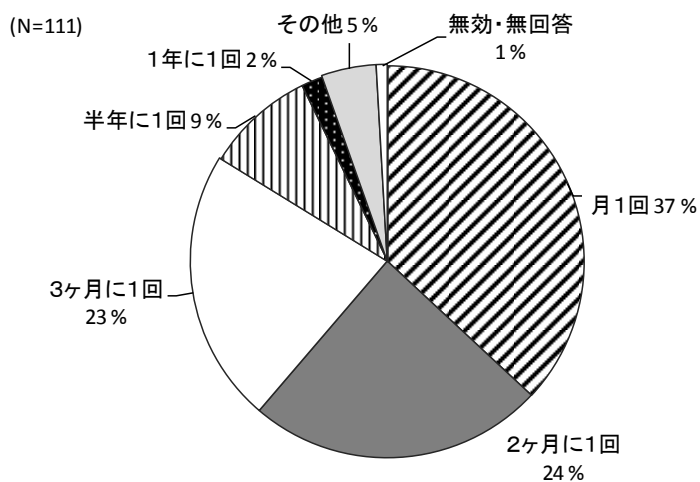


## (5) 役員会の開催頻度

問 7 昨年度どの程度の頻度で役員会を開催しましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 役員会の開催頻度をみると、「月1回」が最も多く(37%)、続いて「2ヶ月に1回」(24%)、「3ヶ月に1回」(23%)であった。

図表 62 役員会の開催頻度



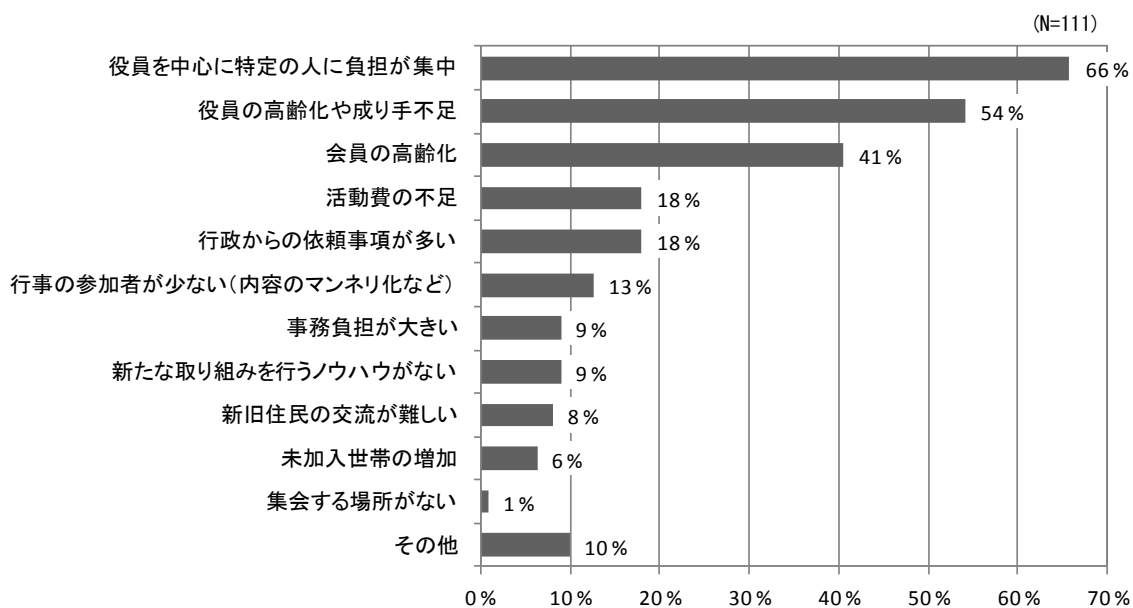
## (6) 町内会組織の組織運営上の課題

問 8 貴連合町内会組織の運営で課題となっていることをお教えてください。

(重要と思われる順に3つまで選んで記入ください。)

町内会組織の組織運営上の課題をみると、「役員を中心に特定の人に負担が集中」が最も多く(66%)、続いて「役員の高齢化や成り手不足」(54%)、「会員の高齢化」(41%)であった。

図表 63 町内会組織の組織運営上の課題





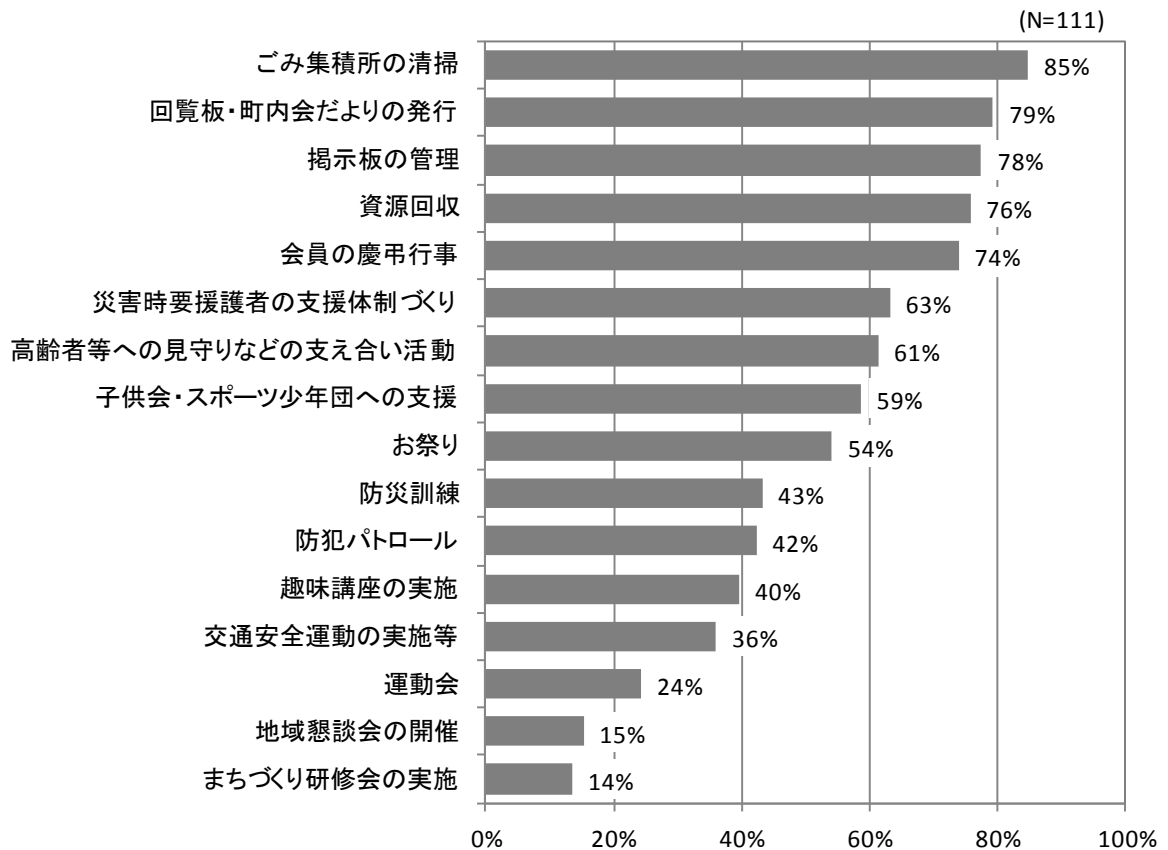
## 2. 連合町内会で実施されている活動について

### (1) 単位町内会、連合町内会が実施している活動

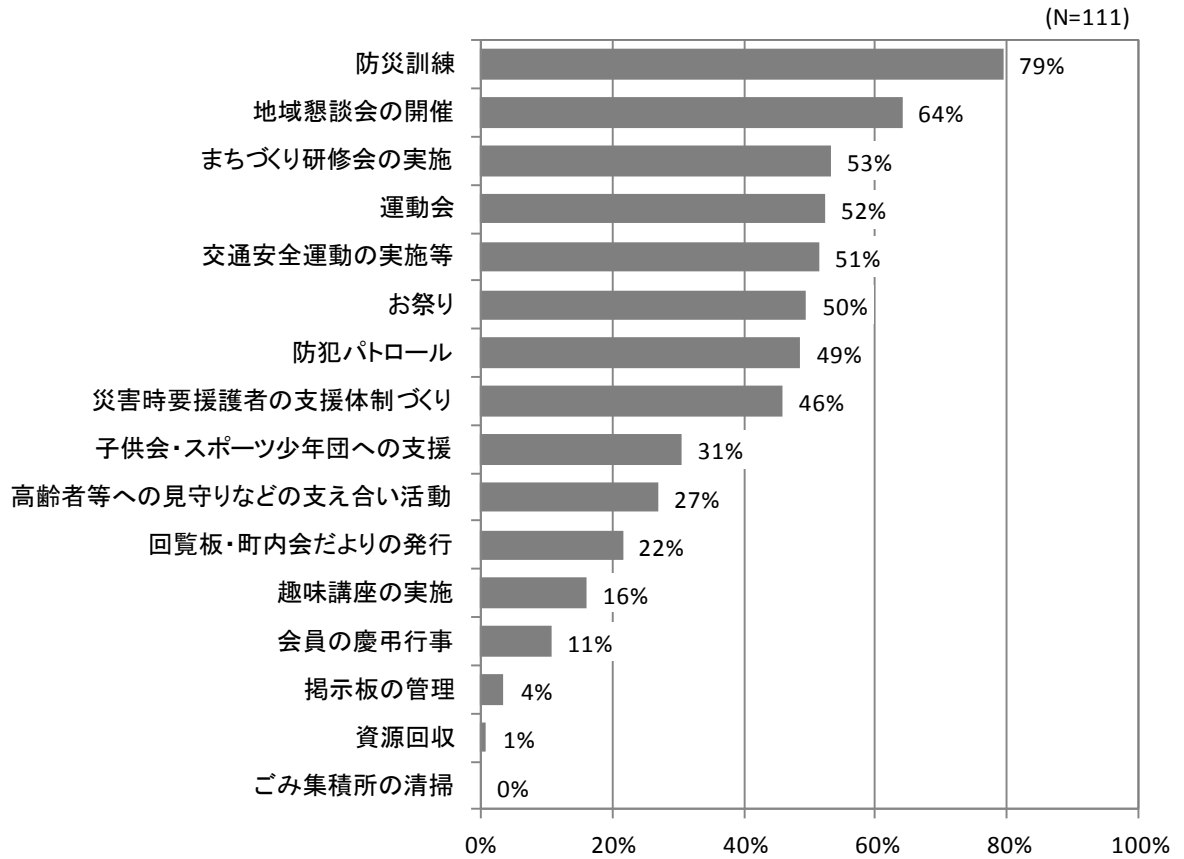
問9 下表の1～16の活動は、単位町内会、連合町内会のどちらが主体となって活動していますか。単位町内会、連合町内会が実施している活動を以下の選択肢からご記入ください。両団体ともに実施している活動については、両方に番号を記載ください。

- ・ 単位町内会が主体となっている活動をみると、「ごみ集積所の清掃」が最も多く（85%）、続いて「回覧板・町内会だよりの発行」（79%）、「掲示板の管理」（78%）、「資源回収」（76%）であった。
- ・ 連合町内会では、「防災訓練」が最も多く（79%）、続いて「地域懇談会の開催」（64%）、「まちづくり研修会の実施」（53%）であった。

図表 64 単位町内会が主体となり実施している活動



図表 65 連合町内会が主体となり実施している活動



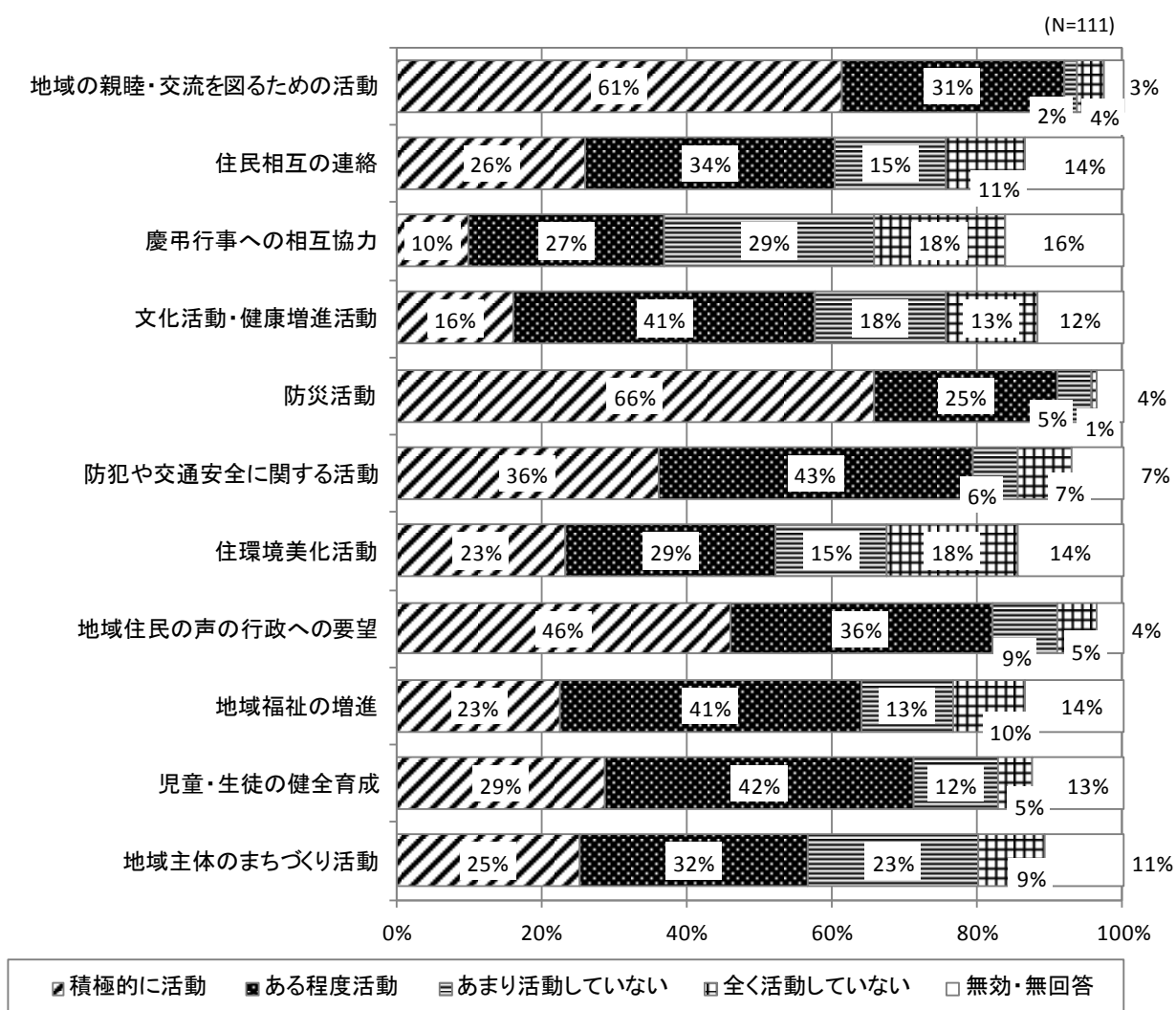
## (2) 活動の状況

問 10 貴連合町内会での、以下の表に掲げるA～Kの活動の実施状況についてお聞きます。

A～Kの活動の状況についてあてはまる欄に○をつけてください。

- ・ 活動の状況について、「積極的に活動」・「ある程度活動」している活動は「地域の親睦・交流を図るための活動」(92%)、「防災活動」(91%)、続いて「地域住民の声の行政への要望」(82%)であった。
- ・ 「あまり活動していない」・「まったく活動していない」活動は、「慶弔行事への相互協力」が最も多く(47%)、続いて「住環境美化活動」(33%)、「地域主体のまちづくり活動」(32%)であった。

図表 66 活動の状況



### (3) 連携している団体

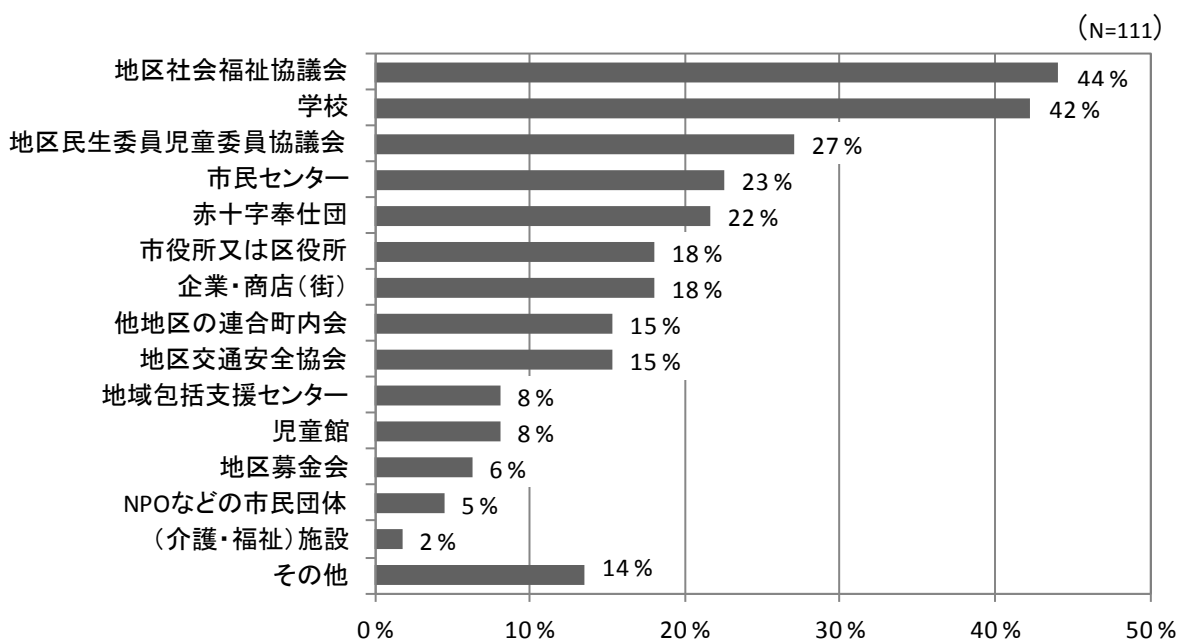
問 10 貴連合町内会での、以下の表に掲げるA~Kの活動の実施状況についてお聞きます。

A~Kの活動のうち、他の団体と連携して活動を行っている場合は、連携している団体の属性について番号をご記入ください。

#### A. 地域の親睦・交流を図るための活動

- 地域の親睦・交流を図るための活動をみると、「地区社会福祉協議会」が最も多く（44%）、続いて「学校」（42%）、「地区民生委員児童委員協議会」（27%）であった。

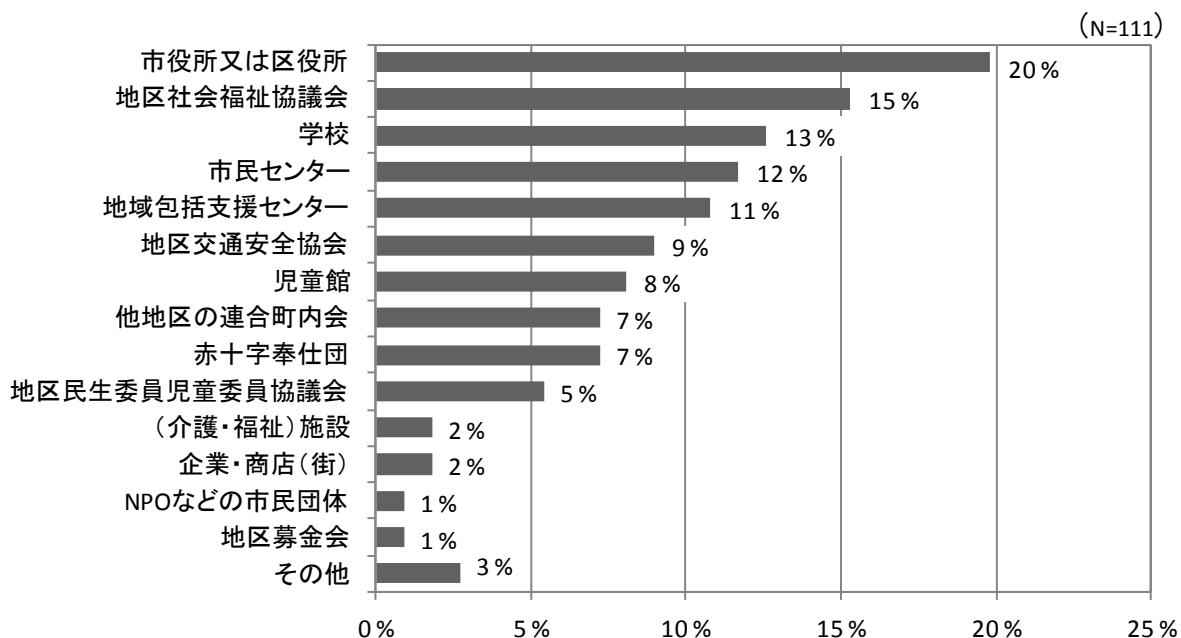
図表 67 地域の親睦・交流を図るための活動



## B. 住民相互の連絡

- 住民相互の連絡をみると、「市役所又は区役所」が最も多く（20%）、続いて「地区社会福祉協議会」（15%）、「学校」（13%）であった。

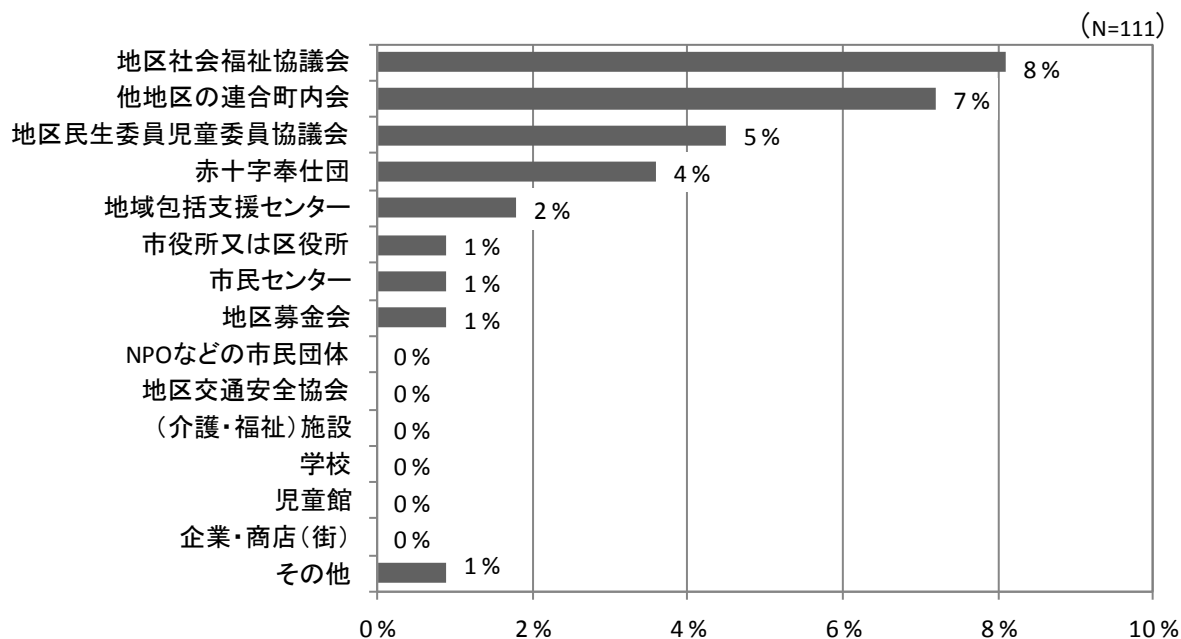
図表 68 住民相互の連絡



## C. 慶弔行事への相互協力

- 慶弔行事への相互協力をみると、「地区社会福祉協議会」（8%）が最も多く、「他地区の連合町内会」（7%）、続いて「地区民生委員児童委員協議会」（5%）であった。

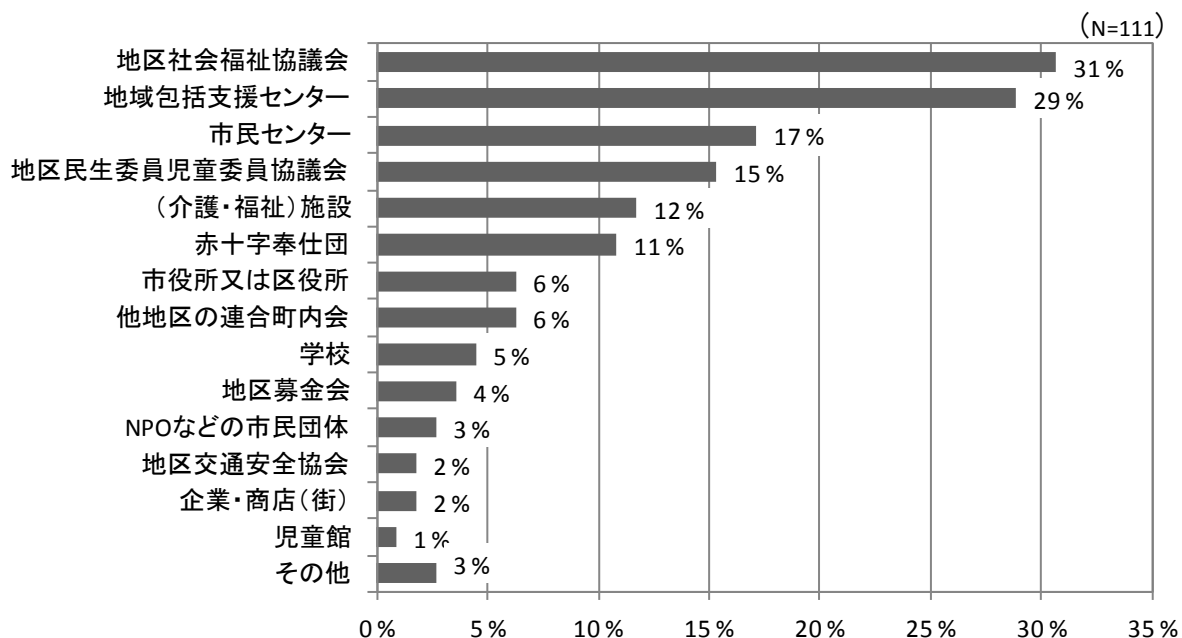
図表 69 慶弔行事への相互協力



#### D. 文化活動・健康増進活動

- 文化活動・健康増進活動をみると、「地区社会福祉協議会」が最も多く（31%）、続いて「地域包括支援センター」（29%）、「市民センター」（17%）であった。

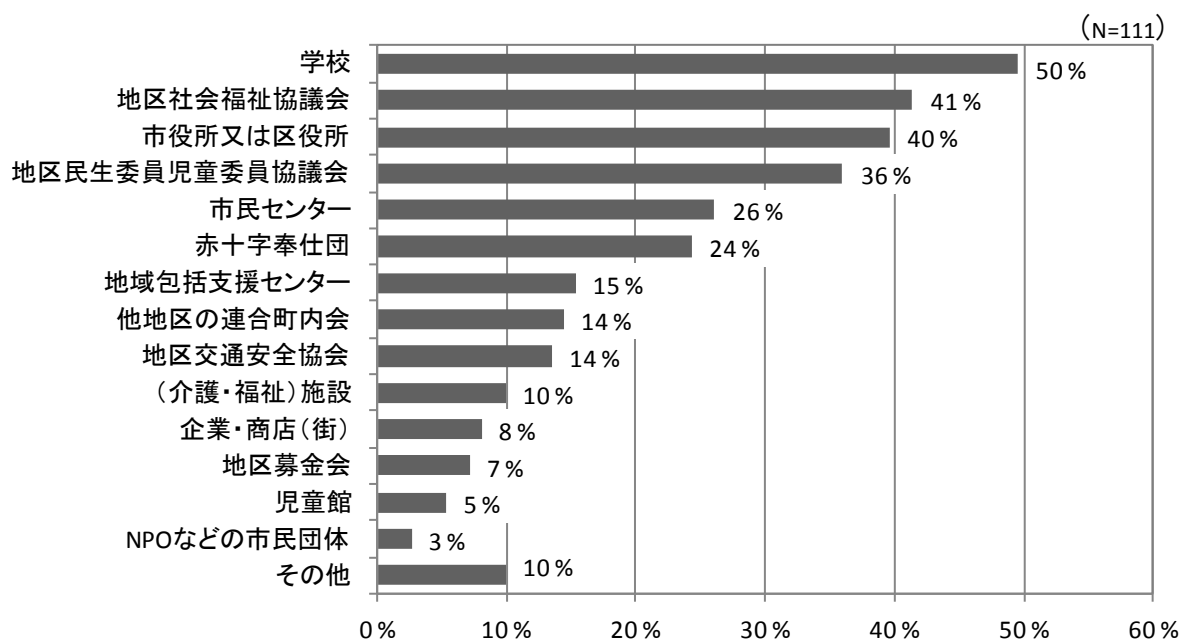
図表 70 文化活動・健康増進活動



#### E. 防災活動

- 防災活動をみると、「学校」が最も多く（50%）、続いて「地区社会福祉協議会」（41%）、「市役所又は区役所」（40%）であった。

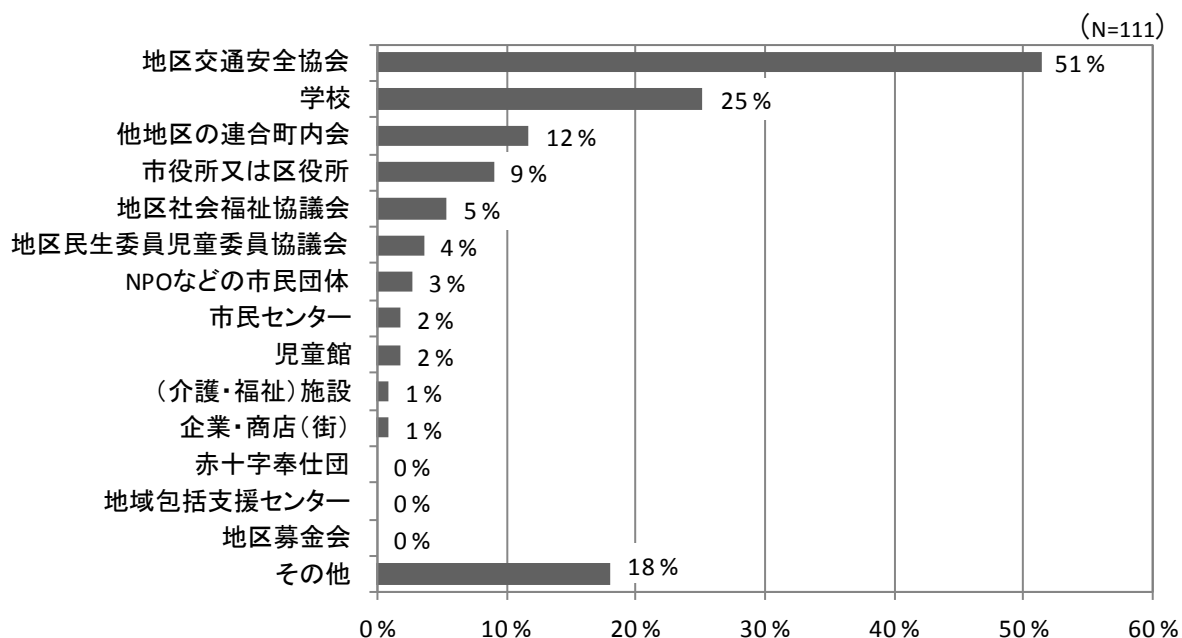
図表 71 防災活動



## F. 防犯や交通安全に関する活動

- 防犯や交通安全に関する活動をみると、「地区交通安全協会」が最も多く（51%）、続いて「学校」（25%）、「その他」（18%）であった。

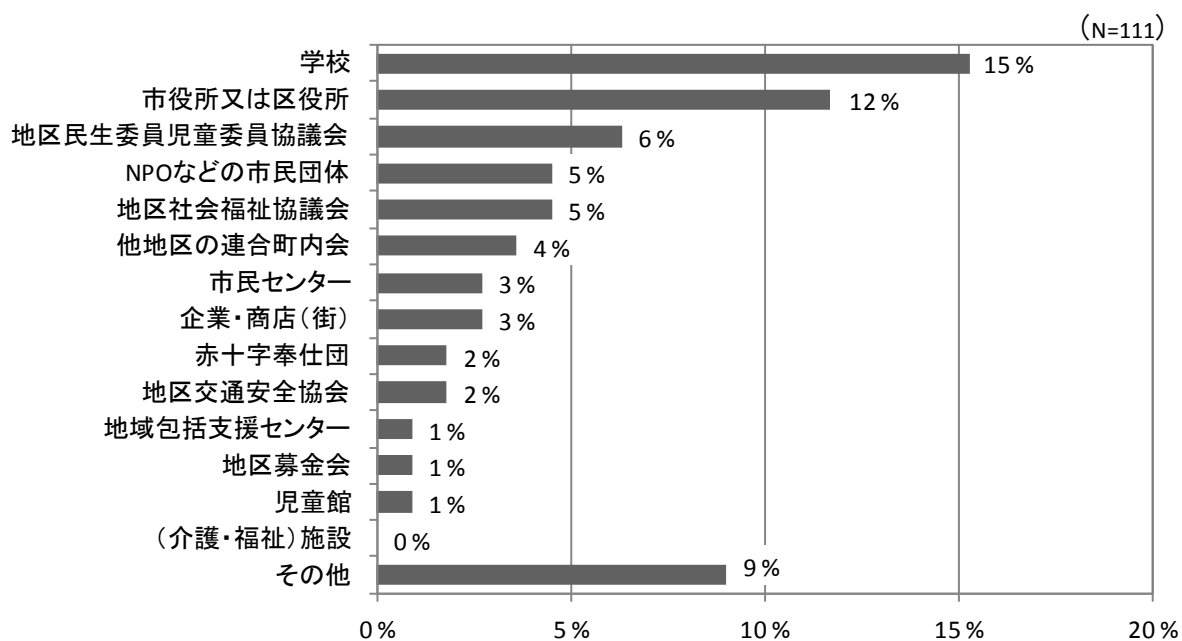
図表 72 防犯や交通安全に関する活動



## G. 住環境美化活動

- 住環境美化活動をみると、「学校」が最も多く（15%）、続いて「市役所又は区役所」（12%）、「その他」（9%）であった。

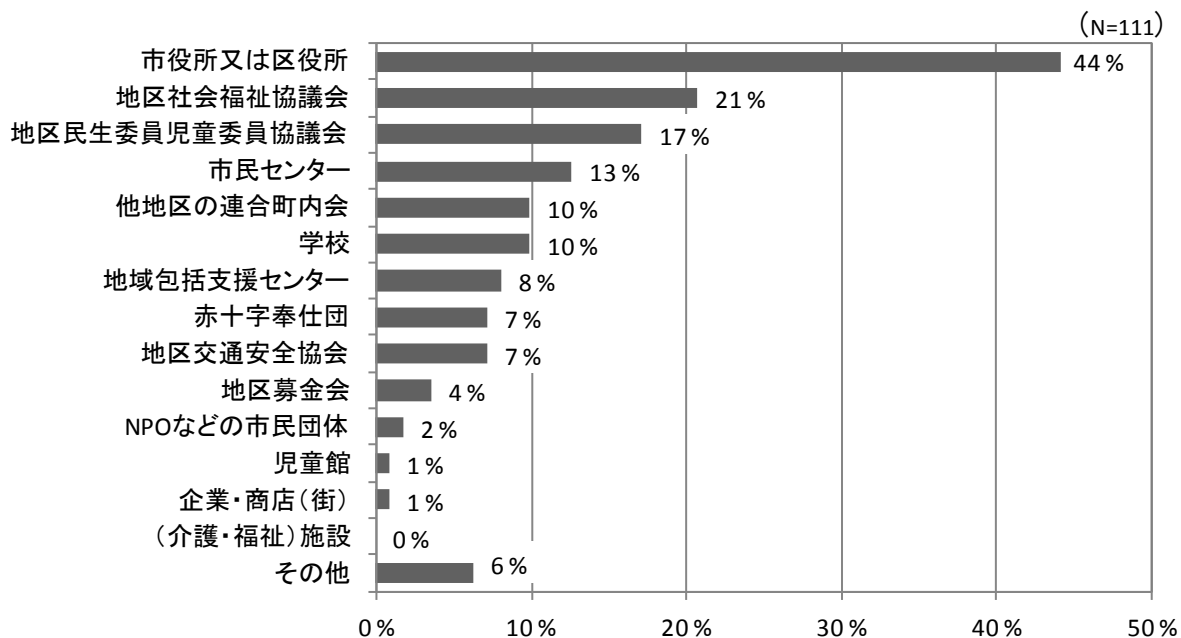
図表 73 住環境美化活動



## H. 地域住民の声の行政への要望

- 地域住民の声の行政への要望をみると、「市役所又は区役所」が最も多く（44%）、続いて「地区社会福祉協議会」（21%）、「地区民生委員児童委員協議会」（17%）であった。

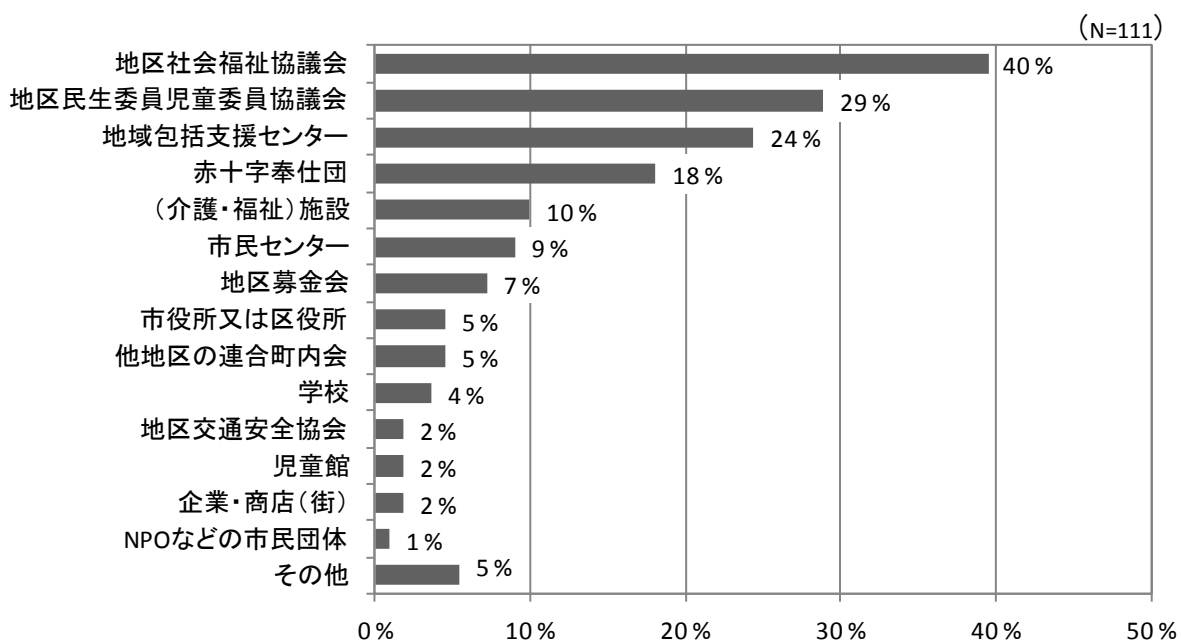
図表 74 地域住民の声の行政への要望



## I. 地域福祉の増進

- 地域福祉の増進をみると、「地区社会福祉協議会」が最も多く（40%）、続いて「地区民生委員児童委員協議会」（29%）、「地域包括支援センター」（24%）であった。

図表 75 地域福祉の増進

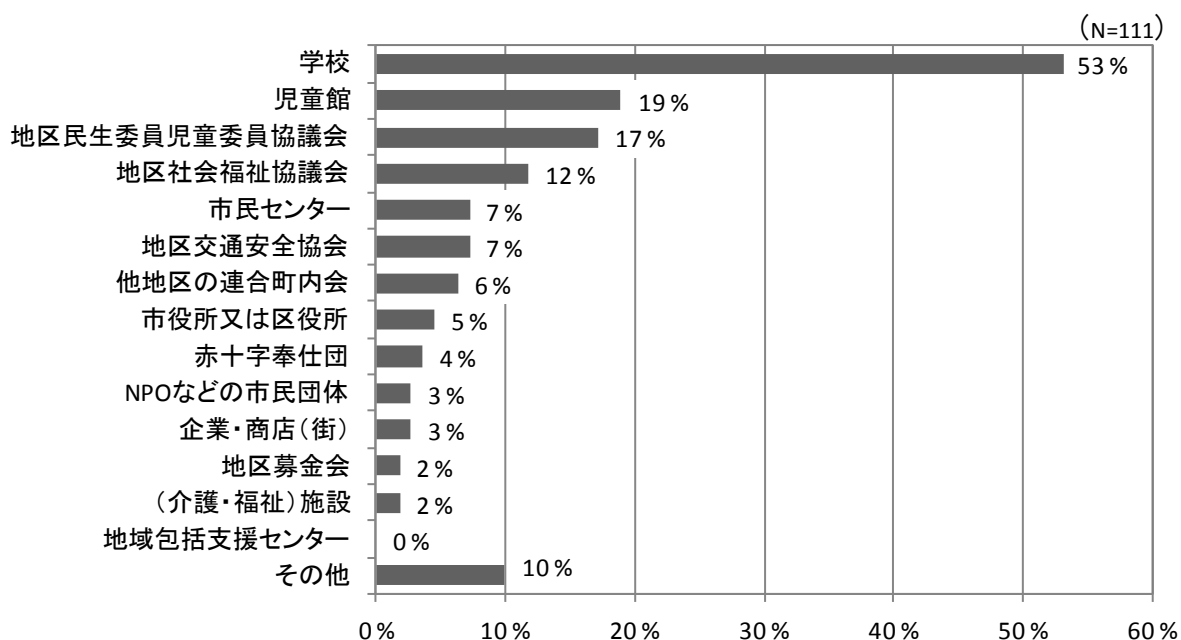




## J. 児童・生徒の健全育成

- 児童・生徒の健全育成をみると、「学校」が最も多く（53%）、続いて「児童館」（19%）、「地区民生委員児童委員協議会」（17%）であった。

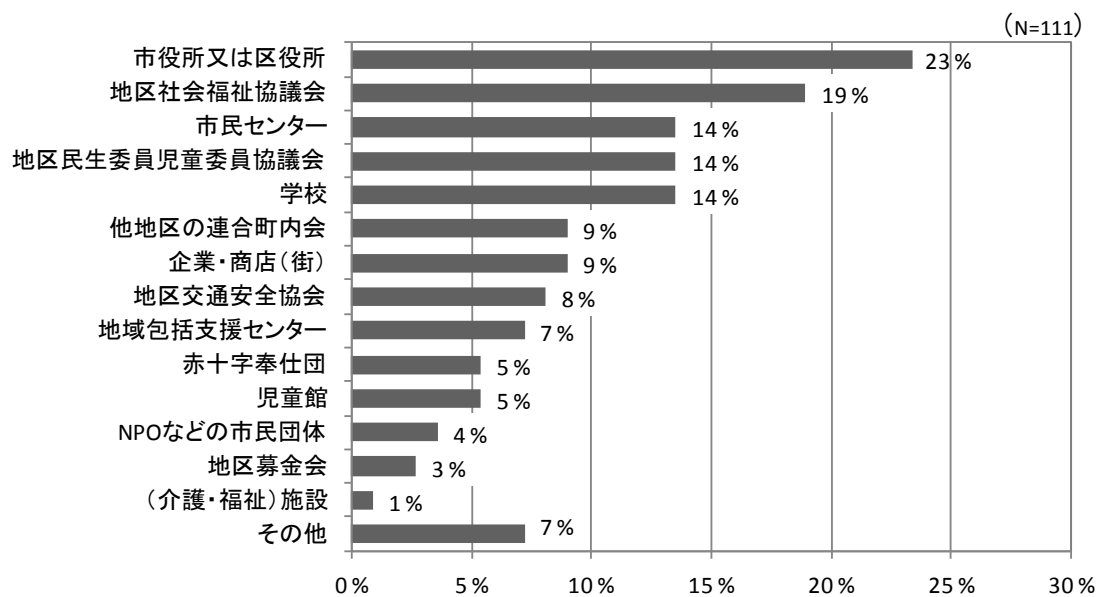
図表 76 児童・生徒の健全育成



## K. 地域主体のまちづくり活動

- 地域主体のまちづくり活動をみると、「市役所又は区役所」が最も多く（23%）、続いて「地区社会福祉協議会」（19%）、「市民センター」、「地区民生委員児童委員協議会」、「学校」（ともに14%）であった。

図表 77 地域主体のまちづくり活動

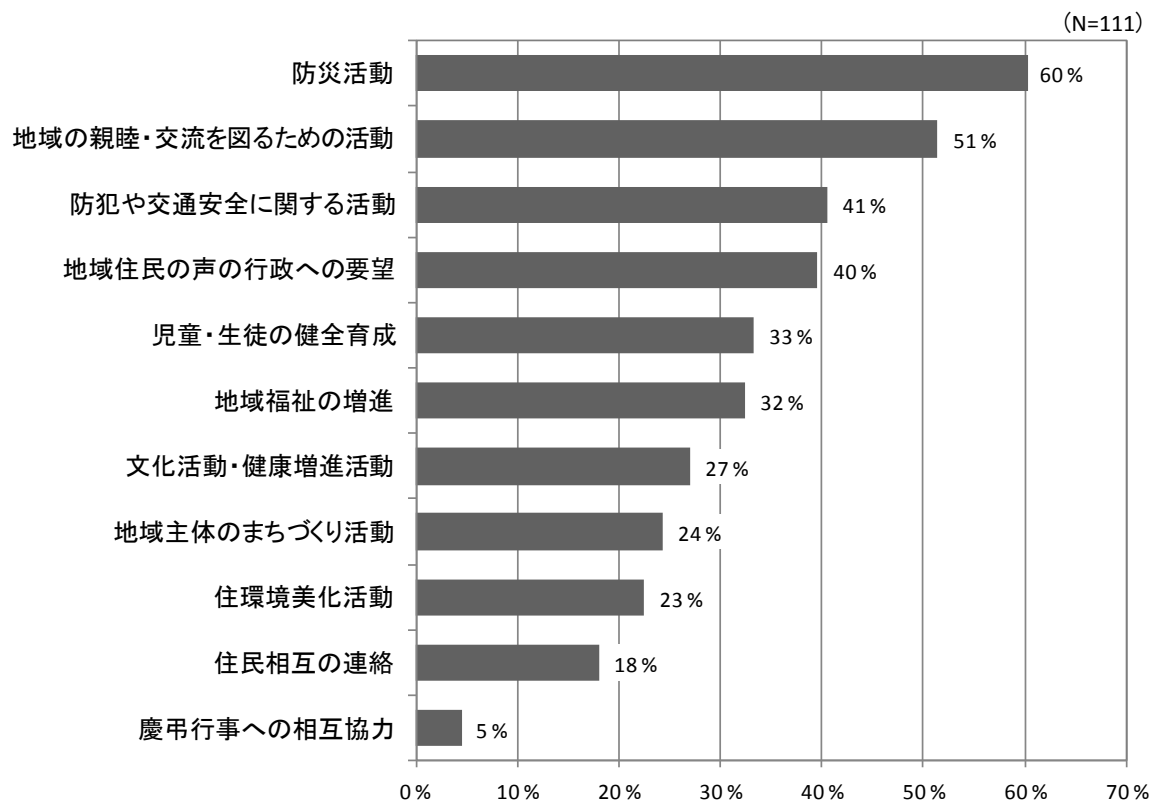


#### (4) 力を入れていきたい活動

問 10 貴連合町内会での、以下の表に掲げるA～Kの活動の実施状況についてお聞きます。  
連合町内会で(引き続き、新たに)力を入れていきたい活動すべてに○をつけてください。

- ・ 力を入れていきたい活動をみると、「防災活動」(60%)が最も多く、続いて「地域の親睦・交流を図るための活動」(51%)、「防犯や交通安全に関する活動」(41%)であった。

図表 78 力を入れていきたい活動

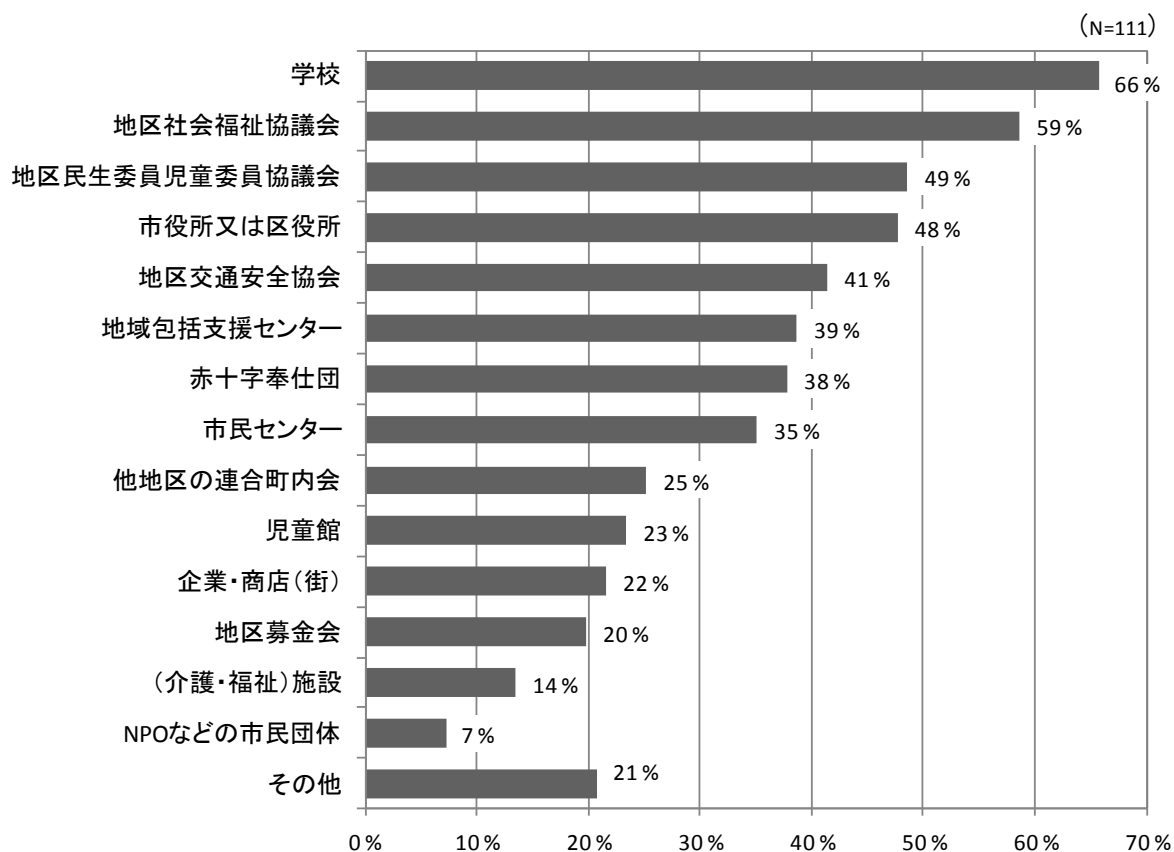


(5) 連携して行っている代表的な活動

問11 問10でお教えいただいた他の団体と連携して行っている活動について、代表的な活動の名称、連携している代表的な団体、連携の経緯・きっかけや活動内容についてお教えてください。(代表的な活動を1つ)

- ・ 連携して行っている代表的な活動について、連携している団体をみると、「学校」が最も多く(66%)、続いて「地区社会福祉協議会」(59%)、「地区民生委員児童委員協議会」(49%)「市役所又は区役所」(48%)であった。

図表 79 代表的な活動の連携している団体

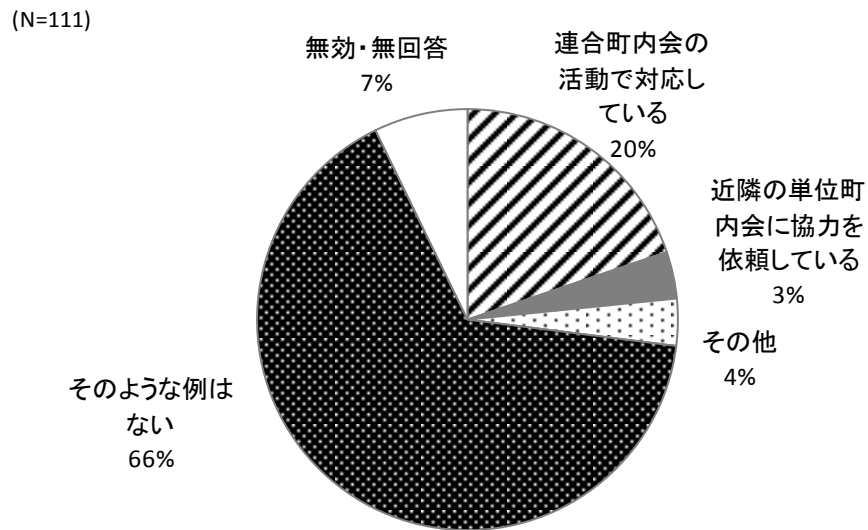


(6) 単位町内会の活動があまり活発でない地域で、連合町内会が対応している例

問 12 単位町内会の活動があまり活発でない地域等で、連合町内会が代わりに対応している例はありますか。  
(あてはまるもの1つに○)

- 単位町内会の活動があまり活発でない地域で、連合町内会が対応している例をみると、無効・無回答を除くと、「そのような例はない」が最も多く（66%）、続いて「連合町内会の活動で対応している」（20%）、「近隣の単位町内会に協力を依頼している」（3%）であった。

図表 80 連合町内会が対応している例



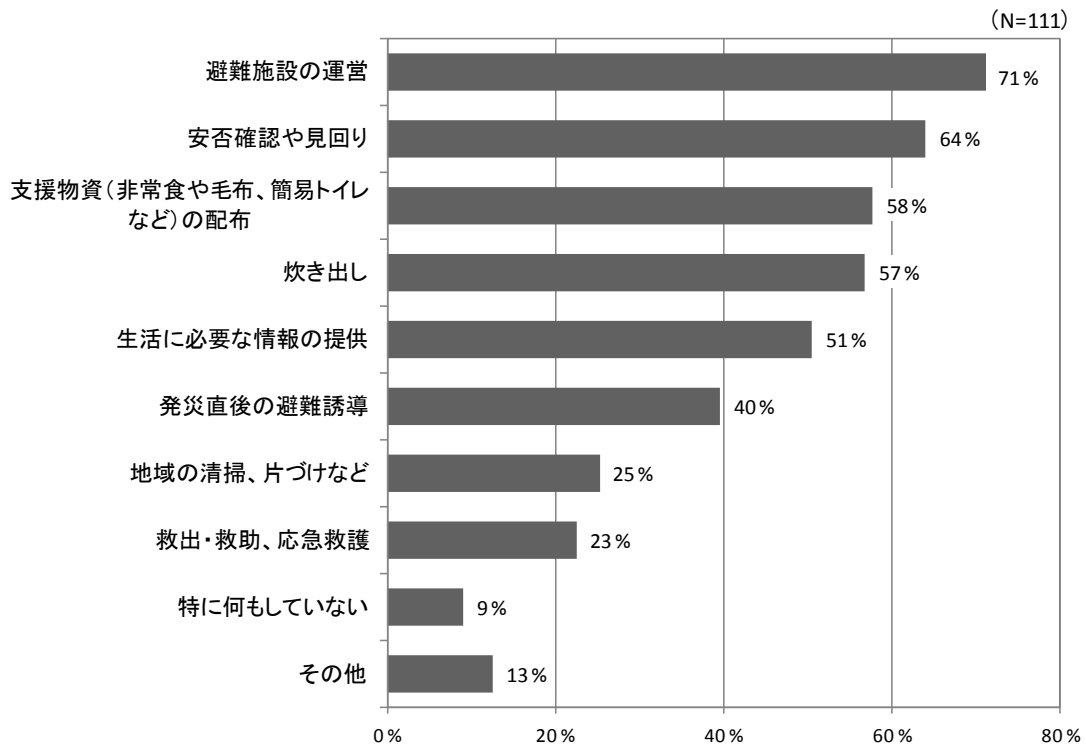
### 3. 東日本大震災の経験を踏まえた連合町内会の活動について

#### (1) 東日本大震災時の活動状況

問 13 東日本大震災時の活動状況についてお教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 東日本大震災時の活動状況をみると、「避難施設の運営」が最も多く（71%）、続いて「安否確認や見回り」（64%）、「支援物資（非常食や毛布、簡易トイレなど）の配布」（58%）「炊き出し」（57%）であった。

図表 81 東日本大震災時の活動状況

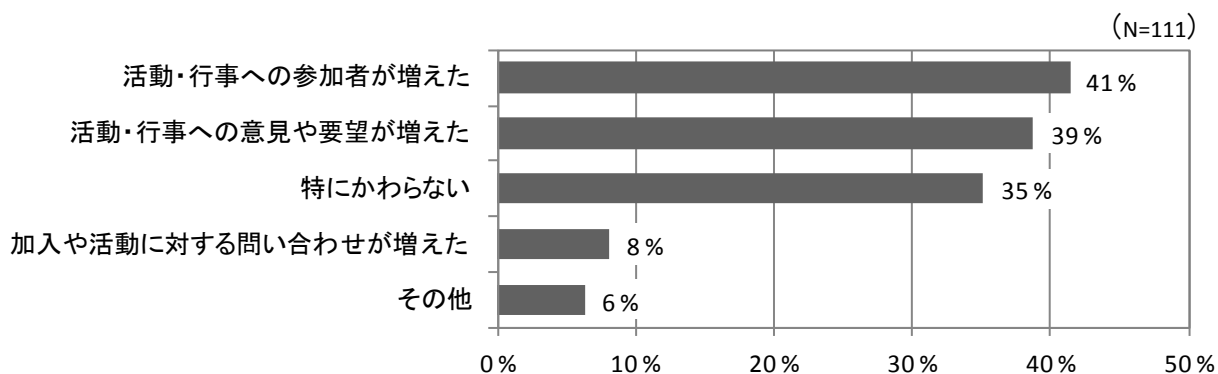


## (2) 震災後の地域住民の意識の変化

問 14 震災後、地域住民の意識に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 震災後の地域住民の意識の変化をみると、「活動・行事への参加者が増えた」が最も多く(41%)、続いて「活動・行事への意見や要望が増えた」(39%)、「特にかわらない」(35%)であった。

図表 82 震災後の地域住民の意識の変化

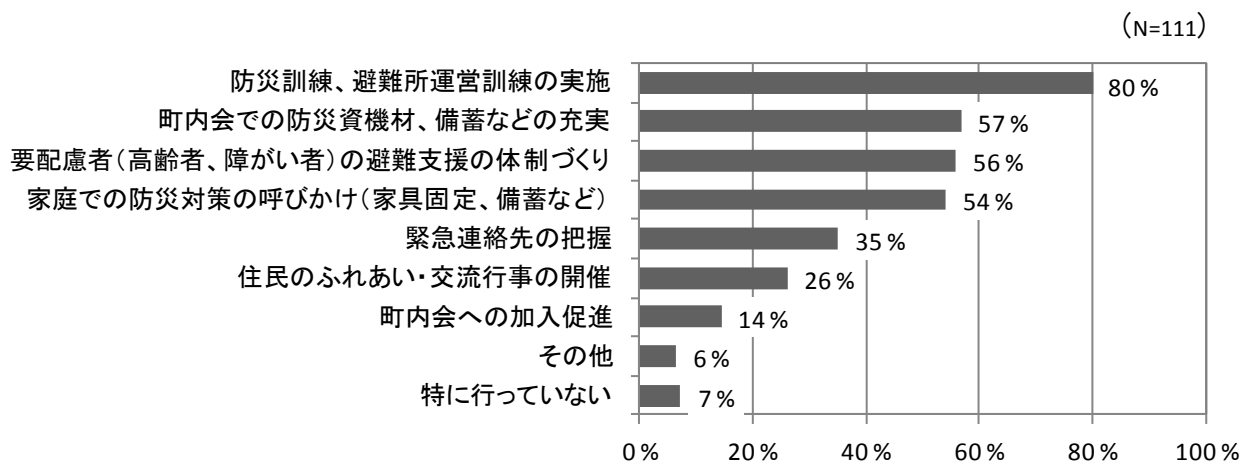


## (3) 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事

問 15 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事をみると、「防災訓練、避難所運営訓練の実施」が最も多く(80%)、続いて「町内会での防災資機材、備蓄などの充実」(57%)、「要配慮者(高齢者、障がい者)の避難支援の体制づくり」(56%)であった。

図表 83 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事

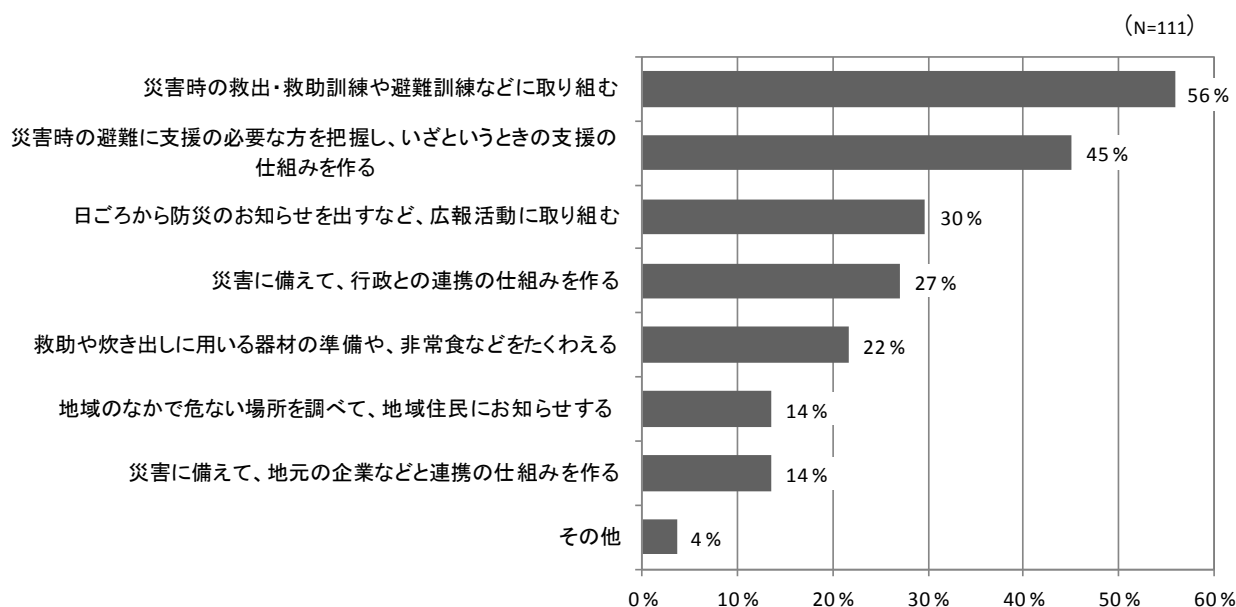


#### (4) 今後、地域の防災力を向上させるために、町内会が担う必要があると思う役割

問 16 今後、地域の防災力を向上させるために、連合町内会が担う必要があると思う役割について教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

- ・ 今後、地域の防災力を向上させるために、町内会が担う必要があると思う役割をみると、「災害時の救出・救助訓練や避難訓練などに取り組む」が最も多く（56%）、続いて「災害時の避難に支援の必要な方を把握し、いざというときの支援の仕組みを作る」（45%）、「日ごろから防災のお知らせを出すなど、広報活動に取り組む」（30%）であった。

図表 84 今後、地域の防災力を向上させるために、町内会が担う必要があると思う役割



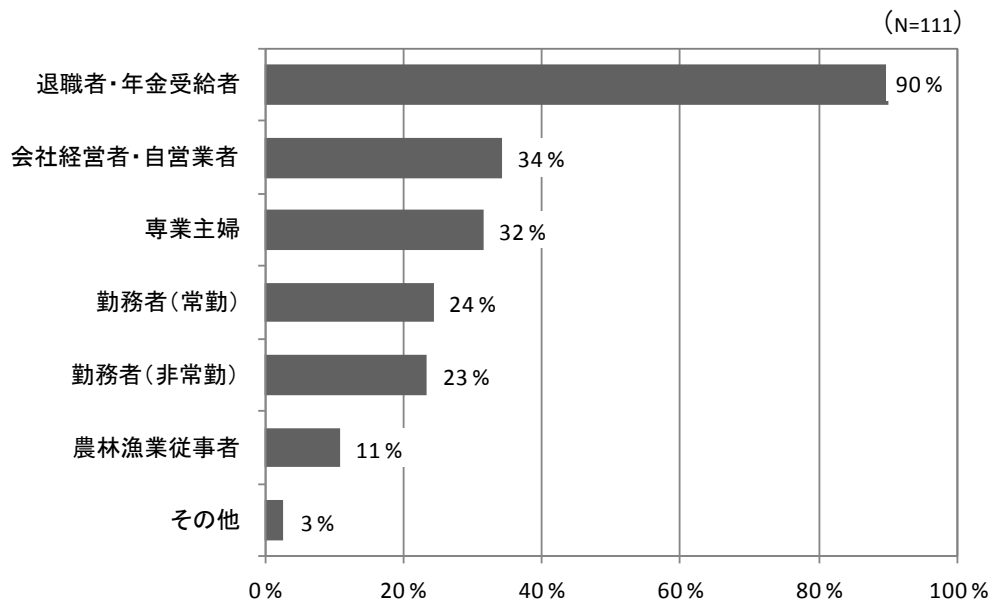
## 4. 町内会活動の担い手について

### (1) 現在、町内会活動を中心的に担っている人

問 17 現在、連合町内会活動を中心的に担っているのはどのような人ですか。(あてはまるもの3つまで○)

- ・ 現在、町内会活動を中心的に担っている人を見ると、「退職者・年金受給者」が最も多く(90%)、続いて「会社経営者・自営業者」(34%)、「専業主婦」(32%)であった。

図表 85 現在、町内会活動を中心的に担っている人



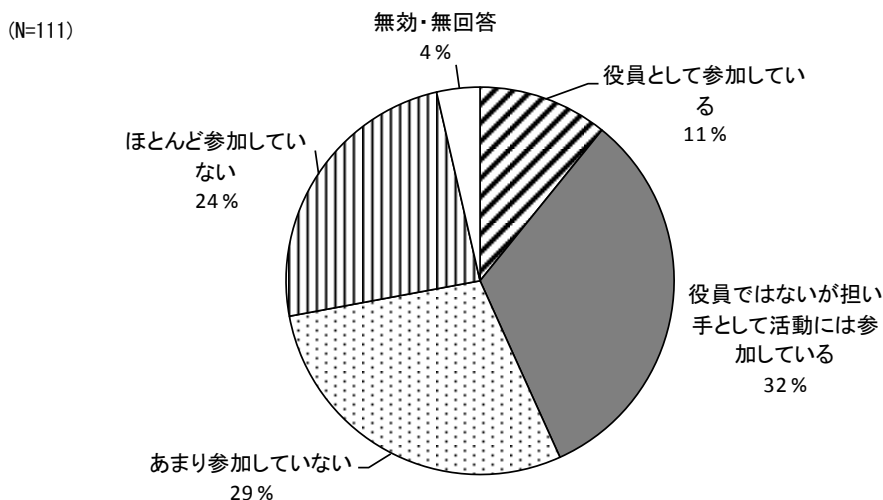


## (2) 子育て世代等の若い住民の参加状況

問 18 貴連合町内会では、子育て世代等の若い住民が活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 子育て世代等の若い住民の参加状況をみると、「役員ではないが担い手として活動には参加している」が最も多く（32%）、続いて「あまり参加していない」（29%）、「ほとんど参加していない」（24%）であった。

図表 86 子育て世代等の若い住民の参加状況

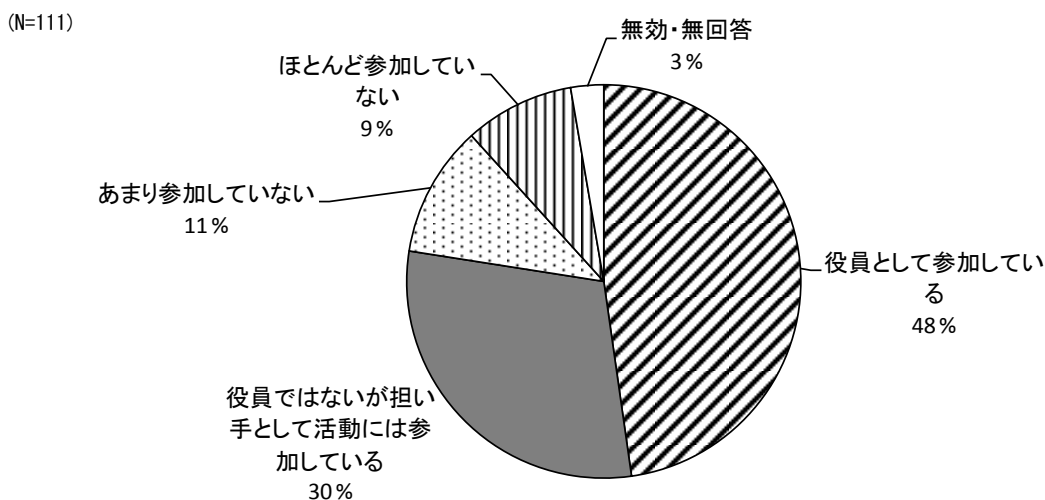


## (3) 女性の参加状況

問 19 貴連合町内会では、女性が活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 女性の参加状況をみると、「役員として参加している」が最も多く（48%）、続いて「役員ではないが担い手として活動には参加している」（30%）、「あまり参加していない」（11%）であった。

図表 87 女性の参加状況

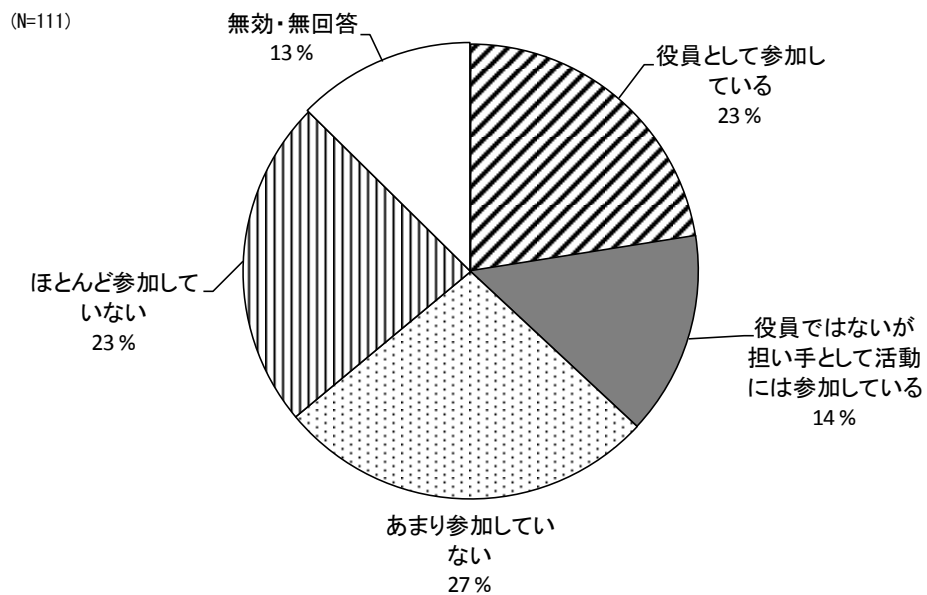


#### (4) 集合住宅の住民の参加状況

問 20 集合住宅の住民は、活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 集合住宅の住民の参加状況を見ると、「あまり参加していない」が最も多く（27%）、続いて「ほとんど参加していない」、「役員として参加している」（ともに 23%）であった。

図表 88 集合住宅の住民の参加状況

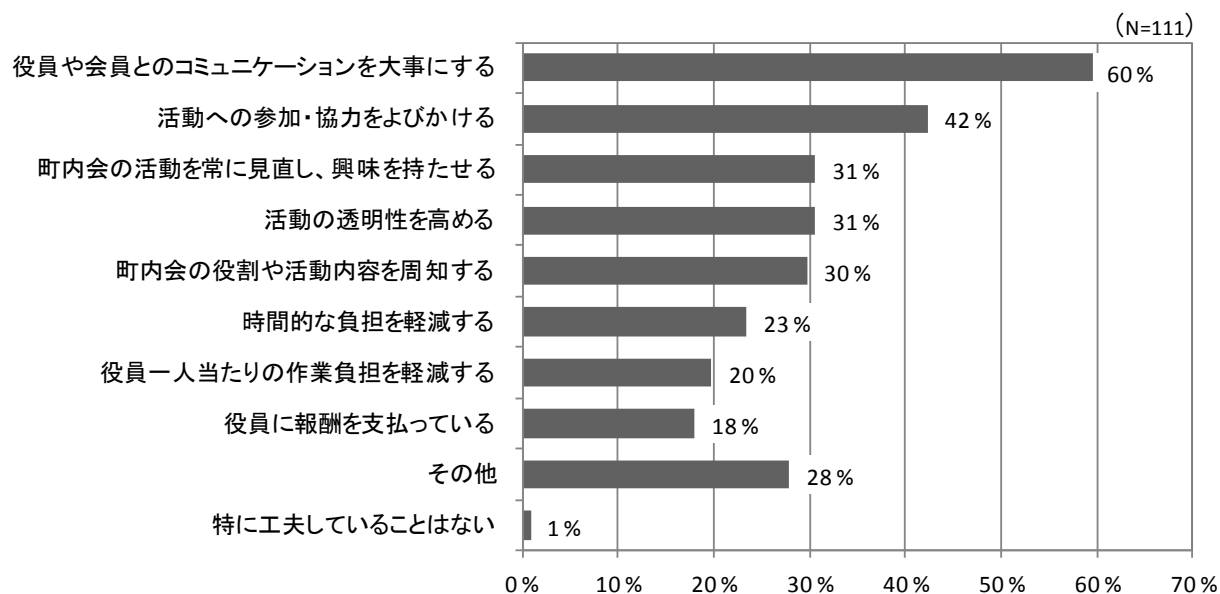


## (5) 役員の成り手を確保するための工夫

問 21 役員の成り手を確保するため、どのような工夫をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 役員の成り手を確保するための工夫をみると、「役員や会員とのコミュニケーションを大事にする」が最も多く（60%）、続いて「活動への参加・協力をよびかける」（42%）、「町内会の活動を常に見直し、興味を持たせる」、「活動の透明性を高める」、（ともに 31%）であった。

図表 89 役員の成り手を確保するための工夫

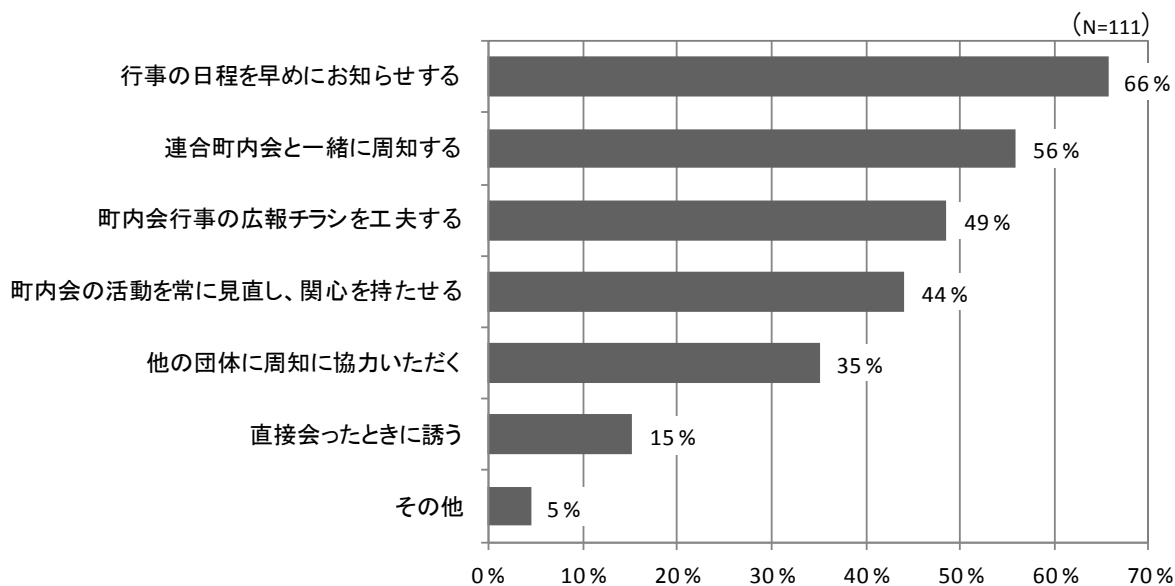


## (6) 町内会の行事の参加者を増やすための工夫

問 22 町内会の行事の参加者を増やすため、どのような工夫をしていますか(あてはまるものすべてに○)

- 町内会の行事の参加者を増やすための工夫をみると、「行事の日程を早めにお知らせする」が最も多く(66%)、続いて「連合町内会と一緒に周知する」(56%)、「町内会行事の広報チラシを工夫する」(49%)であった。

図表 90 町内会の行事の参加者を増やすための工夫



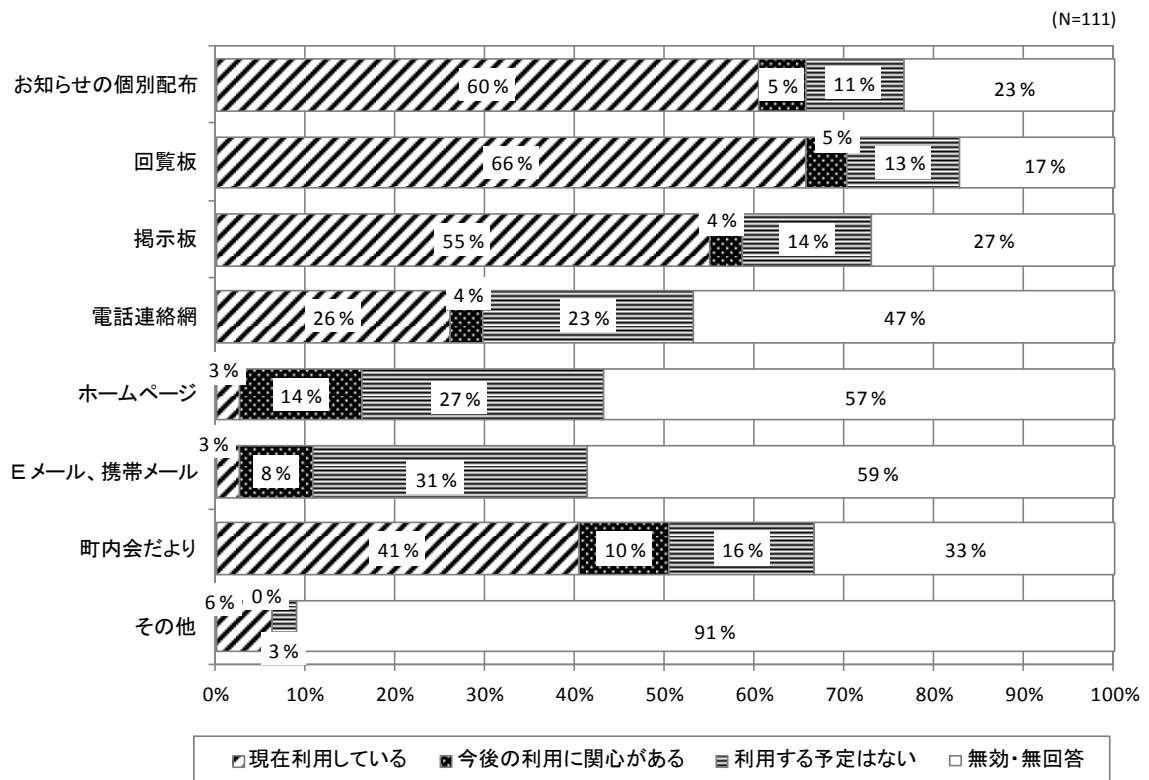
## 5. 連合町内会の広報活動について

### (1) 活動の主な伝達手段・広報手法

問 23 現在利用されている活動の伝達手段、広報手法は主にどのようなものを使っていますか(それぞれ、あてはまるものに○)

- ・ 現在利用している活動の伝達手段・広報手法をみると、「回覧板」が最も多く（66%）、続いて「お知らせの個別配布」（60%）、「掲示板」（55%）であった。
- ・ 今後の利用に関心がある伝達手段、広報手法では、「ホームページ」が最も多く（14%）、続いて「町内会だより」（10%）、「Eメール、携帯メール」（8%）であった。
- ・ 利用する予定はない伝達手段、広報手法では、「Eメール、携帯メール」が最も多く（31%）、続いて「ホームページ」（27%）、「電話連絡網」（23%）であった。

図表 91 活動の主な伝達手段・広報手法

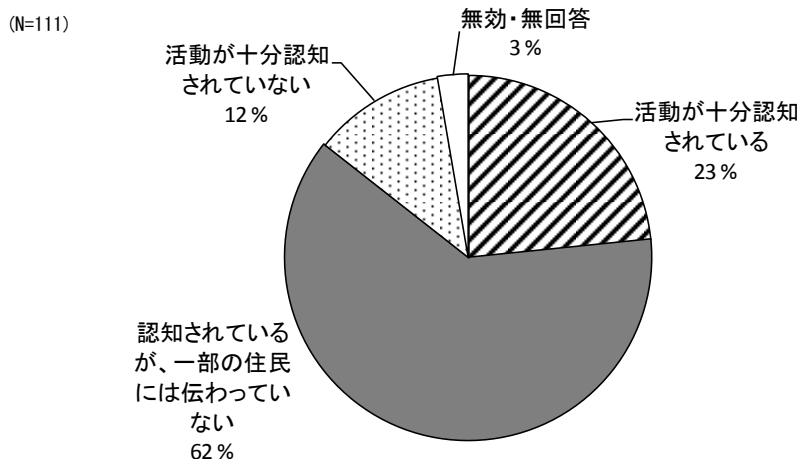


## (2) 町内会で実施している活動の認知度

問 24 貴連合町内会で実施されている活動は、住民の方に十分認知されていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 町内会で実施している活動の認知度をみると、「認知されているが、一部の住民には伝わっていない」が最も多く（62%）、続いて「活動が十分認知されている」（23%）、「活動が十分認知されていない」（12%）であった。

図表 92 町内会で実施されている活動の認知度

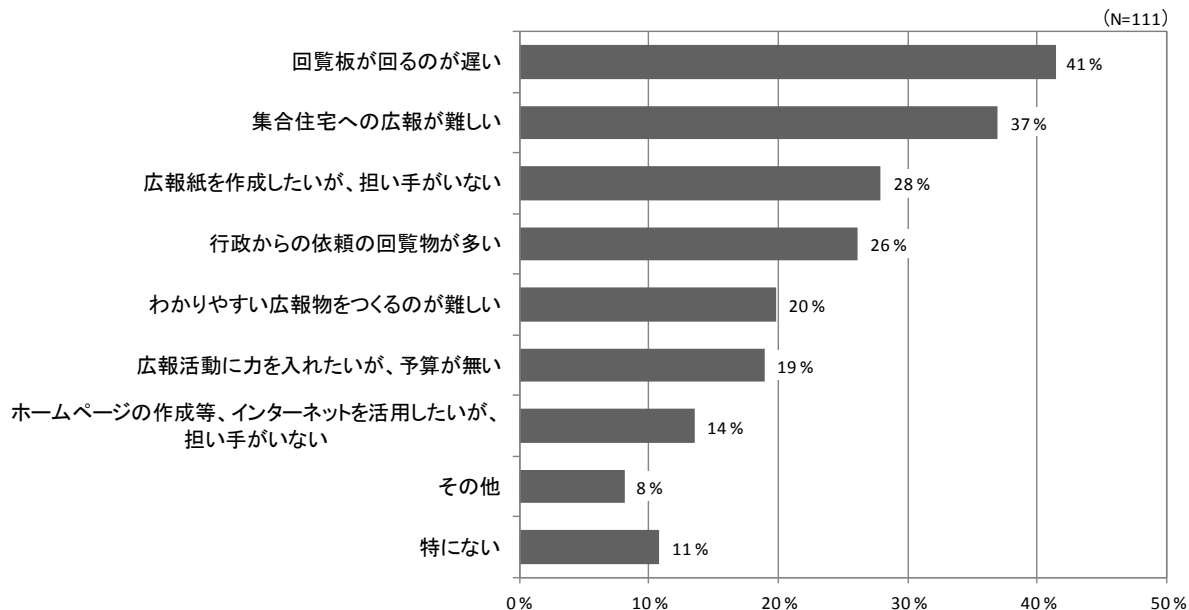


## (3) 町内会の伝達手段や広報活動についての課題

問 25 連合町内会の伝達手段や広報活動についてどのような課題がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 町内会の伝達手段や広報活動についての課題をみると、「回覧板が回るのが遅い」が最も多く（41%）、続いて「集合住宅への広報が難しい」（37%）、「広報紙を作成したいが、担い手がない」（28%）であった。

図表 93 町内会の伝達手段や広報活動についての課題



## 6. 連合町内会の活動拠点について

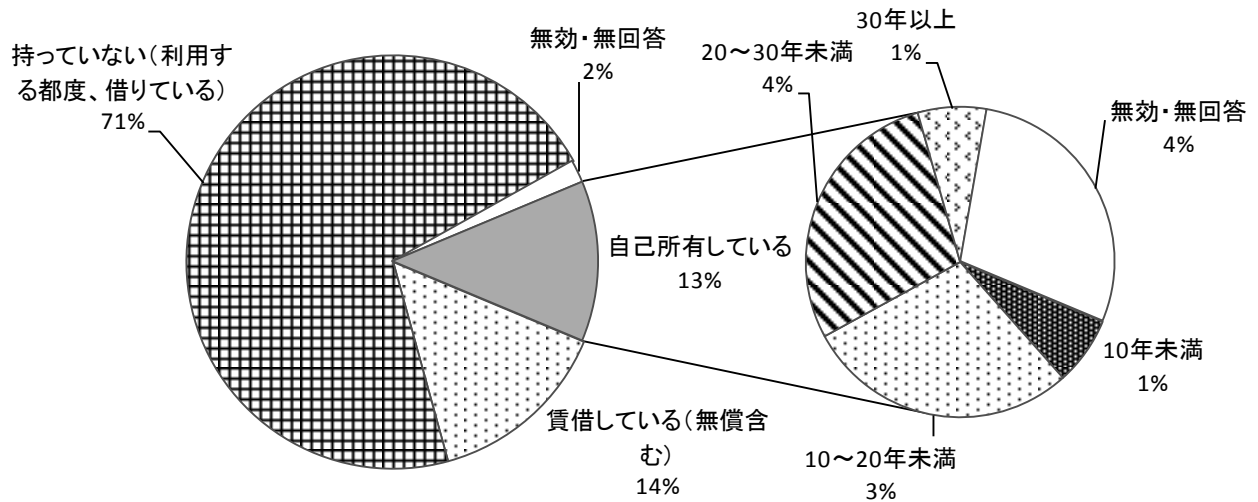
### (1) 集会所・集会室の所有状況と築年数

問 26 貴連合町内会では、集会所・集会室をおもちですか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 町内会で、集会所・集会室の所有状況を見ると、「持っていない(利用する都度、借りている)」が最も多く(71%)、続いて「賃借している(無償含む)」(14%)、「自己所有している」(13%)であった。
- ・ 所有している集会所・集会室の築年数については、サンプル数が少ないため、参考数値であるが、「20年～30年未満」、「10年～20年未満」が多くなっている。

・ 図表 94 集会所・集会室の所有状況と築年数

(N=111)

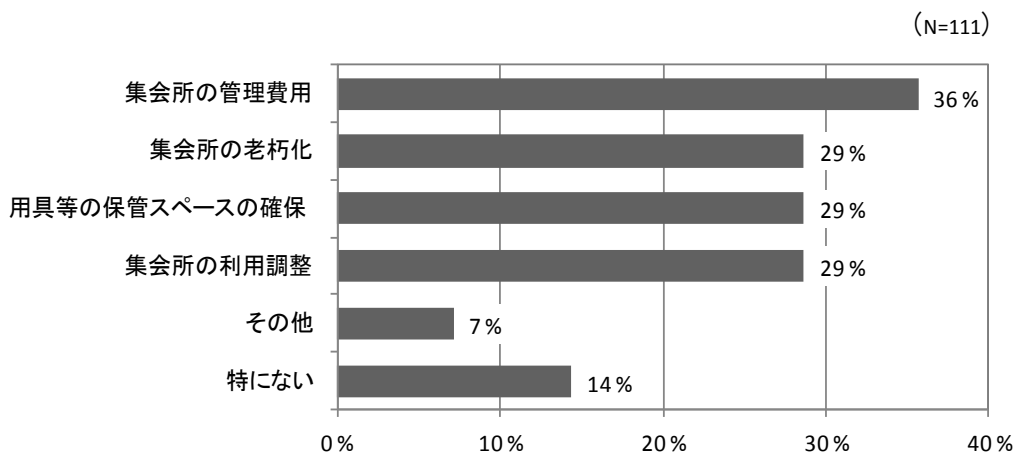


## (2) 集会所を所有することの課題

問 27 問 26 で「1. 自己所有している」とされた方にお聞きます。集会所を所有することの課題について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 集会所を所有することの課題をみると、「集会所の管理費用」が最も多く（36%）、続いて「集会所の老朽化」、「用具等の保管スペースの確保」、「集会所の利用調整」がともに（29%）であった。

図表 95 集会所を所有することの課題



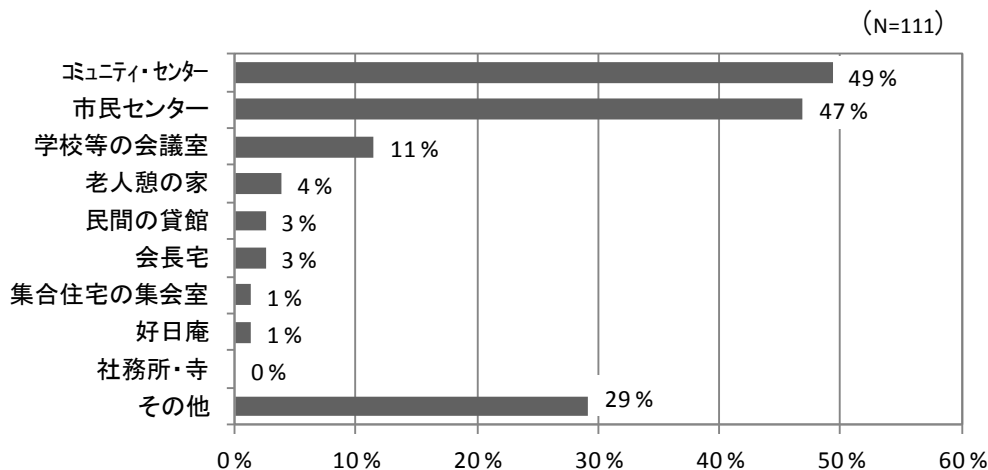
## (3) 役員会等の町内会の会合の主な場所

問 28 問 26 で「3. 持っていない」とされた方にお聞きます。

(1) 役員会等の町内会の会合は、主にどこで行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 役員会等の町内会の会合の主な場所をみると、「コミュニティ・センター」が最も多く（49%）、続いて「市民センター」（47%）、「その他」（29%）であった。

図表 96 役員会等の町内会の会合の主な場所





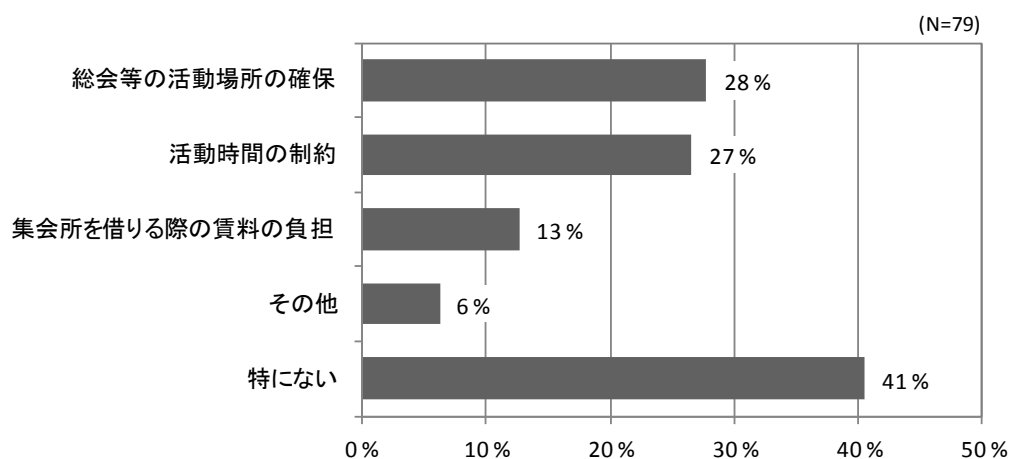
#### (4) 集会所を持っていないことによる課題

問 28 問 26 で「3. 持っていない」とされた方にお聞きます。

(2)集会所を持っていないことでどのような課題がございますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 集会所を持っていないことによる課題をみると、「特にない」が最も多く（41%）、続いて「総会等の活動場所の確保」（28%）、「活動時間の制約」（27%）であった。

図表 97 集会所を持っていないことによる課題



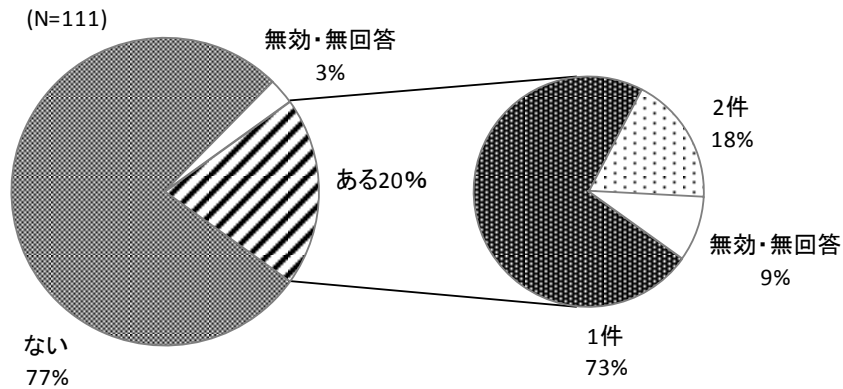
## 7. 単位町内会の解散状況について

### (1) 解散したい旨の相談を受けたことがあるか

問 29 過去5年の内、区域内の単位町内会から解散したい旨の相談を受けたことがありますか。

- 解散したい旨の相談を受けたことがあるかをみると、「ない」が最も多く（77%）、続いて「ある」（20%）であった。

図表 98 過去5年の内、単位町内会から解散したい旨の相談を受けたことがあるか



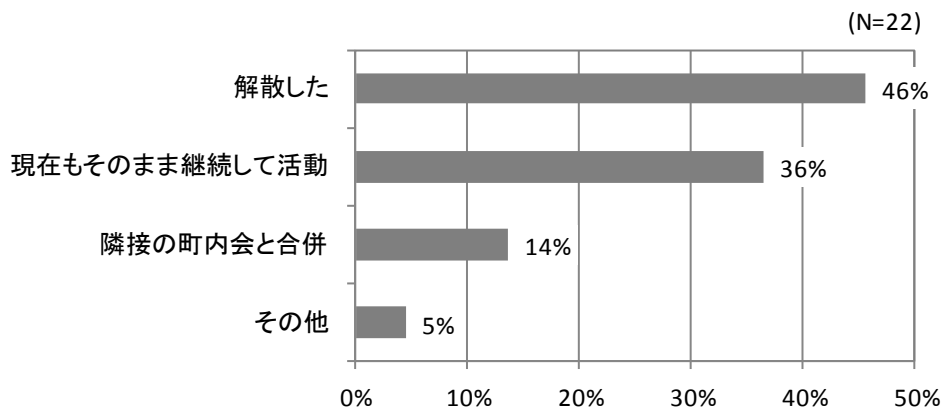
### (2) 解散したい旨の相談があった単位町内会のその後の状況

問 30 問 29 で「1. ある」とされた方にお聞きます。

(2) 相談があった単位町内会のその後の状況について、お聞かせください(あてはまるものすべてに○)

- 相談があった単位町内会のその後の状況をみると、「解散した」が最も多く（46%）、続いて「現在もそのまま継続して活動」（36%）、「隣接の町内会と合併」（14%）であった。

図表 99 相談があった単位町内会のその後の状況



### (3) 解散した理由

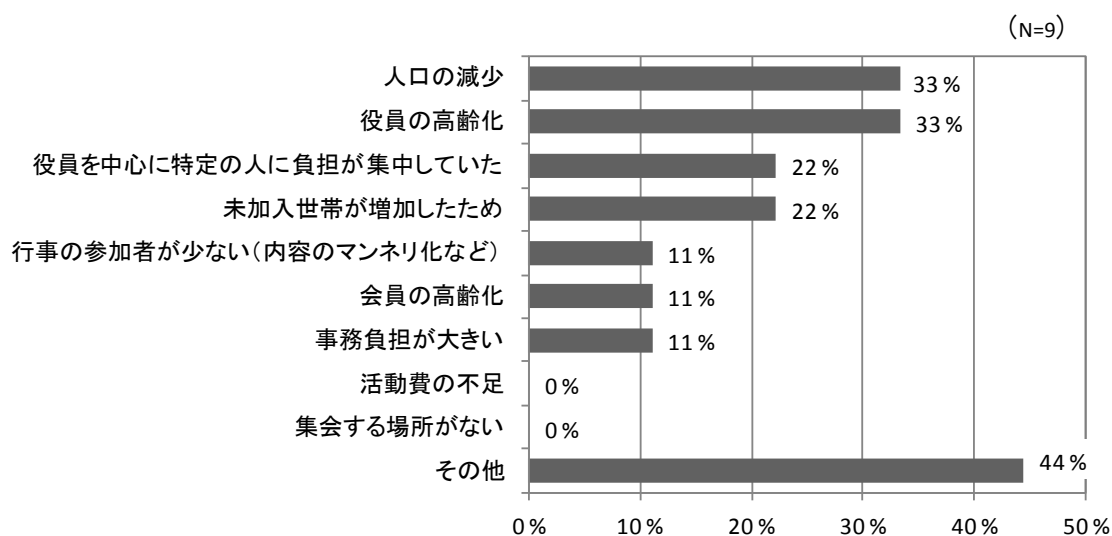
問 30 問 29 で「1. ある」とされた方にお聞きます。

(3) (2)で「3. 解散した」とされた方にお聞きます。単位町内会が解散した理由についてご記入ください。

(主にあてはまるもの3つまで○)

- 解散した理由をみると、「その他」を除くと、「人口の減少」、「役員の高齢化」が最も多く（ともに 33%）、続いて「役員を中心に特定の人に負担が集中していた」、「未加入世帯が増加したため」、（ともに 22%）であった。

図表 100 単位町内会が解散した理由



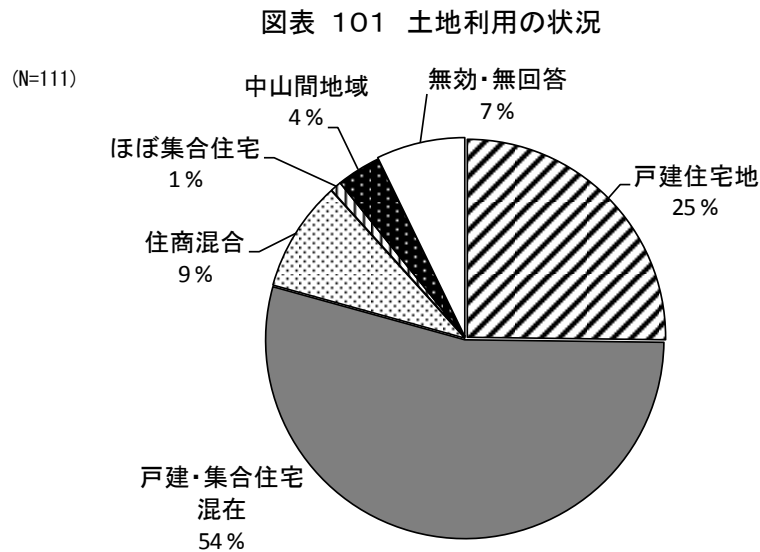
## 8. 連合町内会の活動エリアについての印象

### (1) 地域の概況について

問 31 地域の概況について教えてください(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

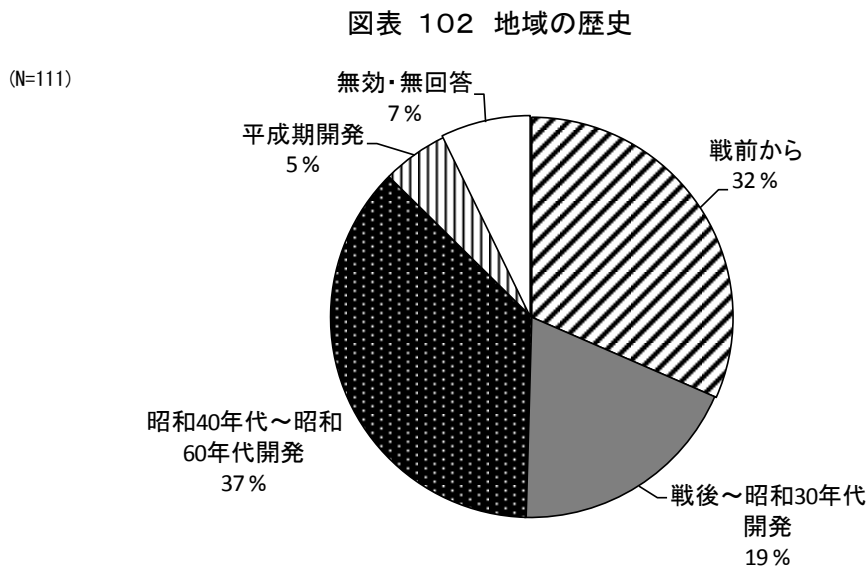
#### A. 土地利用の状況

- ・ 土地利用の状況についてみると、「戸建・集合住宅混在」が最も多く（54%）、続いて「戸建住宅地」（25%）、「住商混合」（9%）であった。



#### B. 地域の歴史

- ・ 地域の歴史をみると、「昭和40年代～昭和60年代開発」が最も多く（37%）、続いて「戦前から」（32%）、「戦後～昭和30年代開発」（19%）であった。

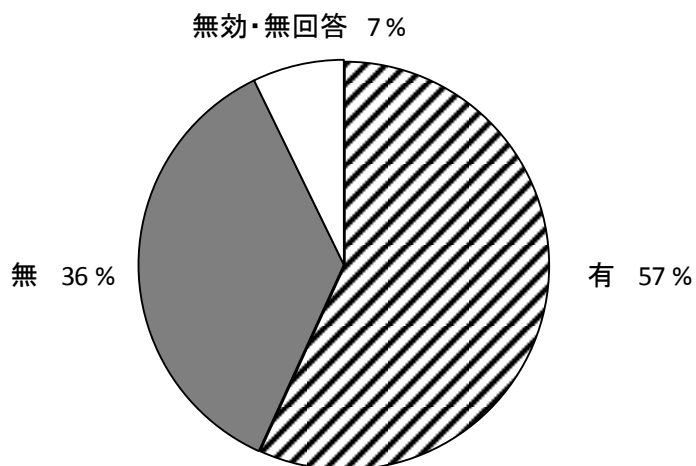


C. 商店街の有無

- ・ 商店街の有無をみると、「有」が過半数を占めていた（57%）。

図表 103 商店街の有無

(N=111)

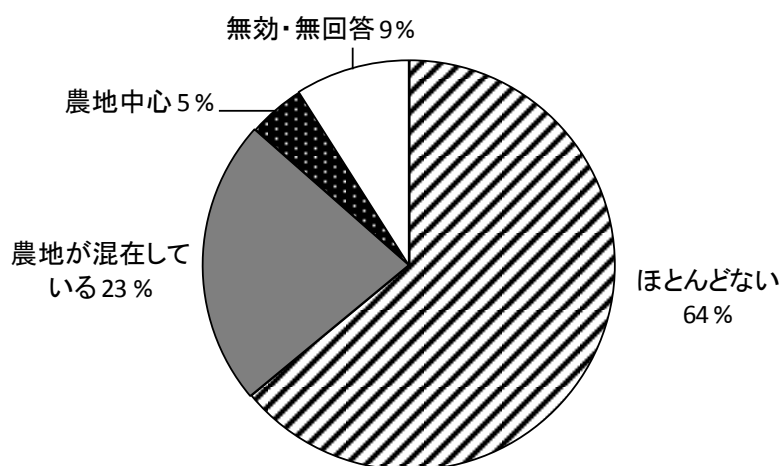


D. 農地の有無

- ・ 農地の有無をみると、無効・無回答を除くと、「ほとんどない」が最も多く（64%）、続いて「農地が混在している」（23%）、「農地中心」（5%）であった。

図表 104 農地の有無

(N=111)



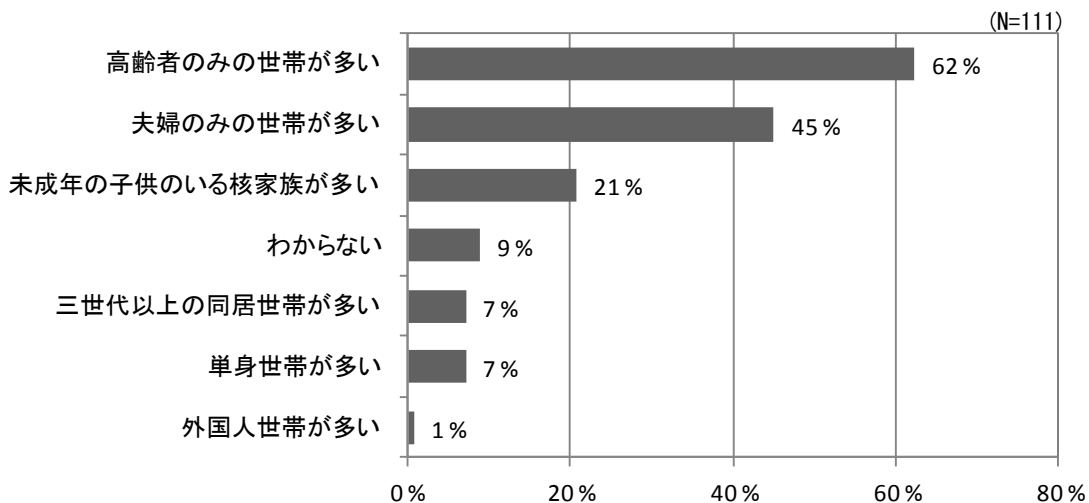
## (2) 地域住民の世帯構成の特徴

問 32 地域住民の特徴についてお教えてください。

世帯構成(主にあてはまるもの2つに○)

- ・ 地域住民の特徴をみると、「高齢者のみの世帯が多い」が最も多く（62%）、続いて「夫婦のみの世帯が多い」（45%）、「未成年の子供のいる核家族が多い」（21%）であった。

図表 105 住民の世帯構成の特徴



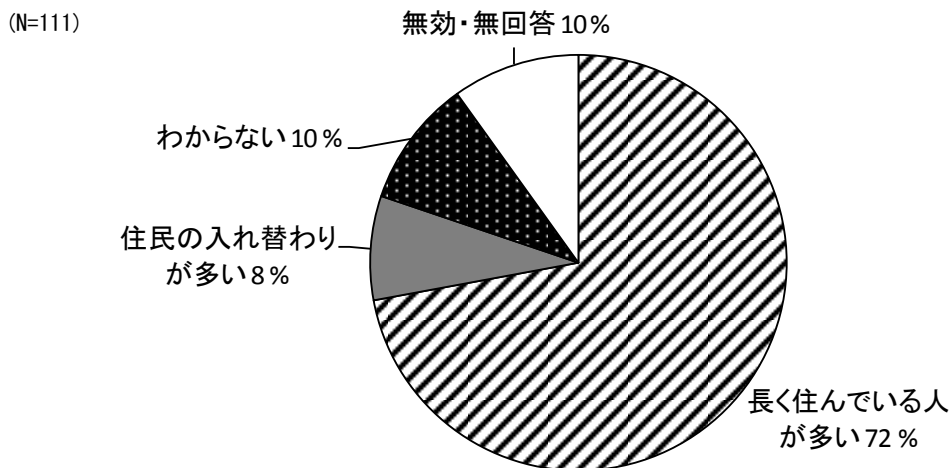
## (3) 地域住民の居住年数の特徴

問 32 地域住民の特徴についてお教えてください。

住民の居住年数の特徴(あてはまるもの1つに○)

- ・ 住民の居住年数の特徴をみると、「長く住んでいる人が多い」が7割以上を占めており（72%）、「住民の入れ替わりが多い」は1割未満（8%）であった。

図表 106 住民の居住年数の特徴



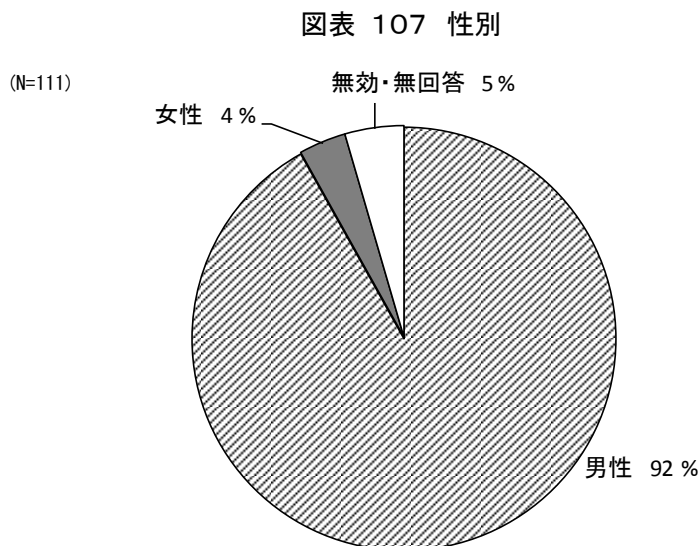
## 9. 回答者属性

### (1) 会長自身について

問 33 会長様ご自身についておたずねします。(それぞれ、あてはまるものに○)

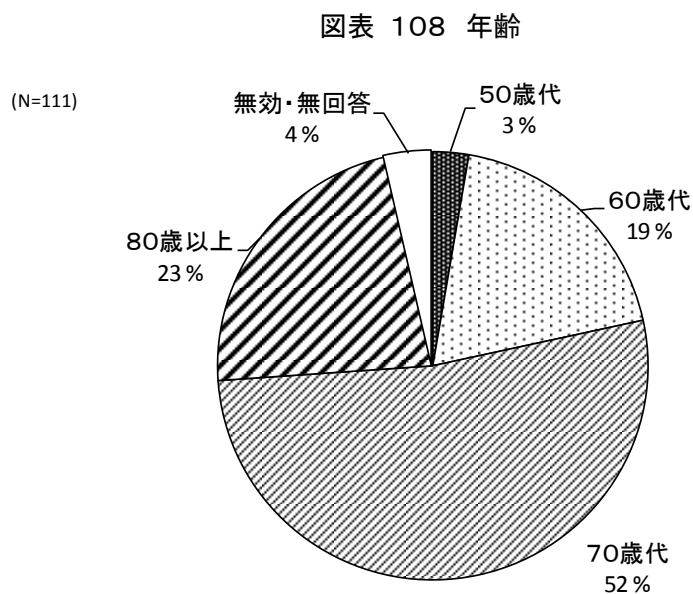
#### A. 性別

- 性別をみると、「男性」が約9割を占めていた(92%)。



#### B. 年齢

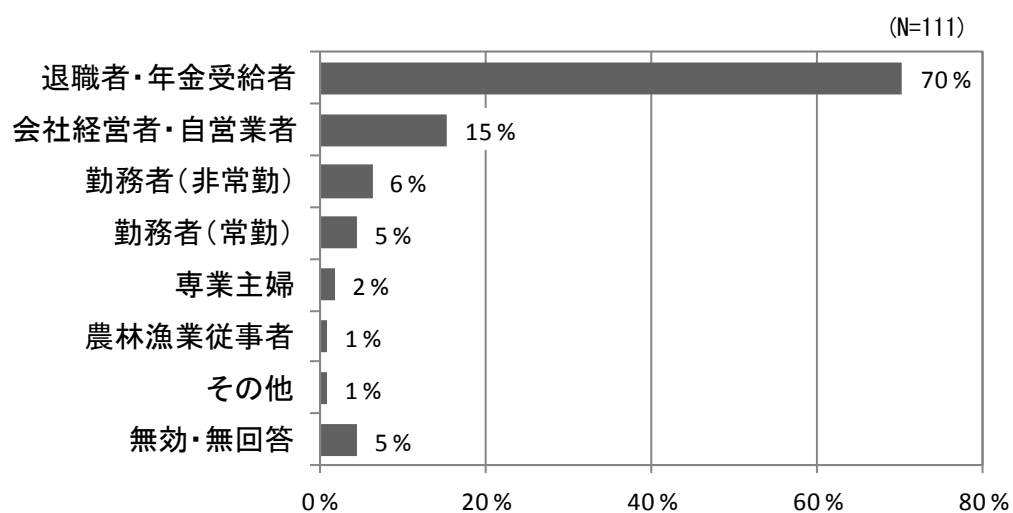
- 年齢をみると、「70歳代」が最も多く(52%)、続いて「80歳以上」(23%)、「60歳代」(19%)であった。



### C. 職業

- ・ 職業をみると、「退職者・年金受給者」が最も多く（70%）、続いて「会社経営者・自営業者」（15%）、「勤務者（非常勤）」（6%）であった。

図表 109 職業

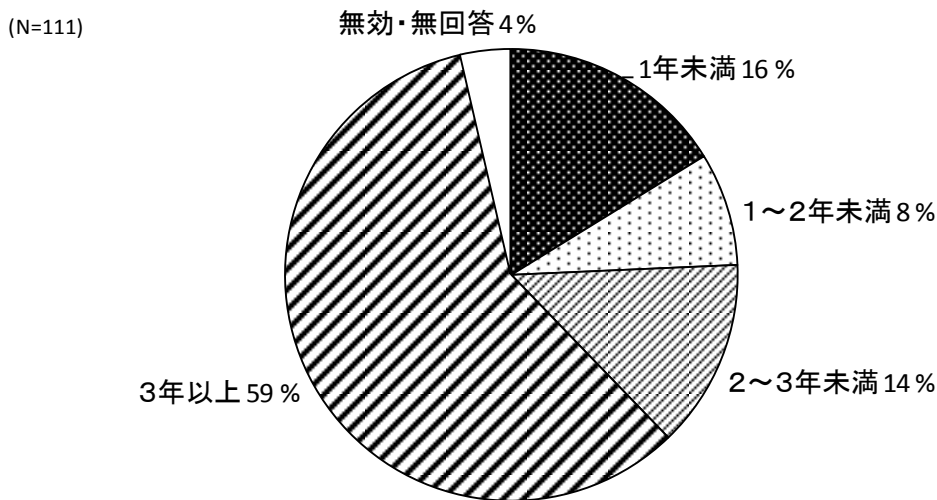




D. 会長に就任してからの年数

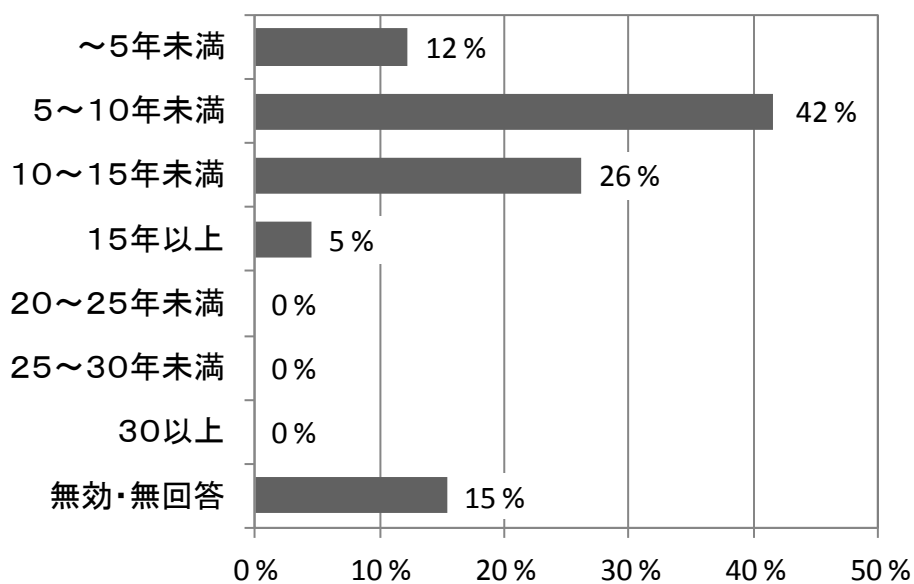
- ・ 会長に就任してからの年数を見ると、「3年以上」が過半数を占めており（59%）、続いて「1年未満」（16%）、「2～3年未満」（14%）であった。

図表 110 会長に就任してからの年数



※3年以上の内訳

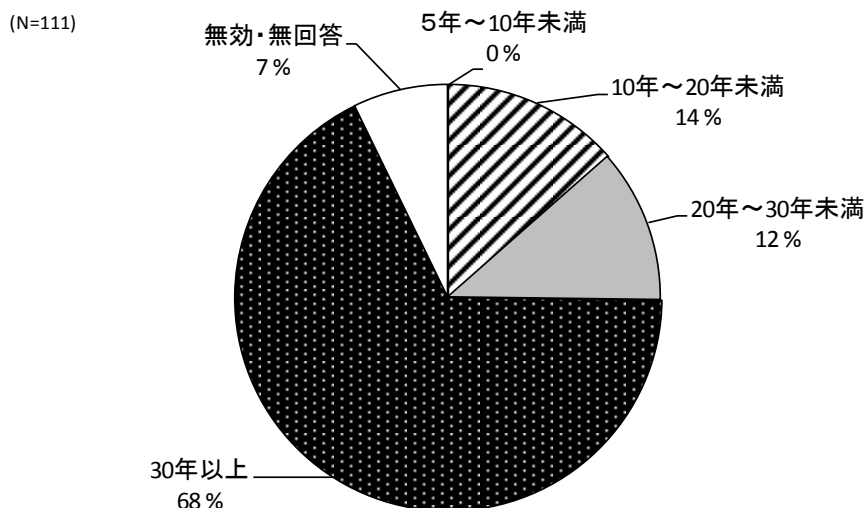
(N=65)



E. 居住年数

- ・ 居住年数をみると、「30年以上」が最も多く（68%）、続いて「10年～20年未満」（14%）、「20年～30年未満」（12%）であった。

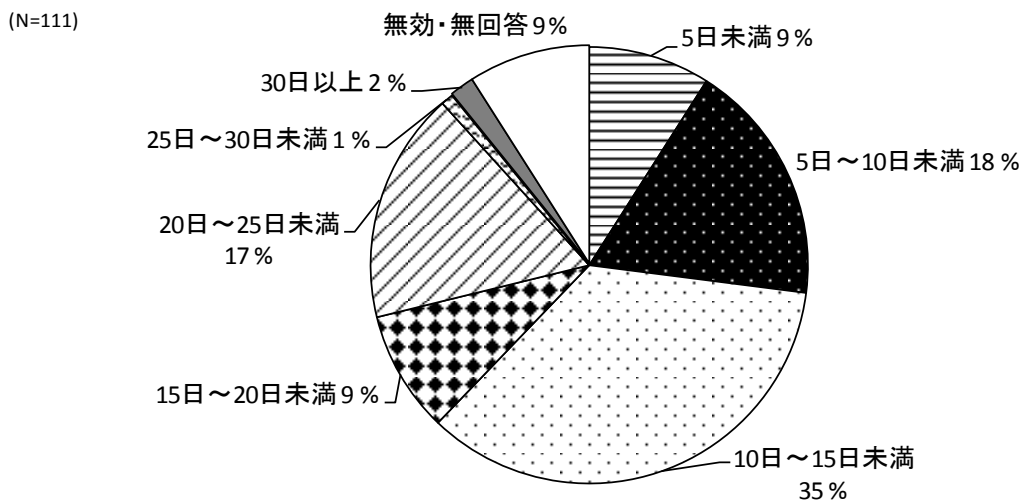
図表 111 居住年数



F. 1ヶ月平均の町内会業務従事日数

- ・ 1ヶ月平均の町内会業務従事日数をみると、「10日～15日未満」が最も多く（35%）、続いて「5日～10日未満」（18%）、「20日～25日未満」（17%）であった。

図表 112 1ヶ月平均の町内会業務従事日数

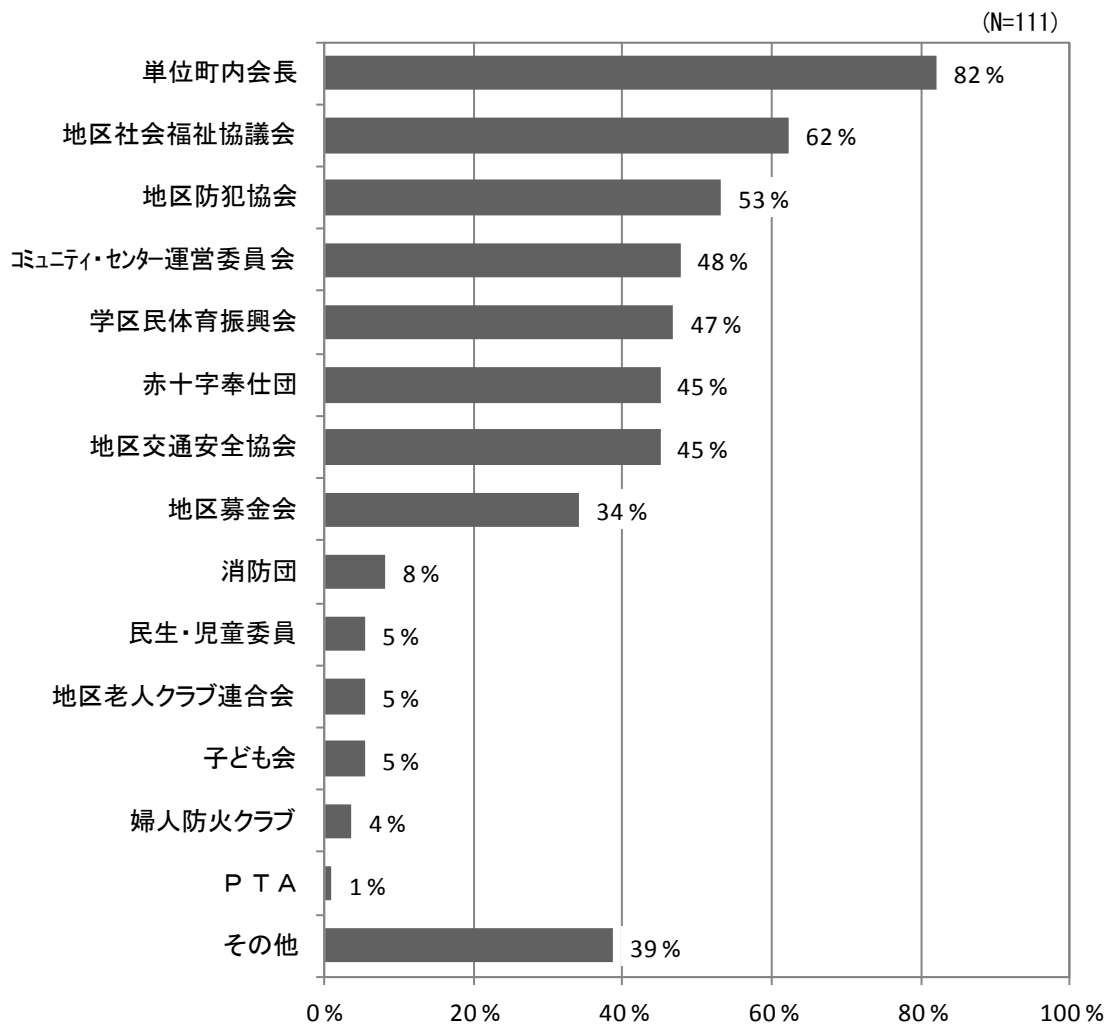


(注釈) 期間にて記入された回答については、中間値に換算して集計した（例えば3～5日と記入されている場合は4日に換算）。

G. 連合町内会長以外に引き受けている地域団体等の役職・役員

- 連合町内会長以外に引き受けている地域団体等の役職・役員をみると「単位町内会長」が最も多く（82%）、続いて「地区社会福祉協議会」（62%）、「地区防犯協会」（53%）であった。

図表 113 連合町内会長以外に引き受けている地域団体等の役職・役員



## 10. 自由記述

### 地域活動について

- ・住み良い地域社会をつくるのにはどうしたらよいか。あらゆる機会を通じて町内会員に問いかけをしていますが、会員の皆様の理解、協力以外にないと感じ、今後も活動を通じて実行して行きたいと存じます。
- ・会員の高齢化が問題です。このままあと 20 年も経ったら町内会活動は続行不能となる気がします。なんとかして若い人達が住む町にしたいと考えております。
- ・(地域にマンション等集合住宅の増加により) 町内会への関心が極めて低く、活動の担い手も少なくなっていると感じます。

### 連携事業について

- ・学区内の学校との連携を深める活動をしています。子供達に対しては、地元の一員としての自覚と責任を担い地元への愛着と自信を持ってもらう為に地域全体が温かく見守り地域の一人一人が認識を持って子ども達を育み成長させる環境づくりに努力したいと思います。
- ・地域内には色々な地域諸団体があるが、団体の数が多すぎ、それが関係者を忙しくし、なり手がなくなる原因のひとつと考えます。団体の整理も必要ではないかと思えます。

### 単位町内会について

- ・最近の傾向として集合住宅は会長 1 年交代が多くなり、意識格差も大きく、輪番制で選出される方も多くなり、年を重ねる毎に段々と連合町内会をまとめて行くことが困難な状況になってきている。
- ・町内会毎、活動への取り組みに温度差が生じているように思います。
- ・各単位町内会長は単年度や 1 年から 2 年の任期では仕事の内容を知るだけで任期が満了してしまいます。単位会長は地域の代表者として貢献して行くからには少なくとも 3~5 年は必要と考えます。
- ・単位町内会の結成年代が違うため、町内会の年齢構成も様々で考え方も違い、全体的に町内会をまとめるのに苦慮しております。
- ・地域の活性化は、各単位町内会が活性化することと考えます。連合町内会は、単位町内会へのサポートする役目が大切です。ただし、連合会主催の行事活動もいくつかは必要です。防災、防犯関係については地域行事を一括して対応していきたいと思えます。
- ・各単位町内会のまちづくり活動にばらつきがあるため、今後は実績発表会等を開催し、ばらつきを少なくしていきたいと思えます。

### 震災後の取り組み

- ・当地区は単位町内会の何れも活動が活発で、合同で行事を実施することがありませんでしたが、震災以降、市の避難所運営マニュアル作りを手掛けてから地域団体、学校、行政と協力連携を十分に図られてくるようになりました。
- ・当地区では災害の時の被害が少なかった為、防災の意識が低いので対応が必要と考えております。

## 行政への要望

- ・単位町内会の会長が1年で交代する状況が増える傾向にありますので、いろいろな事項を周知徹底させるためにも調査依頼や各種案内等につきましては、早目早目に連絡をお願いしたい。
- ・連合町内会主体で「まちづくり協議会」を作って活動しようとしています。行政も助成金だけでなく、ノウハウの提供など様々な支援を行って欲しい。
- ・行政、他団体、連合上部団体の業務対応が多く時間的に厳しいものがあります。行政及び行政に絡む団体は、連携を深め会合等の日程は少なくすることを望みます。
- ・集合住宅建設時には行政はオーナーに町内会への入会をきっちりと働きかけて欲しいです。

### III. 地域別市民意識調査

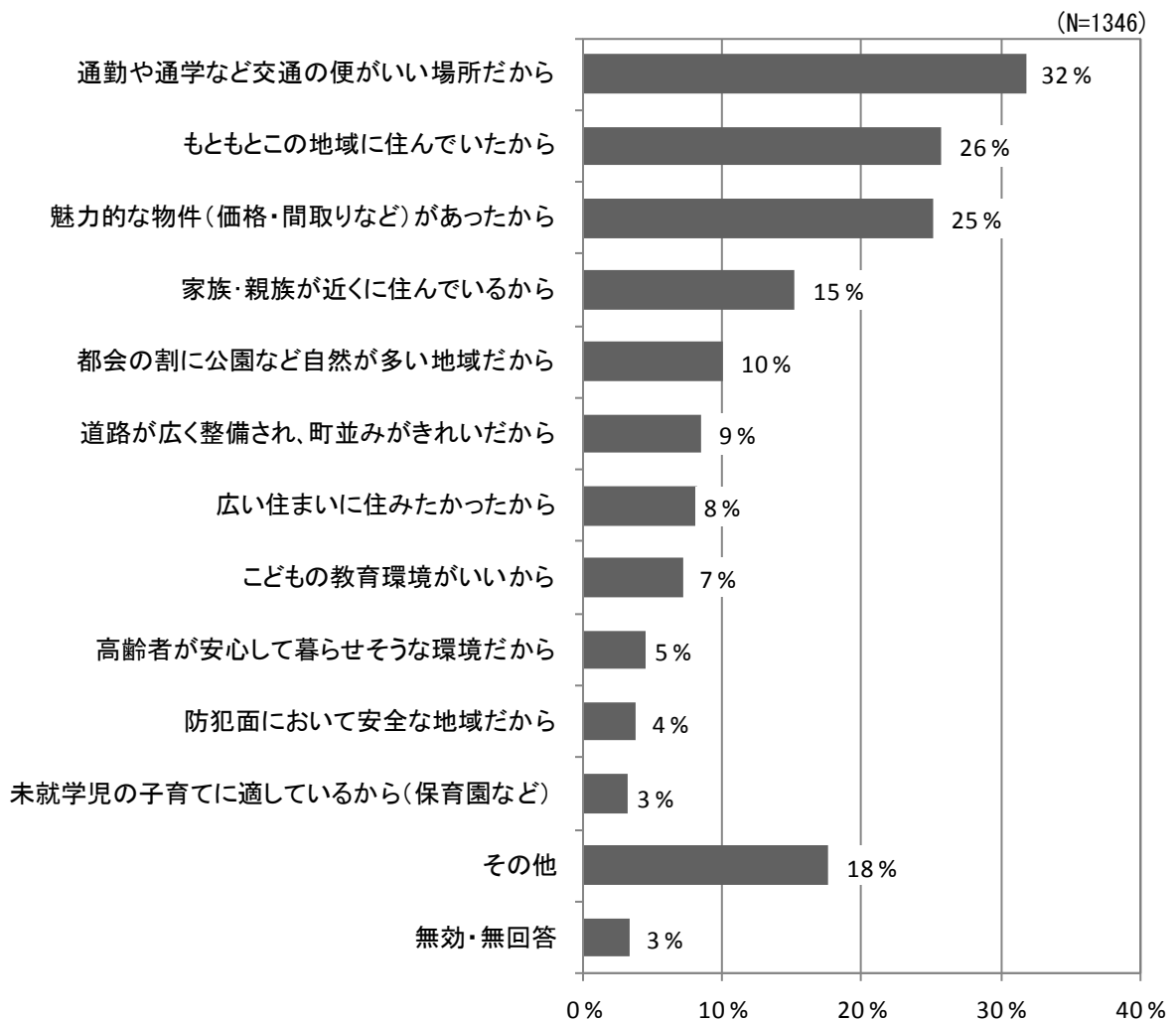
#### 1. お住まいの地域に対する評価について

##### (1) 地域に住むことになったきっかけ

問1 この地域に、住むことになったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 地域に住むことになったきっかけをみると、「通勤や通学など交通の便がいい場所だから」(32%)が最も多く、「もともこの地域に住んでいたから」(26%)、「魅力的な物件(価格・間取りなど)があったから」(25%)の順であった。

図表 114 住むことになったきっかけ



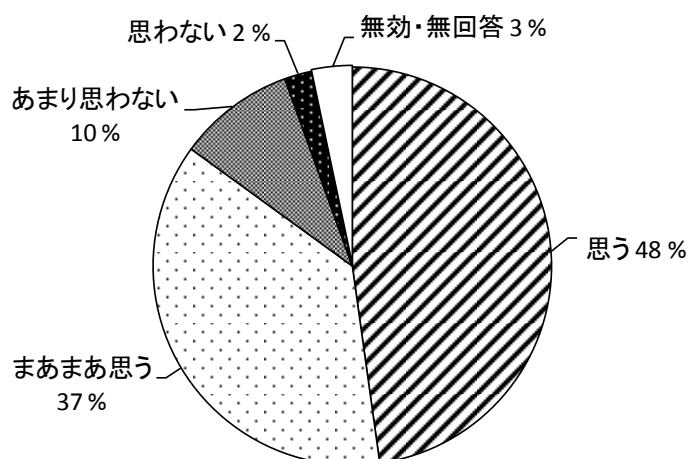
## (2) 地域に住み続けたいと思うか

問 2 この地域に、住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 地域に住み続けたいかについては、「思う」(48%)が最も多く、「まあまあ思う」(37%)が次いでいる。
- ・ 「思う」「まあまあ思う」の合計は85%に達するなど、8割以上の住民が地域に居住継続意向を示している。

図表 115 地域に住み続けたいと思うか

(N=1346)

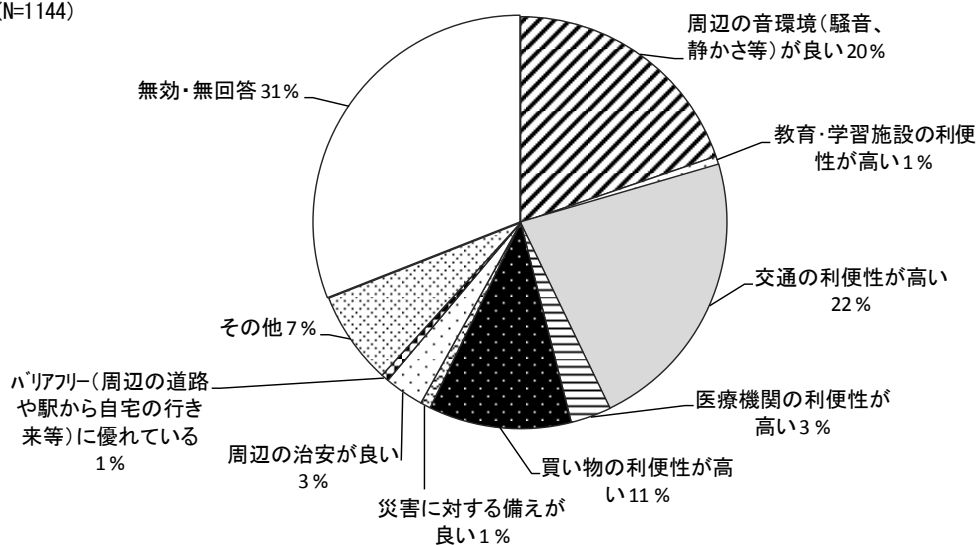


問 3 住み続けたいと思う主な理由をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 居住継続意向を示す回答者に対して、住み続けたいと思う主な理由について聞いたところ、「交通の利便性が高い」(22%)が最も多く、「周辺の音環境(騒音、静かさ等)が良い」(20%)、「買物の利便性が高い」(11%)の順が続いている。

図表 116 住み続けたいと思う主な理由

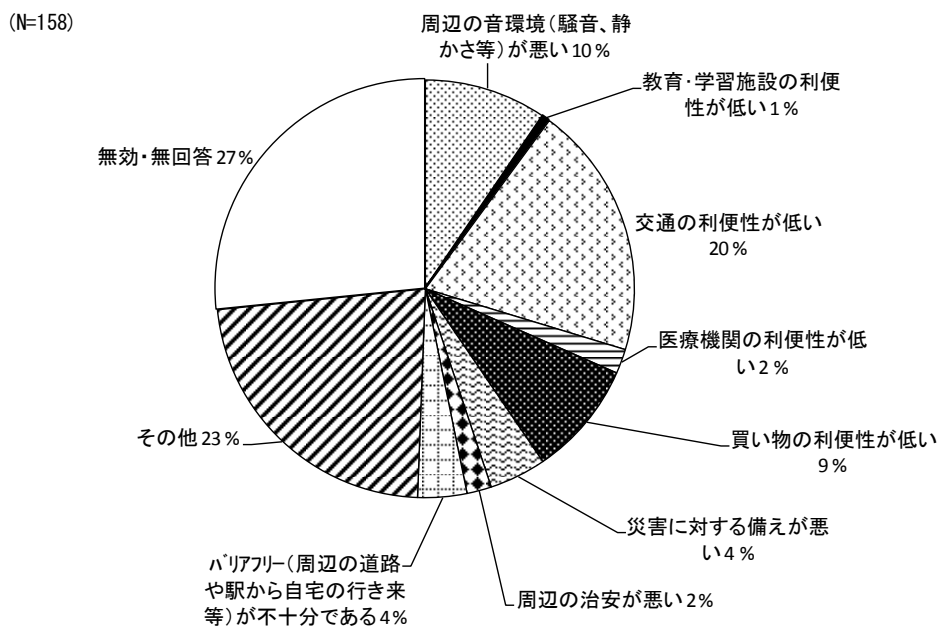
(N=1144)



問 4 住み続けたいと思わない主な理由をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 居住継続意向がない方に対して住み続けたいと思わない理由を聞いたところ、「その他」(23%)を除くと、「交通の利便性が低い」(20%)が最も多く、「周辺の音環境(騒音、静かさ等)が悪い」(10%)、「買物の利便性が低い」(9%)の順に続いている。

図表 117 住み続けたいと思わない主な理由





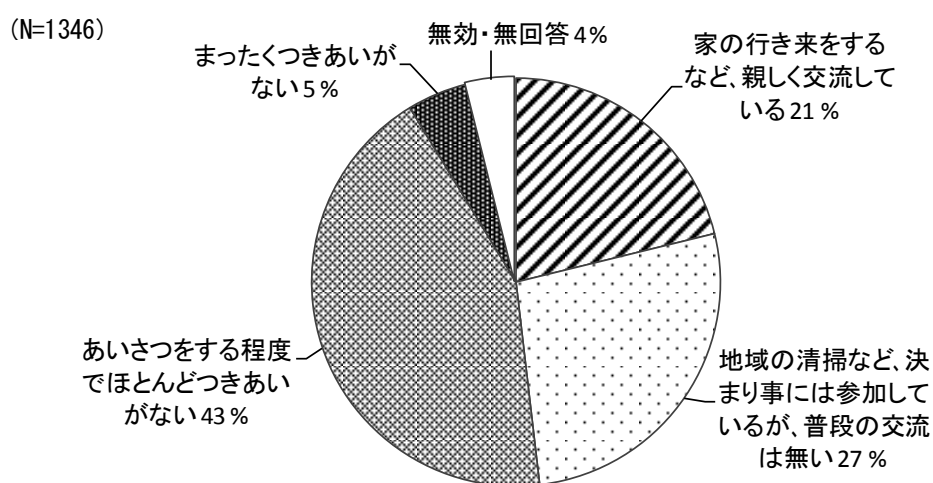
## 2. ご近所づきあいについて

### (1) ご近所づきあいは、どの程度しているか

問 5 ご近所付き合いは、どの程度していますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ ご近所づきあいの程度をみると、「あいさつをする程度でほとんどつきあいが無い」(43%)が最も多く、続いて「地域の清掃など、決まり事には参加しているが、普段の交流は無い」(27%)、「家の行き来をするなど、親しく交流している」(21%)の順であった。
- ・ 全体の約半数程度の住民は、一定のご近所づきあいをしている結果となった。

図表 118 ご近所づきあいの程度

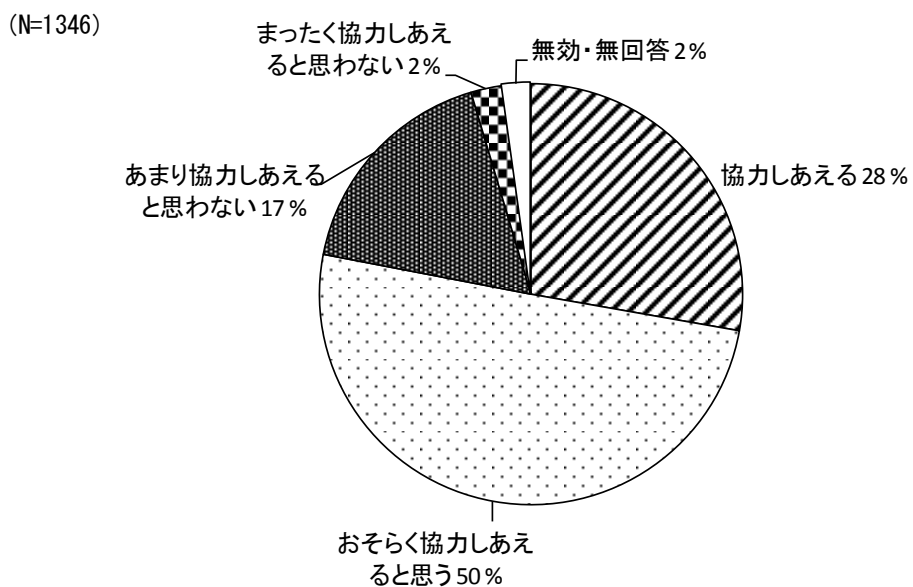


## (2) いざというときに近所の人と協力しあえると思うか

問 6 災害時など、いざというときに近所の人と協力しあえると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ いざというときに近所の人と協力しあえると思うかをみると、「おそらく協力しあえると思う」(50%)が最も多く、続いて「協力しあえる」(28%)、「あまり協力しあえると思わない」(17%)の順であった。
- ・ いざというときに(おそらく)協力しあえるとする住民は約8割という結果となった。

図表 119 いざというときに近所の人と協力しあえると思うか

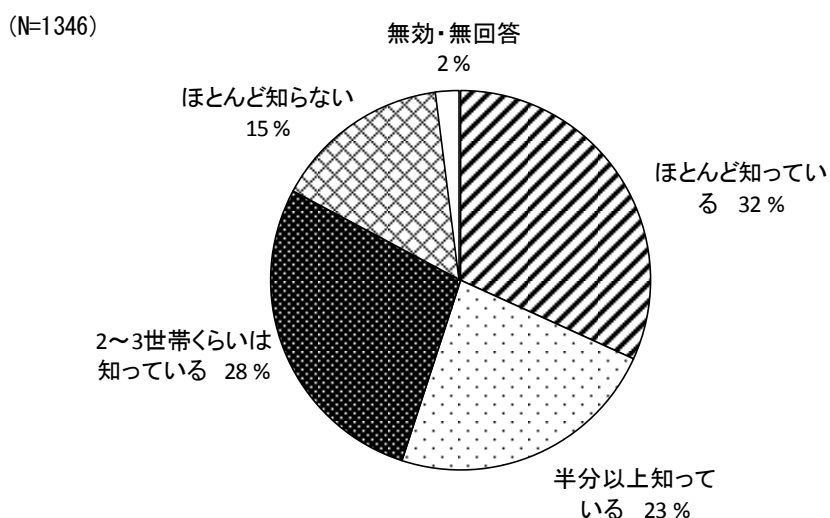


### (3) 最寄りの世帯にどんな方が住んでいるか知っているか

問7 あなたのお住まいの最寄りの10世帯くらい(向こう三軒両隣り、集合住宅の場合同じフロアの住民)に、どんな方が住んでいるか知っていますか(家族構成までを含む)。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 最寄りの世帯にどんな方が住んでいるか知っているかについては、「ほとんど知っている」(32%)が最も多く、続いて「2～3世帯くらいは知っている」(28%)、「半分以上知っている」(23%)の順であった。

図表 120 最寄りの世帯にどんな方が住んでいるか知っているか

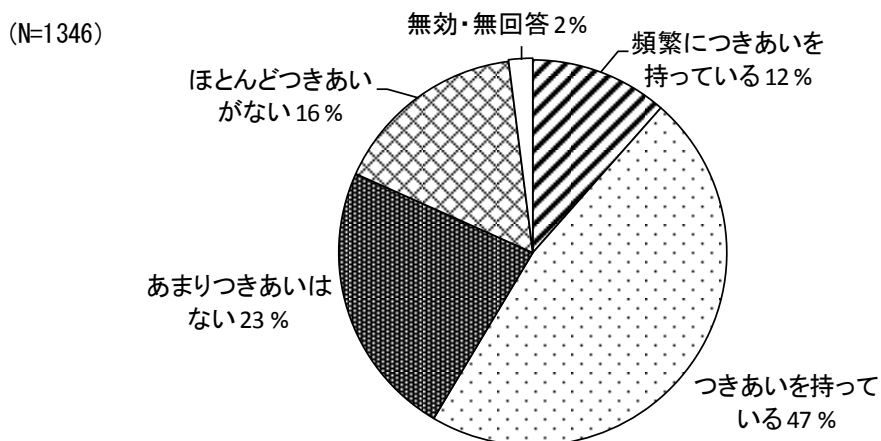


### (4) 色々な人とおつきあする機会はあるか

問8 あなたは、ご近所以外で、色々な人とおつきあする機会がありますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ ご近所以外でのつきあいの機会についてみると、「つきあいを持っている」(47%)と「頻繁につきあいを持っている」(12%)の合計は約6割であった。

図表 121 色々な人とおつきあする機会はあるか

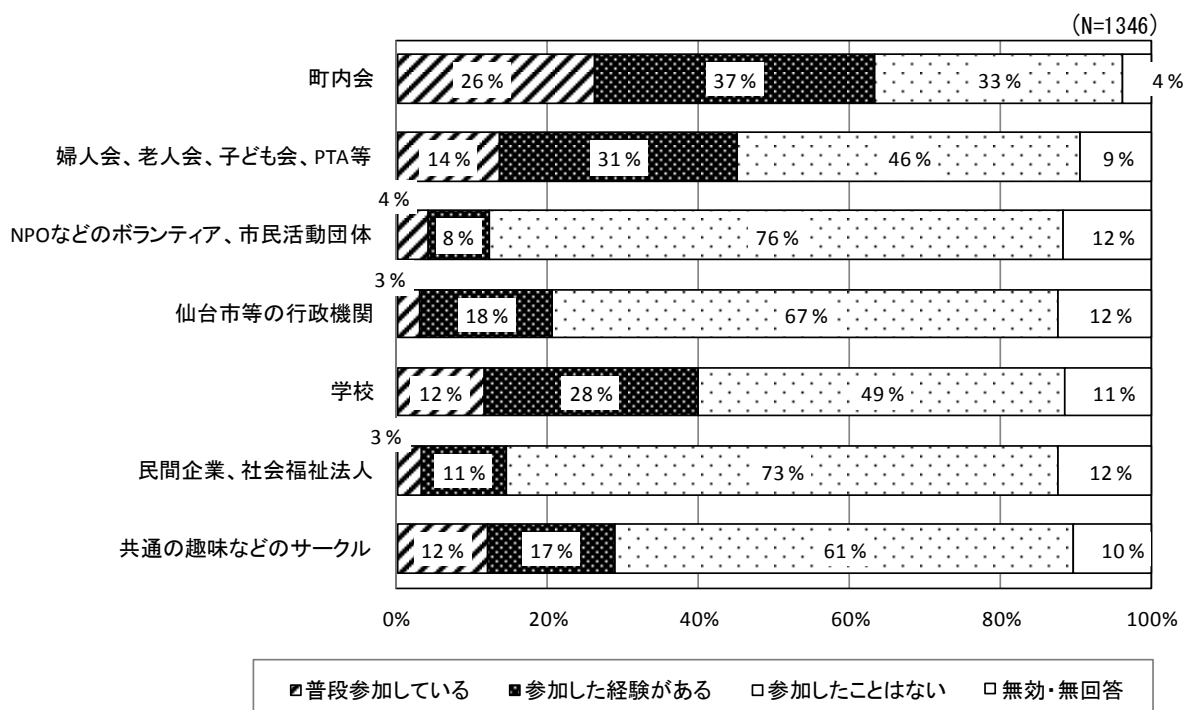


## (5) 活動への参加状況

問9 今のお住まいの地域で、次の運営主体による活動(集合住宅内のイベントなど含む)に参加したことはありますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

- ・ 各種団体による地域の活動に対する参加状況をみると、最も参加した経験が多いのは「町内会」であり、「普段参加している」「参加した経験がある」の合計は63%となった。
- ・ 活動した経験のある地域活動は町内会について「婦人会、老人会、子ども会、PTA等」(45%)、「学校」(40%)の順が続いている。
- ・ 参加した経験が少ないのは「NPOなどのボランティア、市民活動団体」であり、「普段参加している」「参加した経験がある」の合計は12%となっている。

図表 122 活動への参加状況

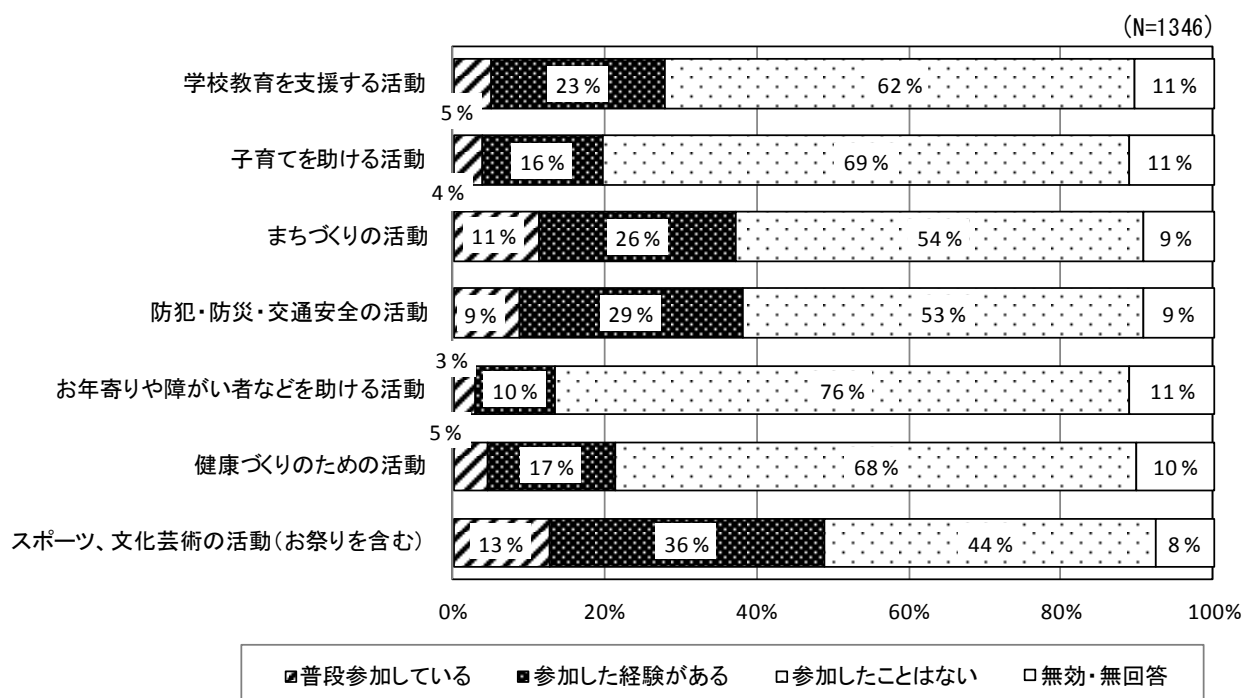


## (6) 分野別の活動への参加状況

問 10 今のお住まいの地域で、次の分野の活動(集合住宅内のイベントなど含む)に参加したことはありますか。  
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

- ・ 分野別の地域活動への参加状況を見ると、最も参加した経験が多いのは「スポーツ、文化芸術の活動(お祭りを含む)」であり、「普段参加している」「参加した経験がある」の合計は49%となった。また「防犯・防災・交通安全の活動」(38%)、「まちづくりの活動」(37%)の順に続いている。
- ・ 参加した経験が少ないのは「お年寄りや障がい者等を助ける活動」であり、「普段参加している」「参加した経験がある」の合計は13%となっている。

図表 123 分野別の活動への参加状況

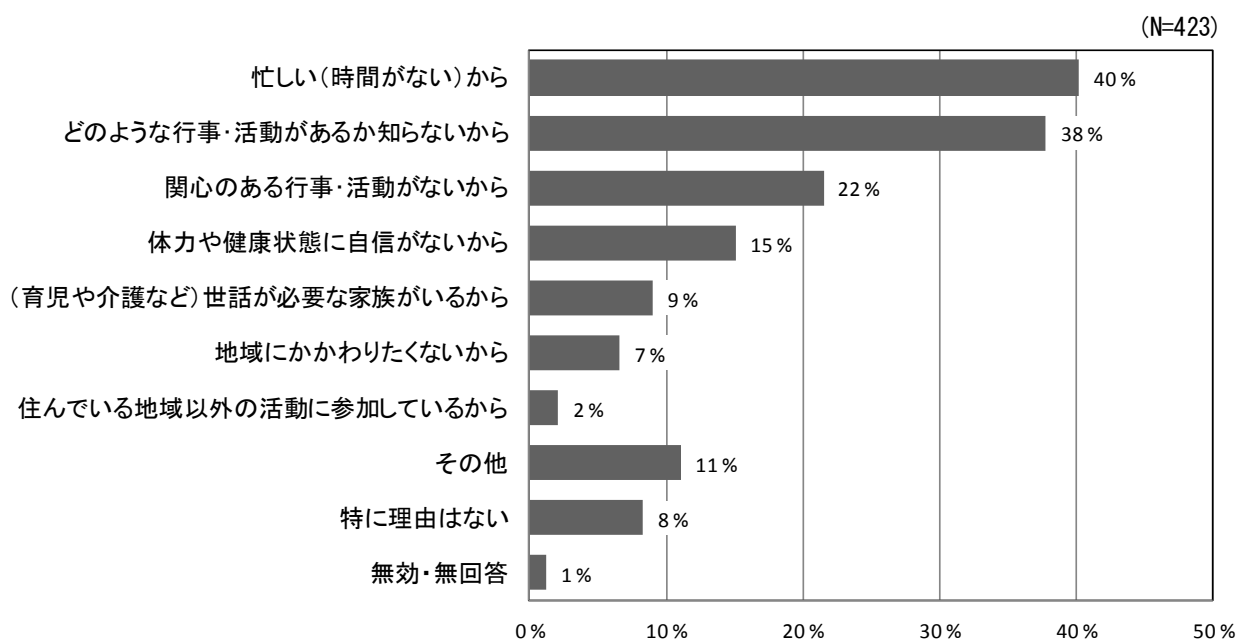


## (7) 参加したことがない理由

問 11 問 10 の(1)～(7)のうち、すべてに「3. 参加したことはない」と答えられた方におうかがいします。「参加したことはない」のはなぜですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- ・ いずれの活動にも参加経験のない方に対してその理由を聞いたところ、「忙しい（時間がない）から」（40%）が最も多く、続いて「どのような行事・活動があるか知らないから」（38%）の順であった。

図表 124 参加したことがない理由



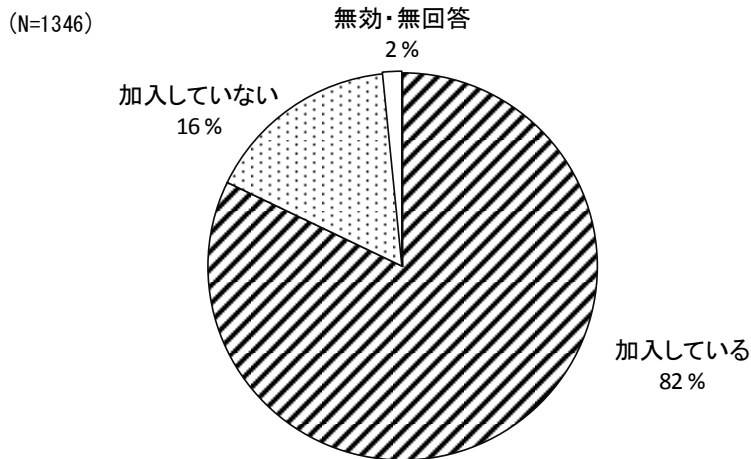
### 3. 町内会との関わりについて

#### (1) 町内会への加入状況

問 12 あなたは町内会に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 町内会への加入状況をみると、「加入している」(82%)が最も高い。一方「加入していない」(16%)とする回答は全体の約2割であった。

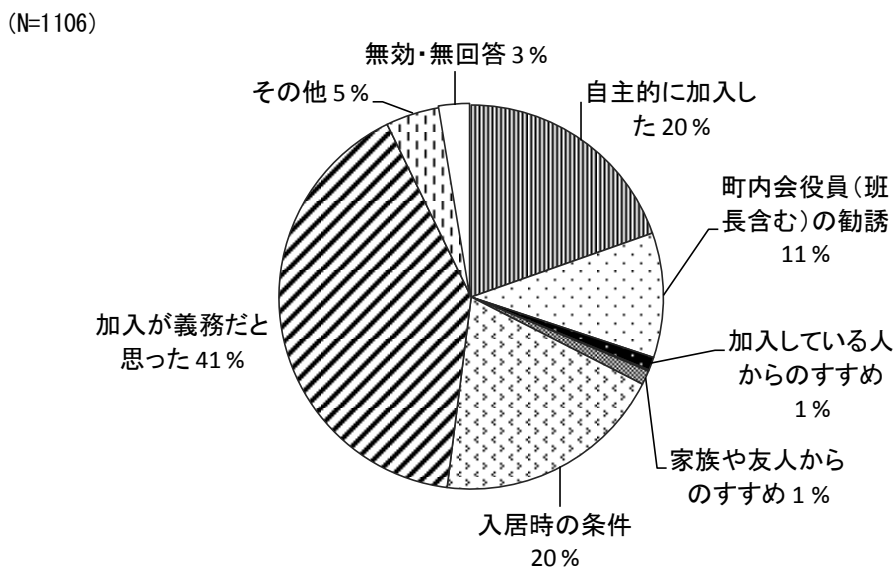
図表 125 町内会への加入状況



問 13 問 12 で「1. 加入している」と答えられた方におうかがいします。加入したきっかけは何ですか。(あてはまるもの1つに○)

- 町内会に加入している方に対してきっかけを聞いたところ、「加入が義務だと思った」(41%)が最も高く、「自主的に加入した」(20%)、「入居時の条件」(20%)の順が続いている。

図表 126 加入したきっかけ

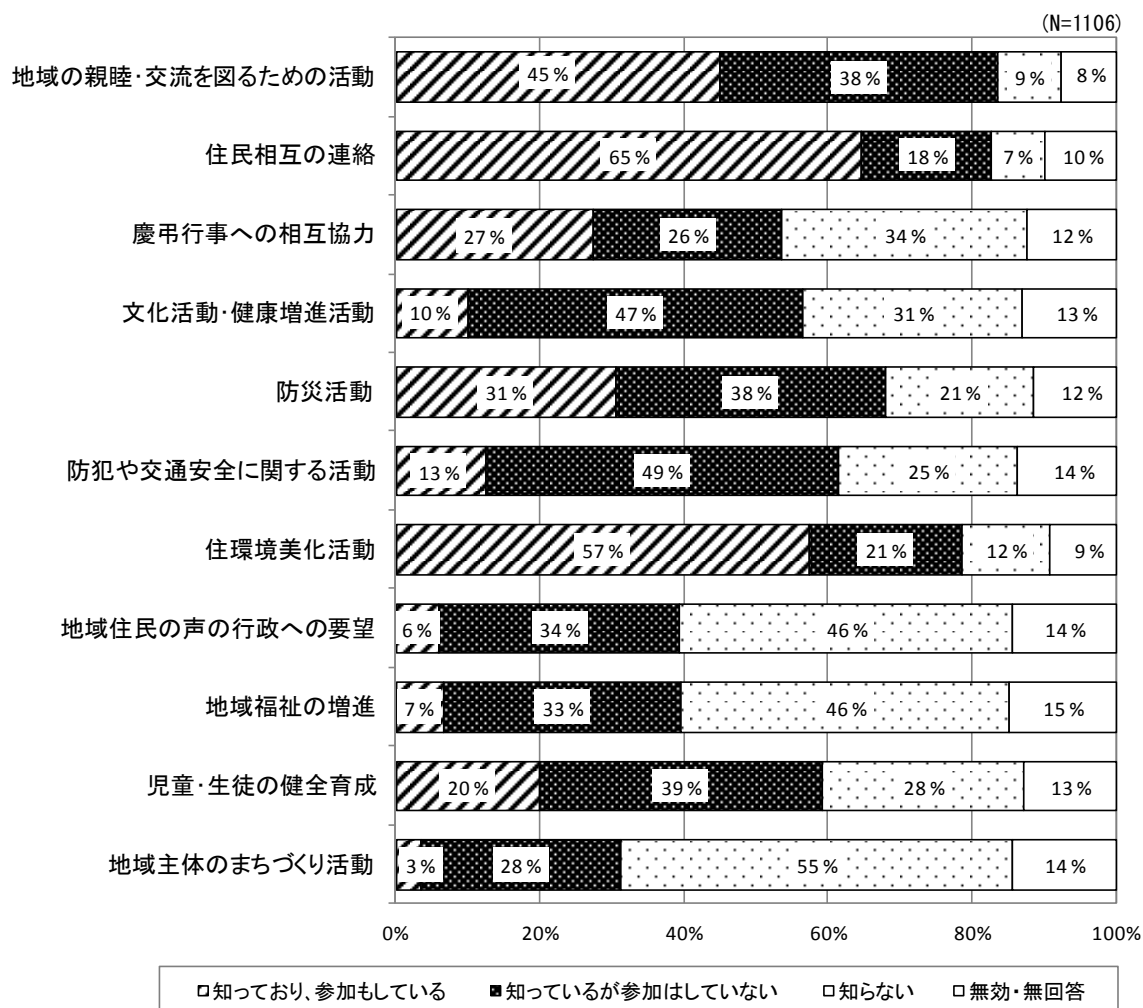


## (2) 町内会活動について

問 14(1)町内会で実施している地域活動への認知・参加状況について教えてください※。(あてはまるもの1つに○)

- 町内会活動への認知・参加状況についてみると、「知っており、参加もしている」割合が最も多いのは、「住民相互の連絡」(65%)であり、「住環境美化活動」(57%)、「地域の親睦・交流を図るための活動」(45%)の順であった。
- 一方、認知度が低いのは「地域主体のまちづくり活動」であり、55%が「知らない」と回答している。次いで「地域住民の声の行政への要望」(46%)、「地域福祉の増進」(46%)となっている。

図表 127 地域活動の認知・参加状況

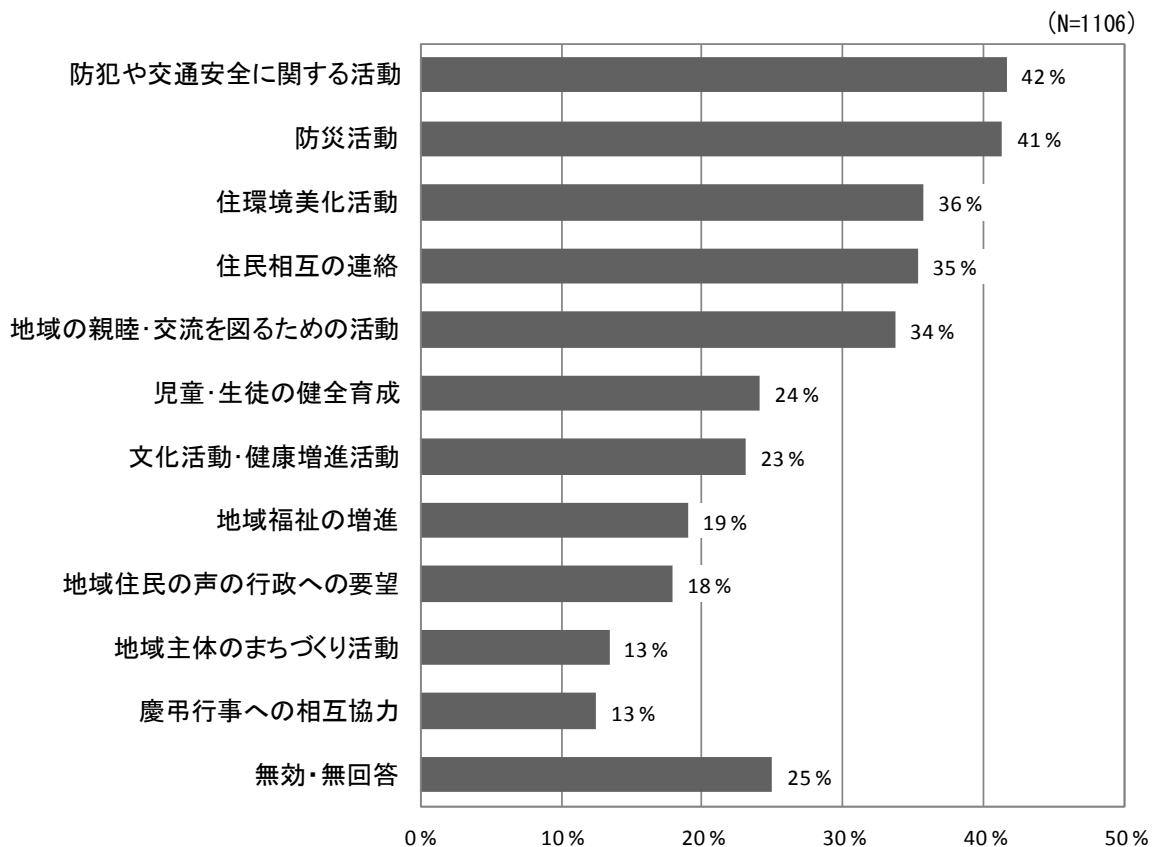




問 15 お住まいの地域の町内会で(引き続き、新たに)力を入れて欲しい活動に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 町内会に力を入れて欲しい活動についてみると、「防犯や交通安全に関する活動」(42%)が最も多く、「防災活動」(41%)、「住環境美化活動」(36%)の順であった。
- ・ 一方、比較的低いのは「地域主体のまちづくり活動」(13%)、「慶弔行事への相互協力」(13%)であった。

図表 128 力を入れて欲しい活動

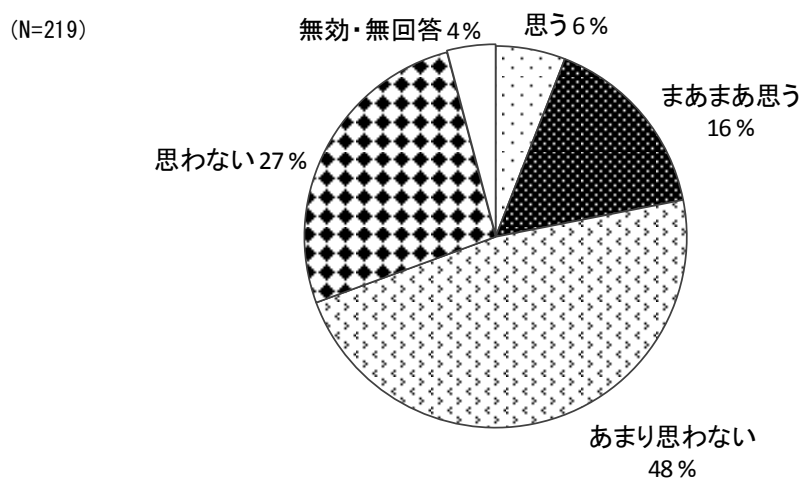


### (3) 町内会への加入意向について

問 16 問 12 で「2. 加入していない」と答えられた方におうかがいします。今後、町内会に加入したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 町内会に加入していない方に対して今後の加入意向について聞いたところ、「あまり思わない」(48%) が最も多く、続いて「思わない」(27%)、「まあまあ思う」(16%) の順であった。
- ・ 町内会への加入意向を示す方は全体の約 2 割に留まっている。

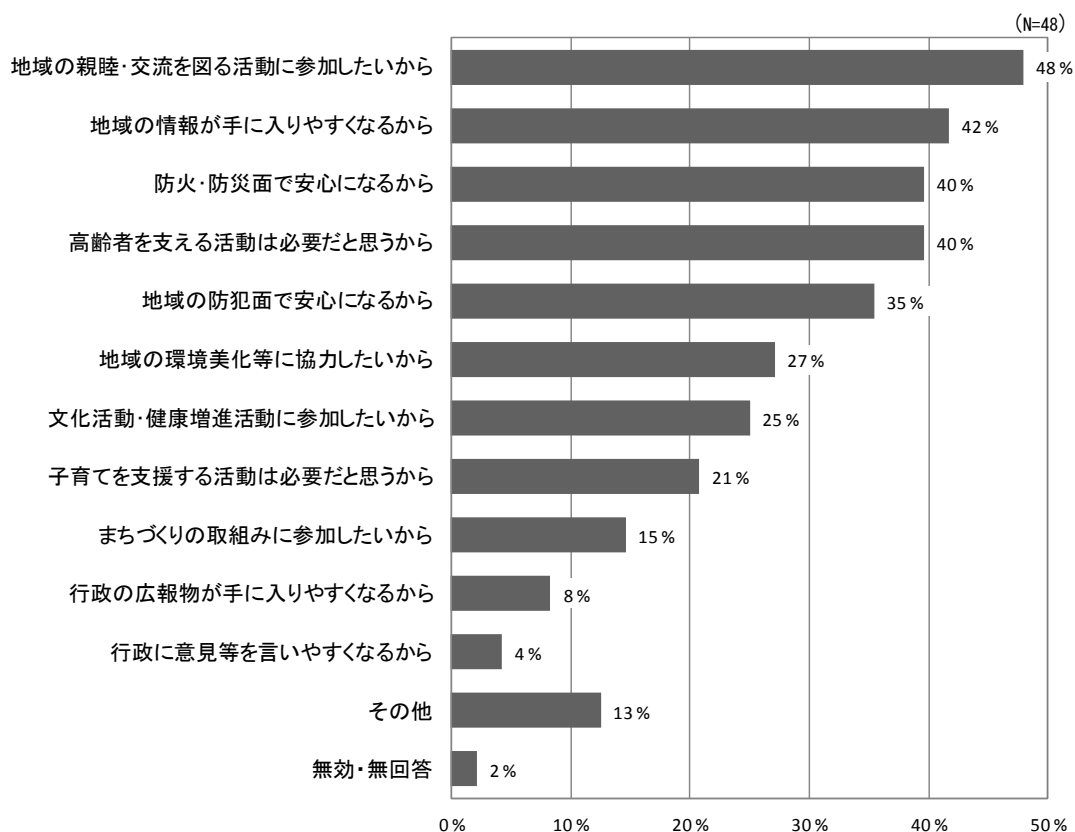
図表 129 町内会への加入意向



問 17 問 16 で「1. 思う」または「2. まあまあ思う」と答えられた方におうかがいします。町内会に加入したいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 町内会への加入意向を示す方に対して加入したいと思う理由について聞くと、「地域の親睦・交流を図る活動に参加したいから」(48%) が最も多く、続いて「地域の情報が手に入りやすくなるから」(42%)、「防火・防災面で安心になるから」(40%)、「高齢者を支える活動は必要だと思うから」(40%) の順であった。

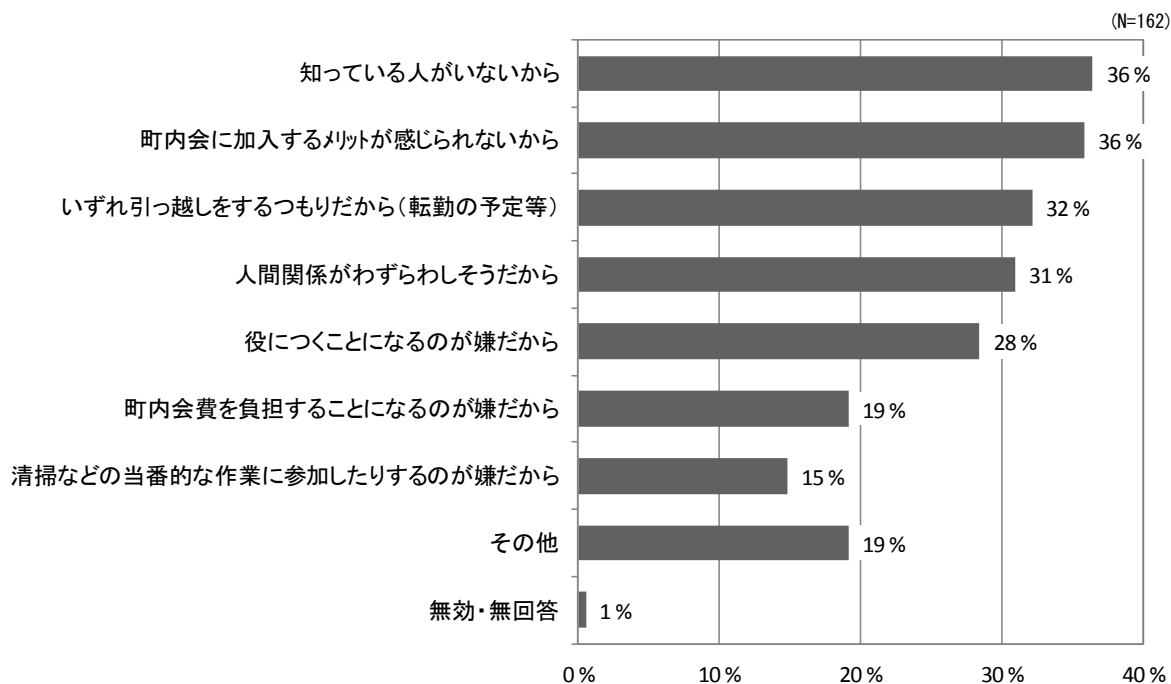
図表 130 町内会に加入したいと思う理由



問 18 問 16 で「3. あまり思わない」または「4. 思わない」と答えられた方におうかがいします  
 「(あまり)思わない」のはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 町内会への加入意向がない方に対して加入したいと思わない理由について聞くと、「知っている人がいないから」(36%)、「町内会に加入するメリットが感じられないから」(36%)が最も多く、続いて「いずれ引っ越しをするつもりだから」(32%)、「人間関係がわずらわしそうだから」(31%)の順であった。

図表 131 (あまり)思わない理由



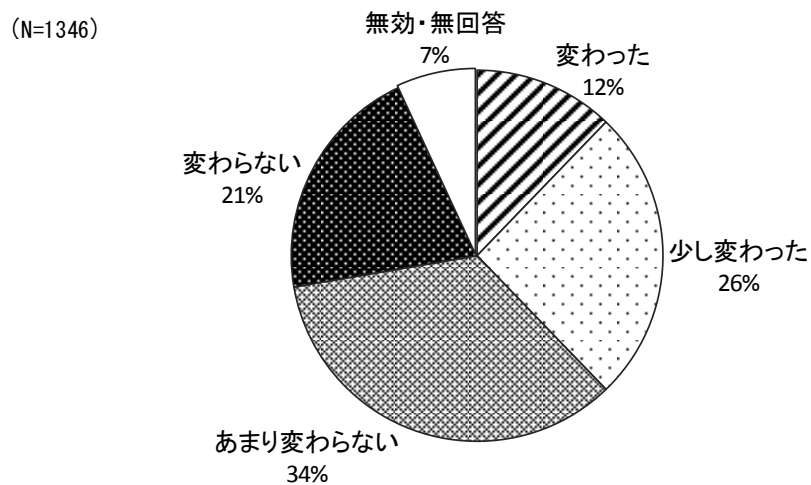
## 4. 東日本大震災時の地域との関わりについて

### (1) ご近所づきあいに対する考え方の変化

問 19 東日本大震災前後で、ご近所付き合いに対する考え方は変わりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 東日本大震災後のご近所づきあいの考え方の変化をみると、「あまり変わらない」(34%)が最も多く、続いて「少し変わった」(26%)、「変わらない」(21%)の順であった。
- ・ 「変わった」「少し変わった」とする回答の合計は約4割という結果となった。

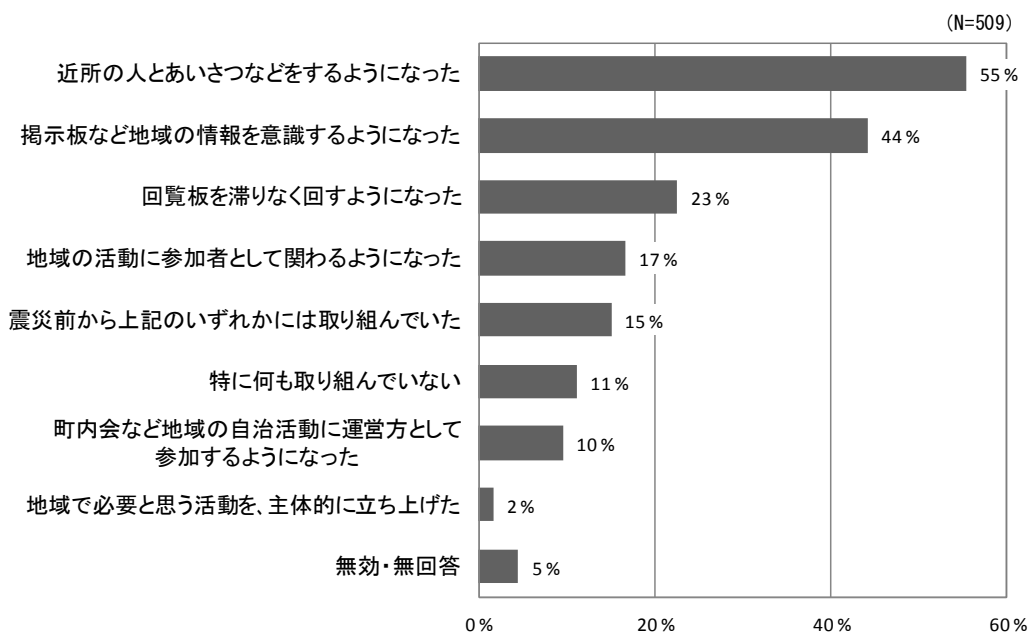
図表 132 東日本大震災前後でのご近所づきあいに対する考え方の変化



問20 問19で「1. 変わった」または「2. 少し変わった」と答えられた方におうかがいします。具体的に取組んだことは何かありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 東日本大震災後にご近所づきあいの考え方が変わったとする方に対して、具体的に取組んだことについてきくと、「近所の人とあいさつなどをするようになった」(55%)が最も多く、続いて「掲示板など地域の情報を意識するようになった」(44%)、「回覧板を滞りなく回すようになった」(23%)の順であった。

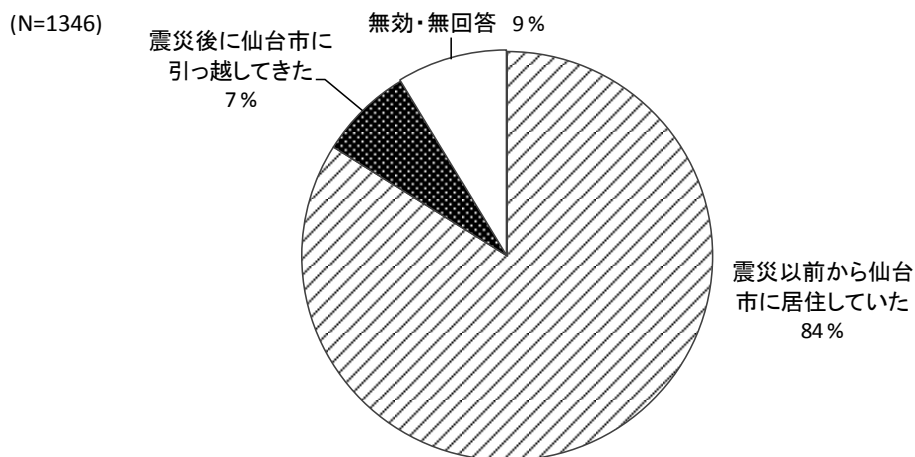
図表 133 具体的に取組んだこと



問21 東日本大震災以前から、仙台市内にお住まいでしたか。(あてはまるもの1つに○)

- 東日本大震災以前から仙台市内に居住していたかについては、「震災以前から仙台市に居住していた」が84%となっている。

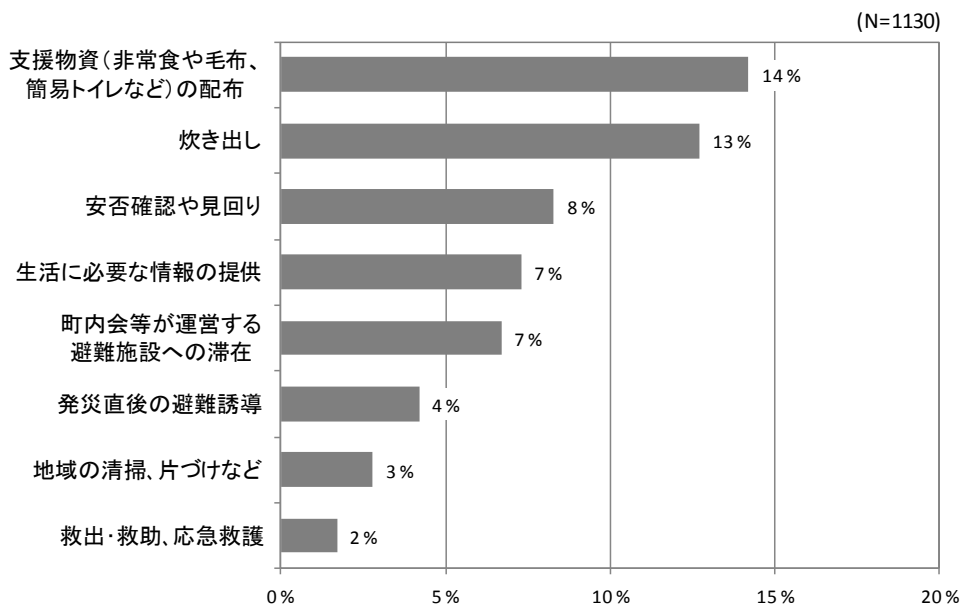
図表 134 東日本大震災時から仙台市内に住んでいたか



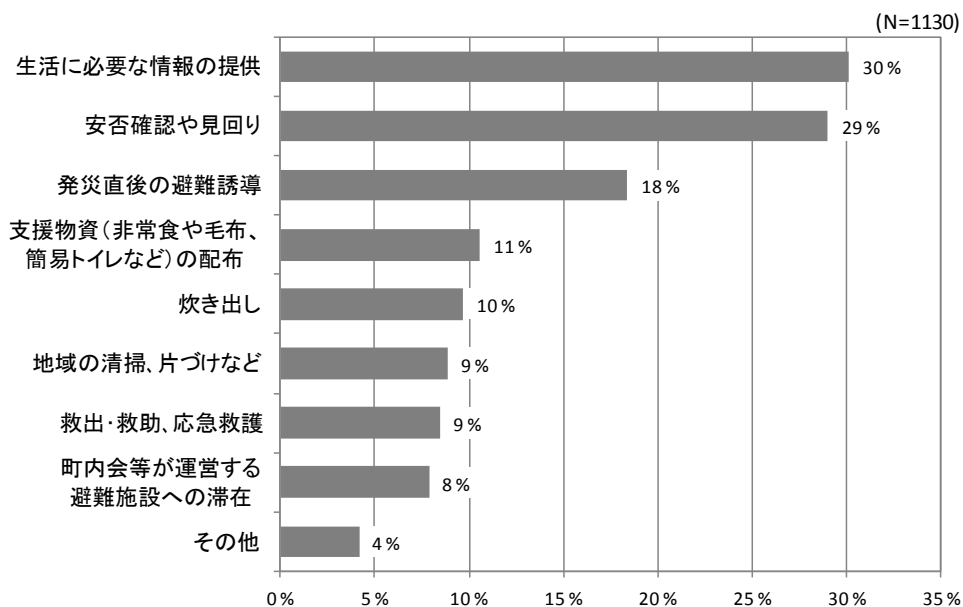
問 22 町内会をはじめとする地域団体からどのような支援を受けましたか。また、近隣にお住まいの方同士で、どのような助け合いをされましたか。(各選択肢について、該当するものすべてに○)

- ・ 東日本大震災前から仙台市に居住していた方に、地域団体から受けた支援についてきくと、「支援物資(非常食や毛布、簡易トイレなど)の配布」(14%)が最も高く、「炊き出し」(13%)が次いでいる。
- ・ 近隣同士の助け合いについては「生活に必要な情報の提供」(30%)が最も高く、「安否確認や見回り」(29%)が次いでいる。
- ・ 震災後の助け合いは、近隣住民同士を中心に行われたことがうかがえる。

図表 135 地域団体から受けた支援



図表 136 近隣同士の助け合い



## 5. 回答者属性

### (1) 回答者自身について

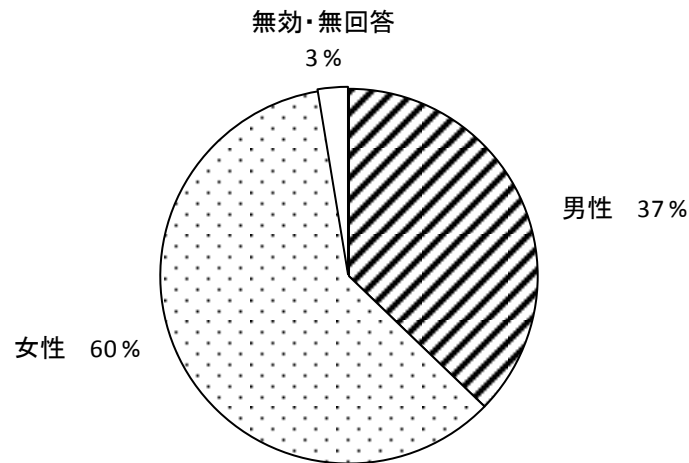
問 23 あなた自身やご家族についておたずねします。(それぞれ、あてはまるものに○)

#### A. 性別

- 性別をみると、「女性」(60%)、「男性」(37%)となっている。

図表 137 性別

(N=1346)

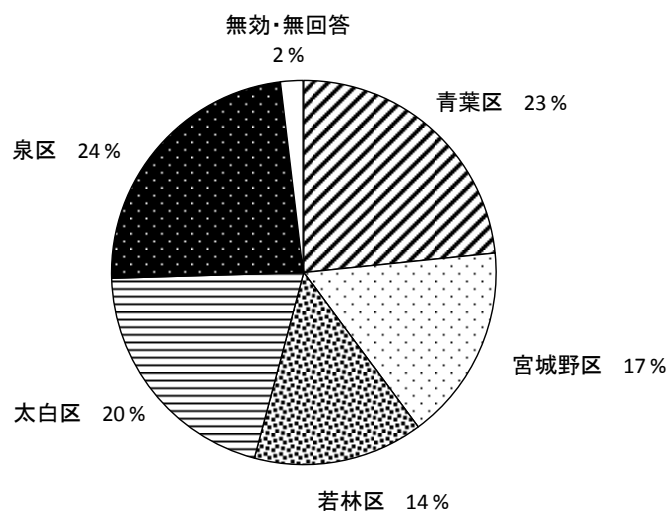


#### B. お住まいの区

- お住まいの区をみると、「泉区」(24%)、「青葉区」(23%)、「太白区」(20%)、「宮城野区」(17%)、「若林区」(14%)となっている。

図表 138 お住まいの区

(N=1346)

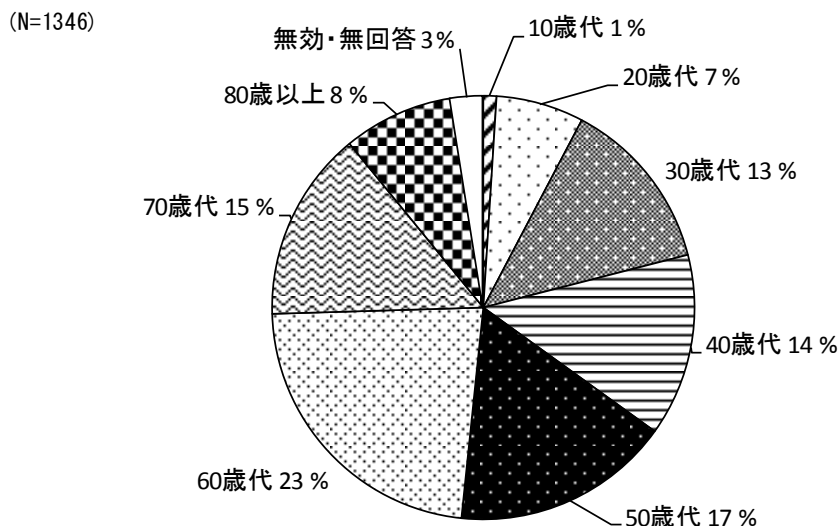




C. 年齢

- 年齢をみると、「60歳代」(23%)、「50歳代」(17%)、「70歳代」(15%)となっている。

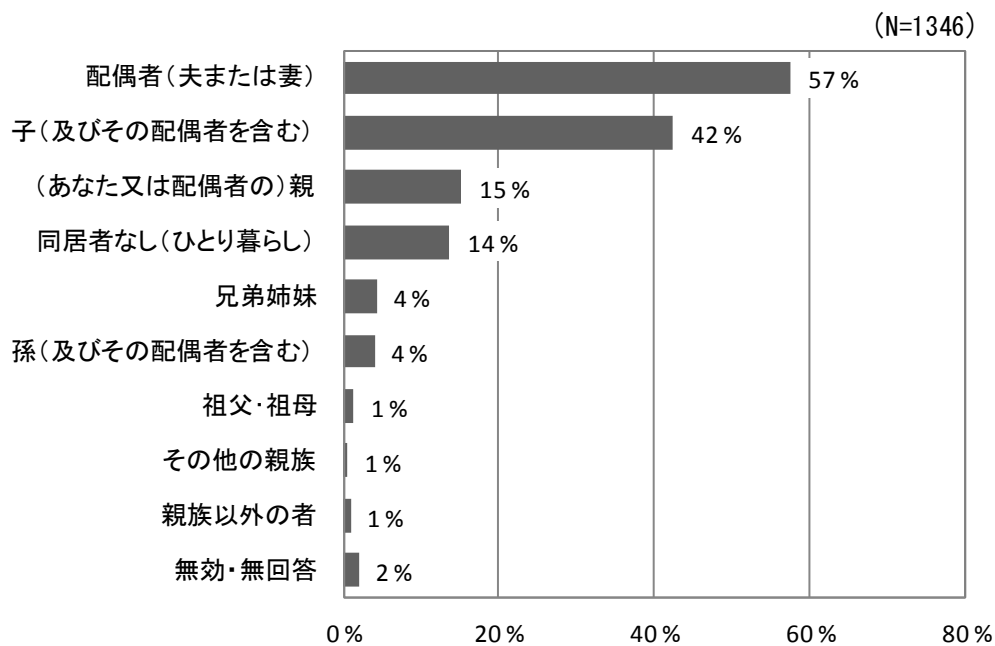
図表 139 年齢



D. 同居する家族

- 同居する家族をみると、「配偶者（夫または妻）」(57%)が最も多く、続いて「子（及びその配偶者を含む）」(42%)が次いでいる。

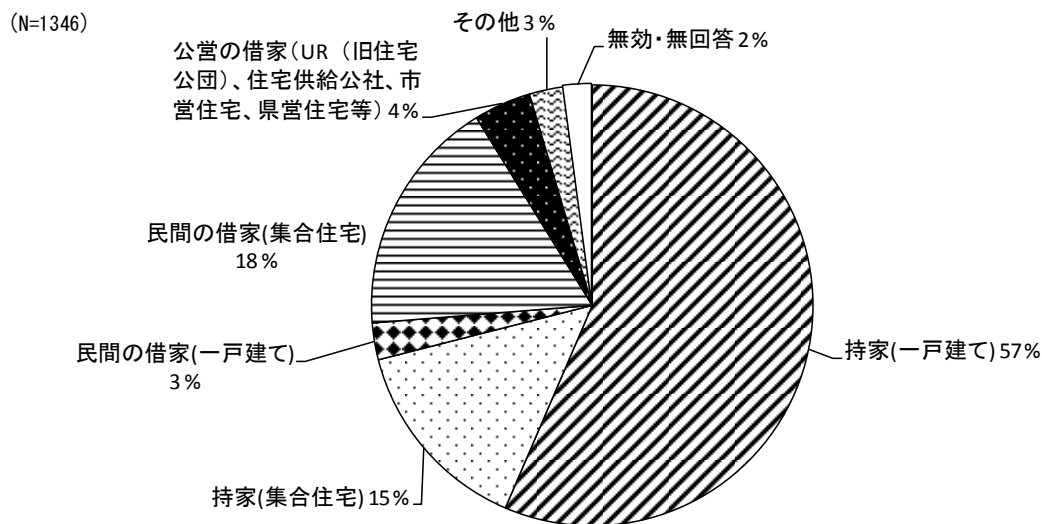
図表 140 同居する家族



E. 住宅の種類

- 住宅の種類をみると、「持家（一戸建て）」（57%）が最も多く、続いて「民間の借家（集合住宅）」（18%）、「持家（集合住宅）」（15%）の順となっている。

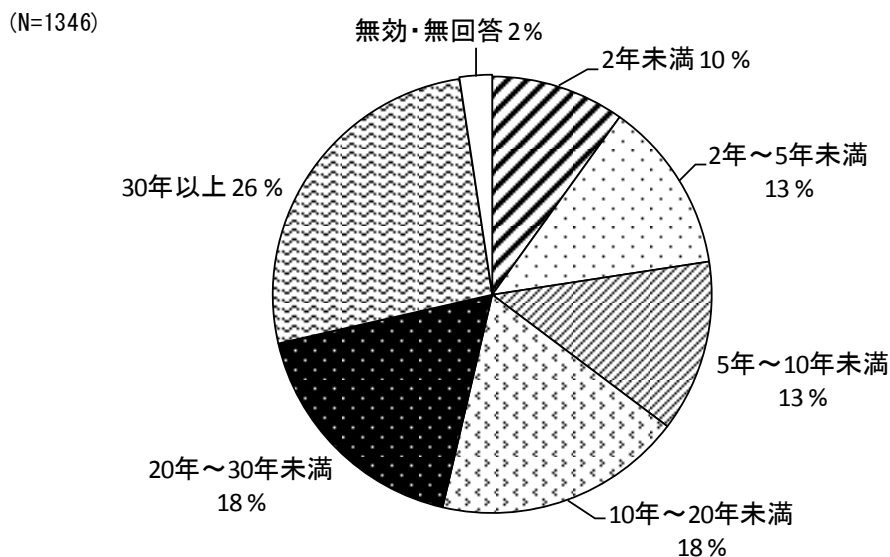
図表 141 住宅の種類



F. 居住年数

- 居住年数をみると、「30年以上」（26%）が最も多く、「10年～20年未満」（18%）、「20年～30年未満」（18%）が続いており、10年以上居住している人が約6割となっている。

図表 142 居住年数



## 6. 自由記述

### 町内会活動について

- ・困っていることは特になく、地域の町内会はとても熱心に様々な活動をしていて感じています。強いて言えば、災害時の避難等の流れなどをもう少し多くの人に分かるようにしてもらえれば良いと思います。
- ・気軽にいつでも相談できるサロンなどがあれば良いと思います。
- ・高齢者が多くなり、日常の回覧板を回すとか、ゴミ集積所の当番ぐらいしか参加が出来ない人が多くなってきました。また、町内会の役員等が順番で回ってくるのも大変です。
- ・町内会の加入は集合住宅では新しく分譲する時や総会への参加等の働きかけが必要です。(特に新築分譲前に販売会社) あとで加入するのは難しいと思います。
- ・町内会に入っていないなくても子供会役員になると、公園清掃や盆踊り大会、学区民運動会など町内会を手伝わないといけないのですが、会議を直前に言われたり、必ず出席しないといけないと言われたりします。共働き世帯が多いので、理解してもらいたいです。
- ・町内会、子供会の関係性がよく解らないことがあります。
- ・町内会役員の業務を地域の皆さんは感謝の念を持ち、理解協力しているのだろうと思う時があります。地域のつながり・協力・思いやり・感謝の心を一人一人に持っていただきたいと思います。
- ・総会等で居住者の人数・氏名等の名簿作成の話が出たが、個人情報との兼ね合いでその後進んでいないようです。

### 地域のつながりについて

- ・震災以後、人と人との心のつながりの重要性を感じるようになりました。あいさつやちょっとした集まりなど、数分でも地域の人と話をする。コミュニケーションの大切さを感じています。
- ・町内会には入っていませんが、子供会活動を通して地域の方との関わりがあります。町内会が高齢の方が多く、お祭り等は子供会を中心に行っています。子供会会員は子供が小学校を卒業すると退会となるため、若い世代の定着がありません。町内会はこれからどうなるのか?と思うことがあります。
- ・通常の生活では、不便を感じたことはありませんが、震災時においては地域の団結がなく、また情報もなく、不安を感じました。

### 震災時の対応について

- ・ライフラインが途絶えた時、炊き出しや安否確認等を行っている町内会もありました。町内会毎に活動に差があることを感じました。
- ・地震の時はとにかく心細く相談相手がいない、一人でじっとしていなければいけないことがつらかった。
- ・災害の状況やライフラインの連絡など全くなく、個人で調べるだけでした。せめてライフラインの連絡ぐらいはほしいと思いました。

### 集合住宅について

- ・集合住宅の掲示板に活動を提示するだけなので、別の方法にすればもっと近所の交流ができるのではないのでしょうか？町内会の行事は、多くの人に声かけが必要ではないかと思います。
- ・マンションが町内会に加入していないため、町内の情報などが伝わってこないことが多いと感じます。
- ・マンションに住んでいますが、町内会の加入が3分の1しかありません。県政・市政だよりはマンション一括でポストに入ってきます。町内会に加入してなくても配布されるため、ますます加入者が減っていく状態です。何とか一括で加入できるよう、工夫が必要と思います。

### 行政への要望について

- ・余りにも町内会に求める活動が多い。行政が行うべきものを町内会に求めすぎると思います。
- ・(町内会活動について) 行政側から人の派遣、アドバイスがあれば、きっかけができてやりやすいのではと思います。

## IV. 町内会空白地域向け意識調査

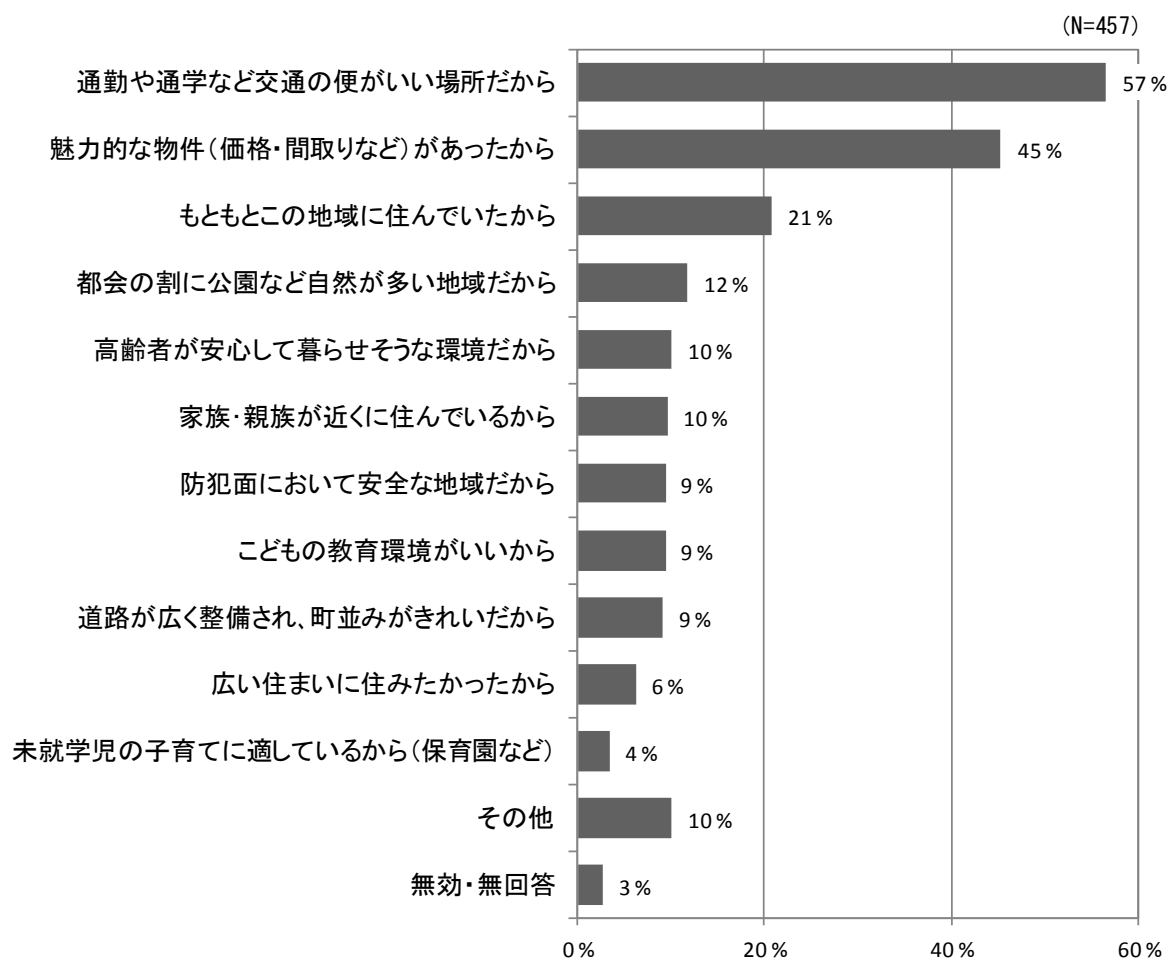
### 1. お住まいの地域に対する評価について

#### (1) 地域に住むことになったきっかけ

問1 この地域に、住むことになったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 地域に住むことに住むことになったきっかけをみると、「通勤や通学など交通の便がいい場所だから」(57%)が最も多く、「魅力的な物件(価格・間取りなど)があったから」(45%)、「もともとこの地域に住んでいたから」(21%)の順であった。

図表 143 住むことになったきっかけ

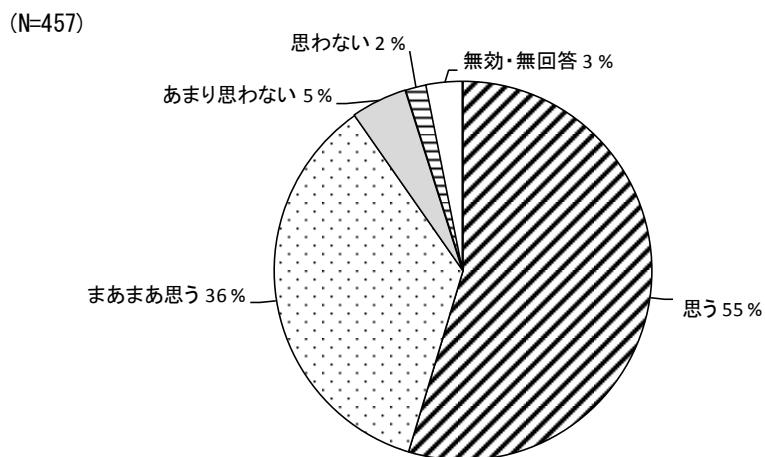


## (2) 地域に住み続けたいと思うか

問2 この地域に、住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 地域に住み続けたいかについては、「思う」(55%)が最も多く、「まあまあ思う」(36%)が次いでいる。
- ・ 「思う」「まあまあ思う」の合計は91%に達するなど、9割以上の住民が地域に居住継続意向を示している。

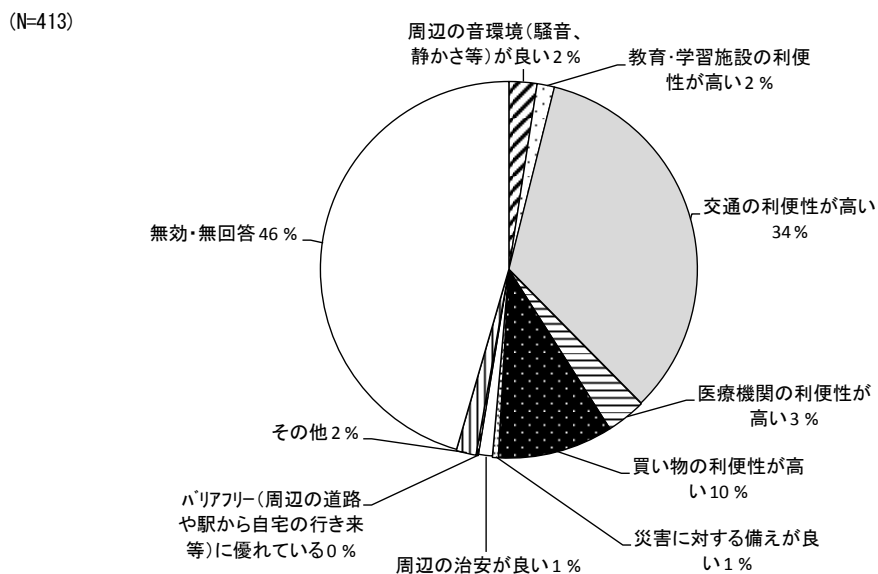
図表 144 地域に住み続けたいと思うか



問3 住み続けたいと思う主な理由をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 居住継続意向を示す回答者に対して、住み続けたいと思う主な理由について聞いたところ、「交通の利便性が高い」(34%)が最も多く、「買い物の利便性が高い」(10%)の順に続いている。

図表 145 住み続けたいと思う主な理由

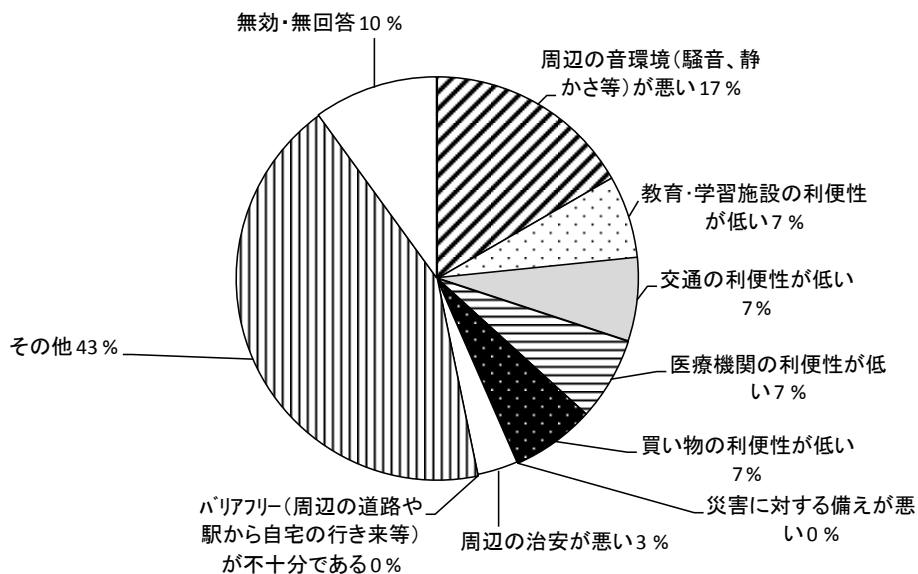


問 4 住み続けたいと思わない主な理由をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 居住継続意向がない方に対して住み続けたいと思わない理由を聞いたところ、「その他」(43%)を除くと、「周辺の音環境(騒音、静かさ等)が悪い」(17%)が最も高く、「教育・学習施設の利便性が低い」(7%)、「交通の利便性が低い」(7%)、「医療機関の利便性が低い」(7%)「買い物の利便性が低い」(7%)が次いでいる。

図表 146 住み続けたいと思わない主な理由

(N=30)



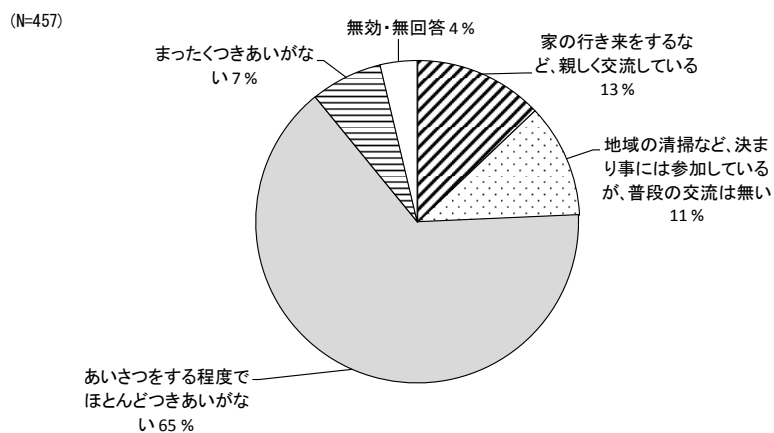
## 2. ご近所づきあいについて

### (1) ご近所づきあいは、どの程度しているか

問 5 ご近所付き合いは、どの程度していますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ ご近所づきあいの程度をみると、「あいさつをする程度でほとんどつきあいがなし」(65%)が最も多く、続いて「家の行き来をするなど、親しく交流している」(13%)「地域の清掃など、決まり事には参加しているが、普段の交流は無い」(11%)、の順であった。

図表 147 ご近所づきあいの程度

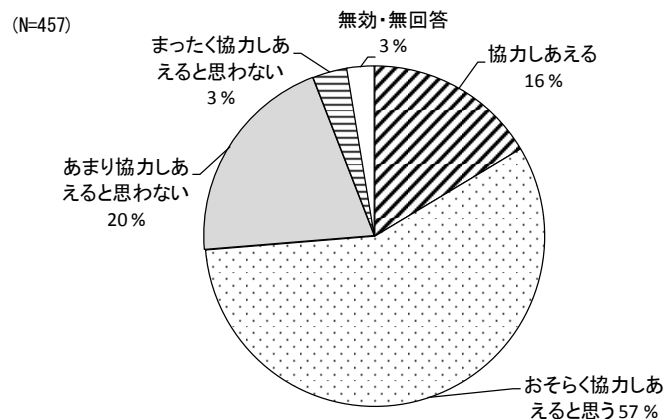


### (2) いざというときに近所の人と協力しあえると思うか

問 6 災害時など、いざというときに近所の人と協力しあえると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ いざというときに近所の人と協力しあえると思うかをみると、「おそらく協力しあえると思う」(57%)が最も多く、続いて「あまり協力しあえるとは思わない」(20%)、「協力しあえる」(16%)、の順であった。
- ・ いざというときに(おそらく)協力しあえるとする住民は約7割という結果となった。

図表 148 いざというときに近所の人と協力しあえると思うか



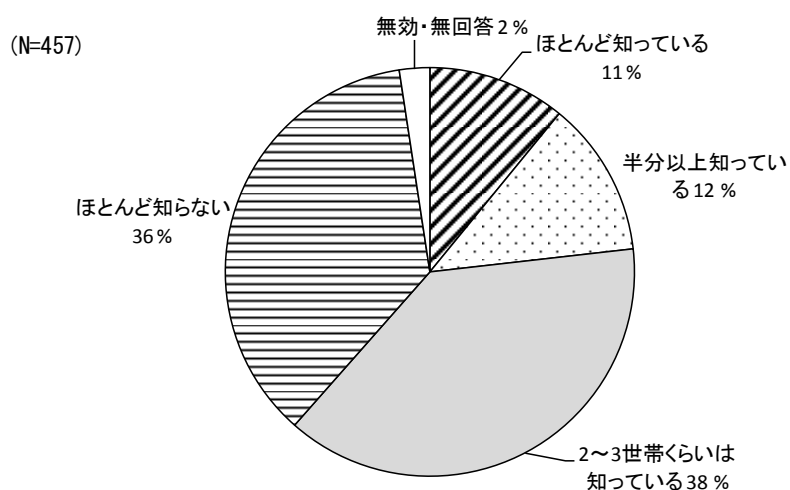


### (3) 最寄りの世帯にどんな方が住んでいるか知っているか

問7 あなたのお住まいの最寄りの10世帯くらい(向こう三軒両隣り、集合住宅の場合同じフロアの住民)に、どんな方が住んでいるか知っていますか(家族構成までを含む)。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 最寄りの世帯にどんな方が住んでいるか知っているかについては、「2～3世帯くらいは知っている」(38%)が最も多く、続いて「ほとんど知らない」(36%)、「半分以上知っている」(12%)の順であった。

図表 149 最寄りの世帯にどんな方が住んでいるか知っているか

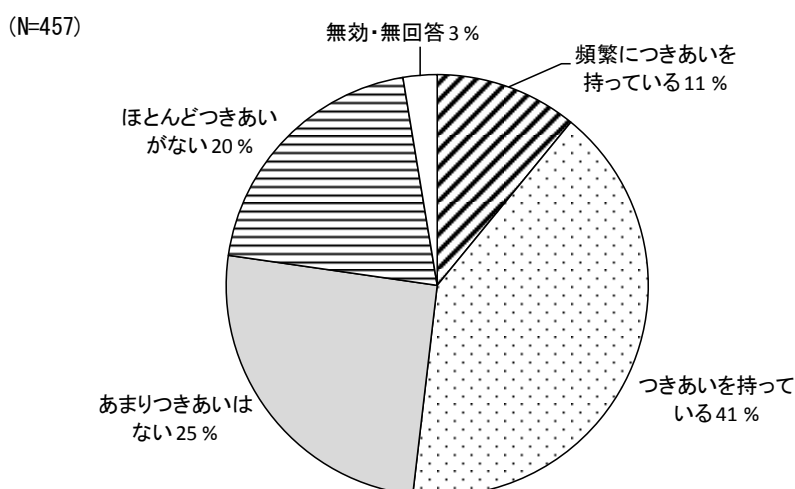


### (4) 色々な人とおつきあいする機会はあるか

問8 あなたは、ご近所以外で、色々な人とおつきあいする機会がありますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ ご近所以外でのつきあいの機会についてみると、「つきあいを持っている」(41%)と「頻繁につきあいを持っている」(11%)の合計は約5割であった。

図表 150 色々な人とおつきあいする機会はあるか

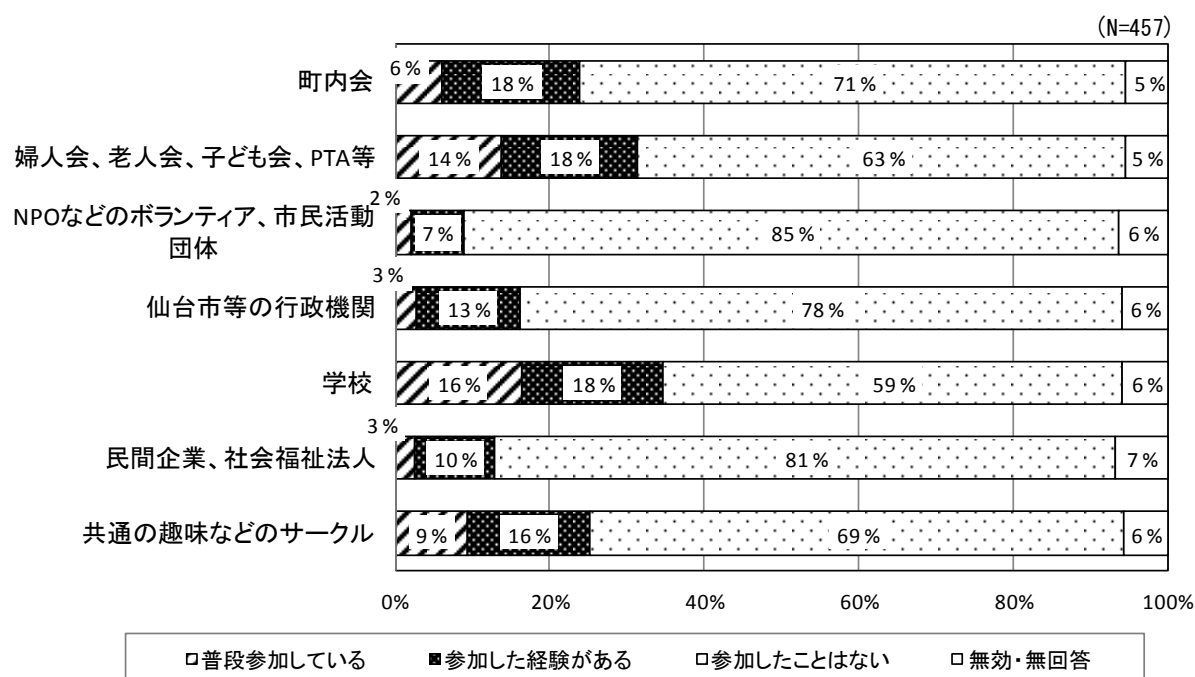


## (5) 活動への参加状況

問9 今のお住まいの地域で、次の運営主体による活動(集合住宅内のイベントなど含む)に参加したことはありますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

- ・ 各種団体による地域の活動に対する参加状況をみると、最も参加した経験が多いのは「学校」であり、「普段参加している」「参加した経験がある」の合計は34%となった。
- ・ 活動した経験のある地域活動は「学校」について「婦人会、老人会、子ども会、PTA等」(32%)、「共通の趣味などのサークル」(25%)の順が続いている。
- ・ 参加した経験が少ないのは「NPOなどのボランティア、市民活動団体」であり、「普段参加している」「参加した経験がある」の合計は9%となっている。

図表 151 活動への参加状況

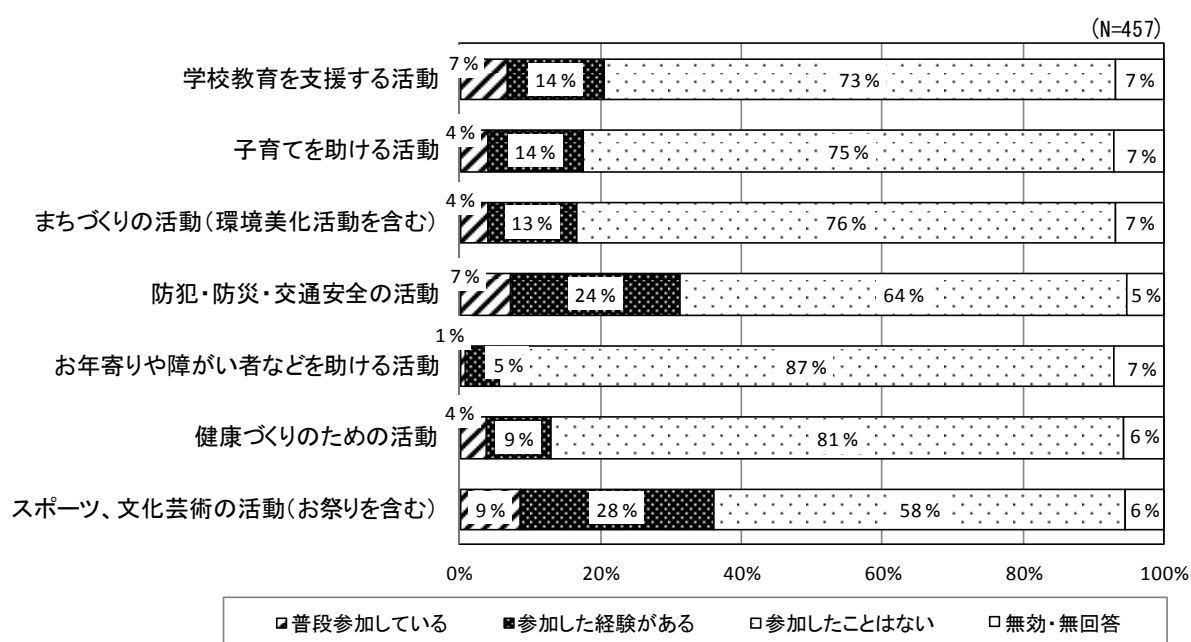


## (6) 分野別の活動への参加状況

問 10 今のお住まいの地域で、次の分野の活動(集合住宅内のイベントなど含む)に参加したことはありますか。  
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

- ・ 分野別の地域活動への参加状況をみると、最も参加した経験が多いのは「スポーツ、文化芸術の活動(お祭りを含む)」であり、「普段参加している」「参加した経験がある」の合計は37%となった。また「防犯・防災・交通安全の活動」(31%)が次いでいる。
- ・ 参加した経験が少ないのは「お年寄りや障がい者などを助ける活動」であり、「普段参加している」「参加した経験がある」の合計は6%となっている。

図表 152 分野別の活動への参加状況

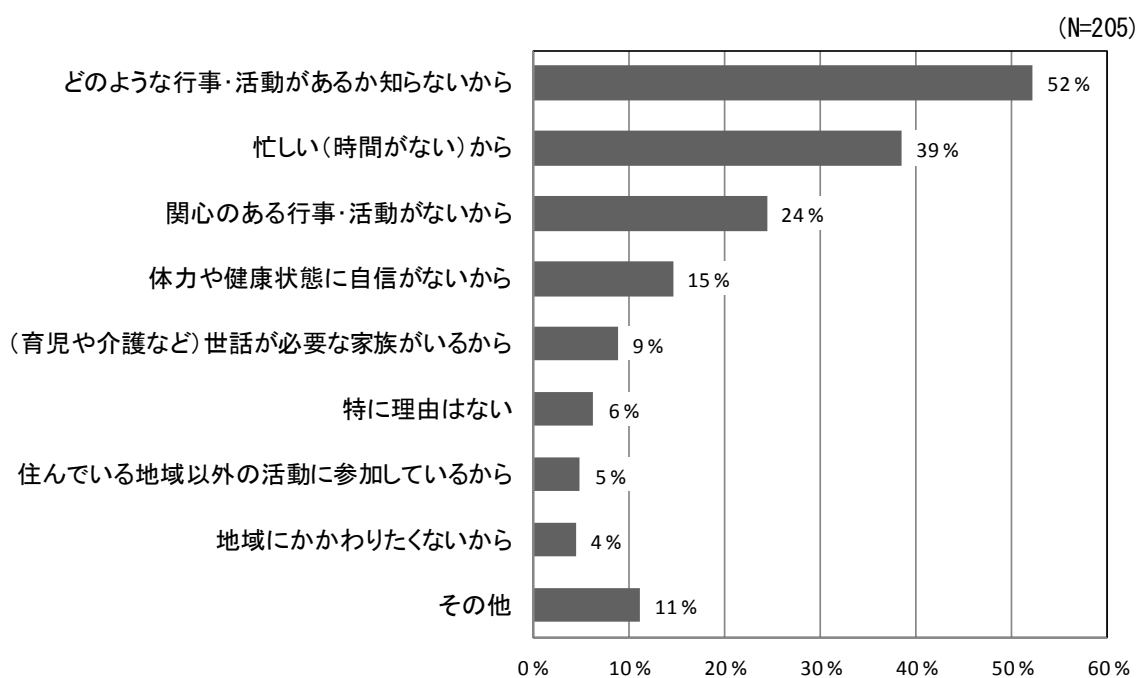


## (7) 参加したことがない理由

問 11 問 10 の(1)～(7)のうち、すべてに「3. 参加したことはない」と答えられた方におうかがいします。「参加したことはない」のはなぜですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- いずれの活動にも参加経験のない方に対してその理由を聞いたところ、「どのような行事・活動があるか知らないから」(52%) が最も多く、続いて「忙しい(時間がない)から」(39%) の順であった。

図表 153 参加したことがない理由



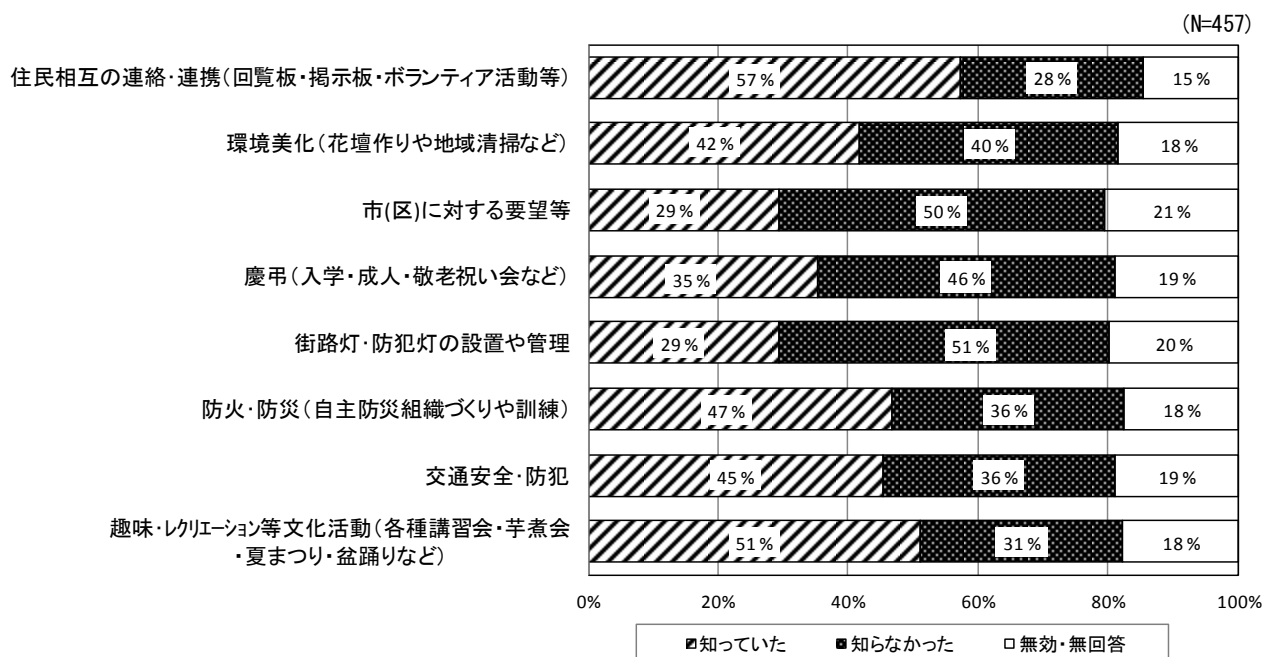
### 3. お住まいの地域に、町内会が無いことについて

#### (1) 町内会が取り組んでいる活動の認知状況

問 12 仙台市の町内会では、主に以下のような活動に取り組んでいます。あなたは、町内会が取り組んでいる活動についてご存知でしたか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 町内会が取り組んでいる活動の認知状況をみると、「知っていた」とする回答が最も多いのは「住民相互の連絡・連携（回覧板・掲示板・ボランティア活動等）」（57%）であり、「趣味・レクリエーション等文化活動（各種講習会・芋煮会・夏祭り・盆踊りなど）」（51%）が次いでいる。
- ・ 一方で「知っていた」とする回答が最も少なかったのは「市（区）に対する要望等」（29%）、「街路灯・防犯灯の設置や管理」（29%）であった。

図表 154 町内会が取り組んでいる活動の認知状況

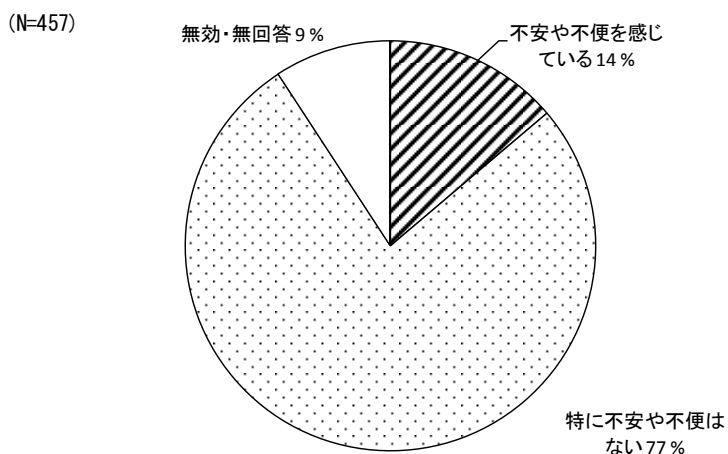


## (2) 町内会がないことによる不安や不便

問 13 現在、お住まいの地域に町内会がないことで生活に不安や不便を感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 町内会がないことによる不安や不便をみると、「特に不安や不便はない」(77%)が最も高い。一方「不安や不便を感じている」とする回答は14%であった。

図表 155 町内会がないことによる不安や不便

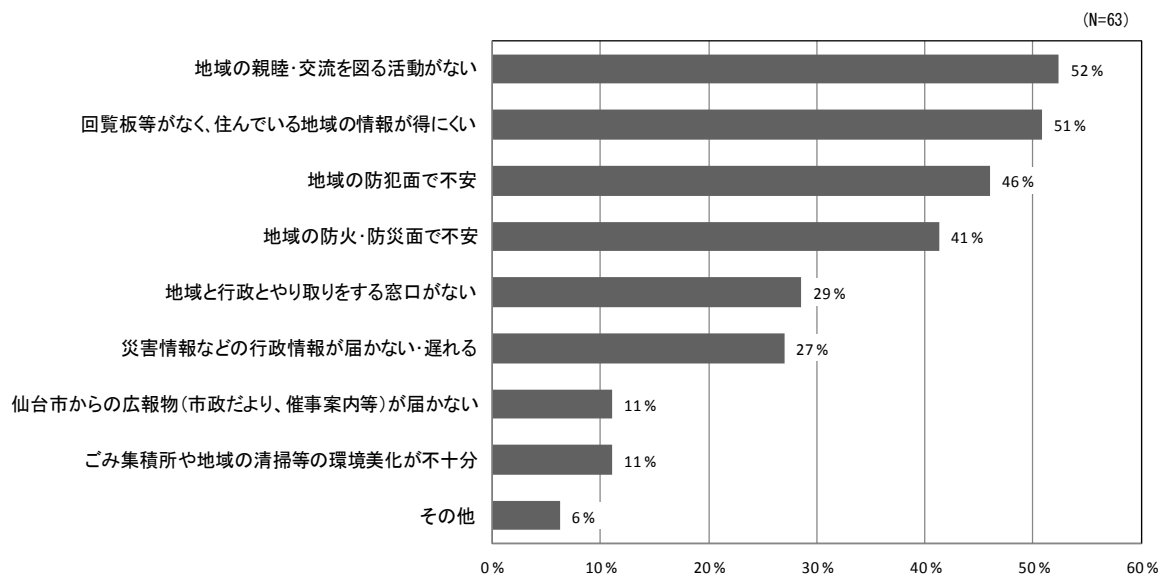


問 14 問 13 で「1. 不安や不便を感じている」と答えられた方におうかがいします。

不安や不便を感じている内容について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 町内会がないことによる不安や不便を感じている方に対して、不安や不便を感じている内容をきいたところ、「地域の親睦・交流を図る活動がない」(52%)が最も高く、「回覧板等がなく、住んでいる地域の情報が得にくい」(51%)、「地域の防犯面で不安」(46%)の順に続いている。

図表 156 不安や不便を感じている内容

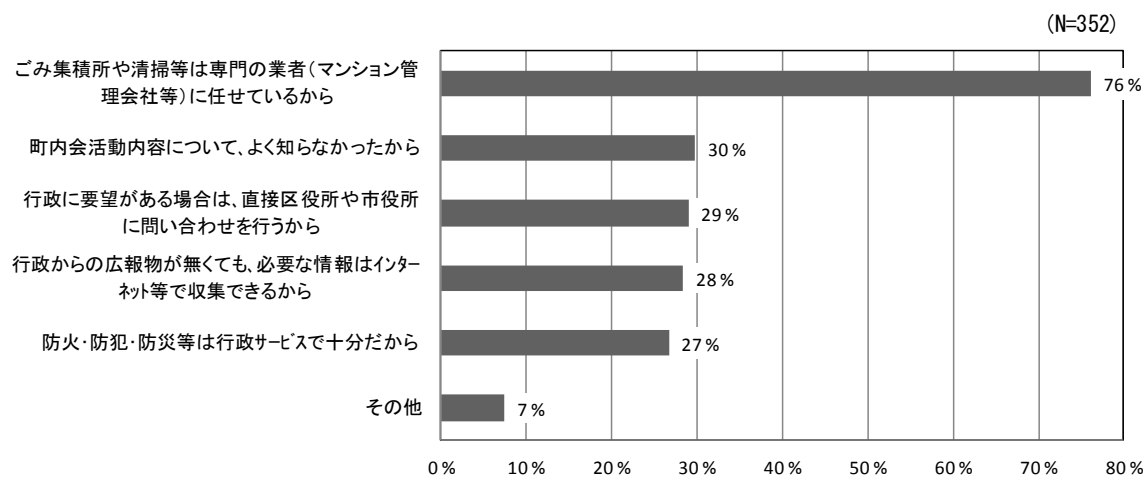


問 15 問 13 で「2. 特に不安や不便はない」と答えられた方におうかがいします。

不安や不便が無い理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 町内会がないことによる不安や不便を感じていない方に対して、不安や不便がない理由をきいたところ、「ごみ集積所や清掃等は専門の業者（マンション管理会社等）に任せているから」（76%）が最も高く、「町内会活動内容について、よく知らなかったから」（30%）が次いでいる。

図表 157 不安や不便がない理由

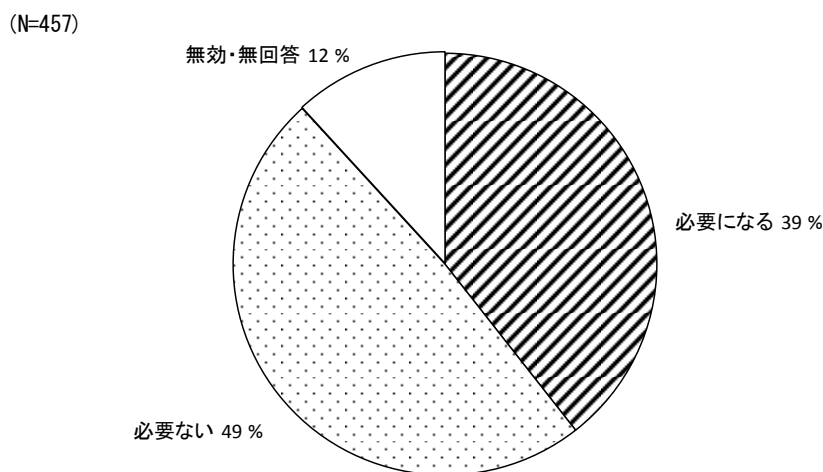


### (3) 今後の町内会等の地域の組織の必要性について

問 16 今後、お住まいの地域で町内会等の地域の組織は必要になると感じますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 今後の町内会等の地域の組織の必要性については、「必要ない」が49%、「必要になる」が39%であった。

図表 158 今後の町内会等の地域の組織の必要性

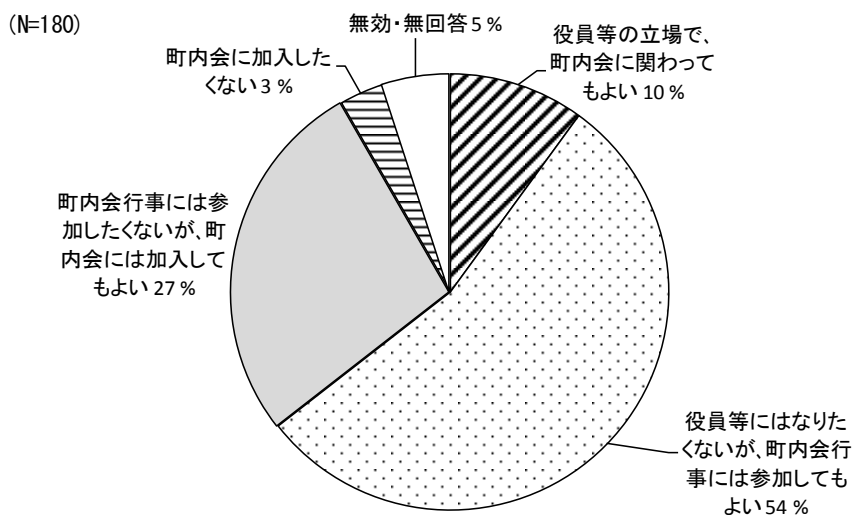


問 17 問 16 で「1. 必要になる」と答えられた方にお伺いします。

今後地域で町内会ができた場合の、町内会組織や活動への参加のご意向についてお教えてください。

- ・ 今後、町内会等の地域の組織が必要になると感じる方に対して、町内会組織や地域の活動への参加の意向を聞いたところ、「役員等にはなりたくないが、町内会行事には参加してもよい」(54%) が最も高く、「町内会行事には参加したくないが、町内会には加入してもよい」(27%)、「役員等の立場で、町内会に関わってもよい」(10%) の順が続いている。

図表 159 町内会組織や活動への参加意向





## 4. 東日本大震災時の地域との関わりについて

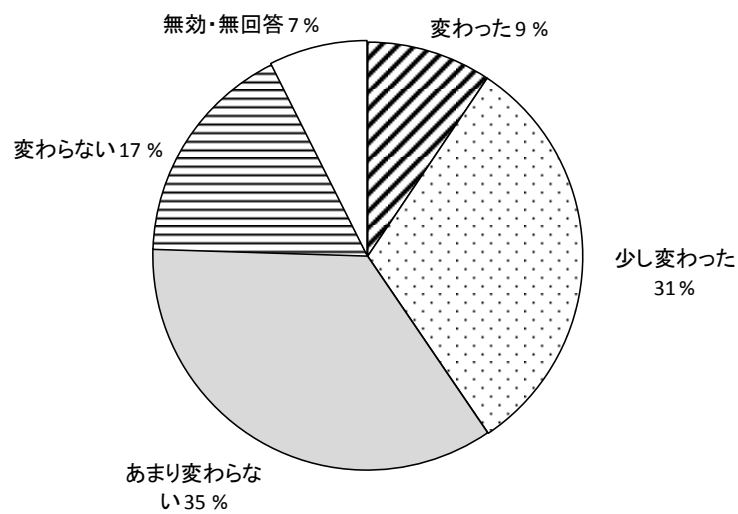
### (1) ご近所づきあいに対する考え方の変化

問 18 東日本大震災前後で、ご近所付き合いに対する考え方は変わりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 東日本大震災後のご近所づきあいの考え方の変化をみると、「あまり変わらない」(35%)が最も多く、続いて「少し変わった」(31%)、「変わらない」(17%)の順であった。
- ・ 「変わった」「少し変わった」とする回答の合計は約4割という結果となった。

図表 160 東日本大震災前後でのご近所づきあいに対する考え方の変化

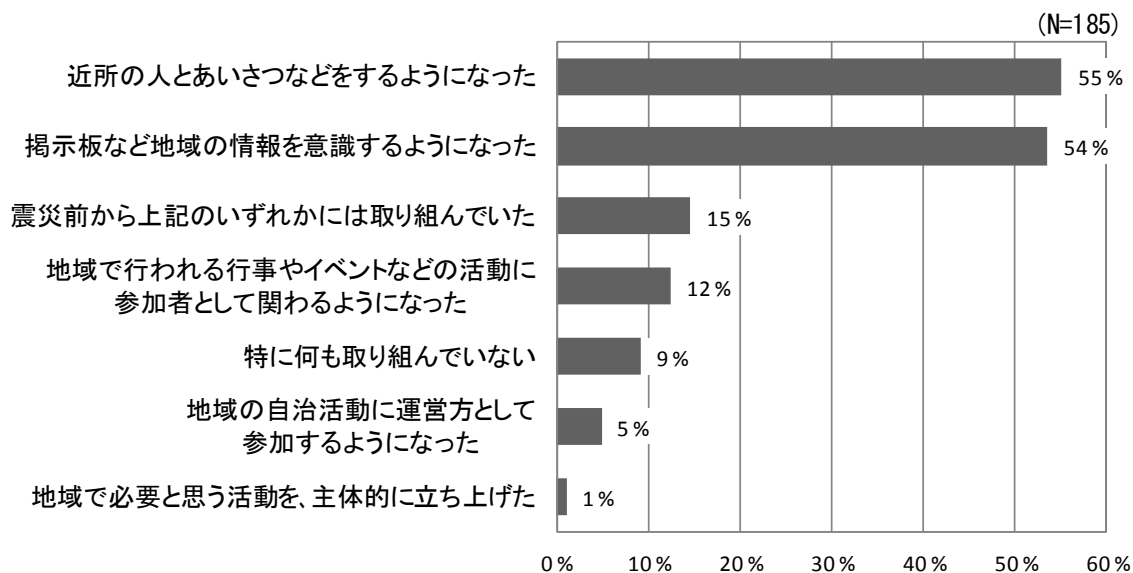
(N=457)



問19 問18で「1. 変わった」または「2. 少し変わった」と答えられた方におうかがいします。具体的に取り組んだことは何かありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 東日本大震災後にご近所づきあいの考え方が変わったとする方に対して、具体的に取り組んだことについてきくと、「近所の人とあいさつなどをするようになった」(55%)が最も多く、続いて「掲示板など地域の情報を意識するようになった」(54%)が次いでいる。

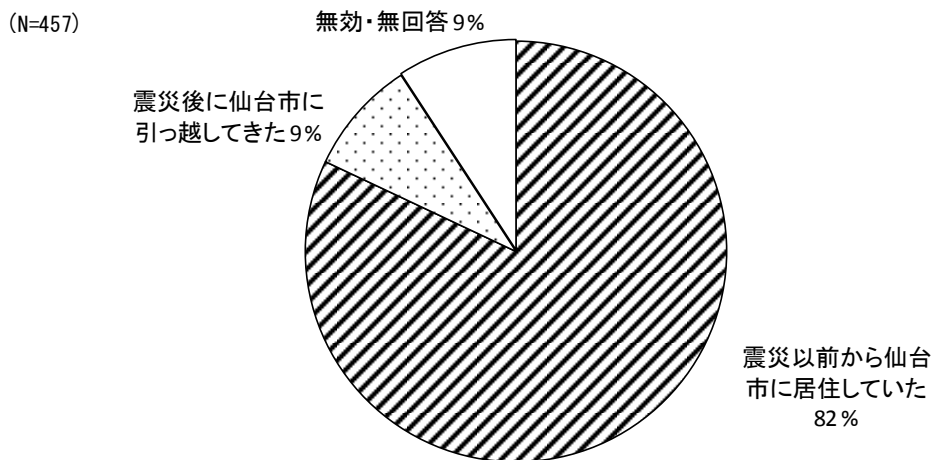
図表 161 具体的に取り組んだこと



問20 東日本大震災以前から、仙台市内にお住まいでしたか。(あてはまるもの1つに○)

- 東日本大震災以前から仙台市内に居住していたかについては、「震災以前から仙台市に居住していた」が82%となっている。

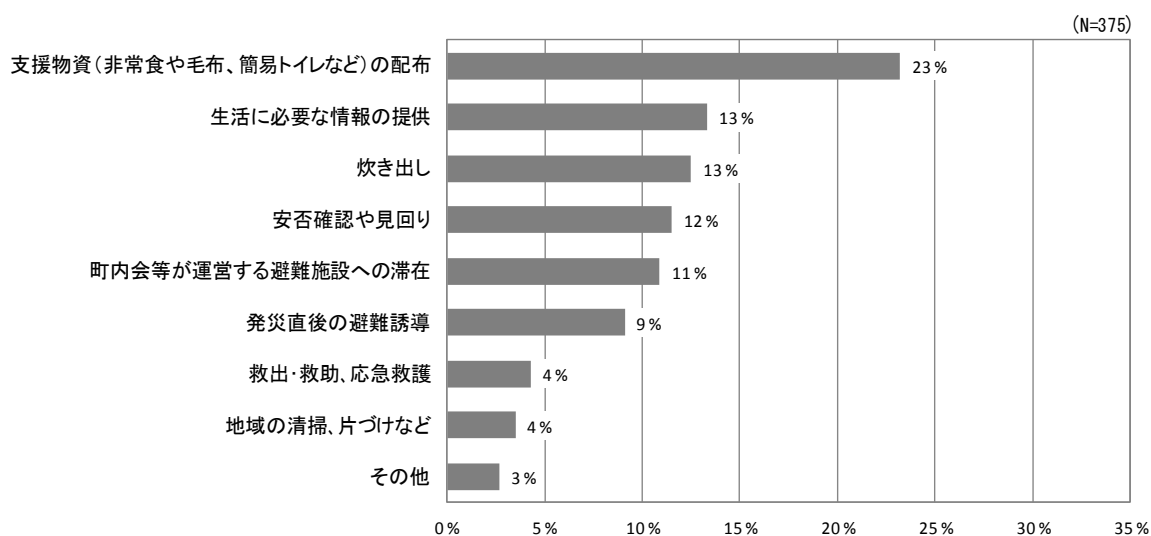
図表 162 東日本大震災時から仙台市内に住んでいたか



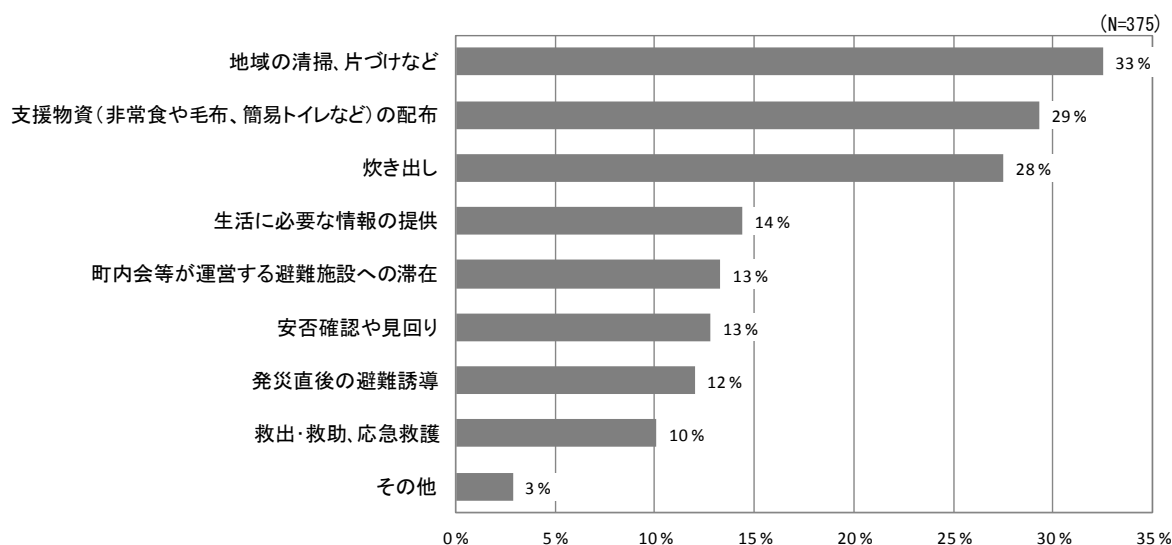
問 21 震災時に、どのような支援を受けましたか。また、近隣にお住まいの方同士で、どのような助け合いをされましたか。(各選択肢について、該当するものすべてに○)

- ・ 東日本大震災前から仙台市に居住していた方に、受けた支援についてきくと、「支援物資（非常食や毛布、簡易トイレなど）の配布」(23%)が最も高く、「生活に必要な情報の提供」(13%)、「炊き出し」(13%)が次いでいる。
- ・ 近隣同士の助け合いについては「地域の清掃、片づけなど」(33%)が最も高く、「支援物資（非常食や毛布、簡易トイレなど）の配布」(29%)、「炊き出し」(28%)が次いでいる。
- ・ 震災後の助け合いは、近隣住民同士を中心に行われたことがうかがえる。

図表 163 受けた支援



図表 164 近隣同士の助け合い



## 5. 回答者属性

### (1) 回答者自身について

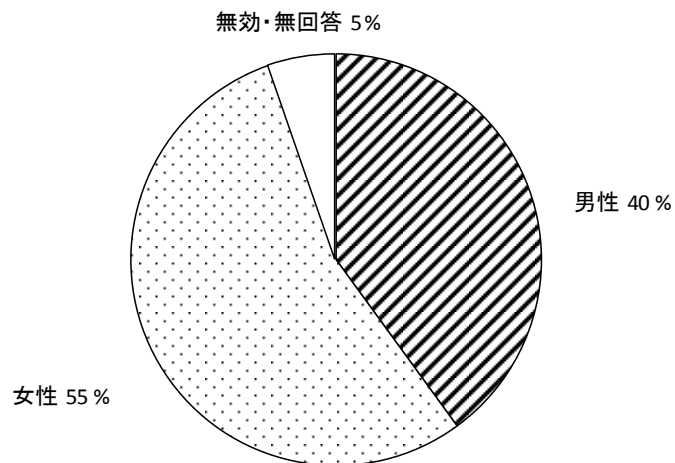
問 23 あなた自身やご家族についておたずねします。(それぞれ、あてはまるものに○)

#### A. 性別

- 性別をみると、「女性」(55%)、「男性」(40%)となっている。

図表 165 性別

(N=457)

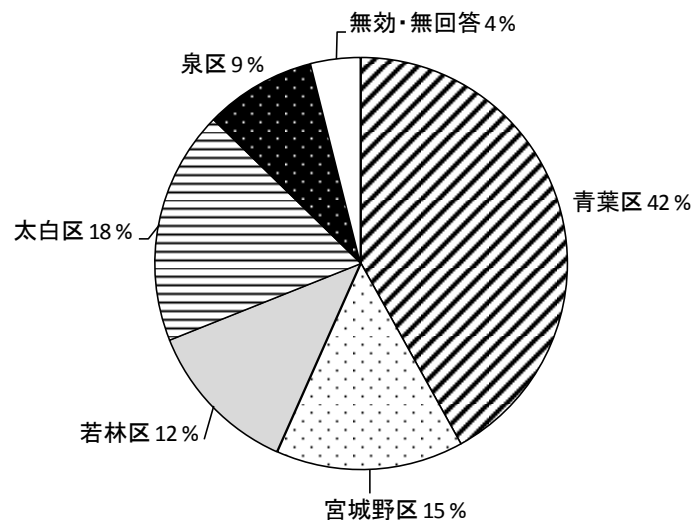


#### B. お住まいの区

- お住まいの区をみると、「青葉区」(42%)、「太白区」(18%)、「宮城野区」(15%)、「若林区」(12%)、「泉区」(9%)となっている。

図表 166 お住まいの区

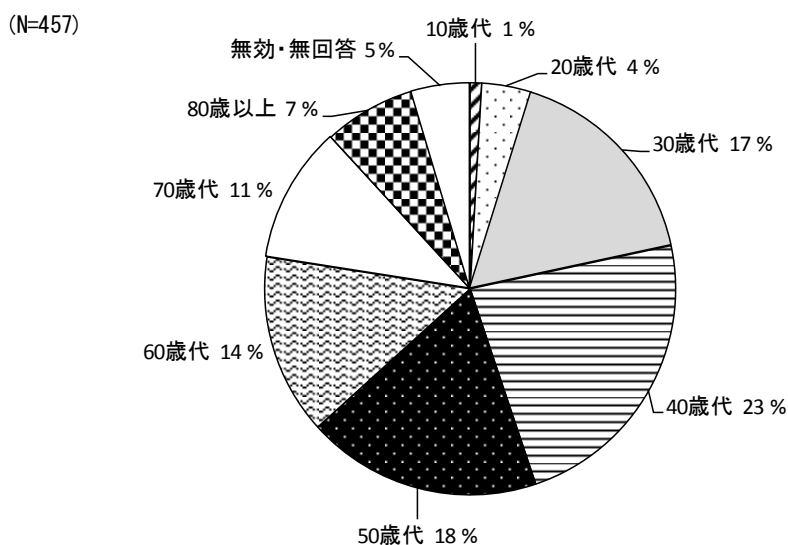
(N=457)



C. 年齢

- 年齢をみると、「40歳代」(23%)、「50歳代」(18%)、「30歳代」(17%)となっている。

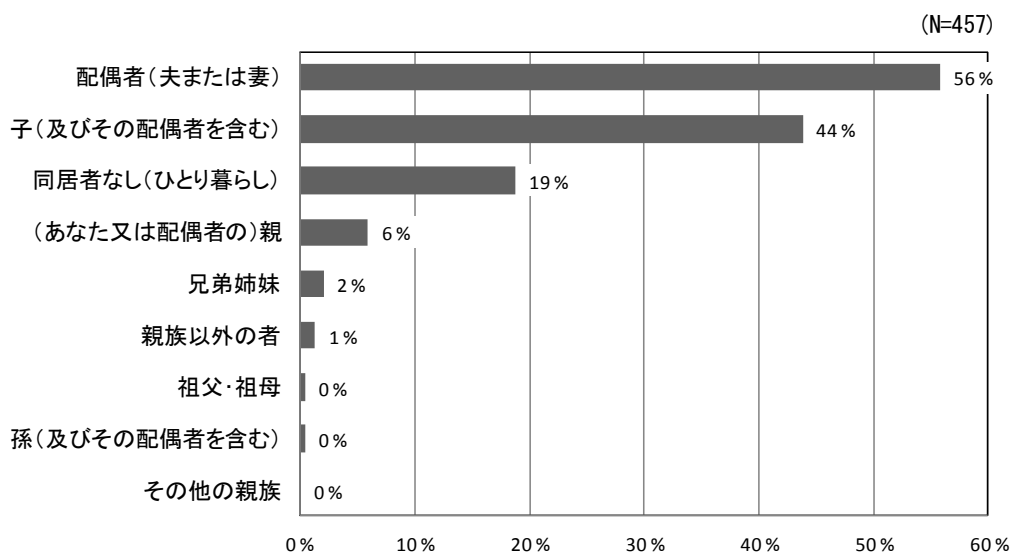
図表 167 年齢



D. 同居する家族

- 同居する家族をみると、「配偶者（夫または妻）」(56%)が最も多く、続いて「子（及びその配偶者を含む）」(44%)が次いでいる。

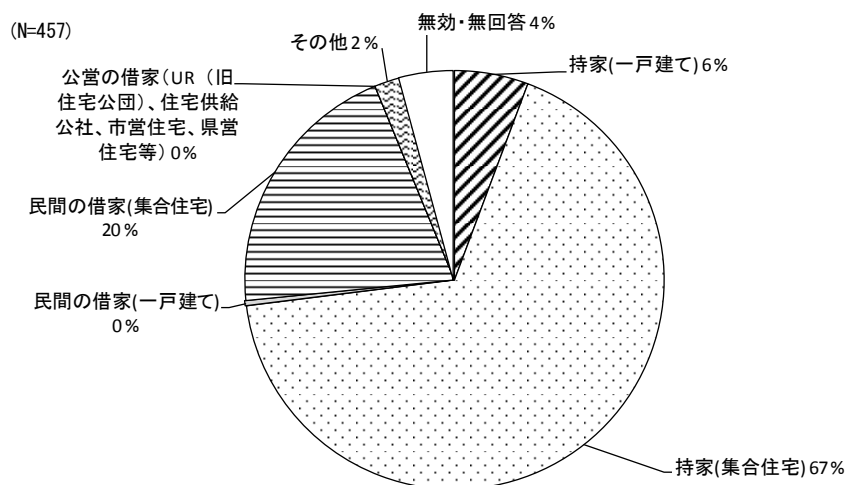
図表 168 同居する家族



E. 住宅の種類

- 住宅の種類をみると、「持家（集合住宅）」（67%）が最も多く、続いて「民間の借家（集合住宅）」（20%）、「持家（一戸建て）」（6%）の順となっている。

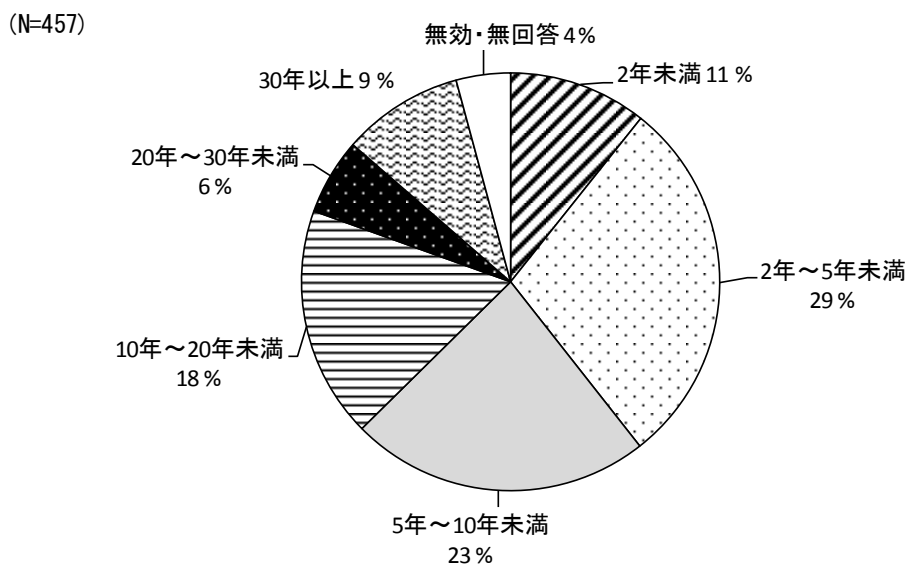
図表 169 住宅の種類



F. 居住年数

- 居住年数をみると、「2年～5年未満」（29%）が最も多く、「5年～10年未満」（23%）、「10年～20年未満」（18%）が続いており、10年未満居住している人が約6割となっている。

図表 170 居住年数



## 6. 自由記述

### 解散地域の意見

- ・町内会が無く、市の広報誌市政だよりを読むのが唯一の市政とのつながりで、集合住宅内の横のつながりもなく全く情報不足を感じます。災害、医療、生活の中での細かいお知らせ等はラジオ、テレビ等にも関心を持ち、情報を集めておりますが、情報が入らないまま終わる場合も多いです。
- ・もっと地域と関わりを持ちたいと思いますが、町内会も解散し、地域との結びつきが何もありません。住民同士で話をする場もありません。
- ・町内会が解散となり、活動はありませんが、今のところ不便とは思っていません。ただし、以前の様な隣近所地域とのコミュニケーションはあまりなくなりました。

### 未結成マンションの意見

- ・特に不便や困りごとはありませんが、近所づきあいが希薄であることは良い事だとは思っていません。しかし、お互いどのような人かわからない為、一步が踏み出せず挨拶程度の関係にとどまっているのだと思います。顔は知っている人達なので、いざという時になればむしろ協力できるのではと思います。
- ・マンション管理組合は町内会ではないのか？違いが判りません。
- ・災害の際はマンションを通じて、何らかの連絡があるとは思いますが、地域の自治会（町内会）活動についてはよく分からないこともまだ多くあります。活動内容の広報が少しあってもよいのではとも思います。ただ、通常の生活においては特別不便を感じることはないです。
- ・不便に感じることは特にありません。町内会の活動が住みよい環境の一端を担っているだろうという認識はあるのですが、集合住宅に住むようになると、意識が薄れます。掲示板に張られた町内会の掲示物は見ているのですが、行事の案内が多いかもしれません。報告のようなものが増えるといいです。
- ・夜間に何かの講習会や勉強会があれば参加してみたいと思います。以前別の地域で子育てしていた時には、町内会活動は楽しく参加していました。
- ・共働き等仕事をしている方が多いので、町内会のあり方は考えるべき。ご近所挨拶ぐらいしかしいが、災害時等いざとなったら助け合えると思います。
- ・震災後人の変わりがありました。新しい方は挨拶をしても知らん顔する人が多く、そういう方々に対して少し不安に思います。

## V. 調査票

---

- 町内会長向けアンケート(単位町内会長)
- 町内会長向けアンケート (連合町内会長)
- 地域別市民意識調査
- 町内会空白地域向け意識調査





## 「町内会等実態調査」へのご協力のお願い

町内会長の皆さま

平成 26 年 8 月  
仙 台 市

町内会長の皆さまには、日頃より地域福祉や環境美化、防犯防災など様々な地域活動において中心的な役割を果たしていただくなど、本市の行政サービスの大きな一翼を担っていただいております。また、東日本大震災の発災直後の避難所運営から、現在の復旧・復興につきましても、皆さまのお力が大きな原動力となり仙台の再生に向けたさまざまな取り組みが進んでおりますことに、改めまして深く感謝申し上げます。

しかしながら、こうした大変重要な町内会について、活動の担い手や役員のなり手の不足、あるいは、地域コミュニティの変容など、町内会活動を取り巻く環境が厳しさを増しているとも言われております。

この調査は、町内会を取り巻く現状や課題などを把握し、今後のまちづくりに向けた取り組みの検討等に活用するために実施するものでございます。

ご回答いただきました内容につきましては、例えば「1 番の意見の方が計何人で、全体の何パーセント」などのように統計的に集計し公開いたしますので、皆様にご迷惑がかかるようなことはございません。調査結果は来年 2 月頃に取りまとめる予定であり、皆様にお送りさせていただきますとともに、市のホームページ等で公開させていただきます。お手数とは存じますが、本調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### お問い合わせ先

仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課 電話022-214-1245

### ＊ ＊ ご記入にあたってのお願い ＊ ＊

1. ご回答は、原則として町内会長様ご本人が行ってください。
2. ご回答にあたっては、設問の内容をよくお読みいただき、あてはまる番号や欄に○をつけてください。「その他」を選んだ場合は、( ) 内に具体的な内容をお書きください。自由記述欄につきましても、可能な範囲で具体的にご記入ください。
3. ご記入が終わりましたら、記入内容をお確かめの上、**専用の返信用封筒（切手不要）**に本調査票を封入し、**平成 26 年 9 月 8 日(月)**までにご投函ください。

※返信用封筒表面のバーコードは、料金受取人払いとするため郵便局からの指示で印刷したもので、ご回答された方を特定するものではありません。

4. ご回答の際、ご不明な点などございましたら、上記までお問い合わせください。

## 仙台市 町内会等実態調査票（単位町内会長様向け）

### 町内会組織についてお聞きします

問1 貴町内会の名前を記入してください。

町内会名 : \_\_\_\_\_

問2 貴町内会が発足したのはいつごろですか。（あてはまるもの1つに○）

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| 1. 昭和19年以前 | 2. 昭和20年代  | 3. 昭和30年代 |
| 4. 昭和40年代  | 5. 昭和50年代  | 6. 昭和60年代 |
| 7. 平成元年～9年 | 8. 平成10年以降 | 9. わからない  |

問3 貴町内会の役員構成について教えてください。

名称	人数	うち女性	名称	人数	うち女性
会長		人	庶務	人	人
副会長	人	人	その他	人	人
理事	人	人	合計	人	人
会計	人	人			

「その他」の役員について、主な職名をご記入ください。（4つまで）

名称	名称

問4 貴町内会の役員の任期と、役員任期の規定について教えてください。

役員の任期	年
役員任期の規定 (あてはまるもの1つに○)	1. 連続して同一の役員に就任可能な任期を設けている 2. 役員の定年を設けている 3. 特に規定はない

問5 貴町内会では専門部会（またはそれに相当する組織）がありますか。ある場合、部会（またはそれに相当する組織）名をご記入ください。

1. ある      2. ない

↓ ある場合、部会名を記入ください。

名称	名称
(                    ) 部	(                    ) 部
(                    ) 部	(                    ) 部
(                    ) 部	(                    ) 部
(                    ) 部	(                    ) 部

**問 6 貴町内会では、会長、役員はどのようにして選ばれますか。(会長、役員の選び方をそれぞれ1つ選んでご記入ください)**

1. 総会での選挙	2. 役員間での互選・推薦	3. もちまわり
4. 町内会長の指名	5. 抽選	6. その他 ( )

会長  役員

**問 7 昨年度どの程度の頻度で役員会を開催しましたか。(あてはまるもの1つに○)**

1. 月1回	2. 2ヶ月に1回	3. 3ヶ月に1回
4. 半年に1回	5. 1年に1回	6. その他 ( )

**問 8 貴町内会組織の運営で課題となっていることをお教えてください。**

(下記1~12のうち重要と思われる順に3つまで選んで記入ください。)

1. 役員の高齢化や成り手不足	2. 役員を中心に特定の人に負担が集中
3. 行事の参加者が少ない(内容のマンネリ化など)	
4. 未加入世帯の増加	5. 会員の高齢化
6. 活動費の不足	7. 事務負担が大きい
8. 集会する場所がない	9. 新たな取り組みを行うノウハウがない
10. 行政からの依頼事項が多い	11. 新旧住民の交流が難しい
12. その他* ( )	

※「12. その他」を選択した場合は、具体的な内容を括弧内にご記入ください。

1.  2.  3.

### 町内会への加入状況についてお聞きします

**問 9 町内会の世帯数をお教えてください。(お分かりの範囲で)**

加入世帯数	約	世帯	未加入世帯数	約	世帯
-------	---	----	--------	---	----

**問 10 最近(直近5年程度)の町内会加入世帯数について教えてください。(あてはまるもの1つに○)**

1. 増えている	2. かわらない	3. 減っている	4. わからない
----------	----------	----------	----------

**問 11 貴町内会エリア内の集合住宅との関係について教えてください。**

町内会と集合住宅の関係 (あてはまるもの1つに○)	1. 全ての集合住宅が町内会に加入している 2. 全てではないが、町内会に加入している集合住宅もある 3. 全ての集合住宅が町内会に加入していない 4. 集合住宅はない 5. 集合住宅のみで形成されている町内会である
エリア内の集合住宅棟数※	概ね ( ) 棟

※貴町内会が「集合住宅のみで形成されている町内会である」場合、空欄で結構です。

## 町内会で実施されている活動についてお聞きします

問 12 貴町内会での、以下の表に掲げるA～Kの活動の実施状況についてお聞きします。

(1) A～Kの活動の状況についてあてはまる欄に○をつけてください。

(2) A～Kの活動のうち、他の団体と連携して活動を行っている場合は、連携している団体の属性について番号をご記入ください。

1. 市役所又は区役所	2. 他の単位町内会	3. 連合町内会
4. NPOなどの市民団体	5. 市民センター	6. 地区社会福祉協議会
7. 地区民生委員児童委員協議会	8. 赤十字奉仕団	9. 地域包括支援センター
10. 地区募金会	11. 地区交通安全協会	12. (介護・福祉)施設
13. 学校	14. 児童館	15. 企業・商店(街)
		16. その他

(3) 町内会で(引き続き、新たに)力を入れていきたい活動すべてに○をつけてください。

活動内容	(1) 現在の活動状況				(2) 連携している団体 (複数回答可)	(3) 力を入れて いきたい 活動
	積 極 的 に 活 動	あ る 程 度 活 動	あ ま り 活 動 し て い な い	全 く 活 動 し て い な い		
<b>回答例) 地域の親睦・交流を図るための活動 (夏祭り・運動会・敬老会・新年会・旅行会等)</b>		○			1、3、4	○
A. 地域の親睦・交流を図るための活動 (夏祭り・運動会・敬老会・新年会・旅行会等)						
B. 住民相互の連絡 (回覧板・町内会だよりの発行・掲示板の管理等)						
C. 慶弔行事への相互協力 (会員の慶弔行事等)						
D. 文化活動・健康増進活動 (趣味講座の実施・介護予防講座の開催等)						
E. 防災活動 (防災訓練・災害時要援護者の支援体制づくり等)						
F. 防犯や交通安全に関する活動 (防犯パトロール・交通安全運動の実施等)						
G. 住環境美化活動 (ごみ集積所の清掃・花壇作り・資源回収等)						
H. 地域住民の声の行政への要望 (地域懇談会の開催・地域環境整備の要望等)						
I. 地域福祉の増進 (活動例は欄外を参照)						
J. 児童・生徒の健全育成 (子供会・学校行事・スポーツ少年団への支援等)						
K. 地域主体のまちづくり活動 (まちづくり研修会の実施等)						

地域福祉の増進の活動例：(高齢者・障害者等への見守り・声掛けなどの支え合い活動、ふれあいサロンや子育て支援サロンの開催、寄付・募金の協力呼びかけなど)

○はいくつでも

問 13 問 12 でお教えいただいた他の団体と連携して行っている活動について、代表的な活動の名称、連携している代表的な団体、連携の経緯・きっかけや活動内容についてお教えてください。(代表的な活動を1つ)

代表的な活動の名称			
連携している団体 (あてはまるものすべてに○)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">           1. 市役所又は区役所            3. 連合町内会            5. 市民センター            7. 地区民生委員児童委員協議会            9. 地域包括支援センター            11. 地区交通安全協会            13. 学校            15. 企業・商店(街)         </td> <td style="width: 50%; border: none;">           2. 他の単位町内会            4. NPOなどの市民団体            6. 地区社会福祉協議会            8. 赤十字奉仕団            10. 地区募金会            12. (介護・福祉)施設            14. 児童館            16. その他( )         </td> </tr> </table>	1. 市役所又は区役所 3. 連合町内会 5. 市民センター 7. 地区民生委員児童委員協議会 9. 地域包括支援センター 11. 地区交通安全協会 13. 学校 15. 企業・商店(街)	2. 他の単位町内会 4. NPOなどの市民団体 6. 地区社会福祉協議会 8. 赤十字奉仕団 10. 地区募金会 12. (介護・福祉)施設 14. 児童館 16. その他( )
1. 市役所又は区役所 3. 連合町内会 5. 市民センター 7. 地区民生委員児童委員協議会 9. 地域包括支援センター 11. 地区交通安全協会 13. 学校 15. 企業・商店(街)	2. 他の単位町内会 4. NPOなどの市民団体 6. 地区社会福祉協議会 8. 赤十字奉仕団 10. 地区募金会 12. (介護・福祉)施設 14. 児童館 16. その他( )		
連携のきっかけ、経緯	<p><b>回答例)学校の地域連携担当職員との定期的な意見交換をきっかけに、地域の祭りに学校が協力してもらうことになった。</b></p>		
主な活動の内容	<p><b>回答例)〇〇祭りの設営やゴミ処理等のボランティアに〇〇中学校の生徒が参加してくれている。</b>  <b>祭りの模擬店には PTA も出店している。</b></p>		

## 東日本大震災の経験を踏まえた町内会の活動についてお聞きします

問 14 東日本大震災時の活動状況についてお教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |                            |                |
|----------------------------|----------------|
| 1. 発災直後の避難誘導               | 2. 救出・救助、応急救護  |
| 3. 安否確認や見回り                | 4. 避難施設の運営     |
| 5. 支援物資（非常食や毛布、簡易トイレなど）の配布 |                |
| 6. 炊き出し                    | 7. 地域の清掃、片づけなど |
| 8. 生活に必要な情報の提供             |                |
| 9. その他（                    | ）              |
| 10. 特に何もしていない              |                |

問 15 震災後、地域住民の意識に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 加入や活動に対する問い合わせが増えた | 2. 活動・行事への意見や要望が増えた |
| 3. 活動・行事への参加者が増えた     | 4. 特にかわらない          |
| 5. その他（               | ）                   |

問 16 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 住民のふれあい・交流行事の開催           |   |
| 2. 家庭での防災対策の呼びかけ（家具固定、備蓄など）  |   |
| 3. 町内会での防災資機材、備蓄などの充実        |   |
| 4. 防災訓練、避難所運営訓練の実施           |   |
| 5. 要配慮者（高齢者、障がい者）の避難支援の体制づくり |   |
| 6. 緊急連絡先の把握                  |   |
| 7. 町内会への加入促進                 |   |
| 8. その他（                      | ） |
| 9. 特に行っていない                  |   |

問 17 今後、地域の防災力を向上させるために、町内会が担う必要があると思う役割について教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

- |   |   |
|---|---|
| 1. 日ごろから防災のお知らせを出すなど、広報活動に取り組む          |   |
| 2. 災害時の救出・救助訓練や避難訓練などに取り組む              |   |
| 3. 救助や炊き出しに用いる器材の準備や、非常食などをたくわえる        |   |
| 4. 地域のなかで危ない場所を調べて、地域住民にお知らせする          |   |
| 5. 災害時の避難に支援の必要な方を把握し、いざというときの支援の仕組みを作る |   |
| 6. 災害に備えて、地元の企業などと連携の仕組みを作る             |   |
| 7. 災害に備えて、行政との連携の仕組みを作る                 |   |
| 8. その他（                                 | ） |

## 町内会活動の担い手についてお聞きします

問 18 現在、町内会活動を中心的に担っているのはどのような人ですか。(あてはまるもの3つまで○)

- |              |                   |            |             |
|--------------|-------------------|------------|-------------|
| 1. 農林漁業従事者   | 2. 会社経営者・自営業者     | 3. 勤務者（常勤） | 4. 勤務者（非常勤） |
| 5. 退職者・年金受給者 | 6. (1~5を除いた) 専業主婦 | 7. その他 ( ) |             |

問 19 貴町内会では、子育て世代等の若い住民が活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- |                |                            |
|----------------|----------------------------|
| 1. 役員として参加している | 2. 役員ではないが担い手として活動には参加している |
| 3. あまり参加していない  | 4. ほとんど参加していない             |

問 20 貴町内会では、女性が活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- |                |                            |
|----------------|----------------------------|
| 1. 役員として参加している | 2. 役員ではないが担い手として活動には参加している |
| 3. あまり参加していない  | 4. ほとんど参加していない             |

問 21 集合住宅の住民は、活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○) ※

- |                |                            |
|----------------|----------------------------|
| 1. 役員として参加している | 2. 役員ではないが担い手として活動には参加している |
| 3. あまり参加していない  | 4. ほとんど参加していない             |

※貴町内会が「集合住宅のみで形成されている町内会である」場合、ご回答は不要です。

問 22 役員の成り手を確保するため、どのような工夫をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 時間的な負担を軽減する            | 2. 役員に報酬を支払っている    |
| 3. 役員一人当たりの作業負担を軽減する      |                    |
| 4. 役員や会員とのコミュニケーションを大事にする |                    |
| 5. 町内会の役割や活動内容を周知する       | 6. 活動への参加・協力をよびかける |
| 7. 町内会の活動を常に見直し、興味を持たせる   |                    |
| 8. 活動の透明性を高める             |                    |
| 9. その他 ( )                |                    |
| 10. 特に工夫していることはない         |                    |

問 23 町内会の行事の参加者を増やすため、どのような工夫をしていますか(あてはまるものすべてに○)

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1. 町内会の活動を常に見直し、関心を持たせる |  |
| 2. 町内会行事の広報チラシを工夫する     |  |
| 3. 行事の日程を早めにお知らせする      |  |
| 4. 直接会ったときに誘う           |  |
| 5. 他の団体に周知に協力いただく       |  |
| 6. 連合町内会と一緒に周知する        |  |
| 7. その他 ( )              |  |
| 8. 特に工夫していることはない        |  |

問 24 町内会加入への取組みを行っておりますか（あてはまるもの1つに○）

1. 行っている	2. 行っていない
----------	-----------

問 25 問 24 で「1. 行っている」とした方にお聞きします。

町内会加入に向けた取組みの内容について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 会報やチラシを配布している	2. 会長や役員が面談し、説明している
3. 班長が面談し、説明している	4. ホームページやメールによる加入案内
5. 集合住宅の建設時等に開発事業者を通じて働きかけている	
6. 地域イベントの際に説明している	7. その他（ )

町内会の広報活動についてお聞きします

問 26 現在利用されている活動の伝達手段、広報手法は主にどのようなものを使っていますか（それぞれ、あてはまるものに○）

	現在利用 している	今後の利用に 関心がある	利用する予 定はない
A. お知らせの個別配布			
B. 回覧板			
C. 掲示板			
D. 電話連絡網			
E. ホームページ			
F. Eメール、携帯メール			
G. 町内会だより			
H. その他（ )			

問 27 貴町内会で実施されている活動は、住民の方に十分認知されていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 活動が十分認知されている
2. 認知されているが、一部の住民には伝わっていない
3. 活動が十分認知されていない

問 28 町内会の伝達手段や広報活動についてどのような課題がありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 回覧板が回るのが遅い	2. 行政からの依頼の回覧物が多い
3. わかりやすい広報物をつくるのが難しい	4. 集合住宅への広報が難しい
5. ホームページの作成等、インターネットを活用したいが、担い手がない	
6. 広報紙を作成したいが、担い手がない	7. 広報活動に力を入れたいが、予算が無い
8. その他（ )	
9. 特にない	



## 町内会の活動拠点についてお聞きします

問 29 貴町内会では、集会所・集会室をおもちですか。(あてはまるもの1つに○)

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 自己所有している(築 年程度)      | 2. 賃借している(無償含む) |
| 3. 持っていない(利用する都度、借りている) |                 |

問 30 問 29 で「1. 自己所有している」とされた方にお聞きします。集会所を所有することの課題について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |             |                  |             |
|-------------|------------------|-------------|
| 1. 集会所の老朽化  | 2. 用具等の保管スペースの確保 | 3. 集会所の管理費用 |
| 4. 集会所の利用調整 | 5. その他( )        |             |
| 6. 特にない     |                  |             |

問 31 問 29 で「3. 持っていない」とされた方にお聞きします。

(1) 役員会等の町内会の会合は、主にどこで行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |             |                |            |          |
|-------------|----------------|------------|----------|
| 1. 市民センター   | 2. コミュニティ・センター | 3. 学校等の会議室 | 4. 民間の貸館 |
| 5. 集合住宅の集会室 | 6. 会長宅         | 7. 好日庵     | 8. 老人憩の家 |
| 9. 社務所・寺    | 10. その他( )     |            |          |

(2) 集会所を持っていないことでどのような課題がございますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 総会等の活動場所の確保    | 2. 活動時間の制約 |
| 3. 集会所を借りる際の賃料の負担 | 4. その他( )  |
| 5. 特にない           |            |

## 町内会の活動エリアについて会長様のご印象をお聞きします

問 32 地域の概況について教えてください※(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

土地利用の状況	1. 戸建住宅地	2. 戸建・集合住宅混在
	3. 住商混合	4. ほぼ集合住宅
	5. 中山間地域	
地域の歴史	1. 戦前から	2. 戦後～昭和30年代開発
	3. 昭和40年代～昭和60年代開発	
	4. 平成期開発	
商店街の有無	1. 有	2. 無
農地の有無	1. ほとんどない	2. 農地が混在している
	3. 農地中心	

※貴町内会が集合住宅のみで町内会を形成している場合は、集合住宅の周辺地域の概況についてお教えてください。

**問 33 地域住民の特徴についてお教えてください。**

**(1) 世帯構成 (主にあてはまるもの2つに○)**

1. 未成年の子供のいる核家族が多い	2. 三世代以上の同居世帯が多い
3. 夫婦のみの世帯が多い	4. 単身世帯が多い
5. 高齢者のみの世帯が多い	6. 外国人世帯が多い
7. わからない	

**(2) 住民の居住年数の特徴 (あてはまるもの1つに○)**

1. 長く住んでいる人が多い	2. 住民の入れ替わりが多い
3. わからない	

**会長様ご自身のことについて**

**問 34 会長様ご自身についておたずねします。(それぞれ、あてはまるものに○)**

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代
	5. 60歳代	6. 70歳代	7. 80歳以上	
職業	1. 農林漁業従事者	2. 会社経営者・自営業者	3. 勤務者(常勤)	
	4. 勤務者(非常勤)	5. 退職者・年金受給者		
	6. (1~5を除いた)専業主婦			7. その他( )
会長に就任してからの年数	1. 1年未満	2. 1~2年	3. 2~3年	
	4. 3年以上( )年			
居住年数	1. 2年未満	2. 2年~5年未満	3. 5年~10年未満	
	4. 10年~20年未満	5. 20年~30年未満	6. 30年以上	

**問 35 あなたは町内会長として、町内会業務で1ヶ月平均何日ぐらい従事されますか。(少しでも町内会業務に従事された日は「1日」として数えてください)**

( ) 日

**問 36 あなたは町内会長以外の、地域団体等の役職・役員を引き受けていますか。(あてはまるものすべてに○)**

1. 連合町内会長	2. 民生・児童委員	3. 地区社会福祉協議会
4. 地区募金会	5. 赤十字奉仕団	6. 学区民体育振興会
7. 地区老人クラブ連合会	8. PTA	9. 子ども会
10. コミュニティ・センター運営委員会	11. 消防団	12. 婦人防火クラブ
13. 地区防犯協会	14. 地区交通安全協会	
15. その他( )		

問 37 最後に、町内会活動・地域活動全般について、何かご意見などがございましたらご記入ください。(自由記述)

※欄が足りない場合は、裏面もご利用ください。

ご協力どうもありがとうございました。  
調査票は9月8日(月)までにご返送ください。



## 「町内会等実態調査」へのご協力のお願い

町内会長の皆さま

平成 26 年 8 月

仙 台 市

町内会長の皆さまには、日頃より地域福祉や環境美化、防犯防災など様々な地域活動において中心的な役割を果たしていただくなど、本市の行政サービスの大きな一翼を担っていただいております。また、東日本大震災の発災直後の避難所運営から、現在の復旧・復興につきましても、皆さまのお力が大きな原動力となり仙台の再生に向けたさまざまな取り組みが進んでおりますことに、改めまして深く感謝申し上げます。

しかしながら、こうした大変重要な町内会について、活動の担い手や役員のなり手の不足、あるいは、地域コミュニティの変容など、町内会活動を取り巻く環境が厳しさを増しているとも言われております。

この調査は、町内会を取り巻く現状や課題などを把握し、今後のまちづくりに向けた取り組みの検討等に活用するために実施するものでございます。

ご回答いただきました内容につきましては、例えば「1 番の意見の方が計何人で、全体の何パーセント」などのように統計的に集計し公開いたしますので、皆様にご迷惑がかかるようなことはございません。調査結果は来年 2 月頃に取りまとめる予定であり、皆様にお送りさせていただきますとともに、市のホームページ等で公開させていただきます。お手数とは存じますが、本調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### お問い合わせ先

仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課 電話022-214-1245

### \* \* ご記入にあたってのお願い \* \*

1. ご回答は、原則として町内会長様ご本人が行ってください。
2. ご回答にあたっては、設問の内容をよくお読みいただき、あてはまる番号や欄に○をつけてください。「その他」を選んだ場合は、( ) 内に具体的な内容をお書きください。自由記述欄につきましても、可能な範囲で具体的にご記入ください。
3. ご記入が終わりましたら、記入内容をお確かめの上、**専用の返信用封筒（切手不要）**

**に本調査票を封入し、平成 26 年 9 月 8 日(月)**までにご投函ください。

※返信用封筒表面のバーコードは、料金受取人払いとするため郵便局からの指示で印刷したもので、ご回答された方を特定するものではありません。

4. ご回答の際、ご不明な点などございましたら、上記までお問い合わせください。

## 仙台市 町内会等実態調査票（連合町内会長様向け）

### 町内会組織についてお聞きします

問1 貴連合町内会の名前を記入してください。

連合町内会：

問2 貴連合町内会が発足したのはいつごろですか。（あてはまるもの1つに○）

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| 2. 昭和19年以前 | 2. 昭和20年代  | 3. 昭和30年代 |
| 4. 昭和40年代  | 5. 昭和50年代  | 6. 昭和60年代 |
| 7. 平成元年～9年 | 8. 平成10年以降 | 9. わからない  |

問3 貴連合町内会の役員構成について教えてください。

名称	人数	うち女性	名称	人数	うち女性
会長		人	庶務	人	人
副会長	人	人	その他	人	人
理事	人	人	合計	人	人
会計	人	人			

「その他」の役員について、主な職名をご記入ください。（4つまで）

名称	名称

問4 貴連合町内会の役員の任期と、役員任期の規定について教えてください。

役員の任期	年
役員任期の規定 （あてはまるもの1つに○）	1. 連続して同一の役員に就任可能な任期を設けている 2. 役員の定年を設けている 3. 特に規定はない

問5 貴連合町内会では専門部会（またはそれに相当する組織）がありますか。ある場合、部会（またはそれに相当する組織）名をご記入ください。

1. ある      2. ない

↓ ある場合、部会名を記入ください。

名称	名称
(                    ) 部	(                    ) 部
(                    ) 部	(                    ) 部
(                    ) 部	(                    ) 部
(                    ) 部	(                    ) 部

問6 貴連合町内会では、会長、役員はどのようにして選ばれますか。(会長、役員の選び方をそれぞれ1つ選んでご記入ください)

1. 総会での選挙	2. 役員間での互選・推薦
3. もちまわり	4. 連合町内会長の指名
5. 抽選	6. その他 ( )

会長  役員

問7 昨年度どの程度の頻度で役員会を開催しましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. 月1回	2. 2ヶ月に1回	3. 3ヶ月に1回
4. 半年に1回	5. 1年に1回	6. その他 ( )

問8 貴連合町内会組織の運営で課題となっていることをお教えてください。

(下記1~12のうち重要と思われる順に3つまで選んで記入ください。)

1. 役員の高齢化や成り手不足	2. 役員を中心に特定の人に負担が集中
3. 行事の参加者が少ない(内容のマンネリ化など)	
4. 未加入単位町内会の増加	5. 会員の高齢化
6. 活動費の不足	7. 事務負担が大きい
8. 集会する場所がない	9. 新たな取り組みを行うノウハウがない
10. 行政からの依頼事項が多い	11. 新旧住民の交流が難しい
12. その他* ( )	

※「12. その他」を選択した場合は、具体的な内容を括弧内にご記入ください。

2.  2.  3.

### 連合町内会で実施されている活動についてお聞きます

問9 下表の1~16の活動は、単位町内会、連合町内会のどちらが主体となって活動していますか。単位町内会、連合町内会がそれぞれ実施している活動を以下の選択肢からご記入ください。両団体ともに実施している活動については、両方に番号を記載ください。

1. お祭り	2. 運動会	3. 回覧板・町内会だよりの発行
4. 掲示板の管理	5. 会員の慶弔行事	6. 趣味講座の実施
7. 防災訓練	8. 災害時要援護者の支援体制づくり	
9. 防犯パトロール		10. 交通安全運動の実施等
11. ごみ集積所の清掃		12. 資源回収
13. 地域懇談会の開催		14. 高齢者等への見守りなどの支え合い活動
15. 子供会・スポーツ少年団への支援		16. まちづくり研修会の実施

単位町内会が主に実施している活動	連合町内会が主に実施している活動

問 10 貴連合町内会での、以下の表に掲げる A～K の活動の実施状況についてお聞きします。

(1) A～K の活動の状況についてあてはまる欄に○をつけてください。

(2) A～K の活動のうち、他の団体と連携して活動を行っている場合は、連携している団体の属性について番号をご記入ください。

1. 市役所又は区役所	2. 他地区の連合町内会	3. NPO などの市民団体
4. 市民センター	5. 地区社会福祉協議会	6. 地区民生委員児童委員協議会
7. 赤十字奉仕団	8. 地域包括支援センター	9. 地区募金会
10. 地区交通安全協会	11. (介護・福祉) 施設	12. 学校
13. 児童館	14. 企業・商店(街)	15. その他

(3) 連合町内会で(引き続き、新たに)力を入れていきたい活動すべてに○をつけてください。

活動内容	(2) 現在の活動状況				(2) 連携している団体 (複数回答可)	(3) 力を入れて いきたい 活動
	積極的 活動	ある 程度 活動	あまり してい ない	全く活 動し てい ない		
<b>回答例) 地域の親睦・交流を図るための活動 (夏祭り・運動会・敬老会・新年会・旅行会等)</b>		○			1、3、4	○
A. 地域の親睦・交流を図るための活動 (夏祭り・運動会・敬老会・新年会・旅行会等)						
B. 住民相互の連絡 (回覧板・町内会だよりの発行・掲示板の管理等)						
C. 慶弔行事への相互協力 (会員の慶弔行事等)						
D. 文化活動・健康増進活動 (趣味講座の実施・介護予防講座の開催等)						
E. 防災活動 (防災訓練・災害時要援護者の支援体制づくり等)						
F. 防犯や交通安全に関する活動 (防犯パトロール・交通安全運動の実施等)						
G. 住環境美化活動 (ごみ集積所の清掃・花壇作り・資源回収等)						
H. 地域住民の声の行政への要望 (地域懇談会の開催・地域環境整備の要望等)						
I. 地域福祉の増進 (活動例は欄外を参照)						
J. 児童・生徒の健全育成 (子供会・学校行事・スポーツ少年団への支援等)						
K. 地域主体のまちづくり活動 (まちづくり研修会の実施等)						

地域福祉の増進の活動例：(高齢者・障害者等への見守り・声掛けなどの支え合い活動、ふれあいサロンや子育て支援サロンの開催、寄付・募金の協力呼びかけなど)

○はいくつでも

問 11 問 10 でお教えいただいた他の団体と連携して行っている活動について、代表的な活動の名称、連携している代表的な団体、連携の経緯・きっかけや活動内容についてお教えてください。(代表的な活動を1つ)

代表的な活動の名称	
連携している団体 (あてはまるものすべてに○)	1. 市役所又は区役所 2. 他地区の連合町内会 3. NPO などの市民団体 4. 市民センター 5. 地区社会福祉協議会 6. 地区民生委員児童委員協議会 7. 赤十字奉仕団 8. 地域包括支援センター 9. 地区募金会 10. 地区交通安全協会 11. (介護・福祉) 施設 12. 学校 13. 児童館 14. 企業・商店(街) 15. その他 ( )
連携のきっかけ、経緯	<b>回答例) 学校の地域連携担当職員との定期的な意見交換をきっかけに、地域の祭りに学校が協力してもらうことになった。</b>
主な活動の内容	<b>回答例) ○○祭りの設営やゴミ処理等のボランティアに○○中学校の生徒が参加してくれている。</b> <b>祭りの模擬店には PTA も出店している。</b>

問 12 単位町内会の活動があまり活発でない地域等で、連合町内会が代わりに対応している例はありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 連合町内会の活動で対応している 2. 近隣の単位町内会に協力を依頼している 3. その他 ( ) 4. そのような例はない
---



## 東日本大震災の経験を踏まえた連合町内会の活動についてお聞きします

問 13 東日本大震災時の活動状況についてお教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |                            |                |
|----------------------------|----------------|
| 1. 発災直後の避難誘導               | 2. 救出・救助、応急救護  |
| 3. 安否確認や見回り                | 4. 避難施設の運営     |
| 5. 支援物資（非常食や毛布、簡易トイレなど）の配布 |                |
| 6. 炊き出し                    | 7. 地域の清掃、片づけなど |
| 8. 生活に必要な情報の提供             |                |
| 9. その他（                    | ）              |
| 10. 特に何もしていない              |                |

問 14 震災後、地域住民の意識に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 加入や活動に対する問い合わせが増えた | 2. 活動・行事への意見や要望が増えた |
| 3. 活動・行事への参加者が増えた     | 4. 特にかわらない          |
| 5. その他（               | ）                   |

問 15 震災後、新たに取り組んだり、より力を入れるようになった活動や行事はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 住民のふれあい・交流行事の開催           |   |
| 2. 家庭での防災対策の呼びかけ（家具固定、備蓄など）  |   |
| 3. 町内会での防災資機材、備蓄などの充実        |   |
| 4. 防災訓練、避難所運営訓練の実施           |   |
| 5. 要配慮者（高齢者、障がい者）の避難支援の体制づくり |   |
| 6. 緊急連絡先の把握                  |   |
| 7. 町内会への加入促進                 |   |
| 8. その他（                      | ） |
| 9. 特に行っていない                  |   |

問 16 今後、地域の防災力を向上させるために、連合町内会が担う必要があると思う役割について教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

- |   |   |
|---|---|
| 1. 日ごろから防災のお知らせを出すなど、広報活動に取り組む          |   |
| 2. 災害時の救出・救助訓練や避難訓練などに取り組む              |   |
| 3. 救助や炊き出しに用いる器材の準備や、非常食などをたくわえる        |   |
| 4. 地域のなかで危ない場所を調べて、地域住民にお知らせする          |   |
| 5. 災害時の避難に支援の必要な方を把握し、いざというときの支援の仕組みを作る |   |
| 6. 災害に備えて、地元の企業などと連携の仕組みを作る             |   |
| 7. 災害に備えて、行政との連携の仕組みを作る                 |   |
| 8. その他（                                 | ） |

## 町内会活動の担い手についてお聞きします

問 17 現在、**連合町内会**活動を中心的に担っているのはどのような人ですか。(あてはまるもの3つまで○)

- |              |                  |            |             |
|--------------|------------------|------------|-------------|
| 1. 農林漁業従事者   | 2. 会社経営者・自営業者    | 3. 勤務者(常勤) | 4. 勤務者(非常勤) |
| 5. 退職者・年金受給者 | 6. (1~5を除いた)専業主婦 | 7. その他( )  |             |

問 18 貴**連合町内会**では、子育て世代等の若い住民が活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- |                |                            |
|----------------|----------------------------|
| 1. 役員として参加している | 2. 役員ではないが担い手として活動には参加している |
| 3. あまり参加していない  | 4. ほとんど参加していない             |

問 19 貴**連合町内会**では、女性が活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- |                |                            |
|----------------|----------------------------|
| 1. 役員として参加している | 2. 役員ではないが担い手として活動には参加している |
| 3. あまり参加していない  | 4. ほとんど参加していない             |

問 20 **集合住宅**の住民は、活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- |                |                            |
|----------------|----------------------------|
| 1. 役員として参加している | 2. 役員ではないが担い手として活動には参加している |
| 3. あまり参加していない  | 4. ほとんど参加していない             |

問 21 役員の成り手を確保するため、どのような工夫をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 時間的な負担を軽減する            | 2. 役員に報酬を支払っている      |
| 3. 役員一人当たりの作業負担を軽減する      |                      |
| 4. 役員や会員とのコミュニケーションを大事にする |                      |
| 5. 町内会の役割や活動内容を周知する       | 6. 活動への参加・協力をよびかける   |
| 7. 町内会の活動を常に見直し、関心を持たせる   |                      |
| 8. 活動の透明性を高める             | 9. 役員のポストを単位町内会に割り振る |
| 10. その他( )                |                      |
| 11. 特に工夫していることはない         |                      |

問 22 **町内会**の行事の参加者を増やすため、どのような工夫をしていますか(あてはまるものすべてに○)

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 1. 町内会の活動を常に見直し、関心を持たせる |  |
| 2. 町内会行事の広報チラシを工夫する     |  |
| 3. 行事の日程を早めにお知らせする      |  |
| 4. 直接会ったときに誘う           |  |
| 5. 他の団体に周知に協力いただく       |  |
| 6. 単位町内会と一緒に周知する        |  |
| 7. その他( )               |  |
| 8. 特に工夫していることはない        |  |

### 連合町内会の広報活動についてお聞きします

問 23 現在利用されている活動の伝達手段、広報手法は主にどのようなものを使っていますか（それぞれ、あてはまるものに○）

	現在利用 している	今後の利用に 関心がある	利用する予 定はない
A. お知らせの個別配布			
B. 回覧板			
C. 掲示板			
D. 電話連絡網			
E. ホームページ			
F. Eメール、携帯メール			
G. 町内会だより			
H. その他（ ）			

問 24 貴連合町内会で実施されている活動は、住民の方に十分認知されていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 活動が十分認知されている
2. 認知されているが、一部の住民には伝わっていない
3. 活動が十分認知されていない

問 25 連合町内会の伝達手段や広報活動についてどのような課題がありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 回覧板が回るのが遅い
2. 行政からの依頼の回覧物が多い
3. わかりやすい広報物をつくるのが難しい
4. 集合住宅への広報が難しい
5. ホームページの作成等、インターネットを活用したいが、担い手がいない
6. 広報紙を作成したいが、担い手がいない
7. 広報活動に力を入れたいが、予算が無い
8. その他（ ）
9. 特になし

### 連合町内会の活動拠点についてお聞きします

問 26 貴連合町内会では、集会所・集会所をおもちですか。（あてはまるもの1つに○）

1. 自己所有している（築 年程度）
2. 賃借している（無償含む）
3. 持っていない（利用する都度、借りている）

問 27 問 26 で「1. 自己所有している」とされた方にお聞きします。集会所を所有することの課題について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 集会所の老朽化
2. 用具等の保管スペースの確保
3. 集会所の管理費用
4. 集会所の利用調整
5. その他（ ）
6. 特になし

問 28 問 26 で「3. 持っていない」とされた方にお聞きします。

(1) 役員会等の町内会の会合は、主にどこで行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |             |                |            |          |
|-------------|----------------|------------|----------|
| 2. 市民センター   | 2. コミュニティ・センター | 3. 学校等の会議室 | 4. 民間の貸館 |
| 5. 集合住宅の集会室 | 6. 会長宅         | 7. 好日庵     | 8. 老人憩の家 |
| 9. 社務所・寺    | 10. その他 ( )    |            |          |

(2) 集会所を持っていないことでどのような課題がございますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 総会等の活動場所の確保    | 2. 活動時間の制約 |
| 3. 集会所を借りる際の賃料の負担 | 4. その他 ( ) |
| 5. 特になし           |            |

### 単位町内会の解散状況についてお聞きします

問 29 過去5年の内、区域内の単位町内会から解散したい旨の相談を受けたことがありますか。

- |             |       |          |
|-------------|-------|----------|
| 1. ある ( ) 件 | 2. ない | 3. わからない |
|-------------|-------|----------|

問 30 問 29 で「1. ある」とされた方にお聞きします。

(1) 相談を受けた際、どのように対応したかご記入ください。

--

(2) 相談があった単位町内会のその後の状況について、お聞かせください(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 現在もそのまま継続して活動 ( ) 件 | 2. 隣接の町内会と合併 ( ) 件 |
| 3. 解散した ( ) 件          | 4. その他 ( ) 件       |

(3) (2) で「3. 解散した」とされた方にお聞きします。単位町内会が解散した理由についてご記入ください。(主にあてはまるもの3つまで○)

- |                           |
|---------------------------|
| 1. 人口の減少                  |
| 2. 役員の高齢化                 |
| 3. 役員を中心に特定の人に負担が集中していた   |
| 4. 行事の参加者が少ない(内容のマンネリ化など) |
| 5. 未加入世帯が増加したため           |
| 6. 会員の高齢化                 |
| 7. 活動費の不足                 |
| 8. 事務負担が大きい               |
| 9. 集会する場所がない              |
| 10. その他 ( )               |

## 連合町内会の活動エリアについて会長様のご印象をお聞きします

問 31 地域の概況について教えてください（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

土地利用の状況	1. 戸建住宅地 3. 住商混合 5. 中山間地域	2. 戸建・集合住宅混在 4. ほぼ集合住宅
地域の歴史	1. 戦前から 2. 戦後～昭和 30 年代開発 3. 昭和 40 年代～昭和 60 年代開発 4. 平成期開発	
商店街の有無	1. 有	2. 無
農地の有無	1. ほとんどない 3. 農地中心	2. 農地が混在している

問 32 地域住民の特徴についてお教えてください。

（1）世帯構成（主にあてはまるもの2つに○）

1. 未成年の子供のいる核家族が多い	2. 三世代以上の同居世帯が多い
3. 夫婦のみの世帯が多い	4. 単身世帯が多い
5. 高齢者のみの世帯が多い	6. 外国人世帯が多い
7. わからない	

（2）住民の居住年数の特徴（あてはまるもの1つに○）

1. 長く住んでいる人が多い
2. 住民の入れ替わりが多い
3. わからない



問 36 最後に、町内会活動・地域活動全般について、何かご意見などがございましたらご記入ください。(自由記述)

ご協力どうもありがとうございました。  
調査票は9月8日(月)までにご返送ください。



## 「町内会等実態調査」(市民意識調査) へのご協力のお願い

市民の皆さまへ

平成 26 年 9 月  
仙 台 市

市民の皆さまには、日頃より仙台市政の運営にご協力いただきますとともに、東日本大震災からの復旧・復興につきましても、皆さまのお力が大きな原動力となり仙台の再生に向けたさまざまな取り組みが進んでおりますことに、深く感謝申し上げます。

本市の町内会は、地域福祉や環境美化、防犯防災など様々な地域活動の中心的な役割を担っておりますが、近年、地域コミュニティの変容などにより、その活動を取り巻く環境が厳しさを増しているといわれております。

今回の調査は、市民の皆様にお住まいの地域の現状や町内会活動等をお聞きするもので、頂きましたご意見等を、今後のまちづくりに向けた取り組みに活用してまいりたいと考え実施するものです。

今回調査にご協力いただく皆さまにつきましては、地域の特徴(居住年数や集合住宅が占める割合等)を考慮したうえで、住民基本台帳から無作為に選ばせていただいております。

調査票へのご回答につきましては、無記名でお答えいただきますほか、その結果は、例えば「1番の意見の方が計何人で、全体の何パーセント」などのように統計的に集計し公表いたしますので、皆さま個人にご迷惑のかかるようなことはございません。調査結果につきましては、来年2月頃にとりまとめる予定であり、本市のホームページ等で公開させていただきます。

お手数とは存じますが、本調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### お問い合わせ先

仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課 電話 022-214-1245

### \*\* ご記入にあたってのお願い \*\*

1. ご回答は、必ず**ご本人が無記名**で行ってください。
2. ご回答にあたっては、設問の内容をよくお読みいただき、あてはまる番号や欄に○をつけてください。「その他」を選んだ場合は、( )内に具体的な内容をお書きください。
3. ご記入が終わりましたら、記入内容をお確かめの上、**専用の返信用封筒(切手不要)に本調査票を封入し、平成26年9月26日(金)**までにご投函ください。

※返信用封筒表面のバーコードは、料金受取人払いとするため郵便局からの指示で印刷したもので、ご回答された方を特定するものではありません。

4. ご回答の際、ご不明な点などございましたら、上記までお問い合わせください。



## 仙台市 町内会等実態調査票(市民意識調査)

### お住まいの地域に対するご評価をお聞きします

問1 この地域に、住むことになったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. もともとこの地域に住んでいたから
2. 広い住まいに住みたかったから
3. 通勤や通学など交通の便がいい場所だから
4. 防犯面において安全な地域だから
5. 道路が広く整備され、町並みがきれいだから
6. 都会の割に公園など自然が多い地域だから
7. 魅力的な物件(価格・間取りなど)があったから
8. 未就学児の子育てに適しているから(保育園など)
9. こどもの教育環境がいいから
10. 高齢者が安心して暮らせそうな環境だから
11. 家族・親族が近くに住んでいるから
12. その他( )

問2 この地域に、住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 思う
2. まあまあ思う
3. あまり思わない
4. 思わない

→ 問3へ

→ 問4へ

問3 問2のうち、「1. 思う」「2. まあまあ思う」と答えられた方におうかがいします。

住み続けたいと思う主な理由をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 周辺の音環境(騒音、静かさ等)が良い
2. 教育・学習施設の利便性が高い
3. 交通の利便性が高い
4. 医療機関の利便性が高い
5. 買い物の利便性が高い
6. 災害に対する備えが良い
7. 周辺の治安が良い
8. バリアフリー(周辺の道路や駅から自宅の行き来等)に優れている
9. その他( )

問4 問2のうち、「3. あまり思わない」「4. 思わない」と答えられた方におうかがいします。

住み続けたいと思わない主な理由をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 周辺の音環境(騒音、静かさ等)が悪い
2. 教育・学習施設の利便性が低い
3. 交通の利便性が低い
4. 医療機関の利便性が低い
5. 買い物の利便性が低い
6. 災害に対する備えが悪い
7. 周辺の治安が悪い
8. バリアフリー(周辺の道路や駅から自宅の行き来等)が不十分である
9. その他( )

## あなたの「ご近所付き合い」についておうかがいします

問5 ご近所付き合いは、どの程度していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 家の行き来をするなど、親しく交流している
2. 地域の清掃など、決まり事には参加しているが、普段の交流は無い
3. あいさつをする程度でほとんどつきあいが無い
4. まったくつきあいが無い

問6 災害時など、いざというときに近所の人と協力しあえると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 協力しあえる
2. おそらく協力しあえると思う
3. あまり協力しあえると思わない
4. まったく協力しあえると思わない

問7 あなたのお住まいの最寄りの10世帯くらい(向こう三軒両隣り、集合住宅の場合同じフロアの住民)に、どんな方が住んでいるか知っていますか(家族構成までを含む)。(あてはまるもの1つに○)

1. ほとんど知っている
2. 半分以上知っている
3. 2~3世帯くらいは知っている
4. ほとんど知らない

問8 あなたは、ご近所以外で、色々な人とおつきあいする機会がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 頻繁につきあいを持っている
2. つきあいを持っている
3. あまりつきあいはない
4. ほとんどつきあいが無い

問9 今のお住まいの地域で、次の運営主体による活動（集合住宅内のイベントなど含む）に参加したことはありますか。（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

	普段参加している	参加した経験がある	参加したことはない
(1)町内会	1	2	3
(2)婦人会、老人会、子ども会、PTA等	1	2	3
(3)NPOなどのボランティア、市民活動団体	1	2	3
(4)仙台市等の行政機関	1	2	3
(5)学校	1	2	3
(6)民間企業、社会福祉法人	1	2	3
(7)共通の趣味などのサークル	1	2	3

問10 今のお住まいの地域で、次の分野の活動（集合住宅内のイベントなど含む）に参加したことはありますか。（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

	普段参加している	参加した経験がある	参加したことはない
(1)学校教育を支援する活動	1	2	3
(2)子育てを助ける活動	1	2	3
(3)まちづくりの活動（環境美化活動を含む）	1	2	3
(4)防犯・防災・交通安全の活動	1	2	3
(5)お年寄りや障がい者などを助ける活動	1	2	3
(6)健康づくりのための活動	1	2	3
(7)スポーツ、文化芸術の活動（お祭りを含む）	1	2	3

全て「3」を選択された方

⇒問11へ

問11 問10の(1)～(7)のうち、すべてに「3. 参加したことはない」と答えられた方におうかがいします。「参加したことはない」のはなぜですか。（あてはまるもの3つまでに○）

1. 地域にかかわりたくないから	2. 忙しい（時間がない）から
3. 関心のある行事・活動がないから	4. （育児や介護など）世話が必要な家族がいるから
5. 体力や健康状態に自信がないから	6. どのような行事・活動があるか知らないから
7. 住んでいる地域以外の活動に参加しているから	
8. その他( )	9. 特に理由はない

### 町内会との関わりについておうかがいします

問12 あなたは町内会に加入していますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 加入している	2. 加入していない
-----------	------------

▶ 問13、問14、  
問15をお答  
えください

▶ 問16へ

問13 問12で「1. 加入している」と答えられた方におうかがいします。加入したきっかけは何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 自主的に加入した	2. 町内会役員（班長含む）の勧誘
3. 加入している人からのすすめ	4. 行政からのすすめ
5. 家族や友人からのすすめ	6. 入居時の条件
7. 加入が義務だと思った	8. その他（ ）

問14 お住まいの地域の町内会活動についてお聞きします。

(1) 町内会で実施している地域活動への認知・参加状況について教えてください※。(あてはまるもの1つに○)

※あなたが「集合住宅単体で町内会を形成している」集合住宅にお住まいの場合、集合住宅の町内会で実施されている活動への認知・参加状況をお答えください。

(2) 参加されている地域活動について、具体的に教えてください。

活動内容	(1) 地域活動の認知・参加状況			(2) 参加している地域活動
	り、知 して、参 加も お	は、知 ないが いて参 加い	知 ら ない	
<b>例) 地域の親睦・交流を図るための活動 (夏祭り・運動会・敬老会・新年会・旅行会等)</b>	○			<b>▲▲町内会夏祭り</b>
A. 地域の親睦・交流を図るための活動 (夏祭り・運動会・敬老会・新年会・旅行会等)				
B. 住民相互の連絡 (回覧板・町内会だよりの発行・掲示板の管理等)				
C. 慶弔行事への相互協力 (会員の慶弔行事等)				
D. 文化活動・健康増進活動 (趣味講座の実施・介護予防講座の開催等)				
E. 防災活動 (防災訓練・災害時要援護者の支援体制づくり等)				
F. 防犯や交通安全に関する活動 (防犯パトロール・交通安全運動の実施等)				
G. 住環境美化活動 (ごみ集積所の清掃・花壇作り・資源回収等)				
H. 地域住民の声の行政への要望 (地域懇談会の開催・地域環境整備の要望等)				
I. 地域福祉の増進 (活動例は欄外を参照)				
J. 児童・生徒の健全育成 (子供会・学校行事・スポーツ少年団への支援等)				
K. 地域主体のまちづくり活動 (まちづくり研修会の実施等)				

地域福祉の増進の活動例：(高齢者・障害者等への見守り・声掛けなどの支え合い活動、ふれあいサロンや子育て支援サロンの開催、寄付・募金の協力呼びかけなど)

問 15 お住まいの地域の町内会で（引き続き、新たに）力を入れて欲しい活動に○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

活動内容	町内会に、力を入れて欲しい活動
A. 地域の親睦・交流を図るための活動(夏祭り・運動会・敬老会・新年会・旅行会等)	
B. 住民相互の連絡（回覧板・町内会だよりの発行・掲示板の管理等）	
C. 慶弔行事への相互協力（会員の慶弔行事等）	
D. 文化活動・健康増進活動（趣味講座の実施・介護予防講座の開催等）	
E. 防災活動（防災訓練・災害時要援護者の支援体制づくり等）	
F. 防犯や交通安全に関する活動（防犯パトロール・交通安全運動の実施等）	
G. 住環境美化活動（ごみ集積所の清掃・花壇作り・資源回収等）	
H. 地域住民の声の行政への要望（地域懇談会の開催・地域環境整備の要望等）	
I. 地域福祉の増進（活動例は欄外を参照）	
J. 児童・生徒の健全育成（子供会・学校行事・スポーツ少年団への支援等）	
K. 地域主体のまちづくり活動（まちづくり研修会の実施等）	

地域福祉の増進の活動例：（高齢者・障害者等への見守り・声掛けなどの支え合い活動、ふれあいサロンや子育て支援サロンの開催、寄付・募金の協力呼びかけなど）

○はいくつでも

問 16 問 12 で「2. 加入していない」と答えられた方におうかがいします。今後、町内会に加入したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 思う	2. まあまあ思う	3. あまり思わない	4. 思わない
-------	-----------	------------	---------

→ 問 17 へ

→ 問 18 へ

問 17 問 16 で「1. 思う」または「2. まあまあ思う」と答えられた方におうかがいします。町内会に加入したいと思う理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域の親睦・交流を図る活動に参加したいから	
2. 行政の広報物が手に入りやすくなるから	3. 地域の情報が手に入りやすくなるから
4. 文化活動・健康増進活動に参加したいから	5. 防火・防災面で安心になるから
6. 地域の防犯面で安心になるから	7. 地域の環境美化等に協力したいから
8. 行政に意見等を言いやすくなるから	9. 高齢者を支える活動は必要だと思うから
10. 子育てを支援する活動は必要だと思うから	11. まちづくりの取組みに参加したいから
12. その他（	）

問 18 問 16 で「3. あまり思わない」または「4. 思わない」と答えられた方におうかがいします。「(あまり) 思わない」のはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 人間関係がわずらわしそうだから	2. 知っている人がいないから
3. 役につくことになるのが嫌だから	
4. 清掃などの当番的な作業に参加したりするのが嫌だから	
5. 町内会費を負担することになるのが嫌だから	
6. いずれ引っ越しをするつもりだから（転勤の予定等）	
7. 町内会に加入するメリットが感じられないから	
8. その他（	）

## 東日本大震災時の地域との関わりについておうかがいします

問 19 東日本大震災前後で、ご近所付き合いに対する考え方は変わりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1. 変わった     | 2. 少し変わった |
| 3. あまり変わらない | 4. 変わらない  |

▶ 問 20 へ

▶ 問 21 へ

問 20 問 19 で「1. 変わった」または「2. 少し変わった」と答えられた方におうかがいします。具体的に取組んだことは何かありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 町内会など地域の自治活動に運営方として参加するようになった        |
| 2. 地域で行われる行事やイベントなどの活動に参加者として関わるようになった  |
| 3. 近所の人とあいさつなどをするようになった                 |
| 4. 掲示板など地域の情報を意識するようになった                |
| 5. 回覧板を滞りなく回すようになった。                    |
| 6. 地域で必要と思う活動を、主体的に立ち上げた<br>(具体的に： )    |
| 7. 特に何も取組んでいない                          |
| 8. 震災前から上記のいずれかには取組んでいた<br>(取組んでいた番号： ) |

問 21 東日本大震災以前から、仙台市内にお住まいでしたか。(あてはまるもの1つに○)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 震災以前から仙台市に居住していた | 2. 震災後に仙台市に引っ越してきた |
|---------------------|--------------------|

▶ 問 22 へ

▶ 問 23 へ

問 22 町内会をはじめとする地域団体からどのような支援を受けましたか。また、近隣にお住まいの方同士で、どのような助け合いをされましたか。(各選択肢について、該当するものすべてに○)

	けら地 た支 援域 を受 受か 体か	い士近 がで隣 があ助住 っけっ た合民 同
(1) 発災直後の避難誘導	1	2
(2) 救出・救助、応急救護	1	2
(3) 安否確認や見回り	1	2
(4) 町内会等が運営する避難施設への滞在	1	2
(5) 支援物資(非常食や毛布、簡易トイレなど)の配布	1	2
(6) 炊き出し	1	2
(7) 地域の清掃、片づけなど	1	2
(8) 生活に必要な情報の提供	1	2
(9) その他 ( )	1	2

## あなたについておうかがいします

問 23 あなた自身やご家族についておたずねします。(それぞれ、あてはまるものに○)

①性別	1. 男性	2. 女性	
②お住まいの区	1. 青葉区 4. 太白区	2. 宮城野区 5. 泉区	3. 若林区
③年齢	1. 10歳代 4. 40歳代 7. 70歳代	2. 20歳代 5. 50歳代 8. 80歳以上	3. 30歳代 6. 60歳代
④同居する家族は誰ですか	1. 同居者なし（ひとり暮らし） 3. (あなた又は配偶者の) 親 5. 子（及びその配偶者含む） 7. 兄弟姉妹 9. 親族以外の者	2. 配偶者（夫または妻） 4. 祖父・祖母 6. 孫（及びその配偶者含む） 8. その他の親族	
⑤住宅の種類	1. 持家（一戸建て） 3. 民間の借家（一戸建て） 5. 公営の借家（UR（旧住宅公団）、住宅供給公社、市営住宅、県営住宅等） 6. その他（	2. 持家（集合住宅） 4. 民間の借家（集合住宅）	）
⑥居住年数	今のお住まいには何年住んでいますか。 1. 2年未満 3. 5年～10年未満 5. 20年～30年未満		
	2. 2年～5年未満 4. 10年～20年未満 6. 30年以上		

問 24 最後に、現在お住まいの地域で生活を続けていくうえで、不便に感じることや困っていることなどがあれば教えてください。

※欄が足りない場合は、別紙に記入いただき、同封をお願いいたします。  
※お名前等のご記入は不要です。

ご協力どうもありがとうございました。  
調査票は9月26日までにご返送ください。



## 「町内会等実態調査」(市民意識調査) へのご協力のお願い

市民の皆さまへ

平成 26 年 9 月  
仙 台 市

市民の皆さまには、日頃より仙台市政の運営にご協力いただきますとともに、東日本大震災からの復旧・復興につきましても、皆さまのお力が大きな原動力となり仙台の再生に向けたさまざまな取り組みが進んでおりますことに、深く感謝申し上げます。

本市の町内会は、地域福祉や環境美化、防犯防災など様々な地域活動の中心的な役割を担っておりますが、近年、地域コミュニティの変容などにより、その活動を取り巻く環境が厳しさを増しているといわれております。

今回の調査は、町内会が解散又は未結成の地域にお住まいの皆様に対し、町内会についての考えや地域の現状等をお聞きし、頂きましたご意見等を、今後のまちづくりに向けた取り組みに活用してまいりたいと考え実施するものです。

調査票へのご回答につきましては、無記名でお答えいただきますほか、その結果は、例えば「1番の意見の方が計何人で、全体の何パーセント」などのように統計的に集計し公表いたしますので、皆さま個人にご迷惑のかかるようなことはございません。調査結果につきましては、来年2月頃にとりまとめる予定であり、本市のホームページ等で公開させていただきます。

### お問い合わせ先

仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課 電話022-214-1245

### \* \* ご記入にあたってのお願い \* \*

1. ご回答は、必ず**ご本人が無記名**で行ってください。
2. ご回答にあたっては、設問の内容をよくお読みいただき、あてはまる番号や欄に○をつけてください。「その他」を選んだ場合は、( ) 内に具体的な内容をお書きください。
3. ご記入が終わりましたら、記入内容をお確かめの上、**専用の返信用封筒(切手不要)**に本調査票を封入し、**平成26年9月26日(金)**までにご投函ください。

※返信用封筒表面のバーコードは、料金受取人払いとするため郵便局からの指示で印刷したもので、ご回答された方を特定するものではありません。

4. ご回答の際、ご不明な点などございましたら、上記までお問い合わせください。



## 仙台市 町内会等実態調査票(市民意識調査)

### お住まいの地域に対するご評価をお聞きします

問1 この地域に、住むことになったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. もともとこの地域に住んでいたから
2. 広い住まいに住みたかったから
3. 通勤や通学など交通の便がいい場所だから
4. 防犯面において安全な地域だから
5. 道路が広く整備され、町並みがきれいだから
6. 都会の割に公園など自然が多い地域だから
7. 魅力的な物件(価格・間取りなど)があったから
8. 未就学児の子育てに適しているから(保育園など)
9. こどもの教育環境がいいから
10. 高齢者が安心して暮らせそうな環境だから
11. 家族・親族が近くに住んでいるから
12. その他( )

問2 この地域に、住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 思う
2. まあまあ思う
3. あまり思わない
4. 思わない

▶ 問3へ

▶ 問4へ

問3 問2のうち、「1思う」「2まあまあ思う」と答えられた方におうかがいします。

住み続けたいと思う主な理由をお答えください (あてはまるもの1つに○)

1. 周辺の音環境(騒音、静かさ等)が良い
2. 教育・学習施設の利便性が高い
3. 交通の利便性が高い
4. 医療機関の利便性が高い
5. 買い物の利便性が高い
6. 災害に対する備えが良い
7. 周辺の治安が良い
8. バリアフリー(周辺の道路や駅から自宅の行き来等)に優れている
9. その他( )

問4 問2のうち、「3あまり思わない」「4思わない」と答えられた方におうかがいします。

住み続けたいと思わない主な理由をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 周辺の音環境(騒音、静かさ等)が悪い
2. 教育・学習施設の利便性が低い
3. 交通の利便性が低い
4. 医療機関の利便性が低い
5. 買い物の利便性が低い
6. 災害に対する備えが悪い
7. 周辺の治安が悪い
8. バリアフリー(周辺の道路や駅から自宅の行き来等)が不十分である
9. その他( )

## あなたの「ご近所付き合い」についておうかがいします

問5 ご近所付き合いは、どの程度していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 家の行き来をするなど、親しく交流している
2. 地域の清掃など、決まり事には参加しているが、普段の交流は無い
3. あいさつをする程度でほとんどつきあいが無い
4. まったくつきあいが無い

問6 災害時など、いざというときに近所の人と協力しあえると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 協力しあえる
2. おそらく協力しあえると思う
3. あまり協力しあえると思わない
4. まったく協力しあえると思わない

問7 あなたのお住まいの最寄りの10世帯くらい(向こう三軒両隣り、集合住宅の場合同じフロアの住民)に、どんな方が住んでいるか知っていますか(家族構成までを含む)。(あてはまるもの1つに○)

1. ほとんど知っている
2. 半分以上知っている
3. 2~3世帯くらいは知っている
4. ほとんど知らない

問8 あなたは、ご近所以外で、色々な人とおつきあいする機会がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 頻繁につきあいを持っている
2. つきあいを持っている
3. あまりつきあいはない
4. ほとんどつきあいが無い

問9 今のお住まいの地域で、次の運営主体による活動（集合住宅内のイベントなど含む）に参加したことはありますか。（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

	普段参加している	参加した経験がある	参加したことはない
(1)近隣の町内会	1	2	3
(2)婦人会、老人会、子ども会、PTA等	1	2	3
(3)NPOなどのボランティア、市民活動団体	1	2	3
(4)仙台市等の行政機関	1	2	3
(5)学校	1	2	3
(6)民間企業、社会福祉法人	1	2	3
(7)共通の趣味などのサークル	1	2	3

問10 今のお住まいの地域で、次の分野の活動（集合住宅内のイベントなど含む）に参加したことはありますか。（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

	普段参加している	参加した経験がある	参加したことはない
(1)学校教育を支援する活動	1	2	3
(2)子育てを助ける活動	1	2	3
(3)まちづくりの活動（環境美化活動を含む）	1	2	3
(4)防犯・防災・交通安全の活動	1	2	3
(5)お年寄りや障がい者などを助ける活動	1	2	3
(6)健康づくりのための活動	1	2	3
(7)スポーツ、文化芸術の活動（お祭りを含む）	1	2	3

↓  
 全て「3」を選択された方  
 ⇒問11へ

問11 問10の(1)～(7)のうち、すべてに「3. 参加したことはない」と答えられた方におうかがいします。「参加したことはない」のはなぜですか。（あてはまるもの3つまでに○）

1. 地域にかかわりたくないから	2. 忙しい（時間が無い）から
3. 関心のある行事・活動がないから	4. （育児や介護など）世話が必要な家族がいるから
5. 体力や健康状態に自信がないから	6. どのような行事・活動があるか知らないから
7. 住んでいる地域以外の活動に参加しているから	
8. その他( )	9. 特に理由はない

**お住まいの地域に、町内会が無いことについてのお考えをおうかがいします。**

問 12 仙台市の町内会では、主に以下のような活動に取り組んでいます。あなたは、町内会が取り組んでいる活動についてご存知でしたか。(あてはまるもの1つに○)

	知っていた	知らなかった
(1) 住民相互の連絡・連携(回覧板・掲示板・ボランティア活動等)		
(2) 環境美化(花壇作りや地域清掃など)		
(3) 市(区)に対する要望等		
(4) 慶弔(入学・成人・敬老祝い会など)		
(5) 街路灯・防犯灯の設置や管理		
(6) 防火・防災(自主防災組織づくりや訓練)		
(7) 交通安全・防犯		
(8) 趣味・レクリエーション等文化活動 (各種講習会・芋煮会・夏まつり・盆踊りなど)		

問 13 現在、お住まいの地域に町内会がないことで生活に不安や不便を感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 不安や不便を感じている	2. 特に不安や不便はない
----------------	---------------

→ 問 14 へ

→ 問 15 へ

問 14 問 13 で「1. 不安や不便を感じている」と答えられた方におうかがいします。不安や不便を感じている内容について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

<p>1. 回覧板等がなく、住んでいる地域の情報が得にくい</p> <p>2. 地域の防火・防災面で不安</p> <p>3. 地域の防犯面で不安</p> <p>4. 仙台市からの広報物(市政だより、催事案内等)が届かない</p> <p>5. 災害情報などの行政情報が届かない・遅れる</p> <p>6. ごみ集積所や地域の清掃等の環境美化が不十分</p> <p>7. 地域と行政とやり取りをする窓口がない</p> <p>8. 地域の親睦・交流を図る活動がない</p> <p>9. その他 ( )</p>
---

問 15 問 13 で「2. 特に不安や不便はない」と答えられた方におうかがいします。不安や不便が無い理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

<p>1. 防火・防犯・防災等は行政サービスで十分だから</p> <p>2. 行政からの広報物が無くても、必要な情報はインターネット等で収集できるから</p> <p>3. ごみ集積所や清掃等は専門の業者(マンション管理会社等)に任せているから</p> <p>4. 行政に要望がある場合は、直接区役所や市役所に問い合わせを行うから</p> <p>5. 町内会活動内容について、よく知らなかったから</p> <p>6. その他 ( )</p>
---

問 16 今後、お住まいの地域で町内会等の地域の組織は必要になると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 必要になる	2. 必要ない
----------	---------

→ 問 17 へ

→ 問 18 へ

問 17 問 16 で「1. 必要になる」と答えられた方にお伺いします。

今後地域で町内会ができた場合の、町内会組織や活動への参加のご意向について教えてください。

1. 役員等の立場で、町内会に関わってもよい
2. 役員等にはなりたくないが、町内会行事には参加してもよい
3. 町内会行事には参加したくないが、町内会には加入してもよい
4. 町内会に加入したくない(理由: _____)

### 東日本大震災時の地域との関わりについておうかがいします

問 18 東日本大震災前後で、ご近所付き合いに対する考え方は変わりましたか。(あてはまるもの1つに○)

1. 変わった	2. 少し変わった
3. あまり変わらない	4. 変わらない

→ 問 19 へ

→ 問 20 へ

問 19 問 18 で「1. 変わった」または「2. 少し変わった」と答えられた方におうかがいします。

具体的に取組んだことは何かありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の自治活動に運営方として参加するようになった
2. 地域で行われる行事やイベントなどの活動に参加者として関わるようになった
3. 近所の人とあいさつなどをするようになった
4. 掲示板など地域の情報を意識するようになった
5. 地域で必要と思う活動を、主体的に立ち上げた (具体的に: _____)
6. 特に何も取組んでいない
7. 震災前から上記のいずれかには取組んでいた (取組んでいた番号: _____)

問 20 東日本大震災以前から、仙台市内にお住まいでしたか。(あてはまるもの1つに○)

1. 震災以前から仙台市に居住していた	2. 震災後に仙台市に引っ越してきた
---------------------	--------------------

→ 問 21 へ

→ 問 22 へ



## あなたについておうかがいします

問 22 あなた自身やご家族についておたずねします。(それぞれ、あてはまるものに○)

①性別	1. 男性	2. 女性	
②お住まいの区	1. 青葉区 4. 太白区	2. 宮城野区 5. 泉区	3. 若林区
③年齢	1. 10歳代 4. 40歳代 7. 70歳代	2. 20歳代 5. 50歳代 8. 80歳以上	3. 30歳代 6. 60歳代
④同居する家族は誰ですか	1. 同居者なし（ひとり暮らし） 3. (あなた又は配偶者の) 親 5. 子（及びその配偶者含む） 7. 兄弟姉妹 9. 親族以外の者	2. 配偶者（夫または妻） 4. 祖父・祖母 6. 孫（及びその配偶者含む） 8. その他の親族	
⑤住宅の種類	1. 持家（一戸建て） 3. 民間の借家（一戸建て） 5. 公営の借家（UR（旧住宅公団）、住宅供給公社、市営住宅、県営住宅等） 6. その他（	2. 持家（集合住宅） 4. 民間の借家（集合住宅）	)
⑥居住年数	今のお住まいには何年住んでいますか。 1. 2年未満 3. 5年～10年未満 5. 20年～30年未満		
	2. 2年～5年未満 4. 10年～20年未満 6. 30年以上		

問 23 最後に、現在お住まいの地域で生活を続けていくうえで、不便に感じることや困っていることなどがあれば教えてください。

※欄が足りない場合は、別紙に記入いただき、同封をお願いいたします。

※お名前等のご記入は不要です。

ご協力どうもありがとうございました。  
調査票は9月26日までにご返送ください。





仙台市町内会等実態調査 報告書

平成27年2月発行

発行 仙台市まちづくり政策局政策企画部政策企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7-1

電話 022-214-1245・1265

FAX 022-214-8037

調査委託先 三菱UFJリサーチ&コンサルティング

〒530-8213 大阪市北区梅田2丁目5-25

電話 06-7637-1500

FAX 06-7637-1479